

社会学部

人材養成目的

社会学部は家族、職場、地域、国際社会に生起する生活、労働、コミュニケーション、人間形成の諸課題について、少人数教育を核とした議論と発表、文献研究、フィールドワーク、計量調査の学習をとおして、客観的で良識に基づく判断力、他者に共感し協力できる感受性、日々の努力を怠らない自制心、難題に向かう気概を身に付けて、企業、行政、マスコミ、福祉等の分野でなくてはならない人材を養成することを目的とする。

CONTENTS

社会学部

§ 履修の要領	4
§ 成績評価と単位（GPA制度）	8
§ 開講科目一覧表の見方	10
§ 科目履修について（卒業要件、履修条件、学科別開講科目一覧）	
● 社会学科	11
● 社会福祉学科	27
● メディア学科	47
● 産業関係学科	59
● 教育文化学科	67
● 国際専修コース	83
● 免許・資格関係科目	
共通選択科目（免許資格に関する科目）	92
自由科目（免許資格に関する科目）	99
● 日本語・日本文化教育科目 ※留学生対象	103
外国語による科目の開講	110
● 副専攻制度	117
社会学部副専攻	118
サイエンスコミュニケーター養成副専攻	127
§ 同志社大学学則、学部一般内規	131
§ 外国留学に関する諸規程	144
§ 学業履修について（授業、試験、レポート、窓口受付時間、学業成績）	146
§ 資格について（社会調査士・社会福祉士・精神保健福祉士）	151
§ 父母会文庫・社会学部図書の利用について	158
§ 交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う授業・試験の実施について（司法研究科以外）	159
§ 社会学部 専任教員名簿	161

履修の要領

●科目履修について

社会学部において学位を取得するためには、**4年以上在学**し、学科で定められたカリキュラムにしたがい、**卒業に必要な単位を修得**しなければなりません。卒業の要件を満たした場合、学科によって次の学位が授与されます。

社会学科……学士（社会学）

産業関係学科……学士（産業関係学）

社会福祉学科……学士（社会福祉学）

教育文化学科……学士（教育文化学）

メディア学科……学士（メディア学）

卒業に必要な科目と単位は学科により異なります。『履修要項』『シラバス』『登録要領』等の説明事項を熟読のうえ、学年始めの所定期間に、その年度に履修する科目の登録手続きをとってください。

●社会学部授業科目について

●必修科目／コア科目（教育文化学科 2018年度以降生）

学部共通必修科目（選択科目Ⅰ学部共通科目群）と学科それぞれの特色となる科目で構成され、専門知識を学ぶための柱となり、将来その専門性を発展させるための核となる科目群です。

●選択科目Ⅰ／メジャー科目（教育文化学科 2018年度以降生）

必修科目を骨格として、各学科の専門性を充実させるための関連科目群です。定められた条件の中で、各自の関心に応じて履修科目が選択できます。

●選択科目Ⅱ

専門分野を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群です。人文・社会・自然の教養分野のみならず、学際科目、免許資格に関する科目、あるいは各種のスポーツ実技や健康管理の理論など、幅広く学ぶことができます。

また、他学部・他学科科目、同志社女子大学の提供する科目、大学コンソーシアム京都の提供する他大学の科目も履修することができます（他学部・他学科科目については当該学部・学科の「履修要項」を確認してください。その中で社会学部生が受講できるのは「社会学部授業時間割表」に記載されている科目に限ります）。

●選択科目Ⅲ

豊かな国際性を身に付けることを目的として、7カ国の外国語を用意しています。卒業単位に算入される科目や単位については、学科によって異なります。

●自由科目

卒業に必要な単位として算入しない科目を自由科目といいます。開講科目一覧表の「科目群」欄に「自由科目」と表示されている科目のほか、科目登録時に登録コードの種別欄に「Z」を付けて登録した科目も自由科目として扱われます。自由科目は**卒業単位やGPAには算入されません**。登録制限単位数には算入されますので注意してください。

社会学部が設置する自由科目は、次に説明する『免許・資格関係科目』として登録することで、各年次で定められた最高登録単位数とは別に登録することができます。

● 免許・資格関係科目

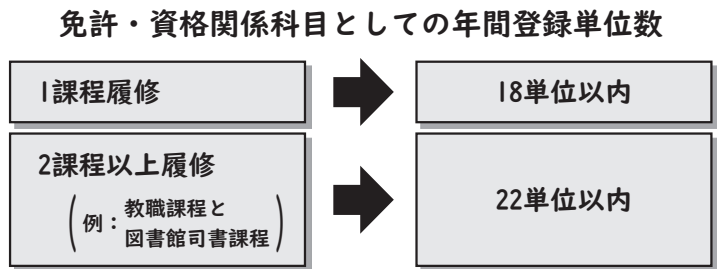
免許資格課程の履修にあたっては、各学部の卒業に必要な単位に加え、各免許資格課程で定められた所要単位を修得しなければなりません。また、授業だけでなく、準備学習や復習など授業時間外の学習の重要性を考慮したうえで、所属学部および免許資格の登録制限単位の範囲内で、1年次から計画的に履修することが要求されます。

教員免許や図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員の資格取得に履修が必要な科目を各年次の最高登録単位数とは別枠で履修することができます。この場合、『免許・資格関係科目』として登録します。科目登録時に登録コードの種別欄に「M」を付けて登録してください（免許資格に関する「自由科目」にも「M」を付けて登録できます）。ただし、『免許・資格関係科目』として登録した場合は、卒業単位には算入されません。また、社会福祉士、精神保健福祉士等の資格取得を目的とした「M登録」はできません。

免許資格関係科目の登録種別欄で「M」を選択して登録（M登録）するには、履修を希望する免許資格課程の「仮登録（一般登録期間に学修支援システム：DUETにて可能）」もしくは「課程登録（説明会出席等の所定手続が必要）」を必ず行わなければなりません。手続方法は免許資格課程や年次によって異なるので免許資格課程センターの掲示で確認を行ってください。

「仮登録」もしくは「課程登録」を行った課程で定められている科目に限りM登録を行うことが可能となります。「仮登録」もしくは「課程登録」が完了していない場合、M登録することはできず登録エラーとなるので注意してください。

免許・資格関係科目として1年間に登録できる最高登録単位数は、各年次の年間最高登録単位数とは別に、1課程では18単位、2課程以上の場合は22単位です。



なお、各学科の必修科目、選択科目として履修した場合でも、免許・資格の取得には有効です。卒業に必要な単位として算入される科目との違いは下表のとおりです。

科目群の性格

	必修科目 選択科目 I・II	自由科目	免許・資格関係科目 として登録した科目
卒業単位に算入	YES	NO	NO
GPAに算入	YES	NO	NO
免許・資格に有効	YES	YES	YES
年間の最高登録単位数に入るか	YES	YES	NO <small>ただし上記の 単位数まで</small>

・ 免許・資格関係科目についての詳細は、『免許・資格関係履修要項』を参照のこと。

● 日本語・日本文化教育科目

日本語・日本文化教育科目は、外国人留学生が一日も早く本学での生活に慣れ、学習研究の実をあげることができるように、また日本語・日本文化を深く学び、日本での学習研究を生きたものにする事ができるように設置され、その履修は外国人留学生に限ります。

●全学共通教養教育科目

全学共通教養教育科目とは、すべての学部学生を対象とした共通の教養教育カリキュラムのことで、幅広い学問分野において充実した多くの科目を開設しており、本学の建学の精神である「良心教育」を「キリスト教主義」、「自由主義（自治自立の精神）」、「国際主義」という3つの教育理念に基づき、リベラルアーツ教育の伝統を受け継ぎながら現代において展開しています。そして、教養教育をつうじて設立者新島襄が願う、良心と自治自立の精神に満ちた、国際社会に貢献できる人物を多く輩出したいと考えています。

全学共通教養教育科目には「科目群」と「科目」というグループ分けがあります。

「科目群」には「同志社科目群」、「キャリア形成支援科目群」、「国際教養科目群」の3つがあり、それぞれ、全学共通教養教育科目の中で「建学の精神、新島襄、キリスト教」、「自己形成、キャリア形成」、「異文化理解、外国語」に関連する科目をピックアップしてわかりやすくまとめ、体系的に履修することができるようにしたものです。

「科目」は、全学共通教養教育科目のすべての科目を特性や分野ごとに「〇〇科目」という名称でグループ分けしたものです。

※詳細は全学共通教養教育科目履修要項を参照のこと。

●プロジェクト科目（社会学部では選択科目Ⅱに設置）

「プロジェクト科目」は、新しい授業スタイルの科目です。教員が知識を伝授する座学の講義スタイルとは異なり、学生自らが構想・計画をし、ディスカッションを重ねながら、行動するという、実践型・参加型スタイルの授業です。企業や地域社会の方々から提案されたテーマをもとに、現場の生きた知恵や技術、そしてマネジメント・サイクルを学び、プロジェクトの立ち上げから完成までの一連のプロセスに主体的に関わりながら、実践的な問題発見・解決能力—社会を生き抜く力—を身に付けます。この科目は、現場の第一線で働く社会経験豊かな方々と本学の専任教員によって運営されるのが特長です。

なお、この科目は学外での活動も多く想定されますので、通常の科目とは違い、時間割や活動場所などいろいろな制約があります。しかし、この科目で培われたスキルは、今後かけがえのない財産となるはずです。

※授業が不定期で行われる場合があります。また、学外での活動費用（交通費、施設利用料他）は自己負担となりますので、登録の際に各プロジェクトの活動内容を確認したうえで、登録してください。

※1年次生は、秋学期科目のみ登録できます。

※先行登録科目となりますので、所定の手続きが必要です。登録手続きや開講される科目の情報については、履修要項・登録要領やシラバス、および掲示板や下記のホームページでご確認ください。

同志社大学プロジェクト科目 <https://pbs.doshisha.ac.jp/>

●特色ある社会学部の履修制度

●副専攻制度

社会学部では、学生の学びたいという意欲をサポートし、柔軟な思考と広い視野を身に付けるために、2つの副専攻制度を導入しています。

各自の興味関心に応じて所属学科以外の分野などの副専攻科目群を選択し、複眼的で柔軟な視野から現代社会を分析し、それに対応できる能力を養うことを目指します。

学部内の他学科主要科目を並行して受講する副専攻に加えて、「国際社会」「社会心理」「ジェンダー」の3つは、横断的に組み立てられる副専攻で、構造化されるように指定された科目群を受講します。これらの副専攻を修了した場合、卒業時に修了証明を発行します。

・詳細はP.117以降に掲載しています。

●国際専修コース

社会学部では、「国際専修コース」を開設しています。このコースでは、所属学科設置科目の履修を基本としつつも、国際教育インスティテュート（ILA）国際教養コースの留学生と一緒に『国際教育インスティテュート科目』（全て英語による授業）を履修することができます。

●学部共通のカリキュラム

社会学部の学部共通カリキュラムは、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を含む）と、学部共通科目の2つの科目群で構成されています。

大学での学問の基本となる教養教育、外国語教育、情報リテラシーに力を入れているのは、同志社大学の全学部に通ずる特色です。導入科目に属する「ファーストイヤーセミナー」では、大学や学部での学問のベースとなる力をしっかりと身に付けます。

同じく導入科目の「学部共通科目」は、専門科目を学ぶための出発点となる科目です。現代社会論、社会問題論、マス・コミュニケーション論、現代社会と労働、多文化共生社会と教育文化といった、各学科のベースとなる科目を網羅しています。

「現代社会論」では、家族、学校、企業、地域など人間が集まっている状態を構造的に理解する手がかりを示します。「社会問題論」では、“社会の底辺に向かう志”を見失うことなく、現実の社会問題を見つめる態度と方法を実践的に示します。「マス・コミュニケーション論」では、多様なメディアの現状と問題を取り上げ、その社会的役割、情報の読み方、発信の仕方などの原理的、実際的の方向を示します。「現代社会と労働」では、仕事の態度や能力、就職活動や雇用などの実際問題に向かう学問を示します。「多文化共生社会と教育文化」では、人間形成の意義と日本における新しい流れと、国際的な動向と多様な文化を取り込む教育の役割を示します。

これらの学部共通科目は、副専攻を履修するときにも有効です。

成績評価と単位

～成績評価はGPA（Grade Point Average）制度によって行われます。

●GPA制度とは

履修した科目の成績は科目ごとに5段階〔A・B・C・D・F〕で評価されます。また、科目ごとの評価とは別に、履修した科目全体の評点平均値はGPAとして算出され、在学中の履修成績として成績原簿などに記載されます。

なお、「F」評価を得た科目は単位の修得が認められません。

〈GPAの判定基準〉

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

上記段階評価以外の評価は、「合格」「不合格」「認定」となります。

「自由科目」はGPAには算入されません。

〈GPAの算出方法〉

$$\frac{\text{A} \times 4.0 + \text{B} \times 3.0 + \text{C} \times 2.0 + \text{D} \times 1.0 + \text{F} \times 0.0}{\text{A} + \text{B} + \text{C} + \text{D} + \text{F}}$$

（A～FはA～Fの評価が付いた科目の単位数の合計）

F評価科目もGPAに算入されますよ！

F評価科目の書き換え

GPA制度ではF評価科目の成績も含めて、1単位あたりの評点平均値=GPA（Grade Point Average）を算出します。なおF評価科目を再履修してD以上の評価を得た場合、GPAは最後に付いたF評価のみ新たな評価に書き換えて算出されます。

例1) A科目を2022年度に履修してF評価であった。2023年度にA科目を再履修してC評価を得たときの成績は？

→ 2022年度の成績が書き換えられ2023年度のC評価が付く。

A科目評価 GPA算入

2022年度 F × (2023年度のC評価によって書き換えられる)

2023年度 C ○

例2) A科目を2022年度に履修してF評価であった。2023年度にA科目を再履修してまたF評価であった。2024年度にA科目を再履修してB評価を得たときの成績は？

→ 2022年度のF評価が書き換えられなくなり、F評価として確定する。2023年度のF評価（最後についたF評価）は2024年度のB評価に書き換えられる。

A科目評価 GPA算入

2022年度 F ○ (2023年度のF評価によってFが確定)

2023年度 F × (2024年度のB評価によって書き換えられる)

2024年度 B ○

●GPAに算入されない科目

単位互換科目、単位認定科目

同志社女子大学や大学コンソーシアム京都の単位互換制度や早稲田大学学部交流生制度、在学留学制度などによって履修した単位はA・B・C…評価ではなく、「合格」「不合格」「認定」によって評価されます。これらの評価については評点の算出を行わず、GPA算出の対象にはなりません。

合格／不合格評価の科目

【2022年度以降生】

「教職実践演習（中・高）」、「データサイエンス概論」

→ 合格／不合格科目は4単位までしか卒業必要単位数に算入されません。

【2021年度以前生】

「Intensive Courses for TOEFL (Practice)」、「Intensive Courses for TOEFL (Tutorial)」、「教職実践演習（中・高）」、「データサイエンス概論」

→ 合格／不合格科目は6単位までしか卒業必要単位数に算入されません。

自由科目

①「自由科目」群として設置される科目

「単位を修得しても卒業単位数に算入されない科目」を自由科目といいます。同時に自由科目の評価は、GPAにも算入されません。『履修要項』に「自由科目群」として定められていますので、登録履修の際によく確認をして登録してください。なお、自由科目として登録する単位数は、1年間の登録制限単位数に含まれます。

②自己申告による「自由科目」

「履修をしたいが、GPAの対象としたくない」ような場合、科目登録時に、登録コードに「Z」の記号を付与すると「自由科目」として履修することができます。ただし、①と同様、自由科目として登録履修した科目の単位は、卒業必要単位として認められませんので注意してください。また、1年間の登録制限単位数に含まれます。

●その他の制度

●追試験制度

学部学生（科目等履修生を含む）の全年次生を対象として病気またはやむを得ない事由により、春学期および秋学期の終りに実施される定期試験、ならびに臨時試験（中間テスト等）を受験できない場合、追試験の申請を行うことができます。対象者は定められた期間に事務室に申し出てください。

●成績評価結果の公表

各学部・研究科が定める科目を除き、授業クラス毎の平均点や、評点の分布を大学ホームページ上でシラバス等とリンクして公表します。

●クレーム・コミッティ制度

科目担当者との直接的なコミュニケーションでは解決できない授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、社会学部事務室に相談してください。学部・研究科で相談の内容を確認後、必要に応じて各学部等のクレーム・コミッティが事実関係を調査し、クレームに関わる一連の対応について回答します。なお、いかなる場合であっても、相談者の学生IDや氏名が科目担当者に明かされることはなく、また相談によって決して不利益を被ることはありません。

開講科目一覧表の見方

登録コード

科目を特定する「科目コード」とクラスを特定する「クラスコード」で構成されています。クラスコードが明記されている科目は、科目登録の際、両方のコードを正しく記入してください（登録コードが記載されていない科目については、次年度以降に開講します）。

科目名・クラス

○で囲んだ数字はクラスを示します。

科目名が同じで、クラス番号が違う科目は特別に認められている科目を除いて、2クラス以上履修することはできません。

期間・時間

授業の開講される期間と週時間を表します。週時間は1講時分（90分）を2時間とします。

例)

春2：春学期に開講。週2時間（1講時）

秋4：秋学期に開講。週4時間（2講時）

春秋2：春学期～秋学期（通年）に開講。週2時間（1講時）

春集中：春学期に集中講義方式で開講。

秋集中：秋学期に集中講義方式で開講。

集中：講義が行われない科目を含む。

履修年次

履修ができる学年を示します。

例) 2～：2年次以上で履修できる科目です。

2：2年次で履修すべき科目です。

他学部生履修可否

可：他学部、他学科の学生も受講できる科目

※可：受講できる学部・学科が限定される科目

不可：他学部、他学科の学生は受講できない科目

※：欄外の注記のとおりとする科目

■ 2020年度以降生 11~18

【人材養成目的】

社会学科は、家族・地域・組織・階層・移動・社会意識・異文化・国際社会・ネットワークについて、社会学や人類学の理論に広く深く学びつつ、計量調査やフィールドワークといった社会調査の方法論と実習を核とするカリキュラムをとおして、さまざまな社会的現実に関する情報の収集と分析の能力を身に付けて、行政や民間の各機関における立案・調査・研究といった部門等において活躍する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・現代社会が直面する問題を、社会学および人類学の諸理論と実証的データに基づいて理解できる。（知識・技能）
- ・現代社会が直面する問題の解明のために、計量調査や質的調査に基づき実証的に分析し、明晰に表現できる。（思考力・判断力・表現力）
- ・複雑化する現代社会の問題解決のために、身に付けた能力を活用し、自律的に思考・行動できる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

- ・現代社会が直面する諸問題に対し、社会学および人類学の諸理論を踏まえて（知識・技能）、計量調査や質的調査による実証と分析をつうじて（思考力・判断力・表現力）、問題解決に自律的な貢献ができる人材を育成するために（主体性・多様性・協働性）、必修科目（30単位）および選択科目Ⅰ～Ⅲ（94単位以上）から構成されるカリキュラムを設置する。なお、選択科目Ⅰは、学科の専門科目群と学部共通科目群に分類する。
- ・社会的事象に対する実証的態度および社会調査を自ら立案し実践できる能力を段階的に身に付けるために、社会調査協会が認定する社会調査士資格のカリキュラムに準拠し、1年次の「社会調査入門」「社会学概論」「社会統計学Ⅰ」、2年次の「社会学研究法A」「社会学研究法B」「社会統計学Ⅱ」、3年次の「社会調査実習Ⅰ」「社会調査実習Ⅱ」の諸科目を置いている。

必修科目

- ・必修科目は、現代社会が直面する諸問題の理解および解決のために、立案・調査・研究をつうじて自律的に思考・表現・行動できるようになることを到達目標とする。1年次の「ファーストイヤーセミナー」から4年次の「社会学演習Ⅲ」および「卒業論文」にいたるまで計20単位の演習形式の少人数授業により、一人一人の学生の個性に応じて、知識・思考力・表現力を身に付けさせるのみならず、主体性と協働性を引き出す指導を行う。加えて、1年次と3年次に社会学の基礎的講義（計10単位）を配置して、理論的な知識および思考力を強化する。

選択科目Ⅰ

- ・選択科目Ⅰは、社会学および人類学の理論と方法をつうじて現代社会の諸問題に対して理解し表現できるようになることを目的とした専門的な科目を配置する。学科の専門科目群（40単位以上）および学部共通科目群（4単位以上）から構成される。なお、2年次終了までに履修できる選択科目Ⅰの専門科目群は28単位までにとどめることが望ましく、各科目での十分な予習と復習を特に重視する。また、選択科目Ⅰのうち専門科目群は、現代社会が直面する問題を理解することを到達目標に、社会学および人類学の学術的知識を習得する講義を主として2年次以上に配置する。同時に、計量調査や質的調査の知識・技能および分析力・表現力を体得するとともに、他の学生と協働して主体的に調査できるようになることを目標に、社会学研究法を2年次以上に、さらに調査プロジェクトをつうじて技能を体験的に高める社会調査実習を3年次以上に配置する。また、現代社会が直面する諸問題に関する知識、および実証の技能をさらに高めることを到達目標として、計量調査の基礎となる社会統計学を1~2年次に配置すると同時に、より専門性が高い（英語による授業を含む）展開的な講義、およびドイツ語、フランス語、中国語、コリア語によって専門書を読む外国書講読を2年次以上に配置する。
- ・選択科目Ⅰのうち学部共通科目群は、現代社会に関する知識を習得することを到達目標として、社会学および人類学に隣接する、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学に関する入門的講義科目を、1年次から履修する。

選択科目Ⅱ

- ・選択科目Ⅱは、専門科目（選択科目Ⅰ）の知識を補完するとともに、他の学問領域を幅広く学ぶことによって、複雑化する現代社会の問題解決のための教養と態度を涵養することを到達目標に、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目から、1~4年次にわたって履修する。選択科目Ⅰと選択科目Ⅲと合わせて94単位以上を履修する。

選択科目Ⅲ

- ・選択科目Ⅲは、豊かな国際性を身に付け、もって複雑化する現代社会の問題解決のための教養と態度を涵養することを到達目標に、全学共通教養教育科目の中の外国語教育科目、社会学科科目の中の外国語による講義科目から、英語を12単位以上、英語以外の外国語4単位以上を履修する。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に社会学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会福祉学」「メディア学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	専門科目群	学部共通科目群		英語	英語以外	
30	40以上	4以上	94	12以上	4以上	124

- ①必修科目30単位を履修すること。
- ②選択科目Ⅰは、専門科目群から40単位以上、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅲから、英語12単位以上と英語以外の外国語から1種類の外国語を選択して4単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから94単位以上履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

必修科目、選択科目とも、指定の履修年次以前に履修することはできません。

科目によっては、セット登録（同一年度に2科目あわせての同時登録が必要）、あるいは、先修条件（履修のためには特定の科目を先に履修しておくことが必要）などの履修条件を定めています。「開講科目一覧表」等をよく確認したうえで登録・履修してください。

○必修科目

- ・「ファーストイヤーセミナー」では、大学や学部での勉学の基礎となる力をしっかりと身に付けます。
- ・「社会調査入門」において社会調査士資格に関する説明を行います。
- ・「社会学演習Ⅱ（3年次演習）」の登録には、以下①・②の科目を履修済みであることが条件になります。
 - ①「ファーストイヤーセミナー」を履修済みであること。
 - ②「社会学概論」「社会調査入門」「社会学演習Ⅰ」「社会学研究法A」「社会学研究法B」のうち、3科目以上を履修済みであること。
- ・「社会学演習Ⅲ（4年次演習）」は、「社会学演習Ⅱ（1）または（2）」を受講したことがなければ登録できません。但し、留学等をする場合については、個別に学科専任教員の指示を受けてください。

○選択科目Ⅰ

- ・選択科目Ⅰは専門科目群、学部共通科目群に分類され、専門科目群には社会学講義A、社会学講義B、社会調査科目、外国書講読があります。
- ・専門科目群の「社会学研究法A」「社会学研究法B」のうち、どちらか1科目を必ず履修してください。
- ・2年次終了までに履修する専門科目群は28単位までにとどめることが望ましいです。
- ・学部共通科目群には、「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「多文化共生社会と教育文化」の4科目があります。こちらの科目のうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目ですので、できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目、社会学科科目の中に外国語による講義科目を設置しています。

- ・英語については12単位以上履修してください。ただし、12単位のうち4単位以上は社会学科が定める上級英語科目（下表の科目）から履修してください。

【2022年度以降生】

【全学共通教養教育科目 外国語教育科目 英語科目
基幹科目・上級科目・留学準備科目】

履修年次	科目名	単位
1～	Intensive Advanced English I	3
	Intensive Advanced English2	3
	Core English(LS)-Intermediate I	2
	Core English(LS)-Intermediate2	2
	Core English(RW)-Intermediate I	1
	Core English(RW)-Intermediate2	1
	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) I	2
	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)2	2
	Study Abroad Preparation(IELTS) I	2
	Study Abroad Preparation(IELTS)2	2
2～	English for Professional Purposes I	1
	English for Professional Purposes2	1
	English for Academic Purposes I	1
	English for Academic Purposes2	2
	General Academic English(LS)-Intermediate	1
General Academic English(RW)-Intermediate	1	
3～	English for Academic Purposes3	2

【全学共通教養教育科目 外国語教育科目 英語科目
海外留学プログラム】

履修年次	科目名	単位
1～	サマープログラム・英語 A	4
	サマープログラム・英語 B	3
	サマープログラム・英語 C	2
1～	スプリングプログラム・英語 A	4
	スプリングプログラム・英語 B	3
	スプリングプログラム・英語 C	2
	スプリングプログラム・英語 D	1
2～	セメスタープログラム・英語 I	4
	セメスタープログラム・英語 II	4

【社会学科 外国語による講義科目】

履修年次	科目名	単位
2～	Contemporary Japanese Culture and Society	4
2～	Principles of Sociology	4

※上記科目は、登録資格を定めている場合があるので、必ず「社会学部登録要領」を確認してください。

【2020～2021年度生】

【全学共通教養教育科目 外国語教育科目 英語科目
1・2年次中・上級科目/3・4年次基幹科目】

履修年次	科目名	単位
1～	Intensive Courses for TOEFL(Practice)※I	1
	Intensive Courses for TOEFL(Tutorial)※I	1
	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST) I	2
	Study Abroad Preparation(TOEFL TEST)2	2
	Study Abroad Preparation(IELTS) I	2
	Study Abroad Preparation(IELTS)2	2
1・2	プレ・イングリッシュ・プラクティクム	4
	イングリッシュ・プラクティクム I	4
	イングリッシュ・プラクティクム2	4
2～	アカデミック・イングリッシュ A	2
	アカデミック・イングリッシュ B	2
	プロフェッショナル・イングリッシュ A	2
	プロフェッショナル・イングリッシュ B	2
3～	言語文化研究 I	2
	言語文化研究2	2
	現代地域事情・上級講読(英語圏) I	2
	現代地域事情・上級講読(英語圏)2	2

【全学共通教養教育科目 外国語教育科目 英語科目
海外留学プログラム】

履修年次	科目名	単位
1～	サマープログラム・英語 A	4
	サマープログラム・英語 B	3
	サマープログラム・英語 C	2
1～	スプリングプログラム・英語 A	4
	スプリングプログラム・英語 B	3
	スプリングプログラム・英語 C	2
	スプリングプログラム・英語 D	1
2～	セメスタープログラム・英語 I	4
	セメスタープログラム・英語 II	4

【社会学科 外国語による講義科目】

履修年次	科目名	単位
2～	Contemporary Japanese Culture and Society	4
2～	Principles of Sociology	4

※上記科目は、登録資格を定めている場合があるので、必ず「社会学部登録要領」を確認してください。
※I 2021年度以前履修可。

- ・英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語、外国人留学生のみ日本語）については、1外国語を選択して4単位以上を履修してください。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。
- ・「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は、選択科目Ⅱの単位として算入します。
- ・海外留学プログラムのセメスタープログラムへの参加により、演習登録の先修条件に関わる科目が履修できなかった場合には、在学留学と同様、「社会学演習Ⅱ」「社会学演習Ⅲ」の選択権を失うことはありません。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目 全課程2/5/8/9
		科目コード	クラスコード							
必修科目	1	10912001	001	ファーストイヤーセミナー	①	川見 文紀	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	-
			002	〃	②	山本 直美				
			003	〃	③	加藤 泰子				
			004	〃	④	山本 素世				
			005	〃	⑤	平尾 桂				
			006	〃	⑥	金 政芸				
			007	〃	⑦	MATTIAS VAN OMMEN				
	1	10912003	001	社会学概論	①	平尾 一朗	秋4	他学部生はクラス①・③・④を登録すること。社会学科生はクラス⑤のみ、社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科生はクラス⑥のみ登録できる。	可	-
			051	〃	⑤	鶴飼 孝造	秋4		不可	【C】
			052	〃	⑥	川見 文紀	春4		不可	-
			053	〃	⑦	松村 淳	春4		可	-
			101	〃	⑩	西岡 暁廣	春4		可	-
	1	10912006		社会調査入門		武田 祐佳	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	【A】
	2	10912021	001	社会学演習I	①	尾嶋 史章	春2	先行登録科目である。詳細は、『登録要領』参照。	不可	-
			002	〃	②	森 千香子				
			003	〃	③	平尾 桂				
			004	〃	④	轡田 竜蔵				
			005	〃	⑤	山本 直美				
			006	〃	⑥	山本 圭三				
			007	〃	⑦	李 定恩				
	3~	10912008		社会学理論		鶴飼 孝造	春4		可	-
	3	10912031	001	社会学演習II (1)	①	轡田 竜蔵	春2	セットで登録すること。事前にクラス決定を行う。あわせて一般登録時に決定クラスを登録すること。日程等詳細は『登録要領』参照。(1)と(2)は同じクラスを登録すること。定められた科目を修得していなければ登録できない。(P.12を参照)	不可	-
			002	〃	②	池田 梨恵子				
			003	〃	③	藤本 昌代				
			004	〃	④	板垣 竜太				
			005	〃	⑤	小林 久高				
			006	〃	⑥	森 千香子				
			007	〃	⑦	尾嶋 史章				
			008	〃	⑧	立木 茂雄				
009			〃	⑨	鶴飼 孝造					
3	10912032	001	社会学演習II (2)	①	轡田 竜蔵	秋2	セットで登録すること。事前にクラス決定を行う。あわせて一般登録時に決定クラスを登録すること。日程等詳細は『登録要領』参照。(1)と(2)は同じクラスを登録すること。定められた科目を修得していなければ登録できない。(P.12を参照)	不可	-	
		002	〃	②	池田 梨恵子					
		003	〃	③	藤本 昌代					
		004	〃	④	板垣 竜太					
		005	〃	⑤	小林 久高					
		006	〃	⑥	森 千香子					
		007	〃	⑦	LE BAIL					
		008	〃	⑧	尾嶋 史章					
		009	〃	⑨	立木 茂雄					

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目登録時、必修
		科目コード	クラスコード							
必修科目	4	10912041	001	社会学演習Ⅲ(1)	①	轡田 竜蔵	春2		不可	-
			002	〃	②	藤本 昌代				
			003	〃	③	板垣 竜太				
			004	〃	④	小林 久高				
			005	〃	⑤	森 千香子				
			006	〃	⑥	尾嶋 史章				
			007	〃	⑦	立木 茂雄				
			008	〃	⑧	鶴飼 孝造				
			009	〃	⑨	MATTIAS VAN OMMEN				
	4	10912042	001	社会学演習Ⅲ(2)	①	轡田 竜蔵	秋2	セットで登録すること。 (1)と(2)は同じクラスを登録すること。 あわせて卒業論文も登録すること。	不可	-
			002	〃	②	藤本 昌代				
			003	〃	③	板垣 竜太				
			004	〃	④	小林 久高				
			005	〃	⑤	森 千香子 LE BAIL				
			006	〃	⑥	尾嶋 史章				
			007	〃	⑦	立木 茂雄				
			008	〃	⑧	鶴飼 孝造				
			009	〃	⑨	MATTIAS VAN OMMEN				
	4	10912090	001	卒業論文	①	轡田 竜蔵	集中	社会学演習Ⅲ(1)、(2)と同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可	-
			002	〃	②	藤本 昌代				
			003	〃	③	板垣 竜太				
			004	〃	④	小林 久高				
			005	〃	⑤	森 千香子				
			006	〃	⑥	尾嶋 史章				
			007	〃	⑦	立木 茂雄				
			008	〃	⑧	鶴飼 孝造				
			009	〃	⑨	MATTIAS VAN OMMEN				
選択科目Ⅰ 社会学講義A 専門科目群	2~	10912101	家族社会学	4	立木 茂雄	秋4		可	-	
	2~	10912102	地域社会学	4	轡田 竜蔵	春4		可	-	
	2~	10912103	国際社会学	4	森 千香子	春4		可	-	
	2~	10912104	社会心理学	4	小林 久高	秋4		可	-	
	2~	10912105	社会人類学	4	板垣 竜太	秋4		可	-	
	2~	10912116	教育社会学	2	尾嶋 史章	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可	-	
	2~	10912113	情報社会学	2	休講				-	
	2~	10912114	仕事の社会学	2	休講				-	
	2~	10912154	社会学説史	2	鶴飼 孝造	秋2		可	-	
2~	10912115	災害社会学	2	立木 茂雄	春2		可	-		

社会

2020年度以降生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目 登録時5登録	
		科目コード	クラスコード								
社会科学講義	1~	10912002		現代社会論	2	遠藤 英樹	秋2	社会学部、スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可	-	
	2~	10912165		社会問題	2	櫻井 悟史	春2		可	-	
	2~	10912166		比較社会学	4	工藤 晴子	秋4		可	-	
	2~	10912157		ジェンダーの社会学	4	KIM VIKTORIYA	秋4	英語により授業を行う。	可	-	
	2~	10912004		エリアスタディ概論	2	PANG JUN	春2		可	-	
	2~	10912156		文化社会学	4	栗谷 佳司	春4		可	-	
	2~	10912159		社会学特講I	4	休講				-	
	2~	10912160		社会学特講II	4	平尾 桂	秋4		可	-	
	2~	10912162		現代社会学特論I	2	赤枝 香奈子	春2		可	-	
	2~	10912163		現代社会学特論II	2	板垣 竜太	春2		不可	-	
	2~	10912164		現代社会学特論III	2	休講				-	
	2~	10932122		情報行動論	2	勝野 宏史	春2	社会学部社会・メディア学科生および法学部政治学科生のみ登録できる。	※可	-	
	2~	10942105		産業社会学(1)	2	阿形 健司	春2		可	-	
	2~	10942106		産業社会学(2)	2	阿形 健司	秋2		可	-	
選択科目I	1~	10912151	001	社会学統計学I	①	2	小林 久高	春2	社会学部生のみ登録できる。他学科生の1年次登録は不可。	※可	【D】
			002	〃	②	武田 祐佳	秋2				
	2~	10912152		社会学統計学II		2	西岡 暁廣	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	【E】
	2~	10912111	001	社会学研究法A	①	2	武田 祐佳	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。卒業にはどちらか1科目の履修が必要。	不可	【B】
			002	〃	②		武田 祐佳	春2			
			003	〃	③		西岡 暁廣	秋2			
	2~	10912112	001	社会学研究法B	①	2	PANG JUN	春2	社会学部生のみ登録できる。他学科生の1年次登録は不可。	不可	【F】
			002	〃	②		轡田 竜蔵	秋2			
			003	〃	③		加藤 泰子	秋2			
	3~	10912109	001	社会調査実習I	①	2	轡田 竜蔵	春4	事前にクラス決定を行う。あわせて一般登録時に決定クラスを登録すること。日程等詳細は『登録要領』参照。IIに、Iと同じ担当者のクラスが開講されている場合、IとIIをセットで登録すること。	不可	【G】
			002	〃	②		尾嶋 史章	秋4			
			003	〃	③		休講				
			004	〃	④		小林 久高	春秋2			
			005	〃	⑤		板垣 竜太	春秋2			
006			〃	⑥	西岡 暁廣		春秋2				
007			〃	⑦	徳田 剛		春秋2				
008			〃	⑧	李 定恩		春秋2				
3~	10912110	001	社会調査実習II	①	2	轡田 竜蔵	秋4	社会調査実習Iを履修済、もしくは同時登録すること。	不可	【G】	
		002	〃	②	2	休講					
		003	〃	③	2	休講					
外国書購読	2~	10912551		外国書購読(ドイツ語)I	2	戸根 裕士	春2		可	-	
	2~	10912552		外国書購読(ドイツ語)II	2	戸根 裕士	秋2		可	-	
	2~	10912553		外国書購読(フランス語)I	2	大辻 都	春2		可	-	
	2~	10912554		外国書購読(フランス語)II	2	大辻 都	秋2		可	-	
	2~	10912555		外国書購読(中国語)I	2	陸 麗君	春2	社会学部生のみ登録できる。隔週での授業となる。	※可	-	
	2~	10912556		外国書購読(中国語)II	2	陸 麗君	秋2		※可	-	
	2~	10912559		外国書購読(韓国語)I	2	影本 剛	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可	-	
2~	10912560		外国書購読(韓国語)II	2	影本 剛	秋2		可	-		

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目(登録時)の履修
		科目コード	クラスコード							
学部共通科目群 I	1~	10922002	001	社会問題論 ①	2	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可	-
			002	// ②		MARTHA MENSENDEK				
	1~	10932002		マス・コミュニケーション論	2	伊藤 高史	春2		不可	-
	1~	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可	-
	1~	10952009	001	多文化共生社会と教育文化 ①	2	崔 紗華	春2		不可	-
			002	// ②		沼田 潤	秋2			
選択科目 II				▼全学共通教養教育科目				『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること		
				▼免許・資格関係科目				『共通選択科目 (P.92~)』を参照すること		
				▼他学部・他学科科目				他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること		
				▼チュービンゲン大学IES科目						
				▼同志社女子大学単位互換科目						
				▼大学コンソーシアム京都単位互換科目					『登録要領』を参照すること	
選択科目 III	2~	10912301		Contemporary Japanese Culture and Society	4	MATTIAS VAN OMMEN	秋4	先行登録科目である。登録には定められた英語のレベルを満たしていることが条件になる。詳細は『登録要領』を参照。授業は英語で行う。	可	-
	2~	10912302		Principles of Sociology	4	MATTIAS VAN OMMEN	春4	社会学部生のみ登録できる。英語により授業を行う。	※可	-
				▼英 語				『全学共通教養教育科目 履修要項』および『登録要領』を参照すること		
				▼ド イ ツ 語						
				▼フ ラ ン ス 語						
				▼中 国 語						
				▼ス ペ イ ン 語						
				▼ロ シ ア 語						
			▼コ リ ア 語							
			▼日本語 (外国人留学生のみ)							
科自由				▼自 由 科 目				自由科目 (P.99~) を参照すること		

社会

2020年度以降生

■ 2019~2016年度生 19~26

【人材養成目的】

社会学科は、家族・地域・組織・階層・移動・社会意識・異文化・国際社会・ネットワークについて、社会学や人類学の理論に広く深く学びつつ、計量調査やフィールドワークといった社会調査の方法論と実習を核とするカリキュラムをとおり、さまざまな社会的現実に関する情報の収集と分析の能力を身に付けて、行政や民間の各機関における立案・調査・研究といった部門等において活躍する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・現代社会が直面する問題を、社会学および人類学の諸理論と実証的データに基づいて理解できる。（知識・技能）
- ・現代社会が直面する問題の解明のために、計量調査や質的調査に基づき実証的に分析し、明晰に表現できる。（思考力・判断力・表現力）
- ・複雑化する現代社会の問題解決のために、身に付けた能力を活用し、自律的に思考・行動できる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

- ・現代社会が直面する諸問題に対し、社会学および人類学の諸理論を踏まえて（知識・技能）、計量調査や質的調査による実証と分析をつうじて（思考力・判断力・表現力）、問題解決に自律的な貢献ができる人材を育成するために（主体性・多様性・協働性）、必修科目（30単位）および選択科目Ⅰ～Ⅲ（94単位以上）から構成されるカリキュラムを設置する。なお、選択科目Ⅰは、A群、B群、学部共通科目群に分類する。
- ・社会的事象に対する実証的態度および社会調査を自ら立案し実践できる能力を段階的に身に付けるために、社会調査協会が認定する社会調査士資格のカリキュラムに準拠し、1年次の「社会調査入門」「社会学概論」「社会統計学Ⅰ」、2年次の「社会学研究法A」「社会学研究法B」「社会統計学Ⅱ」、3年次の「社会調査実習Ⅰ」「社会調査実習Ⅱ」の諸科目を置いている。

必修科目

- ・必修科目は、現代社会が直面する諸問題の理解および解決のために、立案・調査・研究をつうじて自律的に思考・表現・行動できるようになることを到達目標とする。1年次の「ファーストイヤーセミナー」から4年次の「社会学演習Ⅲ」および「卒業論文」にいたるまで計20単位の演習形式の少人数授業により、一人一人の学生の個性に応じて、知識・思考力・表現力を身に付けさせるのみならず、主体性と協働性を引き出す指導を行う。加えて、1年次と3年次に社会学の基礎的講義（計10単位）を配置して、理論的な知識および思考力を強化する。

選択科目Ⅰ

- ・選択科目Ⅰは、社会学および人類学の理論と方法をつうじて現代社会の諸問題に対して理解し表現できるようになることを目的とした専門的な科目を配置する。A群の基幹科目とB群の展開科目（合わせて40単位以上、うちA群から22単位以上）および学部共通科目群（4単位以上）から構成される。なお、2年次終了までに履修できる選択科目ⅠはA群とB群を合わせて28単位までにとどめることが望ましく、各科目での十分な予習と復習を特に重視する。
- ・選択科目ⅠのうちA群は、現代社会が直面する問題を理解することを到達目標に、社会学および人類学の学術的知識を習得する講義を2年次以上に配置する。同時に、計量調査や質的調査の知識・技能および分析力・表現力を体得するとともに、他の学生と協働して主体的に調査できるようになることを目標に、社会学研究法を2年次以上に、さらに調査プロジェクトをつうじて技能を体験的に高める社会調査実習を3年次以上に配置する。
- ・選択科目ⅠのうちB群は、現代社会が直面する諸問題に関する知識、および実証の技能をさらに高めることを到達目標として、計量調査の基礎となる社会統計学を1~2年次に配置すると同時に、より専門性が高い（英語による授業を含む）展開的な講義、およびドイツ語、フランス語、中国語、コリア語によって専門書を読む外国書講読を2年次以上に配置する。
- ・選択科目Ⅰのうち学部共通科目群は、現代社会に関する知識を習得することを到達目標として、社会学および人類学に隣接する、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学に関する入門的講義科目を、1年次から履修する。

選択科目Ⅱ

- ・選択科目Ⅱは、専門科目（選択科目Ⅰ）の知識を補完するとともに、他の学問領域を幅広く学ぶことによって、複雑化する現代社会の問題解決のための教養と態度を涵養することを到達目標に、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目から、1~4年次にわたって履修する。選択科目Ⅰと選択科目Ⅲと合わせて94単位以上を履修する。

選択科目Ⅲ

- ・選択科目Ⅲは、豊かな国際性を身に付け、もって複雑化する現代社会の問題解決のための教養と態度を涵養することを到達目標に、全学共通教養教育科目の中の外国語教育科目、社会学科科目の中の外国語による講義科目から、英語を12単位以上、英語以外の外国語4単位以上を履修する。なお、英語による講義科目である「社会学特講Ⅲ」を英語の単位に替えることができる。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に社会学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会福祉学」「メディア学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	A・B群	学部共通科目群		英語	英語以外	
30	A群	4以上	94	12以上	4以上	124
	22以上					
	40以上					

- ①必修科目30単位を履修すること。
- ②選択科目Ⅰは、A・B群から40単位以上（うち、A群から22単位以上）、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅲから、英語12単位以上と英語以外の外国語から1種類の外国語を選択して4単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから94単位以上履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

必修科目、選択科目とも、指定の履修年次以前に履修することはできません。

科目によっては、セット登録（同一年度に2科目あわせての同時登録が必要）、あるいは、先修条件（履修のためには特定の科目を先に履修しておくことが必要）などの履修条件を定めています。「開講科目一覧表」等をよく確認したうえで登録・履修してください。

○必修科目

- ・「ファーストイヤーセミナー」では、大学や学部での勉学の基礎となる力をしっかりと身に付けます。
- ・「社会調査入門」において社会調査士資格に関する説明を行います。
- ・「社会学演習Ⅱ（3年次演習）」の履修には、以下①～③の科目を履修済みであることが条件になります。
 - ①選択科目Ⅰ学部共通科目群の「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」のうち2科目と、「ファーストイヤーセミナー」を履修済みであること。
 - ②「社会学概論」「社会調査入門」「社会学演習Ⅰ」「社会学研究法A」「社会学研究法B」のうち、3科目以上を履修済みであること。
 - ③選択科目Ⅲ（外国語教育科目）のうち、英語6単位以上、英語以外の外国語1言語で4単位以上の合計10単位以上を履修済みであること。

○選択科目Ⅰ

- ・ A群（基幹科目）からは22単位以上を修得すること。また、A群の「社会学研究法A」「社会学研究法B」のうち、どちらか1科目を必ず履修すること。
- ・ 2年次終了までに履修する選択科目Ⅰは、A群とB群を合せて、28単位までにとどめることが望ましいです。
- ・ 「社会学特講Ⅲ（講義は英語で行われます）」の単位を条件付で選択科目Ⅲの英語の単位に替えることができます。詳しくは選択科目Ⅲの上級英語の説明を参照してください。
- ・ 学部共通科目群には、「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の4科目があります。こちらの科目のうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、もの見方をわかりやすく説明する科目ですので、できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目、社会学科科目の中に外国語による講義科目を設置しています。

- ・ 英語については12単位以上履修してください。ただし、12単位のうち4単位以上は社会学科が定める上級英語科目（下表の科目）から履修してください。

選択科目ⅠB群の「社会学特講Ⅲ（講義は英語で行われます）」の単位を、選択科目Ⅲの英語（上級英語）の単位に替えることができます。英語の単位に替える申請は不要です（卒業判定時に選択科目Ⅲの英語の単位が不足し、選択科目ⅠA・B群を44単位以上修得している場合、自動的に読み替えられます）。ただしその場合、「社会学特講Ⅲ」が選択科目Ⅰと選択科目Ⅲの両方の単位としてカウントされることはありませんので、選択科目ⅠA・B群は「社会学特講Ⅲ」を除いて40単位以上修得していることが必要となります。

【全学共通教養教育科目 外国語教育科目 英語科目
1・2年次中・上級科目／3・4年次基幹科目】

履修年次	科目名	単位
1・2	イングリッシュ・プラクティクム1	4
	イングリッシュ・プラクティクム2	4
2～	アカデミック・イングリッシュA	2
	アカデミック・イングリッシュB	2
	プロフェッショナル・イングリッシュA	2
	プロフェッショナル・イングリッシュB	2
3～	言語文化研究1	2
	言語文化研究2	2
	現代地域事情・上級講読(英語圏)1	2
	現代地域事情・上級講読(英語圏)2	2

【社会学科 外国語による講義科目】

履修年次	科目名	単位
2～	Contemporary Japanese Culture and Society	4

※上記科目は、登録資格を定めている場合があるので、必ず「社会学部登録要領」を確認してください。

- ・ 英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語、外国人留学生のみ日本語）については、1外国語を選択して4単位以上を履修してください。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。
- ・ 「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は、選択科目Ⅱの単位として算入します。
- ・ 海外留学プログラムのセメスタープログラムへの参加により、演習登録の先修条件に関わる科目が履修できなかった場合には、在学留学と同様、「社会学演習Ⅱ」「社会学演習Ⅲ」の選択権を失うことはありません。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目 登録コード: 5, 5, 5, 5
		科目コード	クラスコード							
必修科目	1	10912001	001	ファーストイヤーセミナー	①	川見 文紀	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	-
			002	〃	②	山本 直美				
			003	〃	③	加藤 泰子				
			004	〃	④	山本 素世				
			005	〃	⑤	平尾 桂				
			006	〃	⑥	金 政芸				
			007	〃	⑦	MATTIAS VAN OMMEN				
	1	10912003	001	社会学概論	①	平尾 一朗	秋4	他学部生はクラス①・③・④を登録すること。社会学科生はクラス⑤のみ、社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科生はクラス⑥のみ登録できる。	可	-
			051	〃	⑤	鶴飼 孝造	秋4		不可	【C】
			052	〃	⑥	川見 文紀	春4		不可	-
			053	〃	⑦	松村 淳	春4		可	-
			101	〃	⑩	西岡 暁廣	春4		可	-
	1	10912006		社会調査入門		武田 祐佳	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	【A】
	2	10912021	001	社会学演習I	①	尾嶋 史章	春2	先行登録科目である。詳細は、『登録要領』参照。	不可	-
			002	〃	②	森 千香子				
			003	〃	③	平尾 桂				
			004	〃	④	轡田 竜蔵				
			005	〃	⑤	山本 直美				
			006	〃	⑥	山本 圭三				
			007	〃	⑦	李 定恩				
	3~	10912008		社会学理論		鶴飼 孝造	春4		可	-
	3	10912031	001	社会学演習II (1)	①	轡田 竜蔵	春2	セットで登録すること。事前にクラス決定を行う。あわせて一般登録時に決定クラスを登録すること。日程等詳細は『登録要領』参照。(1)と(2)は同じクラスを登録すること。定められた科目を修得していなければ登録できない。(P.20を参照)	不可	-
			002	〃	②	池田 梨恵子				
			003	〃	③	藤本 昌代				
			004	〃	④	板垣 竜太				
			005	〃	⑤	小林 久高				
			006	〃	⑥	森 千香子				
			007	〃	⑦	尾嶋 史章				
008			〃	⑧	立木 茂雄					
009			〃	⑨	鶴飼 孝造					
3	10912032	001	社会学演習II (2)	①	轡田 竜蔵	秋2	セットで登録すること。事前にクラス決定を行う。あわせて一般登録時に決定クラスを登録すること。日程等詳細は『登録要領』参照。(1)と(2)は同じクラスを登録すること。定められた科目を修得していなければ登録できない。(P.20を参照)	不可	-	
		002	〃	②	池田 梨恵子					
		003	〃	③	藤本 昌代					
		004	〃	④	板垣 竜太					
		005	〃	⑤	小林 久高					
		006	〃	⑥	森 千香子					
		007	〃	⑦	LE BAIL					
		008	〃	⑧	尾嶋 史章					
		009	〃	⑨	立木 茂雄					

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目登録時、必修
		科目コード	クラスコード							
必修科目	4	10912041	001	社会学演習Ⅲ(1)	①	轡田 竜蔵	春2		不可	-
			002	〃	②	藤本 昌代				
			003	〃	③	板垣 竜太				
			004	〃	④	小林 久高				
			005	〃	⑤	森 千香子				
			006	〃	⑥	尾嶋 史章				
			007	〃	⑦	立木 茂雄				
			008	〃	⑧	鶴飼 孝造				
			009	〃	⑨	MATTIAS VAN OMMEN				
	4	10912042	001	社会学演習Ⅲ(2)	①	轡田 竜蔵	秋2	セットで登録すること。(1)と(2)は同じクラスを登録すること。あわせて卒業論文も登録すること。	不可	-
			002	〃	②	藤本 昌代				
			003	〃	③	板垣 竜太				
			004	〃	④	小林 久高				
			005	〃	⑤	森 千香子 LE BAIL				
			006	〃	⑥	尾嶋 史章				
			007	〃	⑦	立木 茂雄				
			008	〃	⑧	鶴飼 孝造				
			009	〃	⑨	MATTIAS VAN OMMEN				
	4	10912090	001	卒業論文	①	轡田 竜蔵	集中	社会学演習Ⅲ(1)、(2)と同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可	-
			002	〃	②	藤本 昌代				
			003	〃	③	板垣 竜太				
			004	〃	④	小林 久高				
			005	〃	⑤	森 千香子				
			006	〃	⑥	尾嶋 史章				
			007	〃	⑦	立木 茂雄				
			008	〃	⑧	鶴飼 孝造				
			009	〃	⑨	MATTIAS VAN OMMEN				
選択科目 I A 群	2~	10912004		エリアスタディ概論	2	PANG JUN	春2		可	-
	2~	10912111	001	社会学研究法A	①	武田 祐佳	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。卒業にはどちらか1科目の履修が必要。	不可	【B】
			002	〃	②	武田 祐佳	春2			
			003	〃	③	西岡 暁廣	秋2			
	2~	10912112	001	社会学研究法B	①	PANG JUN	春2		不可	【F】
			002	〃	②	轡田 竜蔵	秋2			
			003	〃	③	加藤 泰子	秋2			
	2~	10912101		家族社会学	4	立木 茂雄	秋4		可	-
	2~	10912102		地域社会学	4	轡田 竜蔵	春4		可	-
	2~	10912103		国際社会学	4	森 千香子	春4		可	-
	2~	10912104		社会心理学	4	小林 久高	秋4		可	-
	2~	10912105		社会人類学	4	板垣 竜太	秋4		可	-
	2~	10912116		教育社会学	2	尾嶋 史章	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可	-
	2~	10912113		情報社会学	2	休講				-
2~	10912114		仕事の社会学	2	休講				-	
2~	10912115		災害社会学	2	立木 茂雄	春2		可	-	
2~	10912166		比較社会学	4	工藤 晴子	秋4		可	-	

社会
2019~
2016年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目				
		科目コード	クラスコード											
選択科目 I A 群	3~	10912109	001	社会調査実習 I	①	轡田 竜蔵	春4	事前にクラス決定を行う。あわせて一般登録時に決定クラスを登録すること。日程等詳細は『登録要領』参照。Ⅱに、Ⅰと同じ担当者のクラスが開講されている場合、ⅠとⅡをセットで登録すること。	不可	【G】				
			002	〃	②	尾嶋 史章	秋4							
			003	〃	③	休講								
			004	〃	④	小林 久高	春秋2							
			005	〃	⑤	板垣 竜太	春秋2							
			006	〃	⑥	西岡 暁廣	春秋2							
			007	〃	⑦	徳田 剛	春秋2							
			008	〃	⑧	李 定恩	春秋2							
	3~	10912110	001	社会調査実習 II	①	轡田 竜蔵	秋4				社会調査実習 I を履修済、もしくは同時登録すること。	不可	【G】	
			002	〃	②	休講								
003			〃	③	休講									
選択科目 I B 群	1~	10912151	001	社会統計学 I	①	小林 久高	春2	社会学部生のみ登録できる。他学科生の1年次登録は不可。	※可	【D】				
			002	〃	②	武田 祐佳	秋2							
	2~	10912152		社会統計学 II		2	西岡 暁廣	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	【E】			
	2~	10912154		社会学説史		2	鷓飼 孝造	秋2		可	-			
	2~	10912165		社会問題		2	櫻井 悟史	春2		可	-			
	2~	10912156		文化社会学		4	粟谷 佳司	春4		可	-			
	2~	10912157		ジェンダーの社会学		4	KIM VIKTORIYA	秋4	英語により授業を行う。	可	-			
	2~	10912159		社会学特講 I		4	休講				-			
	2~	10912160		社会学特講 II		4	平尾 桂	秋4		可	-			
	2~	10912161		社会学特講 III		4	MATTIAS VAN OMMEN	春4	社会学部生のみ登録できる。英語により授業を行う。	※可				
	2~	10912162		現代社会学特論 I		2	赤枝 香奈子	春2		可	-			
	2~	10912163		現代社会学特論 II		2	板垣 竜太	春2		不可	-			
	2~	10912164		現代社会学特論 III		2	休講				-			
	2~	10932122		情報行動論		2	勝野 宏史	春2	社会学部社会・メディア学科生および法学部政治学科生のみ登録できる。	※可	-			
	2~	10942105		産業社会学 (1)		2	阿形 健司	春2		可	-			
	2~	10942106		産業社会学 (2)		2	阿形 健司	秋2		可	-			
	2~	10912551		外国書講読 (ドイツ語) I		2	戸根 裕士	春2		可	-			
	2~	10912552		外国書講読 (ドイツ語) II		2	戸根 裕士	秋2		可	-			
	2~	10912553		外国書講読 (フランス語) I		2	大辻 都	春2		可	-			
	2~	10912554		外国書講読 (フランス語) II		2	大辻 都	秋2		可	-			
2~	10912555		外国書講読 (中国語) I		2	陸 麗君	春2	社会学部生のみ登録できる。隔週での授業となる。	※可	-				
2~	10912556		外国書講読 (中国語) II		2	陸 麗君	秋2		※可	-				
2~	10912559		外国書講読 (韓国語) I		2	影本 剛	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可	-				
2~	10912560		外国書講読 (韓国語) II		2	影本 剛	秋2		可	-				
学部共通科目群 I	1~	10922002	001	社会問題論	①	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可	-				
			002	〃	②	MARTHA MENSENDIEK								
	1~	10932002		マス・コミュニケーション論		2	伊藤 高史				春2		不可	-
	1~	10942002		現代社会と労働		2	寺井 基博				春2		不可	-
	1~	10952002	001	教育文化論	①	崔 紗華	春2				2017年度以前生のみ登録できる。	不可	-	
			002	〃	②	沼田 潤	秋2							
1~	10952009	001	多文化共生社会と教育文化	①	崔 紗華	春2	2018年度以降生のみ登録できる。	不可	-					
		002	〃	②	沼田 潤	秋2								

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	社会調査士のために必要な科目 <small>登録科目</small>
		科目コード	クラスコード							
選択科目Ⅱ				▼全学共通教養教育科目				『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること		
				▼免許・資格関係科目				『共通選択科目 (P.92~)』を参照すること		
				▼他学部・他学科科目				他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること		
				▼チュービンゲン大学IES科目						
				▼同志社女子大学単位互換科目						
				▼大学コンソーシアム京都単位互換科目				『登録要領』を参照すること		
選択科目Ⅲ	2~	10912301		Contemporary Japanese Culture and Society	4	MATTIAS VAN OMMEN	秋4	先行登録科目である。登録には定められた英語のレベルを満たしていることが条件になる。詳細は『登録要領』を参照。授業は英語で行う。	可	-
				▼英 語				『全学共通教養教育科目 履修要項』および『登録要領』を参照すること		
				▼ド イ ツ 語						
				▼フ ラ ン ス 語						
				▼中 国 語						
				▼ス ペ イ ン 語						
				▼ロ シ ア 語						
				▼コ リ ア 語						
			▼日本語 (外国人留学生のみ)							
科自由				▼自 由 科 目				自由科目 (P.99~) を参照すること		

社会福祉学科

■ 2021年度以降生

27~36

社会福祉

2021年度
以降生

【人材養成目的】

社会福祉学科は、現代社会における様々な生活問題に焦点をあてて、個人や家族への援助活動を中心とするミクロレベルから、地域を対象とするメゾレベル、制度や政策を考察するマクロレベルに至る多様なレベルからの思想的・理論的かつ実践的な探求を行い、社会福祉専門職（ソーシャルワーカー）に必要な価値・知識・技術を身に付け、様々な社会福祉の分野で活躍し、21世紀福祉社会に貢献する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解することで、現代社会が直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー）としての専門的技術を身に付けられる。（知識・技能）
- ・人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、社会が直面する社会問題に対し、その解決方法を学術的に探究し、その解決に向けて行動し、発信できる。（思考力・判断力・表現力）
- ・福祉サービス利用者の置かれている多様な状況への共感に基づいて、他者と協働しながら問題解決に向けて行動できる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

社会福祉の根底にある理念や哲学（思考力・判断力・表現力）、社会福祉の政策・制度論、そして援助方法（知識・技能）に関する科目をバランスよく配置し、幅広い見方と具体的実践の方法とを統合できることを到達目標とする。特に実習科目を重視し、1年次生から4年次生まで系統的に実習できるように科目を設置し、児童・障害者・高齢者、精神保健福祉の諸施設、公的機関、民間福祉団体等で実習することにより、将来ソーシャルワーカーを希望する者にはそれに必要な知識、態度、技能の習得を身に付けることができるようにする。必修科目34単位に加え、選択科目を90単位以上履修する（主体性・多様性・協働性）。なお、必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

必修科目は、社会福祉を理解するうえで必要な利用者の置かれている状況の理解をつうじて人権意識を涵養し（思考力・判断力・表現力）、福祉の基本的なしくみを理解するとともに、実習、演習をつうじてそれらを実際に運用できる実践的力と主体的に行動する力を身に付ける（知識・技能、主体性・多様性・協働性）を到達目標とする。また小クラスによる卒業論文に向けたゼミ「社会福祉学専門演習ⅠおよびⅡ」「社会福祉学専門演習ⅢおよびⅣ」により、これらの統合をはかる。

選択科目Ⅰ

選択科目Ⅰは、社会福祉の諸領域について幅広い知識を習得することを到達目標として、実習・演習・講義形式の授業科目から28単位以上を履修する。

- ・選択科目ⅠのうちA群～D群は、社会福祉学関係科目を性質的に分類したものである。それぞれバランス良く履修することが望まれる。A群～D群から各4単位以上、合計24単位以上を履修する。なお、各群の内容は以下のとおりである。（A群：共通系科目および政策・国際系科目、B群：実践系科目、C群：分野・地域系科目、D群：福祉関連・学際系科目および外国書講読）
- ・選択科目Ⅰのうち学部共通科目群は、社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学に関する入門的講義科目から4単位以上を履修する。

選択科目Ⅱ

選択科目Ⅱは、専門科目を補完するために、関連科目として、他の学問領域から学び、豊かな幅広い教養を身に付けることを到達目標とし、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目から、1～4年次にわたって12単位以上を履修する。

選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは、豊かな社会福祉領域の国際性を身に付けることを目的として、社会福祉に関連する領域を、主に国際的視座で発信するために必要な知識を習得することを到達目標とする。

- ・英語の実践的な運用能力を習得することを目標とし、英語8単位以上を履修する。
- ・英語以外の外国語の基礎的な運用能力を習得することを目標とし、英語以外の外国語から一種類の外国語を選択して4単位以上を履修する。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に社会福祉学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「メディア学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ					選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	A群	B群	C群	D群	学部共通科目群		英語	英語以外	
34	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	12以上	8以上	4以上	124
	24以上								
	90								

- ①必修科目34単位を履修すること。
- ②選択科目ⅠのA群～D群から各4単位以上、合計24単位以上を履修すること。また、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから12単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語8単位以上、英語以外の外国語から1言語を選択して4単位以上を履修すること。
ただし、英語以外の外国語はグレード（入門またはインテンシヴ）ⅠおよびⅡを履修していること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから合計90単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。ただし、第2年次以降は一定の条件（転学科、転入学、編入学、教職課程と社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格の同時履修など）のもとで52単位まで登録が認められる場合があります。希望する者は毎年「52単位登録申請書」に記載の手続を期日までに行ってください。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

必修科目、選択科目とも、指定の履修年次以前に履修することはできません。

科目によっては、セット登録（同一年度に2科目あわせての同時登録が必要）、あるいは、先修条件（履修のためには特定の科目を先に履修しておくことが必要）、などの履修条件を定めています。「開講科目一覧表」等をよく確認したうえで登録・履修してください。

また、実習科目は下表のとおり「実験実習料」の納入が必要となります。

期日までに納入されない場合は登録を取り消す場合がありますのでご注意ください。

実験実習料が必要な科目・クラス	納入時期と金額		備考
	各学期始め	配属実習出発時	
ソーシャルワーク基礎実習Ⅰ	5,000円	10,000円	1年次必修科目
ソーシャルワーク基礎実習Ⅱ			2年次必修科目
ソーシャルワーク基礎実習Ⅲ			2年次選択科目
ソーシャルワーク専門実習Ⅰ、Ⅱ	5,000円	30,000円	3、4年次選択科目
ソーシャルワーク専門実習Ⅲ、Ⅳ	5,000円	別途掲示します	4年次選択科目
精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅰ			3年次選択科目
精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅱ、Ⅲ	5,000円	30,000円	4年次選択科目
社会問題実習	5,000円	30,000円	2、3、4年次選択科目
国際社会福祉実習	5,000円	別途掲示します	2、3、4年次選択科目

○必修科目

- ・「ファーストイヤーセミナー」では、大学や学部での基礎となる力をしっかりと身に付けます。
- ・「社会福祉学専門演習ⅢおよびⅣ」の履修には、「社会福祉学専門演習ⅠおよびⅡ」を履修済であることが条件になります。

○選択科目Ⅰ

- A群：共通系科目および政策・国際系科目
- B群：実践系科目
- C群：分野・地域系科目
- D群：福祉関連・学際系科目および外国書講読

A～D群は、社会福祉学関係科目を性質的に分類したものです。それぞれバランス良く履修することが望まれます。

- ・学部共通科目群には、「現代社会論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「多文化共生社会と教育文化」の4科目があります。これらの科目のうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目ですので、できるだけ早い段階での履修が求められます。
- ・次の実習科目の履修には、特定の科目を先に履修済であることが条件になります。

科目・クラス	先修条件科目
ソーシャルワーク基礎実習Ⅲ	ソーシャルワーク基礎実習Ⅱ
ソーシャルワーク専門実習Ⅰ、Ⅱ	ソーシャルワーク基礎実習Ⅰ～Ⅲ、社会福祉入門、ソーシャルワーク論Ⅰ
ソーシャルワーク専門実習Ⅲ、Ⅳ	ソーシャルワーク専門実習Ⅰ、Ⅱ
精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅰ	ソーシャルワーク基礎実習Ⅰ～Ⅲ、社会福祉入門
精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅱ、Ⅲ	精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅰ 精神保健福祉の原理を履修済、もしくは同時履修

「社会問題実習」および「国際社会福祉実習」はそれぞれ定員制の科目です。これらの科目の履修には「福祉と人権」「社会問題論」を履修済（または同時履修）であることが条件になります。ただし、やむを得ない理由により、履修条件を満たすことができない場合は、事前に社会学部事務室まで相談してください。両科目とも、説明会を行う予定ですので登録希望者は参加をし、説明会当日に配布する志望理由書（仮登録書）を必ず提出してください。そのうえで登録者選考のための面接を実施します。スケジュールの詳細は登録要領・掲示等により通知します。提出方法は社会福祉実習指導室か社会学部事務室まで問い合わせてください。

なお、実習に伴う旅費・交通費や実習料・実習中の諸費用については自己負担となります。

○選択科目Ⅱ

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ

豊かな国際性を身につけることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

英語以外（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、コリア語、外国人留学生のみ日本語）については、1年次にいずれかのグレードⅠ・Ⅱを履修してください。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

【注】「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は選択科目Ⅱの単位として算入します。

科目群	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など	他学部生 履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	1	10922001		ファーストイヤーセミナー	2	鈴木 良 小野セレスタ 摩耶 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 塩田 祥子 佐分 厚子 堀 善昭	春2	セットで登録すること。	不可
	1	10922011		社会福祉学基礎演習 I	2	鈴木 良 小野セレスタ 摩耶 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 塩田 祥子 佐分 厚子 堀 善昭	秋2		不可
	1	10922002	001	社会問題論	①	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。社会福祉学科生はクラス②を登録すること。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
			002	〃	②	MARTHA MENSENDIEK			
	1	10922003		福祉と人権	2	木原 活信	春2	社会・神学部生のみ登録できる。	※可
	1	10922005		社会福祉入門	2	空閑 浩人	秋2		可
	1	10922014		ソーシャルワーク基礎実習 I	2	野村 裕美 MARTHA MENSENDIEK 鈴木 良 小野セレスタ 摩耶 上村 啓子 牧野 哲治 村井 琢哉 久門 誠 原田 徹 竹田 史門 山田 宗寛	秋2	実験実習料が必要。	不可
	2	10922021		社会福祉学基礎演習 II	2	小山 隆 小野セレスタ 摩耶 廣野 俊輔 三島 亜紀子 尹 誠國 上掛 利博 村田 隆史 堀 善昭	春2	セットで登録すること。	不可
	2	10922022		社会福祉学基礎演習 III	2	小山 隆 小野セレスタ 摩耶 廣野 俊輔 三島 亜紀子 尹 誠國 上掛 利博 村田 隆史 堀 善昭	秋2		不可

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	2	10922015		ソーシャルワーク基礎実習Ⅱ	2	野村 裕美 MARTHA MENSENDIEK 鈴木 良 小野セレスタ 摩耶 上村 啓子 牧野 哲治 村井 琢哉 久門 誠 原田 徹 竹田 史門 武山 世里子 山田 宗寛	春2		不可
	3	10922031	001	社会福祉学専門演習Ⅰ	①	木原 活信	春2	前年度にクラス決定を行う。詳細は社会福祉学基礎演習Ⅱ、Ⅲの授業にて連絡する(当該科目を履修済の場合、社会学部事務室に申し出る)。事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出る。	不可
			002	〃	②	小山 隆			
			003	〃	③	空閑 浩人			
			004	〃	④	休講			
			005	〃	⑤	鈴木 良			
			006	〃	⑥	野村 裕美			
			007	〃	⑦	廣野 俊輔			
			008	〃	⑧	小野セレスタ 摩耶			
			009	〃	⑨	郭 芳			
			010	〃	⑩	永田 祐			
	3	10922032	001	社会福祉学専門演習Ⅱ	①	木原 活信	秋2	前年度にクラス決定を行う。詳細は社会福祉学基礎演習Ⅱ、Ⅲの授業にて連絡する(当該科目を履修済の場合、社会学部事務室に申し出る)。事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出る。	不可
			002	〃	②	小山 隆			
			003	〃	③	空閑 浩人			
			004	〃	④	休講			
			005	〃	⑤	鈴木 良			
			006	〃	⑥	野村 裕美			
			007	〃	⑦	廣野 俊輔			
			008	〃	⑧	小野セレスタ 摩耶			
			009	〃	⑨	郭 芳			
			010	〃	⑩	永田 祐			
	4	10922041	001	社会福祉学専門演習Ⅲ	①				不可
			002	〃	②				
			003	〃	③				
			004	〃	④				
			005	〃	⑤				
			006	〃	⑥				
			007	〃	⑦				
			008	〃	⑧				
			009	〃	⑨				
			010	〃	⑩				

社会福祉

2021年度
以降生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	
		科目コード	クラスコード							
必修科目	4	10922042	001	社会福祉学専門演習Ⅳ	①	2				
			002	〃	②					
			003	〃	③					
			004	〃	④					
			005	〃	⑤					
			006	〃	⑥					
			007	〃	⑦					
			008	〃	⑧					
			009	〃	⑨					
			010	〃	⑩					
	4	10922090	001	卒業論文	①	8				
			002	〃	②					
			003	〃	③					
			004	〃	④					
			005	〃	⑤					
			006	〃	⑥					
			007	〃	⑦					
			008	〃	⑧					
			009	〃	⑨					
			010	〃	⑩					
選択科目ⅠA群	1～	10922101		社会福祉の歴史と思想		2	木原 活信	秋2		可
	1～	10922112		社会福祉政策		2	永田 祐 小野セレスター 摩耶 郭 芳	春2		可
	2～	10922108		権利擁護と成年後見		2	生田 一朗	春2		可
	2～	10922103		国際社会福祉		4	休講			
	2～	10922104		社会保障論		4	齋藤 立滋	春秋2		可
	2～	10922106		社会福祉施設経営論		2	竹田 史門	春2		可
選択科目ⅠB群	1～	10922121		ソーシャルワーク論Ⅰ		4	小山 隆	秋4		可
	2～	10922122		ソーシャルワーク論Ⅱ		4	空閑 浩人	秋4		可
	2～	10922123		ソーシャルワーク論Ⅲ		4	廣野 俊輔	秋4		可
	2～	10922124	001	ソーシャルワーク演習Ⅰ	①	4	堀 善昭 小野セレスター 摩耶 塩田 祥子 郭 芳 李 仙恵 姜 民護	春秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
			002	〃	②					
			003	〃	③					
			004	〃	④					
			005	〃	⑤					
			006	〃	⑥					
	3～	10922125	001	ソーシャルワーク演習Ⅱ	①	4	鈴木 良 郭 芳 塩田 祥子 姜 民護 佐分 厚子	春秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
			002	〃	②					
			003	〃	③					
			004	〃	④					
			005	〃	⑤					
2～	10922016		ソーシャルワーク基礎実習Ⅲ		2	野村 裕美 MARTHA MENSCHEN 小野セレスター 摩耶 久門 誠 牧野 哲治 上村 啓子 村井 琢哉 原田 徹 山田 宗寛	秋2	ソーシャルワーク基礎実習Ⅱを履修済、もしくは同時登録すること	不可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	
		科目コード	クラスコード							
選択科目 I B 群	3~	10922017		ソーシャルワーク専門実習 I	3	永田 祐 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 芹沢 出 南本 宜子 武田 知記	春4	セットで登録すること。実験実習料が必要。所定の科目を履修済であること (P.29参照)	不可	
	3~	10922018		ソーシャルワーク専門実習 II	3	空閑 浩人 永田 祐 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 芹沢 出 南本 宜子 武田 知記	秋4		不可	
	4	10922019	001	ソーシャルワーク専門実習 III ①	2					
			002	// ②						
	4	10922020	001	ソーシャルワーク専門実習 IV ①	2					
			002	// ②						
	2~	10922317		精神保健福祉の原理	4	樽井 康彦	春秋2		可	
	2~	10922318		精神保健福祉ソーシャルワーク論 I	2	梁 陽日	春2		可	
	2~	10922319		精神保健福祉ソーシャルワーク論 II	2	梁 陽日	秋2		可	
	2~	10922311		精神保健福祉ソーシャルワーク演習 I	2	舘澤 謙蔵	秋2		不可	
	3~	10922312		精神保健福祉ソーシャルワーク演習 II	2	松浦 千恵 野村 裕美	春2	主に精神保健福祉士資格取得予定者を対象とする。	不可	
	3~	10922313		精神保健福祉ソーシャルワーク演習 III	2	松浦 千恵 野村 裕美	秋2		不可	
	3	10922314		精神保健福祉ソーシャルワーク実習 I	2	野村 裕美 姜 民護 姫野 紀代子	秋2	実験実習料が必要。所定の科目を履修済であること (P.29参照)。IIを登録する前年度までにIを履修済であること。II、IIIをセットで登録すること。	不可	
	4	10922315		精神保健福祉ソーシャルワーク実習 II	2					
	4	10922316		精神保健福祉ソーシャルワーク実習 III	2					
2~	10922151		社会問題実習	4	MARTHA MENSENDIEK	春秋2	神・社会学部生のみ登録できる。実験実習料が必要。社会問題論、福祉と人権を履修済、もしくは登録中であること。やむを得ない理由により上記の履修条件を満たすことができない場合は、事前に社会学部事務室まで相談すること。また、登録を希望する場合は説明会に参加すること。登録が許可されれば、大学で一括登録する。	※可		
2~	10922152		国際社会福祉実習	4	休講					

社会福祉

2021年度
以降生

科目群	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など	他学部生 履修可否
		科目コード	クラスコード						
選択科目 I・C群	1～	10922161		NPO・ボランティア活動論	2	名賀 亨	春2	神・社会・法・経済学 部生のみ登録できる。 先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	※可
	1～	10922211		児童・家庭福祉論	2	小野セレスタ 摩耶	春2		可
	1～	10922212		障害者福祉論	2	鈴木 良	春2		可
	2～	10922213		高齢者福祉論	2	郭 芳	春2		可
	2～	10922165		地域福祉論	4	永田 祐	春4		可
	2～	10922166		家族福祉論	2	杉井 潤子	春2		可
	2～	10922177		公的扶助	2	村田 隆史	秋2		可
	1～	10922168		医療福祉論	2	野村 裕美	春2		可
2～	10922169		司法福祉論	2	掛川 直之	春2		可	
選択科目 I・D群	1～	10922153		心理学と心理的支援	2	柏谷 香織	春2		不可
	1～	10922154		社会学と社会システム	2	居神 浩	春2		不可
	1～	10922181		ジェンダーと社会福祉	2	休講			
	1～	10922190		社会福祉調査	2	加藤 泰子	秋2		可
	2～	10922304		医学概論	2	米井 嘉一 市川 寛 角川 広輝 高崎 浩壽 池田 匠 林 哲弘	春2		不可
	2～	10922184		介護概論	2	北川 香奈子	春2		不可
	2～	10922301		精神医学と精神医療	4	岸 信之 伊佐 将人 宮城 崇史	春集中	集中講義。日程等詳細 は社会学部HP参照。	可
	2～	10922302		精神障害リハビリテーション論	2	巖 弥生子	秋2		可
	2～	10922305		精神保健福祉制度論	2	上坂 紗絵子	春2		可
	2～	10922303		現代の精神保健の課題と支援	4	稲田 泰之 北田 洋子 楠 無我	春4		可
	2～	10912151	001	社会統計学Ⅰ	①	小林 久高	春2	社会学部生のみ登録で きる。	※可
			002	〃	②	武田 祐佳	秋2		
	2～	10912152		社会統計学Ⅱ	2	西岡 暁廣	秋2	社会学部生のみ登録で きる。	※可
	2～	10922192		社会福祉特講Ⅰ	2	休講			
	2～	10922193		社会福祉特講Ⅱ	2	休講			
	2～	10922194		社会福祉特講Ⅲ	2	平田 義	秋2		可
	3～	10922501	001	外国書講読(英語)Ⅰ〔福〕	①	マーレー 寛子	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。ⅠとⅡはセット 登録される。	不可
	3～	10922502	001	外国書講読(英語)Ⅱ〔福〕	①	マーレー 寛子	秋2	外国書講読(英語)Ⅰ を履修済、もしくは同 時登録すること。	不可
	3～	10912551		外国書講読(ドイツ語)Ⅰ	2	戸根 裕士	春2		可
	3～	10912552		外国書講読(ドイツ語)Ⅱ	2	戸根 裕士	秋2		可
3～	10912553		外国書講読(フランス語)Ⅰ	2	大辻 都	春2		可	
3～	10912554		外国書講読(フランス語)Ⅱ	2	大辻 都	秋2		可	
3～	10912555		外国書講読(中国語)Ⅰ	2	陸 麗君	春2	社会学部生のみ登録で きる。隔週の授業と なる。	※可	
3～	10912556		外国書講読(中国語)Ⅱ	2	陸 麗君	秋2		※可	
3～	10912559		外国書講読(韓国語)Ⅰ	2	影本 剛	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	可	
3～	10912560		外国書講読(韓国語)Ⅱ	2	影本 剛	秋2		可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
学部 共通科目 群 I	1～	10912002		現代社会論	2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10932002		マス・コミュニケーション論	2	伊藤 高史	春2		不可
	1～	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可
	1～	10952009	001 002	多文化共生社会と教育文化 //	① ②	崔 紗華 沼田 潤	春2 秋2		不可
選択科目 II	3～	10922201		福祉科教育法A	2	空閑 浩人	秋2		不可
	3～	10922202		福祉科教育法B	2	空閑 浩人	秋2		不可
				▼全学共通教養教育科目		『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること			
				▼免許・資格関係科目		『共通選択科目 (P.92～)』を参照すること			
				▼他学部・他学科科目		他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること			
				▼チュービンゲン大学IES科目 ▼同志社女子大学単位互換科目 ▼大学コンソーシアム京都単位互換科目		『登録要領』を参照すること			
選択科目 III				▼英 語		『全学共通教養教育科目 履修要項』および『登録要領』を参照すること			
				▼ド イ ツ 語					
				▼フランス語					
				▼中 国 語					
				▼ス ペ イ ン 語					
				▼ロ シ ア 語					
				▼コ リ ア 語					
			▼日本語 (外国人留学生のみ)						
科自由				▼自 由 科 目		自由科目 (P.99～) を参照すること			

社会福祉

2021年度
以降生

社会福祉学科

■ 2020～2016年度生

37～46

社会福祉

2020～
2016年度生

【人材養成目的】

社会福祉学科は、現代社会における様々な生活問題に焦点をあてて、個人や家族への援助活動を中心とするミクロレベルから、地域を対象とするメゾレベル、制度や政策を考察するマクロレベルに至る多様なレベルからの思想的・理論的かつ実践的な探求を行い、社会福祉専門職（ソーシャルワーカー）に必要な価値・知識・技術を身に付け、様々な社会福祉の分野で活躍し、21世紀福祉社会に貢献する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・現代社会の諸問題と社会福祉の基本的な構造や機能、また人間の行動と社会システムに関する知見について理解することで、現代社会が直面する社会問題を解決する援助者（ソーシャルワーカー）としての専門的技術を身に付けられる。（知識・技能）
- ・人権と社会正義の原理に基づく社会福祉の援助観を理解し、社会が直面する社会問題に対し、その解決方法を学術的に探究し、その解決に向けて行動し、発信できる。（思考力・判断力・表現力）
- ・福祉サービス利用者の置かれている多様な状況への共感に基づいて、他者と協働しながら問題解決に向けて行動できる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

社会福祉の根底にある理念や哲学（思考力・判断力・表現力）、社会福祉の政策・制度論、そして援助方法（知識・技能）に関する科目をバランスよく配置し、幅広い見方と具体的実践の方法とを統合できることを到達目標とする。特に実習科目を重視し、1年次生から4年次生まで系統的に実習できるように科目を設置し、児童・障害者・高齢者、精神保健福祉の諸施設、公的機関、民間福祉団体等で実習することにより、将来ソーシャルワーカーを希望する者にはそれに必要な知識、態度、技能の習得を身に付けることができるようにする。必修科目36単位に加え、選択科目を88単位以上履修する（主体性・多様性・協働性）。なお、必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

必修科目は、社会福祉を理解するうえで必要な利用者の置かれている状況の理解をつうじて人権意識を涵養し（思考力・判断力・表現力）、福祉の基本的なしくみを理解するとともに、実習、演習をつうじてそれらを実際に運用できる実践的力と主体的に行動する力を身に付ける（知識・技能、主体性・多様性・協働性）を到達目標とする。また小クラスによる卒業論文に向けたゼミ「社会福祉学専門演習ⅠおよびⅡ」「社会福祉学専門演習ⅢおよびⅣ」により、これらの統合をはかる。

選択科目Ⅰ

選択科目Ⅰは、社会福祉の諸領域について幅広い知識を習得することを到達目標として、実習・演習・講義形式の授業科目から28単位以上を履修する。

- ・選択科目ⅠのうちA群～E群は、社会福祉学関係科目を性質的に分類したものである。それぞれバランス良く履修することが望まれる。A群～E群から各4単位以上、合計24単位以上を履修する。なお、各群の内容は以下のとおりである。（A群：共通系科目および政策・国際系科目、B群：実践系科目、C群：分野・地域系科目、D群：福祉関連及び学際系科目、E群：外国語講読）
- ・選択科目Ⅰのうち学部共通科目群は、社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学に関する入門的講義科目から4単位以上を履修する。

選択科目Ⅱ

選択科目Ⅱは、専門科目を補完するために、関連科目として、他の学問領域から学び、豊かな幅広い教養を身に付けることを到達目標とし、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目から、1～4年次にわたって24単位以上を履修する。

選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは、豊かな社会福祉領域の国際性を身に付けることを目的として、社会福祉に関連する領域を、主に国際的視座で発信するために必要な知識を習得することを到達目標とする。

- ・英語の実践的な運用能力を習得することを目標とし、英語8単位以上を履修する。
- ・英語以外の外国語の基礎的な運用能力を習得することを目標とし、英語以外の外国語から一種類の外国語を選択して4単位以上を履修する。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に社会福祉学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「メディア学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ					学部共通科目群	選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	A群	B群	C群	D群	E群			英語	英語以外	
36	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	4以上	24以上	8以上	4以上	124
	24以上									
	88									

- ①必修科目36単位を履修すること。
- ②選択科目ⅠのA群～E群から各4単位以上、合計24単位以上を履修すること。また、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから24単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語8単位以上、英語以外の外国語から1言語を選択して4単位以上を履修すること。ただし、英語以外の外国語はグレード（入門またはインテンシヴ）ⅠおよびⅡを履修していること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから合計88単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。ただし、第2年次以降は一定の条件（転学科、転入学、編入学、教職課程と社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格の同時履修、など）のもとで52単位まで登録が認められる場合があります。希望する者は毎年「52単位登録申請書」に記載の手続を期日までに行ってください。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

必修科目、選択科目とも、指定の履修年次以前に履修することはできません。

科目によっては、セット登録（同一年度に2科目あわせての同時登録が必要）、あるいは、先修条件（履修のためには特定の科目を先に履修しておくことが必要）、などの履修条件を定めています。「開講科目一覧表」等をよく確認したうえで登録・履修してください。

また、実習科目は下表のとおり「実験実習料」の納入が必要となります。

期日までに納入されない場合は登録を取り消す場合がありますのでご注意ください。

実験実習料が必要な科目・クラス	納入時期と金額		備考
	各学期始め	配属実習出発時	
社会福祉実習Ⅰ、Ⅱ	5,000円	別途掲示します	1年次必修科目
社会福祉実習Ⅲ	2,500円		2年次必修科目
社会福祉実習Ⅳ	2,500円		2年次選択科目
社会福祉実習Ⅴ、Ⅵ	5,000円	30,000円	3、4年次選択科目
社会福祉実習Ⅶ①、②、Ⅷ①、②	5,000円	別途掲示します	4年次選択科目
精神保健福祉援助実習Ⅰ	2,500円		2016年度以降生のみ登録可 3年次選択科目
精神保健福祉援助実習Ⅱ、Ⅲ	5,000円	30,000円	2016年度以降生のみ登録可 4年次選択科目
社会問題実習	5,000円	30,000円	2、3、4年次選択科目
国際社会福祉実習	5,000円	別途掲示します	2、3、4年次選択科目

○必修科目

- ・「ファーストイヤーセミナー」では、大学や学部での基礎となる力をしっかりと身に付けます。
- ・「社会福祉学専門演習ⅢおよびⅣ」の履修には、「社会福祉学専門演習ⅠおよびⅡ」を履修済であることが条件になります。

○選択科目Ⅰ

- A群：共通系科目および政策・国際系科目
- B群：実践系科目
- C群：分野・地域系科目
- D群：福祉関連及び学際系科目
- E群：外国書講読

A～D群は、社会福祉学関係科目を性質的に分類したものです。それぞれバランス良く履修することが望まれます。

- ・学部共通科目群には、「現代社会論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の4科目があります。これらの科目のうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目ですので、できるだけ早い段階での履修が求められます。
- ・次の実習科目の履修には、特定の科目を先に履修済であることが条件になります。

科目・クラス	先修条件科目
社会福祉実習Ⅳ	社会福祉実習Ⅲ
社会福祉実習Ⅴ、Ⅵ	社会福祉実習Ⅰ～Ⅳ、社会福祉入門、ソーシャルワーク論Ⅰ
社会福祉実習Ⅶ、Ⅷ	社会福祉実習ⅤおよびⅥ
精神保健福祉援助実習Ⅰ	社会福祉実習Ⅰ～Ⅳ、社会福祉入門
精神保健福祉援助実習Ⅱ、Ⅲ	精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助技術総論を履修済、もしくは同時履修

「社会問題実習」および「国際社会福祉実習」はそれぞれ定員制の科目です。これらの科目の履修には「福祉と人権」「社会問題論」を履修済（または同時履修）であることが条件になります。ただし、やむを得ない理由により、履修条件を満たすことができない場合は、事前に社会学部事務室まで相談してください。両科目とも、説明会を行う予定ですので登録希望者は参加をし、説明会当日に配布する志望理由書（仮登録書）を必ず提出してください。その上で登録者選考のための面接を実施します。スケジュールの詳細は登録要領・掲示等により通知します。提出方法は社会福祉実習指導室か社会学部事務室まで問い合わせてください。

なお、実習に伴う旅費・交通費や実習料・実習中の諸費用については自己負担となります。

○選択科目Ⅱ

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

英語以外（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハンガール、コリア語、外国人留学生のみ日本語）については、1年次にいずれかのグレードⅠ・Ⅱを履修してください。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

【注】「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は選択科目Ⅱの単位として算入します。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	1	10922001		ファーストイヤーセミナー	2	鈴木 良 小野セレスト 摩耶 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 塩田 祥子 佐分 厚子 堀 善昭	春2	セットで登録すること。	不可
	1	10922011		社会福祉学基礎演習 I	2	鈴木 良 小野セレスト 摩耶 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 塩田 祥子 佐分 厚子 堀 善昭	秋2		不可
	1	10922002	001	社会問題論	①	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。社会福祉学科生はクラス②を登録すること。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
			002	〃	②	MARTHA MENSENDIEK			
	1	10922003		福祉と人権	2	木原 活信	春2	社会・神学部生のみ登録できる。	※可
	1	10922005		社会福祉入門	2	空閑 浩人	秋2		可
	1	10922012		社会福祉実習 I [福1年]	2	MARTHA MENSENDIEK 廣野 俊輔	春2		不可
	1	10922013		社会福祉実習 II [福1年]	2	野村 裕美 MARTHA MENSENDIEK 鈴木 良 小野セレスト 摩耶 上村 啓子 牧野 哲治 村井 琢哉 久門 誠 原田 徹 竹田 史門 山田 宗寛	秋2	セットで登録すること。実験実習料が必要。	不可
	2	10922021		社会福祉学基礎演習 II	2	小山 隆 小野セレスト 摩耶 廣野 俊輔 三島 亜紀子 尹 誠國 上掛 利博 村田 隆史 堀 善昭	春2	セットで登録すること。	不可
	2	10922022		社会福祉学基礎演習 III	2	小山 隆 小野セレスト 摩耶 廣野 俊輔 三島 亜紀子 尹 誠國 上掛 利博 村田 隆史 堀 善昭	秋2		不可

社会福祉学科

2020～2016年度生対象

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	2	10922023		社会福祉実習Ⅲ	2	野村 裕美 MARTHA MENSENDIEK 鈴木 良 小野セレスタ 摩耶 上村 啓治 牧野 哲治 村井 琢哉 久門 誠 原田 徹 竹田 史門 武山 世里子 山田 宗寛	春2	実験実習料が必要。	不可
	3	10922031			2		春2		不可
			001		社会福祉学専門演習Ⅰ	①	木原 活信	前年度にクラス決定を行う。詳細は社会福祉学基礎演習Ⅱ、Ⅲの授業にて連絡する(当該科目を履修済の場合、社会学部事務室に申し出ること)。事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002		〃	②	小山 隆		
			003		〃	③	空閑 浩人		
			004		〃	④	休講		
			005		〃	⑤	鈴木 良		
			006		〃	⑥	野村 裕美		
			007		〃	⑦	廣野 俊輔		
			008		〃	⑧	小野セレスタ 摩耶		
			009		〃	⑨	郭 芳		
			010		〃	⑩	永田 祐		
		3	10922032			2		秋2	不可
			001		社会福祉学専門演習Ⅱ	①	木原 活信		不可
			002		〃	②	小山 隆		
			003		〃	③	空閑 浩人		
			004		〃	④	休講		
			005		〃	⑤	鈴木 良		
			006		〃	⑥	野村 裕美		
			007		〃	⑦	廣野 俊輔		
			008		〃	⑧	小野セレスタ 摩耶		
		009		〃	⑨	郭 芳			
		010		〃	⑩	永田 祐			

社会福祉

2020～
2016年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	4	10922041	001	社会福祉学専門演習Ⅲ	①	鈴木 良	春2	セットで登録すること。 あわせて卒業論文も登録すること。	不可
			002	〃	②	空閑 浩人			
			003	〃	③	小山 隆			
			004	〃	④	MARTHA MENSENDIEK			
			005	〃	⑤	永田 祐			
			006	〃	⑥	野村 裕美			
			007	〃	⑦	廣野 俊輔			
			008	〃	⑧	木原 活信			
			009	〃	⑨	郭 芳			
			010	〃	⑩	小野セレスタ 摩耶			
	4	10922042	001	社会福祉学専門演習Ⅳ	①	鈴木 良	秋2	セットで登録すること。 あわせて卒業論文も登録すること。	不可
			002	〃	②	空閑 浩人			
			003	〃	③	小山 隆			
			004	〃	④	MARTHA MENSENDIEK			
			005	〃	⑤	永田 祐			
			006	〃	⑥	野村 裕美			
			007	〃	⑦	廣野 俊輔			
			008	〃	⑧	木原 活信			
			009	〃	⑨	郭 芳			
			010	〃	⑩	小野セレスタ 摩耶			
	4	10922090	001	卒業論文	①	鈴木 良	集中	社会福祉学専門演習Ⅲ、Ⅳと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可
			002	〃	②	空閑 浩人			
			003	〃	③	小山 隆			
			004	〃	④	MARTHA MENSENDIEK			
			005	〃	⑤	永田 祐			
			006	〃	⑥	野村 裕美			
			007	〃	⑦	廣野 俊輔			
			008	〃	⑧	木原 活信			
			009	〃	⑨	郭 芳			
			010	〃	⑩	小野セレスタ 摩耶			
選択科目 IA群	1～	10922101		社会福祉の歴史と思想	2	木原 活信	秋2		可
	1～	10922109		社会福祉政策Ⅰ	2	永田 祐 小野セレスタ 摩耶 郭 芳	春2		可
	1～	10922110		社会福祉政策Ⅱ	2	永田 祐 小野セレスタ 摩耶 郭 芳	秋集中	社会福祉政策Ⅰを履修済、もしくは登録中であることが望ましい。集中講義。日程等詳細は社会学部HP参照。	不可
	2～	10922108		権利擁護と成年後見	2	生田 一朗	春2		可
	2～	10922102		社会福祉法制	2	休講			
	2～	10922103		国際社会福祉	4	休講			
	2～	10922104		社会保障論	4	齋藤 立滋	春秋2		可
	2～	10922106		社会福祉施設経営論	2	竹田 史門	春2		可
2～	10922111		福祉行政と福祉計画	2	畑本 裕介	秋2		不可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	
		科目コード	クラスコード							
選択科目 I B 群	1～	10922121		ソーシャルワーク論 I	4	小山 隆	秋4		可	
	2～	10922122		ソーシャルワーク論 II	4	空閑 浩人	秋4		可	
	2～	10922123		ソーシャルワーク論 III	4	廣野 俊輔	秋4		可	
	2～	10922124	001		ソーシャルワーク演習 I ①	4	堀 善昭	春秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
			002		// ②		小野セスタ 摩耶			
			003		// ③		塩田 祥子			
			004		// ④		郭 芳			
			005		// ⑤		李 仙恵			
			006		// ⑥		姜 民護			
	3～	10922125	001		ソーシャルワーク演習 II ①	4	鈴木 良	春秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
002				// ②	郭 芳					
003				// ③	塩田 祥子					
004				// ④	姜 民護					
005				// ⑤	佐分 厚子					
選択科目 I B 群	2～	10922131		社会福祉実習IV	2	野村 裕美 MARTHA MENSENDIEK 小野セスタ 摩耶 久門 誠 牧野 哲治 上村 啓子 村井 琢哉 原田 徹 山田 宗寛	秋2	実験実習料が必要。社会福祉実習Ⅲを履修済、もしくは同時登録すること	不可	
	3～	10922132		社会福祉実習V	3	永田 祐 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 芹沢 出 南本 宜子 武田 知記	春4		不可	
	3～	10922133		社会福祉実習VI	3	空閑 浩人 永田 祐 廣野 俊輔 郭 芳 姜 民護 芹沢 出 南本 宜子 武田 知記	秋4	セットで登録すること。実験実習料が必要。所定の科目を履修済であること (P.39参照)	不可	
	4	10922134	001		社会福祉実習VII ①	2	廣野 俊輔	春2	セットで登録すること。実験実習料が必要。	不可
			002		// ②		永田 祐			
	4	10922135	001		社会福祉実習VIII ①	2	廣野 俊輔	秋2	セットで登録すること。実験実習料が必要。	不可
			002		// ②		永田 祐			

社会福祉

2020～
2016年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選択科目 I B 群	2～	10922141		精神保健福祉援助技術総論	4	樽井 康彦	春秋2		可
	2～	10922142		精神保健福祉援助技術各論	4	梁 陽日	春秋2		可
	3～	10922143		精神保健福祉援助演習	4	松浦 千恵 野村 裕美	春秋2	主に精神保健福祉士資格取得予定者を対象とする。	不可
	3	10922144		精神保健福祉援助実習 I	2	野村 裕美 姜 民護 姫野 紀代子	秋2		不可
	4	10922145		精神保健福祉援助実習 II	2	木原 活信 野村 裕美 鈴木 良 姜 民護 梁 陽日 姫野 紀代子 松浦 千恵	春2	実験実習料が必要。所定の科目を履修済であること (P.39参照)。IIを登録する前年度までにIを履修済であること。II、IIIをセットで登録すること。	不可
	4	10922146		精神保健福祉援助実習 III	2	鈴木 良 木原 活信 梁 陽日 松浦 千恵	秋2		不可
	2～	10922151		社会問題実習	4	MARTHA MENSENDIEK	春秋2	神・社会学部生のみ登録できる。実験実習料が必要。社会問題論、福祉と人権を履修済、もしくは登録中であること。やむを得ない理由により上記の履修条件を満たすことができない場合は、事前に社会学部事務室まで相談すること。また、登録を希望する場合は説明会に参加すること。登録が許可されれば、大学一括登録する。	可
2～	10922152		国際社会福祉実習	4	休講				
選択科目 I C 群	1～	10922161		NPO・ボランティア活動論	2	名賀 亨	春2	神・社会・法・経済学部生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
	1～	10922175		児童福祉論 I	2	小野セレスタ 摩耶	春2		可
	1～	10922176		児童福祉論 II	2	小野セレスタ 摩耶	秋集中	原則、児童福祉論 I を履修済もしくは登録中であること。日程等詳細は社会学部HP参照。	不可
	1～	10922171		障害者福祉論 I	2	鈴木 良	春2		可
	1～	10922172		障害者福祉論 II	2	廣野 俊輔	秋集中	日程等詳細は社会学部HP参照。	不可
	2～	10922170		就労支援サービス論	2	居神 浩	秋2		不可
	2～	10922173		高齢者福祉論 I	2	郭 芳	春2	セットで登録すること。「高齢者福祉論 II」は集中講義。日程等詳細は社会学部HP参照。	可
	2～	10922174		高齢者福祉論 II	2	郭 芳	秋集中		可
	2～	10922165		地域福祉論	4	永田 祐	春4		可
	2～	10922166		家族福祉論	2	杉井 潤子	春2		可
	2～	10922177		公的扶助	2	村田 隆史	秋2		可
	1～	10922168		医療福祉論	2	野村 裕美	春2		可
	2～	10922169		司法福祉論	2	掛川 直之	春2		可

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	
		科目コード	クラスコード							
選択科目ID群	1~	10922181		ジェンダーと社会福祉	2	休講				
	1~	10922182		福祉社会論	2	休講				
	1~	10922190		社会福祉調査	2	加藤 泰子	秋2		可	
	2~	10922196		医学知識I	2	米井 嘉一 市川 寛 角川 広輝 高崎 浩壽 池田 匠 林 哲弘	春2		不可	
	2~	10922197		医学知識II	2	池川 雅哉 市川 寛 野土 信司 田中 雅樹 卜部 諭 浅沼 光太郎 川村 和之 角田 伸人 西川 恵三 松田 賢一 角 謙介	春2	セットで登録すること。	不可	
	2~	10922184		介護概論	2	北川 香奈子	春2		不可	
	2~	10922185		精神医学	4	岸 信之 伊佐 将人 宮城 崇史	秋集中	集中講義。日程等詳細は社会学部HP参照。	可	
	2~	10922186		精神科リハビリテーション学	4	巖 弥生子	春秋2		可	
	2~	10922187		精神保健福祉論	4	樽井 康彦	春秋2		不可	
	2~	10922198		精神障害者の生活支援システム	2	上坂 紗絵子	春2		可	
	2~	10922188		公衆保健学	4	休講				
	2~	10922189		精神保健学	4	稲田 泰之 北田 洋子 楠 無我	春4		可	
	2~	10912151	001	社会統計学I	①	2	小林 久高	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可
			002	//	②	2	武田 祐佳	秋2		
	2~	10912152		社会統計学II	2	西岡 暁廣	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	
	2~	10922192		社会福祉特講I	2	休講				
	2~	10922193		社会福祉特講II	2	休講				
	2~	10922194		社会福祉特講III	2	平田 義	秋2		可	
選択科目IE群	3~	10922501	001	外国書講読(英語)I[福]	①	2	マーレー 寛子	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。IとIIはセット登録される。	不可
	3~	10922502	001	外国書講読(英語)II[福]	①	2	マーレー 寛子	秋2	外国書講読(英語)Iを履修済、もしくは同時登録すること。	不可
	3~	10912551		外国書講読(ドイツ語)I	2	戸根 裕士	春2		可	
	3~	10912552		外国書講読(ドイツ語)II	2	戸根 裕士	秋2		可	
	3~	10912553		外国書講読(フランス語)I	2	大辻 都	春2		可	
	3~	10912554		外国書講読(フランス語)II	2	大辻 都	秋2		可	
	3~	10912555		外国書講読(中国語)I	2	陸 麗君	春2	社会学部生のみ登録できる。隔週の授業となる。	※可	
	3~	10912556		外国書講読(中国語)II	2	陸 麗君	秋2		※可	
	3~	10912559		外国書講読(コリア語)I	2	影本 剛	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可	
	3~	10912560		外国書講読(コリア語)II	2	影本 剛	秋2		可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	
		科目コード	クラスコード							
学部共通科目群 I	1～	10912002		現代社会論	2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可	
	1～	10932002		マス・コミュニケーション論	2	伊藤 高史	春2		不可	
	1～	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可	
	1～	10952002	001		教育文化論 ①	2	崔 紗華	春2	2017年度以前生のみ登録できる。	不可
			002		// ②		沼田 潤	秋2		
	1～	10952009	001		多文化共生社会と教育文化 ①	2	崔 紗華	春2	2018年度以降生のみ登録できる。	不可
002				// ②	沼田 潤		秋2			
選択科目 II	3～	10922201		福祉科教育法A	2	空閑 浩人	秋2		不可	
	3～	10922202		福祉科教育法B	2	空閑 浩人	秋2		不可	
				▼全学共通教養教育科目	『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること					
				▼免許・資格関係科目	『共通選択科目 (P.92～)』を参照すること					
				▼他学部・他学科科目	他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること					
				▼チュービンゲン大学IES科目 ▼同志社女子大学単位互換科目 ▼大学コンソーシアム京都単位互換科目	『登録要領』を参照すること					
選択科目 III				▼英 語	『全学共通教養教育科目 履修要項』および『登録要領』を参照すること					
				▼ド イ ツ 語						
				▼フ ラ ン ス 語						
				▼中 国 語						
				▼ス ペ イ ン 語						
				▼ロ シ ア 語						
				▼コ リ ア 語						
			▼日本語 (外国人留学生のみ)							
科自由				▼自 由 科 目	自由科目 (P.99～) を参照すること					

メディア学科

■ 2022年度以降生 ————— 47～49、54～58

【人材養成目的】

メディア学科は、「メディアとジャーナリズム」「情報と社会」「コミュニケーションと文化」について、1年次からの少人数ゼミと多様な講義などとおして、メディアの社会的機能を知り、報道機関・ネットなどからの情報を的確に読み解く能力や、一市民として自ら情報をどう発信するかなどの知識を身に付けて、マスコミ業界、専門研究職、情報広告関連会社を含む一般企業などにおいて活躍する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できる。（知識・技能）
- ・メディアをつうじて流通する情報を批判的に解釈し、様々な社会的課題等を解決するためにメディアをいかに利用できるかを考え、その考えを論理的にわかりやすく、他者に伝えることができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・主体的にメディアを利用する能力を身に付け、多様な他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示することができる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

メディアの社会機能とその直面する課題等を理解するために、メディアを多様な観点からとらえる講義科目を配置すると同時に、多様な他者とともにあるべきメディアの将来像を考案し、論理的にわかりやすく他者に伝える能力を持った人材を育成するため、1年次から4年次までの全セメスターにおいて、少人数での演習科目を必修科目（24単位）として設置している。また、幅広い教養を身に付け、多様な他者と協働する能力を養うため、他の学問領域を24単位以上、外国語教育科目を16単位以上履修することを義務付けている。必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

必修科目では、学生が主体的にメディアの社会的機能を理解し、課題についての解決策を他者とともに考案し、それを伝えることができるような能力の養成を目的として、少人数での討議と協働を中心に、具体的な事例・データ分析や作品制作等に取り組む。

選択科目Ⅰ

選択科目Ⅰでは、メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できるようになるため、講義科目等を設置する。科目は内容に応じて「メディアとジャーナリズム」（A群）、「情報と社会」（B群）、「コミュニケーションと文化」（C群）、「共通関連科目」（D群）に分類される。講義科目においても、学生が主体的に他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示する能力を育むために、討議や実習の時間を設けている。

選択科目Ⅱ

選択科目Ⅱでは、他者と協働するために不可欠な多様性に対する感性を育み、適切な判断力を養うために、他の学問領域を学ぶ科目を配置している。学生が幅広く選択できるように、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目に区分された講義等を設置している。これらの中には、副専攻制度により履修可能な科目も含まれる。

選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲでは、グローバル化が進む今日にあって、多様性をもった社会を生き抜くために必須である豊かな国際性を身に付けるため、英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語の科目を設置している。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的にメディア学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

メディア

2022年度
以降生

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	(A群～D群)	学部共通科目群		英語	英語以外	
24	36以上	4以上	24以上	8以上	8以上	124
	100					

- ①必修科目24単位を履修すること。
- ②選択科目ⅠはA～D群から36単位以上、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから24単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語8単位以上、英語以外の外国語8単位以上を履修すること。ただし、英語以外の外国語はグレード（入門またはインテンシヴ）ⅠおよびⅡを履修していること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから100単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

○必修科目（24単位）

1年次「ファーストイヤーセミナー」「メディア学実習」、2年次「メディア学基礎演習Ⅰ、Ⅱ」、3～4年次「メディア学演習Ⅰ～Ⅳ」は、少人数で行われる演習系科目です。登録・履修にあたっては事前説明会を行うので、必ず出席して指示に従うこと。

メディア学科では4年間の学修成果を卒業論文としてまとめることを必修としています。執筆にあたってはメディア学演習の担当教員の指導を受けること。

○選択科目Ⅰ（A～D群36単位以上、学部共通科目群4単位以上）

A～D群は、メディア学の中核となる講義科目であり、その内容に応じて、A群「メディアとジャーナリズム」、B群「情報と社会」、C群「コミュニケーションと文化」、D群「共通関連科目」の4領域に分類されています。これらについては、メディア学全体を広く理解すると同時に、自分の関心テーマに応じて深く系統的に学ぶことが望まれます。

学部共通科目群は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の5科目があり、このうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目で、社会学部における共通の基礎知識を学ぶことを目的としています。できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ（24単位以上）

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ（16単位以上）

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

- ・英語については8単位以上履修してください。
- ・英語以外（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語、外国人留学生のみ日本語）については8単位以上履修してください。英語以外の外国語でグレードⅠおよびⅡを履修していれば複数の外国語の組み合わせも可能です。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

※卒業要件を満たさない履修例

→ ロシア語入門Ⅰ、コリア語入門Ⅰ、中国語入門Ⅰ、ドイツ語入門Ⅰ（計8単位）

入門Ⅱを履修していないため、卒業要件を満たしません。

- ・「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は、選択科目Ⅱの単位として算入します。

メディア学科

■ 2021～2014年度以降生 ————— 51～58

【人材養成目的】

メディア学科は、「メディアとジャーナリズム」「情報と社会」「コミュニケーションと文化」について、1年次からの少人数ゼミと多様な講義などとおして、メディアの社会的機能を知り、報道機関・ネットなどからの情報を的確に読み解く能力や、一市民として自ら情報をどう発信するかなどの知識を身に付けて、マスコミ業界、専門研究職、情報広告関連会社を含む一般企業などにおいて活躍する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できる。（知識・技能）
- ・メディアをつうじて流通する情報を批判的に解釈し、様々な社会的課題等を解決するためにメディアをいかに利用できるかを考え、その考えを論理的にわかりやすく、他者に伝えることができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・主体的にメディアを利用する能力を身に付け、多様な他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示することができる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

メディアの社会機能とその直面する課題等を理解するために、メディアを多様な観点からとらえる講義科目を配置すると同時に、多様な他者とともにあるべきメディアの将来像を考案し、論理的にわかりやすく他者に伝える能力を持った人材を育成するため、1年次から4年次までの全セメスターにおいて、少人数での演習科目を必修科目（24単位）として設置している。また、幅広い教養を身に付け、多様な他者と協働する能力を養うため、他の学問領域を24単位以上、外国語教育科目を20単位以上履修することを義務付けている。必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

必修科目では、学生が主体的にメディアの社会的機能を理解し、課題についての解決策を他者とともに考案し、それを伝えることができるような能力の養成を目的として、少人数での討議と協働を中心に、具体的な事例・データ分析や作品制作等に取り組む。

選択科目Ⅰ

選択科目Ⅰでは、メディアの社会的機能とその直面する課題等に関して、広く学術的知見に基づいて理解し、説明できるようになるため、講義科目等を設置する。科目は内容に応じて「メディアとジャーナリズム」（A群）、「情報と社会」（B群）、「コミュニケーションと文化」（C群）、「共通関連科目」（D群）に分類される。講義科目においても、学生が主体的に他者と協働してメディアのあるべき将来像を提示する能力を育むために、討議や実習の時間を設けている。

選択科目Ⅱ

選択科目Ⅱでは、他者と協働するために不可欠な多様性に対する感性を育み、適切な判断力を養うために、他の学問領域を学ぶ科目を配置している。学生が幅広く選択できるように、全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目に区分された講義等を設置している。これらの中には、副専攻制度により履修可能な科目も含まれる。

選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲでは、グローバル化が進む今日にあって、多様性をもった社会を生き抜くために必須である豊かな国際性を身に付けるため、英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語の科目を設置している。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的にメディア学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「産業関係学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

メディア

2021～
2014年度生

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	(A群～D群)	学部共通科目群		英語	英語以外	
24	36以上	4以上	24以上	12以上	8以上	124
	100					

- ①必修科目24単位を履修すること。
- ②選択科目ⅠはA～D群から36単位以上、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから24単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語12単位以上、英語以外の外国語8単位以上を履修すること。ただし、英語以外の外国語はグレード（入門またはインテンシヴ）ⅠおよびⅡを履修していること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから100単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

○必修科目（24単位）

1年次「ファーストイヤーセミナー」「メディア学実習」、2年次「メディア学基礎演習Ⅰ、Ⅱ」、3～4年次「メディア学演習Ⅰ～Ⅳ」は、少人数で行われる演習系科目です。登録・履修にあたっては事前説明会を行うので、必ず出席して指示に従うこと。

メディア学科では4年間の学修成果を卒業論文としてまとめることを必修としています。執筆にあたってはメディア学演習の担当教員の指導を受けること。

○選択科目Ⅰ（A～D群36単位以上、学部共通科目群4単位以上）

A～D群は、メディア学の中核となる講義科目であり、その内容に応じて、A群「メディアとジャーナリズム」、B群「情報と社会」、C群「コミュニケーションと文化」、D群「共通関連科目」の4領域に分類されています。これらについては、メディア学全体を広く理解すると同時に、自分の関心テーマに応じて深く系統的に学ぶことが望まれます。

学部共通科目群は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の5科目があり、このうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目で、社会学部における共通の基礎知識を学ぶことを目的としています。できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ（24単位以上）

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ（20単位以上）

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

- ・英語については12単位以上履修してください。
- ・英語以外（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語、外国人留学生のみ日本語）については8単位以上履修してください。英語以外の外国語でグレードⅠおよびⅡを履修していれば複数の外国語の組み合わせも可能です。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

※卒業要件を満たさない履修例

→ ロシア語入門Ⅰ、コリア語入門Ⅰ、中国語入門Ⅰ、ドイツ語入門Ⅰ（計8単位）

入門Ⅱを履修していないため、卒業要件を満たしません。

- ・「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は、選択科目Ⅱの単位として算入します。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	1	10932001	001	ファーストイヤーセミナー	①	阿部 康人	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002	〃	②	池田 謙一			
			003	〃	③	竹内 幸絵			
			004	〃	④	伊藤 高史			
			005	〃	⑤	小黑 純			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
	1	10932011	001	メディア学実習	①	池田 謙一	秋2		
			002	〃	②	伊藤 高史			
			003	〃	③	小黑 純			
			004	〃	④	勝野 宏史			
			005	〃	⑤	竹内 幸絵			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
	2	10932021	001	メディア学基礎演習 I	①	樋口 摩彌	春2		
			002	〃	②	石田 万実			
			003	〃	③	俣野 裕美			
			004	〃	④	休講			
			005	〃	⑤	中谷 聡			
			006	〃	⑥	矢内 真理子			
	2	10932022	001	メディア学基礎演習 II	①	樋口 摩彌	秋2		
			002	〃	②	石田 万実			
			003	〃	③	俣野 裕美			
			004	〃	④	三井 愛子			
			005	〃	⑤	中谷 聡			
			006	〃	⑥	矢内 真理子			
	3	10932031	001	メディア学演習 I	①	池田 謙一	春2		
			002	〃	②	伊藤 高史			
			003	〃	③	小黑 純			
			004	〃	④	休講			
			005	〃	⑤	竹内 幸絵			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
			007	〃	⑦	勝野 宏史			
			008	〃	⑧	阿部 康人			
3	10932032	001	メディア学演習 II	①	池田 謙一	秋2			
		002	〃	②	伊藤 高史				
		003	〃	③	小黑 純				
		004	〃	④	休講				
		005	〃	⑤	竹内 幸絵				
		006	〃	⑥	水出 幸輝				
		007	〃	⑦	勝野 宏史				
		008	〃	⑧	阿部 康人				

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	4	10932041	001	メディア学演習Ⅲ	①	池田 謙一	春2	同じ担当者を登録すること。あわせて卒業論文も登録すること。	不可
			002	〃	②	小黒 純			
			003	〃	③	休講			
			004	〃	④	勝野 宏史			
			005	〃	⑤	阿部 康人			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
			007	〃	⑦	伊藤 高史			
			008	〃	⑧	竹内 幸絵			
			009	〃	⑨	石田 万実			
	4	10932042	001	メディア学演習Ⅳ	①	池田 謙一	秋2	同じ担当者を登録すること。あわせて卒業論文も登録すること。	不可
			002	〃	②	小黒 純			
			003	〃	③	休講			
			004	〃	④	勝野 宏史			
			005	〃	⑤	阿部 康人			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
			007	〃	⑦	伊藤 高史			
			008	〃	⑧	竹内 幸絵			
			009	〃	⑨	石田 万実			
	4	10932090	001	卒業論文	①	池田 謙一	集中	メディア学演習Ⅲ、Ⅳと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可
			002	〃	②	小黒 純			
			003	〃	③	休講			
			004	〃	④	勝野 宏史			
			005	〃	⑤	阿部 康人			
			006	〃	⑥	水出 幸輝			
			007	〃	⑦	伊藤 高史			
			008	〃	⑧	竹内 幸絵			
			009	〃	⑨	石田 万実			
選択科目ⅠA群	1～	10932101		ジャーナリズム史	2	樋口 摩彌	春2	社会・文学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10932102		メディア史	2	樋口 摩彌	秋2	社会・文学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10932103		メディア・リテラシー概論	2	浪田 陽子	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932104		新聞学原論Ⅰ	2	休講			
	2～	10932105		新聞学原論Ⅱ	2	休講			
	2～	10932106		比較メディア論	2	勝野 宏史	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932107		現代メディア・ジャーナリズム論	2	休講			
	1～	10932109		京都メディアの発信戦略と地域貢献	2	休講			
	2～	10932110		ジャーナリズム論Ⅰ	2	小黒 純	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
2～	10932111		ジャーナリズム論Ⅱ	2	小黒 純	秋2		可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	
		科目コード	クラスコード							
選択科目 I B 群	2～	10932121	001	ジェンダーとメディア	①	2	侯野 裕美	春2	社会・商学部生のみ登録できる。	※可
			002	〃	②					
	2～	10932122		情報行動論		2	勝野 宏史	春2	社会学部社会・メディア学科生、法学部政治学科生のみ登録できる。	※可
	2～	10932123		環境情報学		2	水出 幸輝	秋2		可
	2～	10932124		映像情報学		2	西原 麻里	秋2	社会・文学部生のみ登録できる。隔週の授業となる。	※可
	2～	10932125		メディア社会論		2	水出 幸輝	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932130		広報情報論		2	竹内 幸絵	秋2	社会・商学部生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
	2～	10932126		広報学		2	竹内 幸絵	秋2	広報情報論 2015年度以降生のみ登録できる。 広報学 2014年度以前生のみ登録できる。	※可
	2～	10932127		世論と社会		2	松尾 理也	春2		可
1～	10932128		メディア産業論		2	伊藤 高史	秋2		不可	
1～	10932129		メディア法制倫理		2	伊藤 高史 矢内 真理子	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	
選択科目 I C 群	2～	10932141		コミュニケーション論		2	阿部 康人	秋2	社会学部メディア学科生、法学部政治学科生のみ登録できる。	※可
	2～	10932150		メディア文化史		2	石田 万実	春2	社会学部生、法学部政治学科生のみ登録できる。	※可
	2～	10932142		現代史		2	石田 万実	春2	メディア文化史 2015年度以降生のみ登録できる。 現代史 2014年度以前生のみ登録できる。	※可
	2～	10932143		メディア心理学 I		2	池田 謙一	春2	神・文・社会・法・経済・生命医科・心理学部生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
	2～	10932144		メディア心理学 II		2	池田 謙一	秋2	社会学部生、法学部政治学科生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
	2～	10932145		現代文化論		2	阿部 康人	春2	社会・文学部生のみ登録できる。	※可
	2～	10932146		広告論		2	竹内 幸絵	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
	2～	10932153		デジタルメディア論		2	阿部 一晴	春2	2022年度以降生のみ登録できる。	可
	2～	10932147		マルチメディア論		2	阿部 一晴	春2	2021年度以前生のみ登録できる。	可
	2～	10932148		国際コミュニケーション論		2	BRIAN COVERT	春2	英語により授業を行う。	可
	2～	10932149		放送論		2	立岩 陽一郎	秋2	社会学部生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
	2～	10932151		メディア学社会調査法 I		2	竹本 圭佑	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。メディア学社会調査法 II を登録するには、メディア学社会調査法 I を履修済、もしくは同時登録すること。	不可
2～	10932152		メディア学社会調査法 II		2	竹本 圭佑	秋2		不可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選択科目 I D 群	2～	10912151	001	社会統計学Ⅰ	①	小林 久高	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可
			002	〃	②	武田 祐佳	秋2		
	2～	10912152		社会統計学Ⅱ	2	西岡 暁廣	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10912003	052	社会学概論	⑤2	松村 淳	春4	メディア学科生はクラス⑤のみ登録できる。	不可
	2～	10932161		社会思想史	2	花田 史彦	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
	2～	10932501		外国書講読(英語)Ⅰ[メ]	2	俣野 裕美	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
	2～	10932502		外国書講読(英語)Ⅱ[メ]	2	三井 愛子	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可
	3～	10912551		外国書講読(ドイツ語)Ⅰ	2	戸根 裕士	春2		可
	3～	10912552		外国書講読(ドイツ語)Ⅱ	2	戸根 裕士	秋2		可
	3～	10912553		外国書講読(フランス語)Ⅰ	2	大辻 都	春2		可
	3～	10912554		外国書講読(フランス語)Ⅱ	2	大辻 都	秋2		可
	3～	10912555		外国書講読(中国語)Ⅰ	2	陸 麗君	春2	社会学部生のみ登録できる。隔週の授業となる。	※可
	3～	10912556		外国書講読(中国語)Ⅱ	2	陸 麗君	秋2		※可
3～	10912559		外国書講読(コリア語)Ⅰ	2	影本 剛	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可	
3～	10912560		外国書講読(コリア語)Ⅱ	2	影本 剛	秋2		可	
学部共通科目群 I	1～	10912002		現代社会論	2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可
	1～	10922002	001	社会問題論	①	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可
			002	〃	②	MARTHA MENSENDIEK			
	1～	10932002		マス・コミュニケーション論	2	伊藤 高史	春2		不可
	1～	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可
	1～	10952002	001	教育文化論	①	崔 紗華	春2	2017年度以前生のみ登録できる。	不可
002			〃	②	沼田 潤	秋2			
1～	10952009	001	多文化共生社会と教育文化	①	崔 紗華	春2	2018年度以降生のみ登録できる。	不可	
		002	〃	②	沼田 潤	秋2			
選択科目 II				▼全学共通教養教育科目		『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること			
				▼免許・資格関係科目		『共通選択科目(P.92～)』を参照すること			
				▼他学部・他学科科目		他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること			
				▼チュービンゲン大学IES科目					
				▼同志社女子大学単位互換科目		『登録要領』を参照すること			
選択科目 III				▼英語		『全学共通教養教育科目 履修要項』および『登録要領』を参照すること			
				▼ドイツ語					
				▼フランス語					
				▼中国語					
				▼スペイン語					
				▼ロシア語					
				▼コリア語					
			▼日本語(外国人留学生のみ)						
科自由				▼自由科目		自由科目(P.99～)を参照すること			

メディア
2023～
2014年度生

産業関係学科

■ 2023～2014年度生

59～66

【人材養成目的】

産業関係学科は、雇用と労働に関する実際的问题の分析とその解決方法の探求について、学際的な専任教員体制に基づく、現場に根ざした実証的・実践的な教育・研究を遂行することとおして、「答えがまだ見つかっていない問題」に対処するために課題発見力、読解力、思考力、文書作成力、ヒアリング力、プレゼンテーション力を身に付けて、企業、政府・自治体、学校、労働組合等において活躍する人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・産業社会における雇用と労働に関する課題を、論理的・実証的な学術的知見に基づいて理解できる。（知識・技能）
- ・産業社会における雇用と労働の現状に対して、学術的知見に基づいて未知の課題を探求し、明晰に表現できる。（思考力・判断力・表現力）
- ・多様化する雇用と労働に関する課題について、学術的知見に基づいて公平・公正に問題提起ができる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

- ・産業社会における雇用と労働に関する課題の解決に貢献できる人物を育成するために、必修科目（32単位）及び選択科目Ⅰ～Ⅲ（92単位以上）によって構成されるカリキュラムを設置する。なお、選択科目Ⅰには、学科専門科目群と学部共通科目群を設置する。必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ、「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

- ・必修科目は、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するために必要な基礎的知識を習得し、その知識を応用して未知の課題を探求する学問的態度を養い、問題提起の公論を喚起するためのコミュニケーション技能を獲得することを到達目標とし、1年次の「ファーストイヤーセミナー」、2年次の「産業関係文献演習Ⅰ・Ⅱ」、3・4年次の「産業関係学演習Ⅰ～Ⅳ」といった少人数による演習形式の科目及び「基礎経済学（Ⅰ）・（Ⅱ）」などの講義形式の科目28単位ならびに卒業論文4単位を履修する。

選択科目Ⅰ

- ・選択科目Ⅰは、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するために必要な高度な専門的知識を習得し、未知の課題を探求するための技能を獲得することを到達目標とし、1年次から4年次にかけて講義と実習を中心とした授業科目38単位以上を選択履修する。
- ・選択科目Ⅰ（学科専門科目群）は、産業社会における雇用と労働に関する高度な専門知識と課題探求のための調査技法やコミュニケーション技能を習得することを到達目標とし、2年次から4年次にかけて講義（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、コリア語によって専門書を読む「外国書講読」を含む）と実習を中心とした授業科目34単位以上を履修する。
- ・選択科目Ⅰ（学部共通科目群）は、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するための素養として隣接・関連領域の学術的知見を幅広く習得することを到達目標とし、1年次から4年次にかけて講義を中心とした授業科目4単位以上を履修する。

選択科目Ⅱ

- ・選択科目Ⅱは、専門科目（選択科目Ⅰ）の知識と技能を補充するとともに、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解するための基礎的教養として、人類の共有財産たる人文・社会・自然科学の研究成果を幅広く受容し、活用する態度を獲得することを到達目標とし、全学共通教養科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目から、1年次から4年次にかけて講義と演習を中心とした授業科目20単位以上を選択履修する。

選択科目Ⅲ

- ・選択科目Ⅲは、産業社会における雇用と労働に関する課題を理解し、探求するためのコミュニケーション技能として外国語を習得することを到達目標とし、1年次から2年次にかけて産業関係学科設置科目ならびに全学共通教養教育科目の中の外国語教育科目から、英語を12単位以上、英語以外の外国語8単位以上を履修する。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に産業関係学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「メディア学」「教育文化学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

産業関係

2023～
2014年度生

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

必修科目	選択科目Ⅰ		選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	学科専門科目群	学部共通科目群		英語	英語以外	
32	34以上	4以上	20以上	12以上	8以上	124
	92					

- ①必修科目32単位を履修すること。
- ②選択科目Ⅰの学科専門科目群から34単位以上、学部共通科目群から4単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから20単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、英語12単位以上、英語以外の外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハングル、コリア語、外国人留学生のみ日本語）から1言語を選択して8単位以上を履修すること。ただし、英語については全学共通教養教育科目（外国語科目）から8単位以上を履修すること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから合計92単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

○必修科目

必修科目は次のように構成されています。

- ・1年次は「ファーストイヤーセミナー」「産業関係基礎論」「現代社会と労働」「基礎経済学（1）」「基礎経済学（2）」です。「ファーストイヤーセミナー」は大学での勉強のオリエンテーションを少人数クラスで行います。「産業関係基礎論」は産業関係学の勉強方法の習得を目指します。産業関係の基礎には市場経済があります。「基礎経済学（1）」「基礎経済学（2）」では、その仕組みを学びます。
- ・2年次は「産業関係文献演習Ⅰ」「産業関係文献演習Ⅱ」「産業関係学基礎論文」「産業関係論（1）」「産業関係論（2）」です。「産業関係文献演習Ⅰ」と「産業関係文献演習Ⅱ」は同一の担当者のクラスで1年間履修し、その結果を「産業関係学基礎論文」にまとめます。この3科目は1つのセットと考えてください。この1セットの科目で産業関係学の基本的な文献の読み方、考え方が習得され、自分の考えを小さな論文に表現する方法を学びます。「産業関係論（1）」と「産業関係論（2）」は講義科目です。ここで体系的に産業関係学の全体像を学びます。
- ・3年次は「産業関係学演習Ⅰ」「産業関係学演習Ⅱ」です。いわゆるゼミといわれるものです。

- ・4年次は「産業関係学演習Ⅲ」「産業関係学演習Ⅳ」です。これは3年次のゼミの継続です。そして、これらゼミの勉強をつうじて「卒業論文」を仕上げます。従って、「産業関係学演習Ⅰ、Ⅱ」を履修済であることが、原則として「産業関係学演習Ⅲ、Ⅳ」の履修条件となります。但し、在学留学をする場合については、個別に学科専任教員の指示を受けてください。

○選択科目Ⅰ

学科専門科目群は産業関係学の各論に相当する主要な科目から構成されています。

特に注意を要するのは「産業関係実習Ⅰ」「産業関係実習Ⅱ」「産業調査実習Ⅰ」「産業調査実習Ⅱ」です。この4科目は、「産業関係実習Ⅰ、Ⅱ」がセットで、「産業調査実習Ⅰ、Ⅱ」がセットです。

- ・このセットのいずれかを必ず履修しなくてはなりません。
- ・「産業関係実習Ⅰ、Ⅱ」は人事担当者の経験上の話や工場見学などをつうじて産業関係上の諸問題の実状を学びます。
- ・「産業調査実習Ⅰ、Ⅱ」は調査の企画、実施、成果の作成といういわゆる調査の技法を学びます。したがって、「産業調査実習Ⅰ、Ⅱ」は比較的少人数で運営されます。

学部共通科目群は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「教育文化論／多文化共生社会と教育文化」の4科目があり、このうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目です。できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ

豊かな国際性を身に付けることを目的として、全学共通教養教育科目の中に外国語教育科目を設置しています。

なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

【注】「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は選択科目Ⅱの単位として算入します。

英語については、全学共通教養教育科目（外国語科目）から8単位以上を履修すること。

- ・産業関係学科では英語力の向上を目指しています。このため、「Industrial Relations in EnglishⅠ」「Industrial Relations in EnglishⅡ」の科目を設けています。これらの科目は、社会科学や産業関係に関する英語文献を正確に速く読みこなす能力を培います。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	1	10942001	001	ファーストイヤーセミナー	①	樋口 純平	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002	〃	②	上田 眞士			
			003	〃	③	三吉 勉			
			004	〃	④	阿形 健司			
			005	〃	⑤	三山 雅子			
			006	〃	⑥	松山 一紀			
	1	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可
	1	10942003		産業関係基礎論	2	三吉 勉 三山 雅子 松山 一紀 上田 眞士 樋口 純平	秋2		不可
	1	10942006		基礎経済学(1)	2	富田 安信	春2		不可
	1	10942007		基礎経済学(2)	2	富田 安信	秋2		不可
	2	10942004		産業関係論(1)	2	上田 眞士	春2		可
	2	10942005		産業関係論(2)	2	上田 眞士	秋2		可
	2	10942021	001	産業関係文献演習Ⅰ	①	伊藤 太一	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。ⅠとⅡはセット登録される。産業関係学基礎論文の同一クラスを一般登録すること。	不可
			002	〃	②	安田 三江子			
			003	〃	③	梶谷 真也			
			004	〃	④	三吉 勉			
			005	〃	⑤	安田 三江子			
			006	〃	⑥	富澤 理英子			
			007	〃	⑦	福田 順			
			008	〃	⑧	野田 知彦			
	2	10942022	001	産業関係文献演習Ⅱ	①	伊藤 太一	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。ⅠとⅡはセット登録される。産業関係学基礎論文の同一クラスを一般登録すること。	不可
			002	〃	②	安田 三江子			
			003	〃	③	梶谷 真也			
			004	〃	④	三吉 勉			
005			〃	⑤	安田 三江子				
006			〃	⑥	富澤 理英子				
007			〃	⑦	福田 順				
008			〃	⑧	野田 知彦				
2	10942023	001	産業関係学基礎論文	①	伊藤 太一	集中	産業関係文献演習Ⅰ、Ⅱと同じ担当者のクラスを必ず一般登録すること。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	
		002	〃	②	安田 三江子				
		003	〃	③	梶谷 真也				
		004	〃	④	三吉 勉				
		005	〃	⑤	安田 三江子				
		006	〃	⑥	富澤 理英子				
		007	〃	⑦	福田 順				
		008	〃	⑧	野田 知彦				

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
必修科目	3	10942031	001	産業関係学演習Ⅰ	①	阿形 健司	春2	事前に決定したクラスを大学で一括登録する。ⅠとⅡはセット登録される。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可
			002	//	②	樋口 純平			
			003	//	③	松山 一紀			
			004	//	④	三山 雅子			
			005	//	⑤	寺井 基博			
			006	//	⑥	休講			
			007	//	⑦	上田 眞士			
			008	//	⑧	浦坂 純子			
	3	10942032	001	産業関係学演習Ⅱ	①	阿形 健司	秋2		
			002	//	②	樋口 純平			
			003	//	③	松山 一紀			
			004	//	④	三山 雅子			
			005	//	⑤	寺井 基博			
			006	//	⑥	休講			
			007	//	⑦	上田 眞士			
			008	//	⑧	浦坂 純子			
	4	10942041	001	産業関係学演習Ⅲ	①	阿形 健司	春2		
			002	//	②	樋口 純平			
			003	//	③	松山 一紀			
			004	//	④	三山 雅子			
			005	//	⑤	寺井 基博			
			006	//	⑥	富田 安信			
			007	//	⑦	上田 眞士			
			008	//	⑧	浦坂 純子			
4	10942042	001	産業関係学演習Ⅳ	①	阿形 健司	秋2			
		002	//	②	樋口 純平				
		003	//	③	松山 一紀				
		004	//	④	三山 雅子				
		005	//	⑤	寺井 基博				
		006	//	⑥	富田 安信				
		007	//	⑦	上田 眞士				
		008	//	⑧	浦坂 純子				
4	10942090	001	卒業論文	①	阿形 健司	集中	産業関係学演習Ⅲ、Ⅳと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可	
		002	//	②	樋口 純平				
		003	//	③	松山 一紀				
		004	//	④	三山 雅子				
		005	//	⑤	寺井 基博				
		006	//	⑥	富田 安信				
		007	//	⑦	上田 眞士				
		008	//	⑧	浦坂 純子				

産業関係
2023～
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選択科目Ⅰ 学科専門科目群	3～	10942101		労働問題(1)	2	富田 安信	春2		可
	3～	10942102		労働問題(2)	2	富田 安信	秋2		可
	2～	10942105		産業社会学(1)	2	阿形 健司	春2		可
	2～	10942106		産業社会学(2)	2	阿形 健司	秋2		可
	2～	10942107		社会政策(1)	2	伊藤 太一	春2		可
	2～	10942108		社会政策(2)	2	伊藤 太一	秋2		可
	2～	10942109		産業関係論特講A	2	休講			
	2～	10942110		産業関係論特講B	2	岩月 真也	春集中	夏季集中講義。日程等は社会学部HP参照。	可
	2～	10942111		産業関係論特講C	2	樋口 純平 水野 勝康	春集中	夏季集中講義。日程等は社会学部HP参照。	可
	2～	10942112		産業調査統計論(1)	2	浦坂 純子	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。(1)と(2)はセット登録される。(1)を受講したことがなければ(2)は登録できない。	可
	2～	10942113		産業調査統計論(2)	2	浦坂 純子	秋2		可
	2～	10942114		社会保障法	2	梶谷 真也	春2		可
	2～	10942115		産業技術論(1)	2	山口 歩	春2		可
	2～	10942116		産業技術論(2)	2	山口 歩	秋2		可
	2～	10942117		労働科学論(1)	2	藤野 ゆき	春2		可
	2～	10942118		労働科学論(2)	2	藤野 ゆき	秋2		可
	2～	10942119		労務管理論(1)	2	三山 雅子	春2		可
	2～	10942120		労務管理論(2)	2	三山 雅子	秋2		可
	2～	10942121		労働市場論(1)	2	野田 知彦	春2		可
	2～	10942122		労働市場論(2)	2	野田 知彦	秋2		可
	2～	10942130		比較産業関係論(1)	2	休講			
	2～	10942131		比較産業関係論(2)	2	休講			
	2～	16009100		働くということ	2	寺井 基博 富田 安信 上田 眞士 三山 雅子	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可
	2～	10942134		グローバル人的資源管理論(1)	2	樋口 純平	春2	2021年度以降生のみ登録できる。	可
	2～	10942135		グローバル人的資源管理論(2)	2	樋口 純平	秋2		可
	2～	10942132		グローバル人的資源管理論1	2	樋口 純平	春2	2020年度以前生のみ登録できる。	可
	2～	10942133		グローバル人的資源管理論2	2	樋口 純平	秋2		可
	3～	10942151		産業関係実習Ⅰ	2	三山 雅子 上田 眞士 寺井 基博	春4	セットで登録すること。	可
3～	10942152		産業関係実習Ⅱ	2	三山 雅子 上田 眞士 寺井 基博	秋4		可	
3～	10942153		産業調査実習Ⅰ	2	三吉 勉 樋口 純平 松山 一紀	春4		不可	
3～	10942154		産業調査実習Ⅱ	2	三吉 勉 樋口 純平 松山 一紀 中井 正郎	秋4	セットで登録すること	不可	

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否		
		科目コード	クラスコード								
選択科目Ⅰ 学科専門科目群	2～	10942123	001	外国書基礎講読（英語）Ⅰ〔産〕	①	2	吉本 陵	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃							②
			003	〃							③
	2～	10942124	001	外国書基礎講読（英語）Ⅱ〔産〕	①	2	吉本 陵	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃							②
			003	〃							③
	3～	10942501	001	外国書講読（英語）Ⅰ〔産〕	①	2	富澤 理英子	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃							②
	3～	10942502	001	外国書講読（英語）Ⅱ〔産〕	①	2	富澤 理英子	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	
			002	〃							②
	3～	10912551		外国書講読（ドイツ語）Ⅰ	①	2	戸根 裕士	春2		可	
	3～	10912552		外国書講読（ドイツ語）Ⅱ	①	2	戸根 裕士	秋2		可	
	3～	10912553		外国書講読（フランス語）Ⅰ	①	2	大辻 都	春2		可	
	3～	10912554		外国書講読（フランス語）Ⅱ	①	2	大辻 都	秋2		可	
	3～	10912555		外国書講読（中国語）Ⅰ	①	2	陸 麗君	春2	社会学部生のみ登録できる。隔週の授業となる。	※可	
	3～	10912556		外国書講読（中国語）Ⅱ	①	2	陸 麗君	秋2		※可	
	3～	10912559		外国書講読（韓国語）Ⅰ	①	2	影本 剛	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可	
	3～	10912560		外国書講読（韓国語）Ⅱ	①	2	影本 剛	秋2		可	
	2～	10942125		組織行動学（1）	①	2	松山 一紀	春2		可	
	2～	10942126		組織行動学（2）	①	2	松山 一紀	秋2		可	
2～	10942136		労働法（1）	①	2	寺井 基博	春2	2021年度以降生のみ登録できる。（1）を受講したことがなければ（2）は登録できない。	可		
2～	10942137		労働法（2）	①	2	寺井 基博	秋2		可		
2～	10942127		労働法Ⅰ	①	2	寺井 基博	春2	2020年度以前生のみ登録できる。 【2019～2020年度生】 Ⅰを受講したことがなければⅡは登録できない。	可		
2～	10942128		労働法Ⅱ	①	2	寺井 基博	秋2	【～2018年度生】 Ⅰを受講したことがある方が望ましい。	可		
2～	10942138	001	実践キャリア演習	①	2	浮村 真弓 浦坂 純子 鶴見 香織 松川 晴美	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。2年次もしくは3年次に履修することを強く推奨する。	可		
学部共通科目群Ⅰ	1～	10912002		現代社会論	①	2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可	
	1～	10922002	001	社会問題論	①	2	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可	
			002	〃							②
	1～	10932002		マス・コミュニケーション論	①	2	伊藤 高史	春2		不可	
	1～	10952002	001	教育文化論	①	2	崔 紗華	春2	2017年度以前生のみ登録できる。	不可	
			002	〃							②
1～	10952009	001	多文化共生社会と教育文化	①	2	崔 紗華	春2	2018年度以降生のみ登録できる。	不可		
		002	〃							②	
選択科目Ⅱ				▼全学共通教養教育科目		『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること					
				▼免許・資格関係科目		『共通選択科目（P.92～）』を参照すること					
				▼他学部・他学科科目		他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること					
				▼チュービンゲン大学IES科目							
				▼同志社女子大学単位互換科目							
				▼大学コンソーシアム京都単位互換科目		『登録要領』を参照すること					

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否
		科目コード	クラスコード						
選 択 科 目 Ⅲ	I～	10942303	001	Industrial Relations in English I ①	2	三井 愛子	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	不可
			002	〃		富澤 理英子			
			003	〃		富澤 理英子			
			004	〃		富澤 理英子			
			005	〃		福田 順			
	I～	10942304	001	Industrial Relations in English II ①	2	三井 愛子	秋2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	不可
			002	〃		富澤 理英子			
			003	〃		富澤 理英子			
			004	〃		富澤 理英子			
			005	〃		福田 順			
			▼英 語	『全学共通教養教育科目 履修要項』および 『登録要領』を参照すること					
			▼ド イ ツ 語						
			▼フ ラ ン ス 語						
			▼中 国 語						
			▼ス ペ イ ン 語						
			▼ロ シ ア 語						
			▼コ リ ア 語						
			▼日本語 (外国人留学生のみ)						
科自由			▼自 由 科 目		自由科目 (P.99～) を参照すること				

教育文化学科

■ 2018年度以降生

67~74

【人材養成目的】

教育文化学科は、多文化共生社会における教育文化による人間形成に着目し、異なる文化背景を持つ人間が交わる際に生じる諸問題を学際的な方法を用いて究明し、問題解決へ至る道筋を追求する活動をつうじて、学生が異文化間の相互理解を促進する能力を養い、多様な文化の中で生活し、学び、働く人々に的確な援助と指導ができる人材の養成を目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・ある文化や多文化間における人間形成を多角的に理解して、客観性と独創性のある研究に必要な学際的手法を活用できる。（知識・技能）
- ・人間形成をめぐる問題を批判的に考察し、現状を偏見なく究明しつつ対応策を賢明に判断して、説得力ある主張ができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・多様な文化価値と教育実践を認識し、新たな人間関係やコミュニティの可能性へ向けて主体的に協働できるようになる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

(1) 《全体構成》

多文化共生社会における人間形成の理解と探究をつうじて、ローカルコミュニティとグローバル社会に貢献できる人物を養成するために、コア科目・メジャー科目および選択科目Ⅰ～Ⅲを設置する。

(2) 《コア科目》

コア科目はX群とY群で構成する。X群は、1年次の演習「ファーストイヤーセミナーⅠ・Ⅱ」と講義「多文化共生社会と人間形成」、2年次の「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、3年次の「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」で構成されており、X群から14単位以上を履修する。Y群は、4年次に「卒業研究」または「卒業論文」を選択する。卒業論文の場合は「教育文化学演習Ⅲ・Ⅳ」と併せて12単位履修し、卒業研究の場合は4単位を履修する。

(3) 《メジャー科目》

メジャー科目はA～D群で構成される。A群は、すべて学科専任教員が担当し、学生が3年次に「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」の履修で選択する専攻領域に対応する内容の科目群である。B群は、学科専任教員または嘱託講師が担当し、学生の専攻領域を問わず、教育文化研究に資する内容の科目群である。さらに、C群はEBL科目（Experience Based Learning）、D群は講読科目とする。メジャー科目から、A群20単位、B群20単位、C群2単位、D群4単位を含めてA～D群から合計46単位以上（4年次に卒業研究を履修する場合は54単位以上）を履修する。

(4) 《選択科目Ⅰ～Ⅲ》

選択科目Ⅰは学部共通科目から4単位以上を履修し、選択科目Ⅱは全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）・免許資格科目・他学部他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）・チュービンゲン大学IES科目・同志社女子大学ならびに大学コンソーシアム京都との単位互換科目から20単位以上を履修し、選択科目Ⅲは全学共通教養教育科目（外国語教育科目）から8単位以上を履修する。

(5) 《7技能の修得》

コア科目とメジャー科目の履修に関しては、卒業に必要な取得単位数に加えて、各科目の学修をつうじて、以下の移転可能な能力である7技能についても指定単位数以上の修得を目標とする。それぞれの技能において基準とルーブリックは統一されている。

- | | | | |
|------------------------------------|------|-------------------------------------|------|
| ①文章作成能力（Writing） | 10単位 | ⑤英語運用能力（English Competency） | 10単位 |
| ②資料精読能力（Reading） | 10単位 | ⑥調査分析能力（Research Competency） | 6単位 |
| ③口頭伝達能力（Speaking） | 10単位 | ⑦問題解決能力（Problem Solving Competency） | 6単位 |
| ④異文化理解能力（Intercultural Competency） | 10単位 | | |

(6) 《卒業単位数》

コア科目26単位（卒業研究を履修する場合は18単位）に加えて、メジャー科目46単位以上（卒業研究を履修する場合は54単位以上）、選択科目Ⅰ4単位以上、選択科目Ⅱ20単位以上、選択科目Ⅲ8単位以上を含めてメジャー科目及び選択科目Ⅰ～Ⅲから合計98単位以上（卒業研究を履修する場合は106単位以上）、合計124単位以上を履修すること。

知識・技能

(7) 多文化共生社会における人間形成の理解に必要な基礎知識を修得するため、コア科目X群を1年次から段階的に履修し、それをつうじて、上記の7技能の中でも特に①文章作成能力、②資料精読能力、③口頭伝達能力の技能を高める。これらの知識と技能を活かしながら選択科目Ⅰ～Ⅲの学修も進められ、4年次にはコア科目Y群で、独創性があり有意義な卒業研究または卒業論文に取り組む。

(8) 異文化を理解する知識を多言語による情報からも幅広く獲得し、また、文化と言語の壁を超える効果的なコミュニケーション技能を養うため、英語およびその他の第二言語の修得を強く促す。この目的で、メジャー科目のA・B群には④異文化理解能力と合わせて⑤英語運用能力を重視する科目も設置し、同D群は多言語で行う講読科目とする。さらに、選択科目Ⅲは外国語教育科目である。

(9) コミュニティの社会問題を解決へ導く新しいビジョンの発見を促進するため、メジャー科目C群《EBL科目（Experience Based Learning）》は、探求学習（IBL）やプロジェクト型学習（PBL）を行って大学での学問と大学外の諸活動との架け橋となり、学生に特に⑥調査分析能力、⑦問題解決能力の技能を修得させる。

思考力・判断力・表現力

(10) コア科目とメジャー科目の履修全体をつうじて、多様な文化背景のもとで行われる人間形成の特性を理解するとともに、それを多角的・批判的に捉える思考力を養い、現状を徹底的に究明しながら、問題の解決策を学問に基づいて賢明に判断できるようになる。

(11) 初年次から4年次までの、特に演習科目と実習科目における少人数での指導をつうじて、学生が各自および共同での学修成果に基づいた論拠と説得力のある主張を文書と口頭で表現できるようになる。

主体性・多様性・協働性

(12) 学生は、メジャー科目の広い範囲に及ぶ学科専門科目に加えて、選択科目Ⅰの学部共通科目や選択科目Ⅱ・Ⅲの全学の科目からも、主体的な選択に基づいて幅広く履修でき、かつ、多様な教員・学生と協働しながら学習する経験をつうじて、各個人に独自の専門性を築いていくことができる。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に教育文化学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「メディア学」「産業関係学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

・4年次に卒業研究を履修する場合

コア科目		メジャー科目				選択科目Ⅰ	選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ	合計
X群	Y群	A群	B群	C群	D群				
14	4	20以上	20以上	2以上	4以上	20以上	8以上	124	
18		54以上				106			

・4年次に卒業論文を履修する場合

コア科目		メジャー科目				選択科目Ⅰ	選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ	合計
X群	Y群	A群	B群	C群	D群				
14	12	20以上	20以上	2以上	4以上	20以上	8以上	124	
26		46以上				98			

- ①卒業研究を履修する場合、コア科目X群を14単位、Y群から4単位履修すること。
卒業論文を履修する場合、コア科目X群を14単位、Y群から12単位履修すること。
- ②メジャー科目から、A群20単位以上、B群20単位以上、C群2単位以上、D群4単位以上を履修すること。
また、コア科目とメジャー科目A～D群の合計で72単位以上履修すること。
- ③選択科目Ⅰから、4単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅱから、20単位以上を履修すること。
- ⑤選択科目Ⅲから、8単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

本学科は、学生が多文化共生社会の中での人間形成に関わる諸現象を多角的に理解するとともに、それらめぐる諸問題を学際的に究明し、主体的な解決を促進できるようになることを目的としています。

必修科目・選択科目とも、指定の履修年次以前に履修することはできません。科目によっては、クラス指定、あるいは履修条件を定めています。「開講科目一覧表」等をよく確認したうえで登録・履修してください。留学等をする場合については、事前に履修計画を学科専任教員と相談し、学部事務室で確認を受けてください。

○コア科目

X群

1年次「ファーストイヤーセミナーⅠ・Ⅱ」は、大学での学びの基礎となる技能を身に付ける科目です。「多文化共生社会と人間形成」では、教育文化の探究に必要な基礎知識を学びます。

2年次「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」は、演習科目（専門ゼミ）の入門です。「基礎演習Ⅱ」は少人数で行われ、A～Gの7つのクラスのうち1つを履修する必要があります。

「ファーストイヤーセミナーⅠ・Ⅱ」「多文化共生社会と人間形成」を履修済であることが、3年次に「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修できる条件になります。

3年次「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」は、少人数で行われる演習科目であり、これらを履修済であることが、4年次に卒業研究または卒業論文を選択して履修する条件になります。

Y群

4年次「教育文化学演習Ⅲ・Ⅳ」は「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」を発展させる内容です。「教育文化学演習Ⅲ・Ⅳ」の履修には、原則として「基礎演習Ⅰ」「基礎演習ⅡA～Gのいずれか1科目」「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修済であり、「卒業論文」を履修することが条件になります。

4年次に「卒業研究」「卒業論文」のどちらか一方を選択し、履修をします。同時履修はできません。

・「卒業研究」の履修には、原則として「基礎演習Ⅰ」「基礎演習ⅡA～Gのいずれか1科目」「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修済であること。

・「卒業論文」の履修には、原則として「基礎演習Ⅰ」「基礎演習ⅡA～Gのいずれか1科目」「教育文化学演習Ⅰ・Ⅱ」を履修済であり、「教育文化学演習Ⅲ・Ⅳ」の同時履修が義務付けられます。

※注意事項

「卒業研究」と「卒業論文」には8単位の差があります。「卒業研究」を選択し履修する場合、8単位をメジャー科目から別途、履修する必要があります。

○メジャー科目

A群

A群の科目とは、本学科の専任教員が担当し、3年次以降の「教育文化学演習Ⅰ～Ⅳ」へつながる、カリキュラムの中心となる科目群です。2年次から履修を開始し、20単位以上の修得が必要です。

B群

B群の科目とは、学科専任教員と嘱託講師が担当し、多文化共生社会と教育文化を多様な観点から捉えた幅広い知識を得る科目群です。1年次から履修を開始し、20単位以上の修得が必要です。

A群の科目を履修する前に、可能な限り履修しておくことを勧めます。

C群：EBL科目（Experience Based Learning）

C群（2単位以上）のEBL科目とは、教室だけでは学習できないことを学ぶ科目です。学生が主体性を発揮し、海外や国内の現場における様々な体験から技能や感覚を直接身に付けることを目的としています。EBL科目は複数回履修可能ですが、1学期に1科目（年間2科目）のみ履修可とします（ただし、Field Research Practicum Kyotoは他のEBL科目と同時に履修可）。

※注意事項

・EBL科目には実習費用がかかる科目もあります。履修登録の際はシラバスをよく確認してください。

・EBL科目は、実習を夏期／冬期休暇中に行う場合があるため、卒業予定学期に履修はできません。

卒業予定学期等について不明点があれば、事前に担当教員または社会学部事務室に相談してください。

D群

D群（4単位以上）は2年次以上の学生を対象とする講読科目です。「英書講読」科目に関しては、各学期に2科目までの履修を標準とし、1年次の英語スコアを基準にして、一定基準を満たす学生はⅡA～ⅡCを履修してください（ⅠA～ⅠCの科目を履修することはできません）。また、講読の授業は適正規模の観点から受講者数を調整する場合があります。

○選択科目Ⅰ：学部共通科目

学部共通科目群は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「多文化共生社会と教育文化」の5科目です。このうち2科目の履修が必要です。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものごとの見方をわかりやすく説明する科目であり、社会学部における共通の基礎知識を学ぶことを目的としています。できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群です。幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ：外国語教育科目

全学共通教養教育科目の外国語教育科目（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、韓国語、外国人留学生のみ日本語）より自由に選択し、8単位以上の履修が必要です。なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位の算入します。

【注】「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は選択科目Ⅱの単位として算入します。

《7技能の修得》

卒業に必要な修得単位数に加えて、各科目の学習をつうじて以下の7技能についても修得目標を目指し、履修をしてください。

		【7技能略号】	【修得目標】
① 文章作成能力	(Writing)	W	10単位
② 資料精読能力	(Reading)	R	10単位
③ 口頭伝達能力	(Speaking)	S	10単位
④ 異文化理解能力	(Intercultural Competency)	I	10単位
⑤ 英語運用能力	(English Competency)	E	10単位
⑥ 調査分析能力	(Research Competency)	X	6単位
⑦ 問題解決能力	(Problem Solving Competency)	P	6単位

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	7技能略号	言語
		科目コード	クラスコード								
コア科目群	1	10952004	001	ファーストイヤーセミナーⅠ ①	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ	春2	大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	R,S	J
			002	//		崔 紗華				R,S	
			003	//		兒島 明				R,S	
			004	//		奥井 遼				R,S	
	1	10952005	001	ファーストイヤーセミナーⅡ ①	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ	秋2	大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	R,S	J
			002	//		崔 紗華				R,S	
			003	//		兒島 明				R,S	
			004	//		奥井 遼				R,S	
	2	10952007	001	基礎演習Ⅰ ①	2	奥井 遼 崔 紗華 林 貴啓	春2	大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	W,R	J
			002	//		崔 紗華 林 貴啓 奥井 遼				W,R	
			003	//		林 貴啓 奥井 遼 崔 紗華				W,R	
	2	10952008		基礎演習ⅡA	2	吉田 亮	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。基礎演習Ⅰを履修済もしくは登録中であることが望ましい。	不可	R,S	J
	2	10952010		基礎演習ⅡB	2	奥井 遼	秋2		不可	W,P	J
	2	10952013		基礎演習ⅡC	2	兒島 明	秋2		不可	S,X	J
	2	10952014		基礎演習ⅡD	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ	秋2		不可	R,E	E/J
	2	10952015		基礎演習ⅡE	2	林 貴啓	秋2		不可	R,S	J
	2	10952016		基礎演習ⅡF	2	大江 将貴	秋2		不可	R,X	J
	2	10952017		基礎演習ⅡG	2	吉門 昌宏	秋2		不可	R,S	J
	3	10952031	001	教育文化学演習Ⅰ ①	2	吉田 亮	春2		セットで登録すること。履修条件の詳細はP.69参照。	不可	R,S
			002	//		兒島 明		R,S			
			003	//		奥井 遼		R,P			
			004	//		越水 雄二		R,S			
			005	//		中川 吉晴		R,S			
			006	//		山田 礼子		R,X			
			007	//		休講					
			008	//		WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ		R,E			E/J
	3	10952032	001	教育文化学演習Ⅱ ①	2	吉田 亮	秋2	セットで登録すること。履修条件の詳細はP.69参照。	不可	R,S	J
			002	//		兒島 明				R,S	
003			//	奥井 遼		R,P					
004			//	越水 雄二		R,S					
005			//	中川 吉晴		R,S					
006			//	山田 礼子		W,X					
007			//	休講							
008			//	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ		R,E				E/J	

教育文化

2018年度
以降生

●授業における使用言語

J：日本語のみで授業を行う
 J/E：日本語を中心に使用し、英語が必要に応じて補足説明を行う
 E：英語のみで授業を行う
 E/J：英語を中心に使用し、日本語が必要に応じて補足説明を行う

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	7技能略号	言語
		科目コード	クラスコード								
コア科目Y群	4	10952041	001	教育文化学演習Ⅲ	①	吉田 亮	春2	セットで登録すること。履修条件の詳細はP.69参照。あわせて卒業論文も登録すること。	不可	R,S	J
			002	〃	②	兒島 明				R,S	
			003	〃	③	奥井 遼				R,P	
			004	〃	④	越水 雄二				R,S	
			005	〃	⑤	中川 吉晴				W,R,S	
			006	〃	⑥	山田 礼子				W,X	
			007	〃	⑦	休講					
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ				R,E	
	4	10952042	001	教育文化学演習Ⅳ	①	吉田 亮	秋2	セットで登録すること。履修条件の詳細はP.69参照。あわせて卒業論文も登録すること。	不可	R,S	J
			002	〃	②	兒島 明				R,S	
			003	〃	③	奥井 遼				R,P	
			004	〃	④	越水 雄二				R,S	
			005	〃	⑤	中川 吉晴				W,R,S	
			006	〃	⑥	山田 礼子				W,X	
			007	〃	⑦	休講					
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ				R,E	
	4	10952092	001	卒業論文	①	吉田 亮	春秋	同時登録不可。履修条件の詳細はP.69参照。 卒業論文 教育文化学演習Ⅲ、Ⅳと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可	W,X	J
			002	〃	②	兒島 明				W,X	
			003	〃	③	奥井 遼				W,X	
			004	〃	④	越水 雄二				W,X	
			005	〃	⑤	中川 吉晴				W,X	
			006	〃	⑥	山田 礼子				W,X	
			007	〃	⑦	休講					
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ				W,X	
	4	10952091	001	卒業研究	①	吉田 亮	春秋	同時登録不可。履修条件の詳細はP.69参照。 卒業論文 教育文化学演習Ⅲ、Ⅳと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可	W,X	J
			002	〃	②	兒島 明				W,X	
			003	〃	③	奥井 遼				W,X	
			004	〃	④	越水 雄二				W,X	
			005	〃	⑤	中川 吉晴				W,X	
			006	〃	⑥	山田 礼子				W,X	
			007	〃	⑦	休講					
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ				W,X	
メジャー科目A群	2	10952123		キリスト教教育文化論 (1)	2	吉田 亮	春2		可	R,I	J
	2	10952124		キリスト教教育文化論 (2)	2	吉田 亮	秋2		可	R,I	J
	2	10952125		比較教育文化論 (1)	2	山田 礼子	春2		可	W,I	J
	2	10952126		比較教育文化論 (2)	2	山田 礼子	秋2		可	R,X	J
	2	10952140		Education and World Culture (1)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ	春2		可	S,E	E
	2	10952141		Education and World Culture (2)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ	秋2		可	S,E	E
	2	10952170		アジア教育文化論 (1)	2	中川 吉晴	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可	S,I	J
	2	10952171		アジア教育文化論 (2)	2	中川 吉晴	秋2		※可	W,R	J
	2	10952184		日本教育文化論 (1)	2	兒島 明	春2		可	R,I	J
	2	10952185		日本教育文化論 (2)	2	兒島 明	秋2		可	R,I	J
	2	10952186		西洋教育文化論 (1)	2	越水 雄二	春2		可	R,I	J
	2	10952187		西洋教育文化論 (2)	2	越水 雄二	秋2		可	R,I	J
	2	10952193		言語教育文化論 (1)	2	奥井 遼	春2		可	R,I	J
	2	10952194		言語教育文化論 (2)	2	奥井 遼	秋2		可	R,I	J

科目群	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など	他学部生 履修可否	7技能 略号	言語
		科目コード	クラスコード								
メ ジ ャ ー 科 目 B 群	1	10952119		キリスト教と人間形成	2	越水 雄二	秋2		可	W,R	J
	1	10952120		ジェンダーと人間形成	2	山田 礼子	秋2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	可	W,X	J
	1	10952147		家族と人間形成	2	井岡 瑞日	秋2		不可	W,S	J
	1	10952162		Topics in Education and Development	2	乾 美紀	春2	社会学部生、国際教育 インスティテュート所 属生のみ登録できる。	※可	R,I	E
	1	10952163		Topics in Character Formation and Education	2	休講					
	1	10952180		Topics in Multiculturalism and Education	2	柴川 真由美	春2		可	R,I	E
	1	10952188		多文化共生社会と海外教育事情	2	根川 幸男	秋2	社会学部生のみ登録で きる。	※可	S,I	J
	1	10952189		多文化共生社会と移民教育文化(1)	2	吉田 亮	春2		可	R,I	J
	1	10952190		多文化共生社会と移民教育文化(2)	2	吉田 亮	秋2		可	R,I	J
	2	10952101		教育哲学	2	齋野 克己	秋2		可	W,R	J
	2	10952102		教育人間学	2	齋野 克己	春2		可	W,R	J
	2	10952142		教育心理学	2	井上 毅	春2		可	W,R	J
	2	10952148		多文化共生社会と教育史	2	井岡 瑞日	春2		可	W,R	J
	2	10952149		多文化共生社会と教育思想	2	越水 雄二	春2		可	R,I	J
	2	10952153		教育行政学	2	服部 憲児	春2		可	W,R	J
	2	10952154		学校教育制度論	2	服部 憲児	秋2		可	W,R	J
	2	10952160		生涯教育計画論	2	中川 吉晴	春2	社会・文・法・経済・ 商・政策学部生のみ登 録できる。	※可	W,R	J
	2	10952175		学校教育文化論 (1)	2	田中 希穂	春2		可	W	J
	2	10952176		学校教育文化論 (2)	2	吉田 敦彦	秋2		可	W	J
	2	10952181		多文化共生社会と生涯学習	2	西平 直	春2		可	I	J
	2	10952191		多文化共生社会と人間形成特論(1)	2	休講					
	2	10952192		多文化共生社会と人間形成特論(2)	2	崔 紗華	秋2		可	W,S	J
	2	10912116		教育社会学	2	尾嶋 史章	秋2	社会学部生のみ登録で きる。	※可		J
			日本の教育	2	日本語・日本文化教育科目参照						
メ ジ ャ ー 科 目 C 群	1	10952138	001	体験教育実習	①	WILLIAM ROBERT STEVENSON II	春集中		不可	P	J/E
			002	〃	②	休講					
	1	10952139	001	異文化体験実習	①	奥井 遼	春集中	集中講義。日程等詳細 は社会学部HPを参照。 登録は担当教員の事前 審査に基づき大学で一 括して行う。	不可	I,P	J
			002	〃	②	休講					
	1	10952143	001	サービスマーケティング実習	①	崔 紗華	春集中		不可	X,P	J
			002	〃	②	崔 紗華	秋集中			X,P	
	1	10952144	001	ICT教育実習	①	高崎 俊之	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	不可	X,P	J
			002	〃	②	高崎 俊之	秋2			X,P	
	1	10952145		冒険教育実習	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON II	秋2	事前授業への参加が必 要。事前授業の日程は 社会学部HPを参照。登 録は担当教員の事前審 査に基づき大学で一括 して行う。	不可	P	J/E
1	10952146		Field Research Practicum Kyoto	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON II	秋2	社会学部生のみ登録で きる。事前授業への参 加が必要。事前授業の 日程は社会学部HPを参 照。登録は担当教員の 事前審査に基づき大学 で一括して行う。	※可	I,P	E	
2	10952150		Field Research Practicum Shanghai	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON II	秋2	社会学部生のみ登録で きる。登録は担当教員 の事前審査に基づき大 学で一括して行う。	※可	I,P	E	
1	10952183		ホリスティック教育実習	2	中川 吉晴	秋2		不可	S,P	J/E	

教育文化

2018年度
以降生

科目群	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など	他学部生 履修可否	7技能 略号	言語
		科目コード	クラスコード								
メ ジ ャ ー 科 目 D 群	2	10952396		英 書 講 読 I A (1)	2	休講					
	2	10952397		英 書 講 読 I A (2)	2	休講					
	2	10952398		英 書 講 読 I B (1)	2	宝壺 貴之	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。 英書講読 I B (2) 英書講読 I B (1) を履 修済もしくは登録中で あることが望ましい。	不可	R,E	J/E
	2	10952399		英 書 講 読 I B (2)	2	宝壺 貴之	秋2		不可	R,E	J/E
	2	10952400		英 書 講 読 I C (1)	2	長谷川 精一	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。 英書講読 II B (2) 英書講読 II B (1) を履 修済もしくは登録中で あることが望ましい。	不可	R,E	J
	2	10952401		英 書 講 読 I C (2)	2	長谷川 精一	秋2		不可	R,E	J
	2	10952366		英 書 講 読 II A (1)	2	沼田 潤	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。 英書講読 II B (2) 英書講読 II B (1) を履 修済もしくは登録中で あることが望ましい。	不可	R,E	J
	2	10952367		英 書 講 読 II A (2)	2	沼田 潤	秋2		不可	R,E	J
	2	10952368		英 書 講 読 II B (1)	2	宝壺 貴之	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。 英書講読 III B (2) 英書講読 III B (1) を履 修済もしくは登録中で あることが望ましい。	不可	R,E	J/E
	2	10952369		英 書 講 読 II B (2)	2	宝壺 貴之	秋2		不可	R,E	J/E
	2	10952370		英 書 講 読 II C (1)	2	柴川 真由美	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。 英書講読 III B (2) 英書講読 III B (1) を履 修済もしくは登録中で あることが望ましい。	不可	R,E	J/E
	2	10952371		英 書 講 読 II C (2)	2	柴川 真由美	秋2		不可	R,E	J/E
	2	10952378		英 書 講 読 III A (1)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON II	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。 英書講読 III B (2) 英書講読 III B (1) を履 修済もしくは登録中で あることが望ましい。	不可	R,E	
	2	10952379		英 書 講 読 III A (2)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON II	秋2		不可	R,E	
	2	10952380		英 書 講 読 III B (1)	2	宝壺 貴之	春2	先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。 英書講読 III B (2) 英書講読 III B (1) を履 修済もしくは登録中で あることが望ましい。	不可	R,E	
	2	10952381		英 書 講 読 III B (2)	2	宝壺 貴之	秋2		不可	R,E	
	2	10952384		独 書 講 読 I	2	吉門 昌宏	春2	独書講読 I を履修済で あること。	不可	R,I	
	2	10952385		独 書 講 読 II (1)	2	吉門 昌宏	秋2		不可	R,I	
	2	10952386		独 書 講 読 II (2)	2	休講					
	2	10952387		仏 書 講 読 I	2	越水 雄二	春2	仏書講読 I を履修済で あること。	不可	R,I	
2	10952388		仏 書 講 読 II (1)	2	越水 雄二	秋2	不可		R,I		
2	10952389		仏 書 講 読 II (2)	2	休講						
2	10952402		漢文古文講読 I	2	休講						
2	10952403		漢文古文講読 II (1)	2	休講						
2	10952404		漢文古文講読 II (2)	2	休講						
選 択 科 目 I	1~	10912002		現 代 社 会 論	2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科 学部生のみ登録できる。	※可		
	1~	10922002	001	社 会 問 題 論	①	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登 録できる。クラス②は 先行登録科目である。 詳細は『登録要領』を 参照。	※可		
			002	〃		MARTHA MENSENDIEK					
	1~	10932002		マ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 論	2	伊藤 高史	春2		不可		
	1~	10942002		現 代 社 会 と 労 働	2	寺井 基博	春2		不可		
	1~	10952009	001	多文化共生社会と教育文化	①	崔 紗華	春2		不可		
002			〃	沼田 潤		秋2					
選 択 科 目 II				▼全学共通教養教育科目		『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること					
				▼免許・資格関係科目		『共通選択科目 (P.92~)』を参照すること					
				▼他学部・他学科科目		他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること					
				▼チュービンゲン大学IES科目							
				▼同志社女子大学単位互換科目							
				▼大学コンソーシアム京都単位互換科目		『登録要領』を参照すること					
選 択 科 目 III				▼英 語		『全学共通教養教育科目 履修要項』および 『登録要領』を参照すること					
				▼ド イ ツ 語							
				▼フ ラ ン ス 語							
				▼中 国 語							
				▼ス ペ イ ン 語							
				▼ロ シ ア 語							
				▼コ リ ア 語							
科 自 由				▼自 由 科 目		自由科目 (P.99~) を参照すること					

教育文化学科

■ 2017～2015年度生

75～82

【人材養成目的】

教育文化学科は、文化が持つ人間形成力や教育力を明らかにし、異なる文化背景を持つ人間が交わる際に生じる諸問題を教育文化的な視点を用いて究明し、問題解決へといたる道筋を発見して、異文化間の相互理解を促進する能力を養い、異なった文化の中で生活をしたり、教育を受けたり、または労働する人々に的確な指導と助言が出来る資質を持った人材を養成することを目的とする。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

- ・ある文化や多文化間における人間形成を多角的に理解して、客観性と独創性のある研究に必要な学際的手法を活用できる。（知識・技能）
- ・人間形成をめぐる問題を批判的に考察し、現状を偏見なく究明しつつ対応策を賢明に判断して、説得力ある主張ができる。（思考力・判断力・表現力）
- ・多様な文化価値と教育実践を認識し、新たな人間関係やコミュニティの可能性へ向けて主体的に協働できる。（主体性・多様性・協働性）

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・運営の方針）】

カリキュラムの編成・運営方針

多文化共生社会における人間形成を理解し、そこにおける教育の役割などについて、学際的な知識とそれに必要な研究方法論を習得し、異文化間の相互理解を促進する態度と技能が身に付くように、必修科目および選択科目Ⅰ～Ⅲによって構成されるカリキュラムを設置する。また、それぞれの科目群においても、学生の個別のニーズに対応するため、より詳細なカテゴリーを設けている。必修科目10単位に加え、選択科目を114単位以上履修する。必修科目および選択科目Ⅰ・Ⅱ・Ⅲはそれぞれ「学力の三要素／領域」である「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を養う「総合群」として設計されており、各科目群の概要は以下のとおりである。

必修科目

必修科目については、文化と人間の関係に関わる基本的な知識が得られることを到達目標とした講義科目「文化と人間形成」の2単位、および、高校から大学への円滑な移行を目的とする初年次教育としてのファーストイヤーセミナー、1年次と3年次の少人数での演習科目の8単位、合計10単位のみにより、これらを必修科目として設置する。

選択科目Ⅰ

選択科目Ⅰは、文化が人間形成に及ぼす影響や、そこにおける教育の役割などについて、学際的な知識とそれに必要な研究方法論を習得し、多文化間の相互理解を促進する態度と技能が身に付くことを到達目標に、4年次に「卒業論文」を履修する場合、A群20単位、B群8単位、C群8単位を含めてA～C群から44単位以上、およびD群4単位、E群12単位、学部共通科目群4単位以上、合計64単位以上を履修する。4年次に「卒業研究」を履修する場合、A群20単位、B群8単位、C群8単位を含めてA～C群から48単位以上、およびD群4単位、E群4単位、学部共通科目群4単位以上、合計60単位以上を履修する。

- ・選択科目ⅠのうちA群は、本学科のコア・カリキュラムとなるべき内容であり、とくに理論的な研究内容を学習するために設置されている。
- ・選択科目ⅠのうちB群は、教育と文化に関する具体的な事象を知識として得ることを到達目標として設置されている。
- ・選択科目ⅠのうちC群は、従来からの教育学についての知識を得ることを到達目標として設置されている。
- ・選択科目ⅠのうちD群は、2年次に履修すべき演習科目であり、本学科でのさまざまな研究の方法論を身に付けることを到達目標として設置されている。
- ・選択科目ⅠのうちE群は、教育文化学科での学びを総合的にかつ自らの専門的な関心にもとづき、口頭および文書で表現できることを到達目標として、4年次の演習と、卒業研究・卒業論文が設置されている。
- ・選択科目Ⅰのうち学部共通科目群は、社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学に関する入門的講義科目を、現代社会に関する知識を習得することを到達目標として、1年次から履修する。

選択科目Ⅱ

選択科目Ⅱは、専門科目の知識を補完するとともに、他の学問領域を幅広く学ぶことによって専門的職業人としての態度を涵養することを到達目標にして、かつ学生の多様なニーズに応えられるように設置されている。全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目、さらには同志社女子大学や大学コンソーシアム京都との単位互換科目から、1～4年次にわたって20単位以上を履修する。

選択科目Ⅲ

選択科目Ⅲは、国際的な場で活躍できるための言語能力、および教育や文化に関する専門的な知識を得るための言語能力を身に付けるために設置されている。A群は本学科が独自に設置している科目であり、B群は、全学共通教養教育科目の外国語科目として設置されているものである。A群12単位およびB群8単位を含め、24単位以上を履修する。

これらの科目に加え、学生の興味関心に応じて、系統的かつ計画的に教育文化学科以外の科目を履修することを支援する制度として、縦断的副専攻「社会学」「社会福祉学」「メディア学」「産業関係学」、ならびに横断的副専攻「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」を設置している。

教育文化

2017～
2015年度生

履修体系

○卒業必要単位数

卒業に必要な単位数は124単位です。修得すべき各科目群の単位は下表のとおりとなります。

- ・4年次に卒業論文を履修する場合

必修科目	選択科目Ⅰ						選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	A群	B群	C群	D群	E群	学部共通科目群		A群	B群	
10	20以上	8以上	8以上	4	12	4以上	20以上	12以上	8以上	124
	44以上							24以上		
	64以上									
	114									

- ・4年次に卒業研究を履修する場合

必修科目	選択科目Ⅰ						選択科目Ⅱ	選択科目Ⅲ		合計
	A群	B群	C群	D群	E群	学部共通科目群		A群	B群	
10	20以上	8以上	8以上	4	4	4以上	20以上	12以上	8以上	124
	48以上							24以上		
	60以上									
	114									

- ①必修科目10単位を履修すること。
- ②選択科目Ⅰのうち、4年次に「卒業論文」を履修する場合、A群20単位、B群8単位、C群8単位を含めてA～C群から44単位以上、およびD群4単位、E群12単位、学部共通科目群4単位以上、合計64単位以上を履修すること。4年次に「卒業研究」を履修する場合、A群20単位、B群8単位、C群8単位を含めてA～C群から48単位以上、およびD群4単位、E群4単位、学部共通科目群4単位以上、合計60単位以上を履修すること。
- ③選択科目Ⅱから20単位以上を履修すること。
- ④選択科目Ⅲから、A群（講読科目）から12単位以上、B群から8単位以上を履修すること。また、A・B群合計で24単位以上を履修すること。
- ⑤選択科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから合計114単位以上を履修すること。

○登録単位数

1年間に登録できる単位数の上限は、各年次とも48単位です。また、各学期（1セメスター）に最低2単位は登録しなければなりません。必ずこの範囲内で登録してください。

	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
年間最高登録単位数	48	48	48	48
学期最高登録単位数	46	46	46	46
学期最低登録単位数	2	2	2	2

免許・資格に関する科目を年間最高登録単位数とは別枠で登録することができます。5ページを参照してください。

設置科目の概要と履修方法

本学科は文化や歴史の中での人間形成に関わる諸現象を研究対象とし、人間形成における歪みや荒廃の原因を明らかにするとともに、新しい世紀における人間形成の理念と思想および具体的な方法を提示することを目的としています。従来の教育学のように、学校に教育を閉じこめて考えるのではなく、あらゆる「場」における人間形成を研究対象とします。また、大学院は、博士課程（前期課程・後期課程）として教育文化

学専攻が設置され、進学の方が開かれています。

必修科目・選択科目とも、指定の履修年次以前に履修することはできません。

科目によっては、クラス指定、あるいは、履修条件を定めています。「開講科目一覧表」等をよく確認したうえで登録・履修してください。編・転入生、留学生、交換学生等は学科専任教員の指示を受けてください。

○必修科目（10単位）

必修科目には、「ファーストイヤーセミナー」「教育文化学基礎演習Ⅰ」「文化と人間形成」「教育文化学演習Ⅰ」「教育文化学演習Ⅱ」があります。合計10単位を履修します。

なお、「教育文化学演習Ⅰ、Ⅱ」の履修には、「ファーストイヤーセミナー」「教育文化学基礎演習Ⅰ」と選択科目ⅠD群の「教育文化学基礎演習Ⅱ」2単位以上を履修済であることが条件になります。

○選択科目Ⅰ（4年次に卒業論文を履修する場合は64単位以上、卒業研究を履修する場合は60単位以上）

A群（20単位以上）

B群（8単位以上）

C群（8単位以上）

D群（2年次演習：「教育文化学基礎演習ⅡA～Ⅰ」より2科目4単位）

E群（4年次演習：4年次に卒業論文を履修する場合は12単位、卒業研究を履修する場合は4単位）

- ・ A～C群は、4年次に卒業論文を履修する場合は44単位以上、卒業研究を履修する場合は48単位以上を履修します。
- ・ B群「ホリスティック人間形成論実習」「体験教育実習」「異文化体験実習」「サービスラーニング実習」「冒険教育実習」「Field Research Practicum Kyoto」「Field Research Practicum Shanghai」のB群への算入は各2単位を上限とします。2単位を超えて修得した単位は選択科目Ⅰの単位として算入します。
- ・ D群「教育文化学基礎演習ⅡA～Ⅰ」の卒業単位への算入は4単位を上限とします。
- ・ E群「教育文化学演習Ⅲ、Ⅳ」の履修には、原則として「教育文化学演習Ⅰ、Ⅱ」を履修済みであり、4年次に卒業論文を履修することが条件になります。
- ・ E群「卒業論文」は、「教育文化学演習Ⅲ、Ⅳ」との同時履修が義務付けられます。
- ・ E群「卒業研究」の履修には、原則として「教育文化学演習Ⅰ、Ⅱ」を履修済みであり、4年次に卒業論文を履修しないことが条件になります。

学部共通科目群（4単位以上）

学部共通科目群は、「現代社会論」「社会問題論」「マス・コミュニケーション論」「現代社会と労働」「教育文化論」の5科目です。このうち2科目を必ず履修してください。いずれも社会学部を構成するそれぞれの学科の中心的な研究分野について、ものの見方をわかりやすく説明する科目で、社会学部における共通の基礎知識を学ぶことを目的としています。できるだけ早い段階での履修が求められます。

○選択科目Ⅱ（20単位以上）

専門科目を補完するための関連科目として、他の学問領域を学ぶ科目群で、幅広く選択できるように全学共通教養教育科目（外国語教育科目を除く）、免許資格科目、他学部・他学科科目（社会学部の副専攻制度科目を含む）、チュービンゲン大学IES科目に区分しています。

また、単位互換制度により同志社女子大学、および大学コンソーシアム京都に参加する他大学の授業を履修することもできます。

○選択科目Ⅲ（24単位以上）

A群（原典講読：12単位以上）

「英書講読」の履修は、各学期に2科目までを標準とします。なお、各授業の適正規模の観点から受講者数を調整する場合があります。

B群（全学共通教養教育科目の外国語教育科目：英語、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語、ハンガール、コリア語、外国人留学生のみ日本語より自由に選択：8単位以上）

なお、外国語会話科目は、各言語2単位を上限として卒業単位に算入します。

【注】「基礎イタリア語Ⅰ～Ⅳ」は選択科目Ⅱの単位として算入します。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	言語
		科目コード	クラスコード							
必修科目	1	10952001	001	ファーストイヤーセミナー ①	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春2	大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	J
			002	〃 ②		崔 紗華				
			003	〃 ③		兒島 明				
	1	10952003		文化と人間形成	2	越水 雄二 山田 礼子 中川 吉晴 WILLIAM ROBERT STEVENSON III 吉田 亮 奥井 遼 兒島 明 崔 紗華	春2		不可	J
	1	10952012	001	教育文化学基礎演習 I ①	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋2	大学で一括登録する。再履修者は一般登録できないので、登録期間中に社会学部事務室に申し出ること。	不可	J
			002	〃 ②		崔 紗華				
			003	〃 ③		兒島 明				
	3	10952031	001	教育文化学演習 I ①	2	吉田 亮	春2	セッとして登録すること。履修条件の詳細はP.77参照。	不可	J
			002	〃 ②		兒島 明				
			003	〃 ③		奥井 遼				
			004	〃 ④		越水 雄二				
			005	〃 ⑤		中川 吉晴				
			006	〃 ⑥		山田 礼子				
			007	〃 ⑦		休講				
			008	〃 ⑧		WILLIAM ROBERT STEVENSON III				
	3	10952032	001	教育文化学演習 II ①	2	吉田 亮	秋2		不可	J
			002	〃 ②		兒島 明				
			003	〃 ③		奥井 遼				
			004	〃 ④		越水 雄二				
			005	〃 ⑤		中川 吉晴				
			006	〃 ⑥		山田 礼子				
			007	〃 ⑦		休講				
			008	〃 ⑧		WILLIAM ROBERT STEVENSON III				
選択科目 I A 群	2	10952123		キリスト教教育文化論 (1)	2	吉田 亮	春2		可	J
	2	10952124		キリスト教教育文化論 (2)	2	吉田 亮	秋2		可	J
	2	10952103		日本教育文化史 (1)	2	兒島 明	春2		可	J
	2	10952104		日本教育文化史 (2)	2	兒島 明	秋2		可	J
	2	10952105		西洋教育文化史 (1)	2	越水 雄二	春2		可	J
	2	10952106		西洋教育文化史 (2)	2	越水 雄二	秋2		可	J
	2	10952170		アジア教育文化論 (1)	2	中川 吉晴	春2	社会学部生のみ登録できる。	※可	J
	2	10952171		アジア教育文化論 (2)	2	中川 吉晴	秋2		※可	J
	1	10952115		異文化間心理教育論	2	休講				
	2	10952125		比較教育文化論 (1)	2	山田 礼子	春2		可	J
	2	10952126		比較教育文化論 (2)	2	山田 礼子	秋2		可	J
	1	10952127		移民教育文化論 (1)	2	吉田 亮	春2		可	J
	1	10952128		移民教育文化論 (2)	2	吉田 亮	秋2		可	J
	2	10952129		Transmigration, Education and Culture	2	休講				
2	10952130		Bilingualism in Education	2	休講					

●授業における使用言語

J : 日本語のみで授業を行う

J/E : 日本語を中心に使用し、英語で必要に応じて補足説明を行う

E : 英語のみで授業を行う

E/J : 英語を中心に使用し、日本語で必要に応じて補足説明を行う

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	言語	
		科目コード	クラスコード								
選択科目IA群	2	10952193		言語教育文化論(1)	2	奥井 遼	春2		可	J	
	2	10952194		言語教育文化論(2)	2	奥井 遼	秋2		可	J	
	2	10952135		Globalization, Education, and Culture (1)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春2		可	E	
	2	10952136		Globalization, Education, and Culture (2)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋2		可	E	
	2	10952131		Globalization and Education (1)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春2		可	E	
	2	10952132		Globalization and Education (2)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋2		可	E	
選択科目IB群	1	10952109		キリスト教人間形成論	2	越水 雄二	秋2		可	J	
	2	10952110		比較教育思想	2	越水 雄二	春2		可	J	
	2	10952107		教育問題史	2	井岡 瑞日	春2		可	J	
	1	10952117		ジェンダーと教育	2	山田 礼子	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	可	J	
	1	10952118		海外教育事情	2	根川 幸男	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	J	
	2	10952108		日本教育事情	2	休講					
	2	10952121		教育文化学特定研究 I	2	休講					
	2	10952122		教育文化学特定研究 II	2	崔 紗華	秋2		可	J	
	1	10952172		Topics in Overseas Education	2	乾 美紀	春2	社会学部生、国際教育インスティテュート所属生のみ登録できる。	※可	E	
	1	10952173		Topics in Japanese Education	2	休講					
	1	10952174		Special Topics in Education and Culture	2	柴川 真由美	春2		可	E	
	1	10952137		ホリスティック人間形成論実習	2	中川 吉晴	秋2		不可	J/E	
	1	10952138	001	体験教育実習 ①	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春集中	集中講義。日程等詳細は社会学部HPを参照。登録は担当教員の事前審査に基づき大学で一括して行う。	不可	J/E	
			002	// ②		休講					
	1	10952139	001	異文化体験実習 ①	2	奥井 遼	春集中		不可	J	
			002	// ②		休講					
	1	10952143	001	サービスラーニング実習 ①	2	崔 紗華	春集中		不可	J	
			002	// ②		崔 紗華	秋集中				
1	10952145		冒険教育実習	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋2	事前授業への参加が必要。事前授業の日程は社会学部HPを参照。登録は担当教員の事前審査に基づき大学で一括して行う。		不可	J/E	
1	10952146		Field Research Practicum Kyoto	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋2	社会学部生のみ登録できる。事前授業への参加が必要。事前授業の日程は社会学部HPを参照。登録は担当教員の事前審査に基づき大学で一括して行う。		※可	E	
2	10952150		Field Research Practicum Shanghai	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋2	社会学部生のみ登録できる。登録は担当教員の事前審査に基づき大学で一括して行う。		※可	E	
選択科目IC群	2	10952175		学校教育文化論(1)	2	田中 希穂	春2			可	J
	2	10952176		学校教育文化論(2)	2	吉田 敦彦	秋2			可	J
	1	10952177		社会教育文化論(1)	2	休講					
	1	10952178		社会教育文化論(2)	2	休講					
	2	10952160		生涯教育計画論	2	中川 吉晴	春2		社会・文・法・経済・商・政策学部生のみ登録できる。	※可	J
	2	10952161		比較生涯学習論	2	西平 直	春2			可	J
	2	10952165		学術情報利用教育論	2	井上 真琴	秋2			可	J
	2	10952166		情報リテラシー教育論	2	休講					
	2	10952167	001	学校教育図書館論 ①	2	西浦 富美子	春2		教育文化学科の2015年度生は選択Ⅱに算入される。教育文化学科の2016年度以降生は自由科目として扱われ、卒業単位に算入されない。	可	J
			051	// ⑤		坂下 直子					
	101		// ⑩	佐藤 毅彦							
1	10952224	001	図書館・情報学概論 ①	2	原田 隆史	春2	教育文化学科の2015年度生は選択Ⅱに算入される。教育文化学科の2016年度以降生は自由科目として扱われ、卒業単位に算入されない。	可		J	
		051	// ⑤		原田 隆史						
		101	// ⑩		原田 隆史						

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	言語			
		科目コード	クラスコード										
選択科目 I C 群	2	10952101		教育哲学	2	齋野 克己	秋2		可	J			
	2	10952102		教育人間学	2	齋野 克己	春2		可	J			
	2	10952153		教育行政学	2	服部 憲児	春2		可	J			
	2	10952154		学校教育制度論	2	服部 憲児	秋2		可	J			
	2	10912116		教育社会学	2	尾嶋 史章	秋2	社会学部生のみ登録できる。	※可	J			
	2	10952133		教育心理学(1)	2	井上 毅	春2	教育心理学を履修済の学生は登録できない。	可	J			
	2	10952134		教育心理学(2)	2	休講							
					日本の教育	2	日本語・日本文化教育科目参照						
選択科目 I D 群	2	10952061		教育文化学基礎演習 II A	2	吉田 亮	秋2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	不可	J			
	2	10952062		教育文化学基礎演習 II B	2	奥井 遼	秋2		不可	J			
	2	10952063		教育文化学基礎演習 II C	2	兒島 明	秋2		不可	J			
	2	10952064		教育文化学基礎演習 II D	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋2		不可	E/J			
	2	10952065		教育文化学基礎演習 II E	2	林 貴啓	秋2		不可	J			
	2	10952066		教育文化学基礎演習 II F	2	大江 将貴	秋2		不可	J			
	2	10952067		教育文化学基礎演習 II G	2	吉門 昌宏	秋2		不可	J			
	2	10952068		教育文化学基礎演習 II H	2	休講							
	2	10952069		教育文化学基礎演習 II I	2	休講							
選択科目 I E 群	4	10952041	001	教育文化学演習 III	①	吉田 亮	春2	セットで登録すること。履修条件の詳細はP.77参照。あわせて卒業論文も登録すること。	不可	J			
			002	〃	②	兒島 明							
			003	〃	③	奥井 遼							
			004	〃	④	越水 雄二							
			005	〃	⑤	中川 吉晴							
			006	〃	⑥	山田 礼子							
			007	〃	⑦	休講							
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON III							
	4	10952042	001	教育文化学演習 IV	①	吉田 亮	秋2		セットで登録すること。履修条件の詳細はP.77参照。あわせて卒業論文も登録すること。	不可	J		
			002	〃	②	兒島 明							
			003	〃	③	奥井 遼							
			004	〃	④	越水 雄二							
			005	〃	⑤	中川 吉晴							
			006	〃	⑥	山田 礼子							
			007	〃	⑦	休講							
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON III							
	4	10952092	001	卒業論文	①	吉田 亮	春秋			同時登録不可。履修条件の詳細はP.77参照。 卒業論文 教育文化学演習 III、IVと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可	J	
			002	〃	②	兒島 明							
			003	〃	③	奥井 遼							
			004	〃	④	越水 雄二							
			005	〃	⑤	中川 吉晴							
			006	〃	⑥	山田 礼子							
			007	〃	⑦	休講							
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON III							
	4	10952091	001	卒業研究	①	吉田 亮	春秋				同時登録不可。履修条件の詳細はP.77参照。 卒業論文 教育文化学演習 III、IVと同じ担当者のクラスを一般登録すること。	不可	J
			002	〃	②	兒島 明							
			003	〃	③	奥井 遼							
			004	〃	④	越水 雄二							
			005	〃	⑤	中川 吉晴							
			006	〃	⑥	山田 礼子							
			007	〃	⑦	休講							
			008	〃	⑧	WILLIAM ROBERT STEVENSON III							

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	他学部生履修可否	言語	
		科目コード	クラスコード								
学部共通科目群	1~	10912002		現代社会論	2	遠藤 英樹	秋2	社会・スポーツ健康科学部生のみ登録できる。	※可		
	1~	10922002	001	社会問題論	2	平田 義	春2	社会・神学部生のみ登録できる。クラス②は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	※可		
			002	//		MARTHA MENSENDIEK					
	1~	10932002		マス・コミュニケーション論	2	伊藤 高史	春2		不可		
	1~	10942002		現代社会と労働	2	寺井 基博	春2		不可		
1~	10952002	001	教育文化論	2	崔 紗華	春2		不可			
		002	//		沼田 潤	秋2					
選択科目Ⅱ				▼全学共通教養教育科目	『全学共通教養教育科目 履修要項』を参照すること						
				▼免許・資格関係科目	『共通選択科目 (P.92~)』を参照すること						
				▼他学部・他学科科目	他学部・他学科の「開講科目一覧表」を参照すること						
				▼チュービンゲン大学IES科目							
				▼同志社女子大学単位互換科目	『登録要領』を参照すること						
選択科目ⅢA群	2	10952365	001	英書講読Ⅰ	2	休講	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。 英書講読ⅠB(2) 英書講読ⅠB(1)を履修済みもしくは登録中であることが望ましい。	不可	J/E J	
			002	//		宝壺 貴之					
			003	//		長谷川 精一					
	2	10952366		英書講読ⅡA(1)	2	沼田 潤	春2	先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。 英書講読ⅡB(2) 英書講読ⅡB(1)を履修済みもしくは登録中であることが望ましい。	不可	J	
	2	10952367		英書講読ⅡA(2)	2	沼田 潤	秋2		不可	J	
	2	10952368		英書講読ⅡB(1)	2	宝壺 貴之	春2		不可	J/E	
	2	10952369		英書講読ⅡB(2)	2	宝壺 貴之	秋2		不可	J/E	
	2	10952370		英書講読ⅡC(1)	2	柴川 真由美	春2		不可	J/E	
	2	10952371		英書講読ⅡC(2)	2	柴川 真由美	秋2		不可	J/E	
	2	10952372		英書講読ⅡD(1)	2	休講					
	2	10952373		英書講読ⅡD(2)	2	休講					
	2	10952374		英書講読ⅡE(1)	2	休講					
	2	10952375		英書講読ⅡE(2)	2	休講					
	2	10952376		英書講読ⅡF(1)	2	休講					
	2	10952377		英書講読ⅡF(2)	2	休講					
	2	10952378		英書講読ⅢA(1)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ	春2		先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。 英書講読ⅢB(2) 英書講読ⅢB(1)を履修済みもしくは登録中であることが望ましい。	不可	
	2	10952379		英書講読ⅢA(2)	2	WILLIAM ROBERT STEVENSON Ⅱ	秋2			不可	
2	10952380		英書講読ⅢB(1)	2	宝壺 貴之	春2	不可				
2	10952381		英書講読ⅢB(2)	2	宝壺 貴之	秋2	不可				
2	10952382		英書講読ⅢC(1)	2	休講						
2	10952383		英書講読ⅢC(2)	2	休講						
選択科目ⅢA群	2	10952384		独書講読Ⅰ	2	吉門 昌宏	春2	独書講読Ⅰを履修済であること。	不可		
	2	10952385		独書講読Ⅱ(1)	2	吉門 昌宏	秋2		不可		
	2	10952386		独書講読Ⅱ(2)	2	休講					
	2	10952387		仏書講読Ⅰ	2	越水 雄二	春2		不可		
	2	10952388		仏書講読Ⅱ(1)	2	越水 雄二	秋2		不可		
	2	10952389		仏書講読Ⅱ(2)	2	休講					
	2	10952390		漢文古文講読ⅠA	2	休講					
	2	10952391		漢文古文講読ⅠB	2	休講					
	2	10952392		漢文古文講読ⅡA(1)	2	休講					
	2	10952393		漢文古文講読ⅡA(2)	2	休講					
2	10952394		漢文古文講読ⅡB(1)	2	休講						
2	10952395		漢文古文講読ⅡB(2)	2	休講						

科目群	履修 年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など	他学部生 履修可否	言語
		科目コード	クラスコード							
選択科目Ⅲ B群				▼英 語				『全学共通教養教育科目 履修要項』および 『登録要領』を参照すること		
				▼ド イ ツ 語						
				▼フ ラ ン ス 語						
				▼中 国 語						
				▼ス ペ イ ン 語						
				▼ロ シ ア 語						
				▼コ リ ア 語						
				▼日本語（外国人留学生のみ）						
科自由				▼自 由 科 目			自由科目（P.99～）を参照すること			

国際専修コース

社会学部では2011年度から「国際専修コース」を開設しました。

このコースでは、国際教育インスティテュート（ILA）の留学生と一緒に、全て英語によるILAの授業科目を履修します（京都にいて、社会学部の授業を受けながら、国内留学するような制度です）。

貴重な機会ですので、興味のある学生はぜひ挑戦してください。

国際専修コースの概要と履修方法

社会学部では2011年度より、国際専修コースを開設しました。国際専修コースを登録することにより、所属学科設置科目の履修を基本としつつも、全て英語により授業の国際教育インスティテュート (ILA) 学部の提供する、『国際教育インスティテュート科目 (※以下、ILA科目と記載)』を履修することができます。

※国際教育インスティテュート科目の詳細については、国際教育インスティテュートの冊子を参照してください。演習や実習系科目を中心に国際専修コース生が履修できない科目もあります。

○国際専修コースの申請について

・対象学生

(1) 社会学部 1年次生・2年次生

(2) 次のいずれかの英語能力試験を受験し、定められたスコアを取得している者

- ・ TOEFL-iBT®のスコアが79点以上 (「Test Date スコア」のみ可。「My Best ™スコア」は認めない。)
- ・ TOEFL-ITP®のスコアが500点以上
- ・ TOEIC® LISTENING AND READINGテストのスコアが730点以上
- ・ IELTS (Academic Module) のポイントが6.0以上
- ・ CEFRのレベルがB2以上
- ・ CASECのスコアが710点以上
- ・ 実用英語技能検定 (英検) I級

※TOEFL、TOEFL iBT、TOEFL ITPおよびTOEICはエデュケーショナル・テストング・サービス (ETS) の登録商標です。

・募集定員

各学年20名以内

・履修開始時期

第1年次秋学期から第3年次春学期までの間

・申請期間

年2回 (第1年次春から第2年次秋まで、計3回申請の機会があります)

詳細はホームページ、社会学部掲示板にてお知らせいたします。

・登録申請方法

申請期間内に所定の登録申請書と英語能力試験のスコア (原本) を社会学部事務室に提出すること。

※原本が提出できない場合はコピーで受け付けしますので、提出時に社会学部事務室まで相談してください。

※申請用紙は社会学部のHPから各自ダウンロードしてください (手書きNG)

<https://ss.doshisha.ac.jp/index.html>

・選考方法

面接 (英語を含む) を実施いたします。

○国際専修コースの取消について

国際専修コースは副専攻制度と異なり、卒業要件の一部が変更されます。よって、国際専修コースの登録を取消した場合には、所属学科の標準の卒業要件が適用されます。

卒業にも影響しますので、もし取消を希望する場合は、忘れずに社会学部事務室へ申し出てください。

1) 取消方法

国際専修コースの登録取消を希望する学生は、登録を取消したい学期の始まる前までに社会学部事務室に申し出て、「国際専修コース履修取消願書」を提出してください。

- ・ 秋学期から登録取消を希望する場合 ⇒ 9月16日の社会学部事務室開室時間まで
- ・ 春学期から登録取消を希望する場合 ⇒ 3月31日の社会学部事務室開室時間まで

2) 取消期限

第3年次の秋学期末まで国際専修コースの登録取消を認めます。取消期間を過ぎた場合は、原則取消することができません。取消しを忘れた場合、国際専修コースの卒業要件がそのまま適用されます。

3) 修得済ILA科目単位の取扱い

国際専修コースの登録を取消した場合、修得済のILA科目の単位は自由科目となります。自由科目は卒業単位には算入されません。

履修体系

○国際専修コースの卒業要件

標準の卒業要件に加え、各学科についてそれぞれ下記のとおり履修するものとします。

※標準の卒業要件については、「社会学部履修要項の各所属学科のページ」を参照すること。

〈社会学科〉

2020年度以降生

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅲの英語の単位として算入する(社会学科が定める上級英語の単位に算入する)。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、8単位を上限として選択科目Ⅰ専門科目群の単位に算入することができる。

2019年度以前生

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅲの英語の単位として算入する(社会学科が定める上級英語の単位に算入する)。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、8単位を上限として選択科目ⅠB群の単位に算入することができる。

〈社会福祉学科〉

2021年度以降生

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅱ、または選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、8単位を上限として選択科目ⅠD群の単位に算入することができる。

2020年度以前生

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅱ、または選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、8単位を上限として選択科目ⅠE群の単位に算入することができる。

〈メディア学科〉

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅱ、または選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、8単位を上限として選択科目ⅠD群の単位に算入することができる。

〈産業関係学科〉

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅱ、または選択科目Ⅲの英語の単位として算入する。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、8単位を上限として選択科目Ⅰ学科専門科目群の単位に算入することができる。

〈教育文化学科〉

2018年度以降生

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅲ（外国語教育科目）の卒業に必要な単位数を満たしていない場合は選択科目Ⅲの単位として、選択科目Ⅲの卒業に必要な単位数を満たしている場合はメジャー科目D群（講読）の単位として算入される。メジャー科目D群の卒業に必要な単位数を満たしている場合は選択科目Ⅱの単位として算入する。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、メジャー科目B群の卒業に必要な単位数を満たしていない場合は、8単位を上限としてメジャー科目B群の単位に算入する。

2016～2017年度生

ILA科目から20単位以上を履修すること。履修した単位は、選択科目Ⅲの卒業に必要な単位数を満たしていない場合は選択科目ⅢB群の単位として、選択科目ⅢB群の卒業に必要な単位数を満たしている場合は選択科目ⅢA群の単位として算入され、選択科目Ⅲの卒業に必要な単位数を満たしている場合は選択科目Ⅱの単位として算入する。ただし、「専門領域科目のJapanese Society and Global Culture Concentration」から履修した単位は、選択科目ⅠC群の卒業に必要な単位数を満たしていない場合は、8単位を上限として選択科目ⅠC群の単位に算入する。

Registration Code		Course Name, Class	Year	Term	Instructor	R= Required E= Elective	Credits	Ex= Exercise L= Lecture P= Practical training
Course Code	Class Code							
●Foundation Courses > Academic and Research Skills								
12001103		Academic Presentations and Debate	1-	Spring	Jay KLAPHAKE	E	2	Ex
12001104	001	Academic Writing ①	1-	Spring	Michael GRECO	E	2	Ex
12001104	002	Academic Writing ②	1-	Spring	Michael GRECO	E	2	Ex
12001104	003	Academic Writing ③	1-	Fall	Michael GRECO	E	2	Ex
12001104	004	Academic Writing ④	1-	Fall	Michael GRECO	E	2	Ex
12001105		Mathematical Methods for the Social Sciences	1-	Fall	Takehiko NAKAMA	E	2	Ex/L
12001120		Probability for the Social Sciences	1-	Spring	Takehiko NAKAMA	E	2	L
12001106		Introduction to Asian Philosophy and Thought	1-	Spring	Federica SGARBI	E	2	L
12001107		Introduction to Social, Political, and Economic Thought	1-	Fall	Huseyin RASIT	E	2	L
12001108		Introduction to Philosophy and Ethics	1-	Fall	Federica SGARBI	E	2	L
12001109		Introduction to Qualitative Research Methods	2-	Fall	Jennifer MCGUIRE	E	2	L
12001110		Introduction to Quantitative Research Methods	2-	Fall	Takehiko NAKAMA	E	2	L
12001121		Advanced Mathematical Methods for the Social Sciences	2-	Spring	Takehiko NAKAMA	E	2	Ex/L
●Foundation Courses > Understanding Japan and Kyoto								
12001112		Communities of Practice in Japan	1-	Spring	Randall CHANNELL	E	2	L/P
12001113		Japanese Issues and Topics	1-	Spring	Jane SINGER	E	2	L
12001114		Introduction to Kyoto	1-	Spring	Xiangming CHEN	E	2	L
12001115		Doshisha and Christianity	1-	Spring	Doron COHEN	E	2	L
12001116		Geography of Japan	1-	—	Not Offered	E	2	L
12001117		Nature and the Environment in Japan	1-	Fall	Hiroaki ISHII	E	2	L
12001118		Religion in Japan	1-	Fall	Catherine LUDVIK	E	2	L
12001119		Understanding and Experiencing Work in Japan	2-	Fall	Naomi KONISHI	E	2	L
●Concentration Courses > Japanese Society and Global Culture Concentration > Introductory								
12001201		What Makes Humans Human?	1-	Fall	Jennifer MCGUIRE	E	2	L
12001202		Introduction to Japanese History	1-	Spring	David UVA	E	2	L
12001203		Manga and Anime Studies	1-	Fall	Omar Yusef BAKER	E	2	L
12001204		Japanese Society and Culture	1-	Spring	Jennifer MCGUIRE	E	2	L
12001205		Introduction to the Arts	1-	Fall	Haruhisa KAWAMURA	E	2	L
12001206		Introduction to Media and Communications	1-	Fall	Urszula FREY	E	2	L
12001207		Introduction to Globalization	1-	Spring	Gregory POOLE	E	2	L
12001208		World Civilizations	1-	Fall	Masumi IZUMI	E	2	L
●Concentration Courses > Japanese Society and Global Culture Concentration > Intermediate								
12001209		Media in Japan	2-	Fall	Urszula FREY	E	2	L
12001210		Japanese and World Literature	2-	Spring	Maria L. CORREA	E	2	L
12001211		World, Youth, and Pop Culture	2-	Spring	Omar Yusef BAKER	E	2	L
12001212		Ethnicity in Japan	2-	Fall	Jane SINGER	E	2	L
12001213		Japan in the World: Cultural Flows and Diasporas	2-	Spring	Gavin J. CAMPBELL	E	2	L
12001214		Social Foundations of Language	2-	Fall	Gregory POOLE	E	2	L
12001215		Asian Civilizations	2-	Spring	Tomoko MAKIDONO	E	2	L
12001216		Modern Japanese History	2-	Fall	David UVA	E	2	L
●Concentration Courses > Japanese Society and Global Culture Concentration > Advanced								
12001217		Social Foundations of Education	3-	Spring	Gregory POOLE	E	2	L
12001218		Nations and Nationalism	3-	Fall	David UVA	E	2	L
12001219		Advanced Themes in Anthropology	3-	Fall	Gregory POOLE	E	2	L
12001220		Disaster Studies	3-	Spring	Jane SINGER	E	2	L
12001221		Social Inequalities in Japan	3-	Spring	Jennifer MCGUIRE	E	2	L
12001222		Colonialism and Imperialism	3-	Spring	David UVA	E	2	L
12001223		Advanced Media Studies	3-	Spring	Urszula FREY	E	2	L
12001224		Migration and Transnationalism	3-	Fall	Jane SINGER	E	2	L

Registration Code		Course Name, Class	Year	Term	Instructor	R= Required E= Elective	Credits	Ex= Exercise L= Lecture P= Practical training
Course Code	Class Code							
●Concentration Courses > Japanese Business and the Global Economy Concentration > Introductory								
I2001301		Introduction to Contemporary Economics and Business	1-	Fall	Marcelo FUKUSHIMA	E	2	L
I2001302		Introduction to the Japanese Economy	1-	Fall	I-Chun CHEN	E	2	L
I2001303		Macroeconomics	1-	Spring	Colin DAVIS	E	2	L
I2001304		Microeconomics	1-	Fall	Colin DAVIS	E	2	L
I2001305		Introduction to Finance	1-	Spring	Yukihiro NISHIMURA	E	2	L
I2001306		Introduction to Business Administration	1-	Fall	Marc BREMER	E	2	L
I2001307		Introduction to Accounting	1-	Spring	Gustavo TANAKA	E	2	L
I2001308		Society and Economy in Kyoto	1-	Spring	David ADEBAHR	E	2	L
●Concentration Courses > Japanese Business and the Global Economy Concentration > Intermediate								
I2001309		Consumers and the Market in Japan	2-	Fall	Tadashi YAGI	E	2	L
I2001310		Ecology and Economy in Japan	2-	Fall	Yoshihiko WADA	E	2	L
I2001311		Industry and Labor in Japan	2-	Spring	Diane HARING	E	2	L
I2001312		The Creative Industries in Contemporary Japan	2-	Spring	Grace L. GONZALEZ BASURTO	E	2	L
I2001313		The Financial System in Japan	2-	Fall	Yukihiro NISHIMURA	E	2	L
I2001314		Financial Accounting in Japan	2-	Spring	Gustavo TANAKA	E	2	L
I2001315		Introduction to Marketing	2-	Fall	Binh NGHIEM-PHU	E	2	L
I2001316		Japanese Corporations	2-	Spring	Gustavo TANAKA	E	2	L
●Concentration Courses > Japanese Business and the Global Economy Concentration > Advanced								
I2001317		Economic Growth	3-	Fall	Colin DAVIS	E	2	L
I2001318		International Economics	3-	Spring	Colin DAVIS	E	2	L
I2001319		Corporate Strategy and Organization	3-	Spring	Tao WANG	E	2	L
I2001320		Management Accounting in Japan	3-	Fall	Gustavo TANAKA	E	2	L
I2001321		International Marketing	3-	Spring	Tsutomu HARADA	E	2	L
I2001322		International Business Communication	3-	Spring	Parissa HAGHIRIAN	E	2	L
I2001323		Industry and Corporation in Kyoto	3-	Fall	Emily CHUNG-MOYA	E	2	L
I2001324		Contemporary Issues in Business and Economics	3-	Fall	Gustavo TANAKA	E	2	L
●Concentration Courses > Japanese Politics and Global Studies Concentration > Introductory								
I2001401		The Politics of Growth in Developing Countries	1-	Spring	Kushelevich HADAS	E	2	L
I2001402		Winners and Losers: Introduction to Political Theory	1-	Spring	Garth WARRIES	E	2	L
I2001403		Introduction to Japanese Law	1-	Fall	Colin P.A. JONES	E	2	L
I2001404		Power and Politics in Japan	1-	Spring	Gill STEEL	E	2	L
I2001405		Introduction to Comparative Policymaking	1-	Fall	Aysun UYAR	E	2	L
I2001406		Introduction to International Relations	1-	Spring	Mark SELZER	E	2	L
I2001407		Comparative Politics	1-	Fall	Esta Tina OTTMAN	E	2	L
I2001408		Peace and Conflict	1-	Fall	Ian Robert GIBSON	E	2	L
●Concentration Courses > Japanese Politics and Global Studies Concentration > Intermediate								
I2001409		Citizen Politics in Japan and Beyond	2-	Fall	Gill STEEL	E	2	L
I2001410		International Relations in East Asia	2-	Spring	Viriya CHEAMPHAN	E	2	L
I2001411		Postwar Japan — U.S. Relations	2-	Fall	Thomas FRENCH	E	2	L
I2001412		What Makes Countries Poor?	2-	Spring	Dirk HEBECKER	E	2	L
I2001413		International Human Rights Law	2-	Fall	Jay KLAPHAKE	E	2	L
I2001414		Political Behavior, Campaigns and Elections	2-	Fall	Gill STEEL	E	2	L
I2001415		Civic Engagement	2-	Spring	Ian Robert GIBSON	E	2	L
I2001416		Public Opinion and Political Psychology	2-	Spring	Esta Tina OTTMAN	E	2	L

Registration Code		Course Name, Class	Year	Term	Instructor	R= Required E= Elective	Credits	Ex= Exercise L= Lecture P= Practical training
Course Code	Class Code							
●Concentration Courses > Japanese Politics and Global Studies Concentration > Advanced								
I2001417		Topics in Public Policy	3-	Spring	Viriya CHEAMPHAN	E	2	L
I2001418		Mass Media in the Policymaking Process	3-	Spring	David ADEBAHR	E	2	L
I2001419		International Law and Organizations	3-	Spring	Jay KLAPHAKE	E	2	L
I2001420		International Political Economy	3-	Fall	Thomas SCHALOW	E	2	L
I2001421		Development and Law	3-	Fall	Jay KLAPHAKE	E	2	L
I2001422		Topics in Japan's Contemporary International Relations	3-	Spring	Garth WARRIES	E	2	L
I2001423		Social Movements and Contentious Politics	3-	Fall	Garth WARRIES	E	2	L
I2001424		Politics through Film	3-	Spring	Gill STEEL	E	2	L
●Other Elective Courses								
I2001802	011	Special Lecture Series (The World of Ideas in a Revolutionary Age: Europe in the Eighteenth Century) ㉑	I-	Spring	Susannah R. OTTAWAY	E	2	L
I2001802	098	Special Lecture Series (A Field Course on Natural Resources and the Environment) ㉒	I-	Spring	Hiroaki ISHII	E	2	L

免許・資格関係科目

2023～2014年度生対象

■ 共通選択科目

■ 自由科目

免許・資格
関係科目

2023～
2014年度生

ここに掲載する科目は、免許・資格（教職免許、図書館司書資格、学校図書館司書教諭資格）に必要な科目のうち、とくに社会学部の各学科で開講している科目です。免許・資格に必要なすべての科目が掲載されているわけではありませんので注意してください。

この一覧に掲載されていない科目を履修する場合は、当該科目を設置している学部・学科の『履修要項』開講科目一覧表を参照してください。設置学部・学科がわからない科目があれば、事務室に問い合わせてください。

免許・資格に必要なすべての科目については、入学年度の『免許・資格関係 履修要項』を参照してください。

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など					
		科目コード	クラスコード										
免許資格に関する科目	1～	10402643	001	日本の憲法	①	2	二宮 貴美	春2	日本の憲法 2016年度以降生のみ登録できる。				
			002	〃	②		二宮 貴美						
			003	〃	③		二宮 貴美			秋2			
			051	〃	⑤①		二宮 貴美			春2			
			052	〃	⑤②		田中 謙太			秋2			
			053	〃	⑤③		宮村 教平						
	1～	10402601	001	憲法1	①	2	二宮 貴美	春2	憲法1、2 日本国憲法 2015年度以前生のみ登録できる。				
			002	〃	②		二宮 貴美						
			003	〃	③		二宮 貴美			秋2			
			051	〃	⑤①		二宮 貴美			春2			
			052	〃	⑤②		田中 謙太			秋2			
			053	〃	⑤③		宮村 教平						
	1～	10402602		憲法2		2	休講						
	1～	10306010		日本国憲法		2	休講						
	1～	15010020 10952202	001	教育原理	①	2	佐藤 光友	春2	教育原理（15010020） 2018年度以降生のみ登録できる。 教育原理（10952202） 2017年度以前生のみ登録できる。				
			002	〃	②		佐藤 光友	秋2					
			003	〃	③		佐藤 光友	秋2					
			051	〃	⑤①		榎本 恵理	春2					
			052	〃	⑤②		榎本 恵理	秋2					
			053	〃	⑤③		和田 充弘	春2					
			054	〃	⑤④		森口 洋一	秋2					
			055	〃	⑤⑤		長谷川 精一	秋2					
			056	〃	⑤⑥		長谷川 精一	春2					
			1～	15010010 10952201	001		教職概論	①		2	中瀬 浩一	秋2	教職概論（15010010） 2018年度以降生のみ登録できる。 教職概論（10952201） 2017年度以前生のみ登録できる。
					002		〃	②			井上 浩史	春2	
					003		〃	③			沖田 悟傳	春2	
					004		〃	④			沖田 悟傳	春2	
					005		〃	⑤			大橋 忠司	秋2	
	051	〃			⑤①	大橋 忠司	秋2						
	052	〃			⑤②	大橋 忠司	秋2						
	053	〃			⑤③	沖田 悟傳	春2						
	054	〃			⑤④	中瀬 浩一	秋2						
055	〃	⑤⑤			井上 浩史	春2							
056	〃	⑤⑥			中瀬 浩一	春2							
2～	15010041	001			教育制度と学校経営	①	2	柳澤 彰紀	春2		2019年度以降生のみ登録できる。		
		002	〃	②	沖田 悟傳	秋2							
		051	〃	⑤①	柳澤 彰紀	春2							
		052	〃	⑤②	柳澤 彰紀	春2							
		053	〃	⑤③	沖田 悟傳	秋2							

共通選択科目（免許資格に関する科目）

2023～2014年度生対象

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など					
		科目コード	クラスコード										
免許資格に関する科目	2～	15010040 10952203	001	学校経営と法規	①	2	柳澤 彰紀	春2	学校経営と法規(15010040) 2018年度生のみ登録できる。 学校経営と法規(10952203) 2017年度以前生のみ登録できる。				
			002	〃	②		沖田 悟傳	秋2					
			051	〃	⑤①		柳澤 彰紀	春2					
			052	〃	⑤②		柳澤 彰紀	春2					
			053	〃	⑤③		沖田 悟傳	秋2					
	2～	15010050 10912117	001	学校教育社会学	①	2	野村 洋平	秋2		学校教育社会学(15010050) 2018年度以降生のみ登録できる。 学校教育社会学(10912117) 2015～2017年度生のみ登録できる。			
			051	〃	⑤①		高山 育子	春2					
			052	〃	⑤②		高山 育子	秋2					
	2～	10912106	教育社会学(1)		2	尾嶋 史章	秋2	2014年度以前生のみ登録できる。社会・教育文化学科生は選択科目Iに参入される。					
	2～	10912107	001	教育社会学(2)	①	2	野村 洋平				秋2		
			051	〃	⑤①		高山 育子		春2				
			052	〃	⑤②		高山 育子	秋2					
	1～	15010060 10952237	053	人権教育論	⑤③	2	板垣 竜太 福岡 正章 落合 明子 小島 秀信	秋2	人権教育論(15010060) 2018年度以降生のみ登録できる。社会学部生はクラス⑤のみ登録できる。 人権教育論(10952237) 2013～2017年度生のみ登録できる。社会学部生はクラス⑤のみ登録できる。				
	1～ (2019年度以降生) 2～ (2018年度以前生)	15010030 11700405	001	発達と学習の心理学	①	2	内山 伊知郎	秋2	発達と学習の心理学(15010030) 2018年度以降生のみ登録できる。 発達と学習の心理学(11700405) 2017年度以前生のみ登録できる。				
			002	〃	②		田中 希穂	春2					
			003	〃	③		田中 希穂	秋2					
			004	〃	④		田中 希穂	春2					
			005	〃	⑤		山口 洋介	春2					
			006	〃	⑥		石井 僚	秋2					
			051	〃	⑤①		内山 伊知郎	春2					
			052	〃	⑤②		田中 希穂	春2					
			053	〃	⑤③		山口 洋介	秋2					
			054	〃	⑤④		羽野 ゆつ子	秋2					
			055	〃	⑤⑤		山口 洋介	春2					
			2～	15010070 10952229	001		教育課程論	①		2	奥野 浩之	春2	教育課程論(15010070) 2018年度以降生のみ登録できる。 教育課程論(10952229) 2017年度以前生のみ登録できる。
					002		〃	②			佐藤 光友	春2	
	003	〃			③	奥野 浩之	秋2						
	051	〃			⑤①	佐藤 光友	春2						
	052	〃			⑤②	奥野 浩之	春2						
	053	〃			⑤③	奥野 浩之	春2						
	054	〃			⑤④	奥野 浩之	秋2						
	055	〃			⑤⑤	佐藤 光友	秋2						
	2～	15010080 10952227	001	道徳教育の理論と実践	①	2	倉本 香	秋2	道徳教育の理論と実践(15010080) 2018年度以降生のみ登録できる。 道徳教育の理論と実践(10952227) 2017年度以前生のみ登録できる。				
			002	〃	②		山口 洋介	春2					
			003	〃	③		山口 洋介	秋2					
051			〃	⑤①	和田 充弘		春2						
052			〃	⑤②	倉本 香		春2						
053			〃	⑤③	山口 洋介		春2						
054			〃	⑤④	山口 洋介		秋2						
055			〃	⑤⑤	和田 充弘		秋2						

免許・資格
関係科目

2023～
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など
		科目コード	クラスコード					
免許資格に関する科目	2~	15010091	001	特別活動と総合的な学習の時間の指導法 ①	2	大橋 忠司	春2	「特別活動論」を未履修かつ未登録であること と「特別活動論」を履修済で、卒業後に大学院生または科目等履修生として一種免許を取得する予定の者は、免許資格関係科目(M登録)としてのみ登録できる。履修を希望する者は、事前に免許資格課程センターに申し出ること。
			002	〃 ②		大橋 忠司	秋2	
			003	〃 ③		柳澤 彰紀	秋2	
			051	〃 ⑤1		柳澤 彰紀	春2	
			052	〃 ⑤2		大橋 忠司	春2	
			053	〃 ⑤3		大橋 忠司	秋2	
			054	〃 ⑤4		柳澤 彰紀	秋2	
			055	〃 ⑤5		長谷川 豊	秋2	
	2~	15010111	001	教育方法とICT活用の理論と実践 ①	2	井内 伸栄	秋2	2022年度以降生のみ登録できる。クラス③・④・⑤は先行登録科目である。詳細は『登録要領』参照。
			002	〃 ②		田中 希穂	秋2	
			003	〃 ③		岡本 真彦	春2	
			004	〃 ④		岡本 真彦	春2	
			005	〃 ⑤		岡本 真彦	秋2	
			051	〃 ⑤1		平野 哲司	春2	
			052	〃 ⑤2		田中 希穂	秋2	
			053	〃 ⑤3		沼田 潤	秋2	
			054	〃 ⑤4		池田 恭浩	秋2	
			055	〃 ⑤5		平野 哲司	春2	
	2~	15010110 10952235	001	教育方法論 ①	2	井内 伸栄	秋2	教育方法論(15010110) 2018~2021年度生のみ登録できる。クラス③・④・⑤は先行登録科目である。詳細は『登録要領』参照。 教育方法論(10952235) 2013~2017年度生のみ登録できる。クラス③・④・⑤は先行登録科目である。詳細は『登録要領』参照。
			002	〃 ②		田中 希穂	秋2	
			003	〃 ③		岡本 真彦	春2	
			004	〃 ④		岡本 真彦	春2	
			005	〃 ⑤		岡本 真彦	秋2	
			051	〃 ⑤1		平野 哲司	春2	
			052	〃 ⑤2		田中 希穂	秋2	
			053	〃 ⑤3		沼田 潤	秋2	
			054	〃 ⑤4		池田 恭浩	秋2	
			055	〃 ⑤5		平野 哲司	春2	
	2~	15010120 11700412	001	生徒・進路指導の理論と方法 ①	2	神山 貴弥	秋2	生徒・進路指導の理論と方法(15010120) 2018年度以降生のみ登録できる。 生徒・進路指導の理論と方法(11700412) 2013~2017年度生のみ登録できる。
			002	〃 ②		井上 浩史	秋2	
			003	〃 ③		山本 桂子	春2	
			004	〃 ④		大橋 忠司	春2	
			051	〃 ⑤1		井上 浩史	春2	
			052	〃 ⑤2		大橋 忠司	春2	
			053	〃 ⑤3		井上 浩史	秋2	
			054	〃 ⑤4		大橋 忠司	春2	
			055	〃 ⑤5		山本 桂子	秋2	
			3~	15010141		001	教育相談の理論と方法 ①	
	002	〃 ②			市来 百合子	春2		
	003	〃 ③			牧 郁子	秋2		
	051	〃 ⑤1			藤井 恭子	秋2		
	052	〃 ⑤2			中西 陽	秋2		
053	〃 ⑤3	河崎 俊博			秋2			
054	〃 ⑤4	中西 陽			春2			
3~	15010140 11700411	001	学校カウンセリング ①	2	石川 信一	春2	学校カウンセリング(15010140) 2018年度生のみ登録できる。 学校カウンセリング(11700411) 2017年度以前生のみ登録できる。	
		002	〃 ②		市来 百合子	春2		
		003	〃 ③		牧 郁子	秋2		
		051	〃 ⑤1		藤井 恭子	秋2		
		052	〃 ⑤2		中西 陽	秋2		
		053	〃 ⑤3		河崎 俊博	秋2		
		054	〃 ⑤4		中西 陽	春2		

共通選択科目（免許資格に関する科目）

2023～2014年度生対象

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間時間	履修条件など	
		科目コード	クラスコード						
免許資格に関する科目	3～	10952218		教育実習A	2	鶴飼 孝造 森口 洋一	集中	卒業予定の年度に「教育実習」「教育実習指導」「教職実践演習（中・高）」の3科目をセットで登録すること。中一種免及び中高両方の場合は「教育実習C」を、高一種免のみの場合は「教育実習B」を履修すること。「教育実習A」は基本的には履修できない。履修を希望する場合は事前に免許資格課程センター事務室まで相談すること。	
	4	10952219		教育実習B	2	鶴飼 孝造 森口 洋一	集中		
	4	10952220		教育実習C	4	鶴飼 孝造 森口 洋一	集中		
	4	10952236		教育実習指導	1	鶴飼 孝造 森口 洋一	春秋1		
	4	10952230		教職実践演習（中・高）	2	鶴飼 孝造 森口 洋一	秋2		
	2～	10952175		学校教育文化論（1）	2	田中 希穂	春2		
	2～	10952176		学校教育文化論（2）	2	休講	秋2	教育文化学科2018年度以降生はメジャー科目B群に算入される。教育文化学科2010～2017年度生は選択科目ICに参入される。	
	2～	10952160		生涯教育計画論	2	中川 吉晴	春2	教育文化学科2018年度以降生はメジャー科目B群に算入される。教育文化学科2010～2017年度生は選択科目ICに参入される。	
	2～	10952181		多文化共生社会と生涯学習	2	西平 直	秋2	2018年度以降生のみ登録できる。教育文化学科2018年度以降生はメジャー科目B群に算入される。	
	2～	10952161		比較生涯学習論	2	西平 直	秋2	2017年度以前生のみ登録できる。教育文化学科2010～2017年度生は選択科目ICに参入される。	
	2～	15020040 10952222	001	読書と豊かな人間性	①	2	米谷 優子	春2	読書と豊かな人間性(15020040)2018年度以降生のみ登録できる。 読書と豊かな人間性(10952222)2017年度以前生のみ登録できる。
	051		〃	⑤1	岩崎 れい		春2		
	052		〃	⑤2	井上 靖代		秋2		
	2～	15010230 10952238	001	社会科・地理歴史科教育法	①	2	本多 千明	春2	社会科・地理歴史科教育法(15010230)2018年度以降生のみ登録できる。 社会科・地理歴史科教育法(10952238)2013～2017年度生のみ登録できる。
	051		〃	⑤1	須原 洋次		秋2		
	052		〃	⑤2	森口 洋一		秋2		
	053		〃	⑤3	角田 将士		春2		
	054		〃	⑤4	須原 洋次		春2		
	2～	15010240 10952239	001	社会科・公民科教育法	①	2	中澤 静男	春2	社会科・公民科教育法(15010240)2018年度以降生のみ登録できる。 社会科・公民科教育法(10952239)2013～2017年度生のみ登録できる。
	051		〃	⑤1	奥野 浩之		秋2		
052	〃		⑤2	佐藤 光友	春2				
053	〃		⑤3	本多 千明	春2				
2～	15010210 10952240	001	社会科教育法1	①	2	中澤 静男	春2	社会科教育法1(15010210)2018年度以降生のみ登録できる。 社会科教育法1(10952240)2013～2017年度生のみ登録できる。	
051		〃	⑤1	水山 光春		春2			
052		〃	⑤2	奥野 浩之 菊井 雅志		春2			
053		〃	⑤3	本多 千明		秋2			
2～	15010220 10952241	001	社会科教育法2	①	2	佐藤 光友	秋2	社会科教育法2(15010220)2018年度以降生のみ登録できる。 社会科教育法2(10952241)2013～2017年度生のみ登録できる。	
051		〃	⑤1	水山 光春		秋2			
052		〃	⑤2	児玉 祥一		秋2			
053		〃	⑤3	本多 千明		春2			
2～	15010250 10952208	001	地理歴史科教育法	①	2	本多 千明	秋2	地理歴史科教育法(15010250)2018年度以降生のみ登録できる。 地理歴史科教育法(10952208)2017年度以前生のみ登録できる。	
051		〃	⑤1	児玉 祥一		春2			
052		〃	⑤2	児玉 祥一		春2			
053		〃	⑤3	角田 将士		秋2			
2～	15010260 10952209	001	公民科教育法	①	2	奥野 浩之	秋2	公民科教育法(15010260)2018年度以降生のみ登録できる。 公民科教育法(10952209)2017年度以前生のみ登録できる。	
051		〃	⑤1	本多 千明		春2			
052		〃	⑤2	本多 千明		秋2			
053		〃	⑤3	森口 洋一		春2			

免許・資格
関係科目

2023～
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など		
		科目コード	クラスコード							
免許資格に関する科目	2~	10270316	001	日本文化史概説(1)	①	2	矢内 一磨	春2	日本文化史概説(1)、(2) 2016年度以降生のみ登録できる。	
			051	〃	⑤1		北 康宏	春2		
			101	〃	⑩		北 康宏	春2		
	2~	10270317	001	日本文化史概説(2)	①	2	矢内 一磨	秋2		
			051	〃	⑤1		北 康宏	秋2		
			101	〃	⑩		北 康宏	秋2		
	2~	10270117	001	東洋文化史概説(1)	①	2	山崎 岳	春2		
			051	〃	⑤1		城地 孝	春2		
			101	〃	⑩		城地 孝	秋2		
	2~	10270118	001	東洋文化史概説(2)	①	2	山崎 岳	秋2		
			051	〃	⑤1		張 子康	秋2		
			101	〃	⑩		張 子康	春2		
	2~	10270101	001	西洋文化史概説(1)	①	2	坂井 聰	春2		
			051	〃	⑤1		増永 理考	春2		
			052	〃	⑤2		井福 剛	春2		
			053	〃	⑤3		増永 理考	秋2		
			101	〃	⑩		井福 剛	秋2		
	2~	10270102	001	西洋文化史概説(2)	①	2	中村 年延	秋2		
			051	〃	⑤1		吉門 昌宏	秋2		
			052	〃	⑤2		大谷 誠	秋2		
			053	〃	⑤3		大谷 誠	春2		
			101	〃	⑩		中村 年延	春2		
	2~	10270095		日本社会史(1)		2	西岡 直樹	春2		
	2~	10270096		日本社会史(2)		2	西岡 直樹	秋2		
	2~	10407135		日本経済史1		2	古賀 康士	春2		日本経済史1(10407135)、 日本経済史2(10407136) 2019年度以前生のみ登録できる。
	2~	10403161		日本経済史1		2	古賀 康士	春2		
	2~	10407136		日本経済史2		2	古賀 康士	秋2		日本経済史1(10403161)、 日本経済史2(10403162) 2020年度以降生のみ登録できる。
	2~	10403162		日本経済史2		2	古賀 康士	秋2		
	1~	10932101		ジャーナリズム史		2	樋口 摩彌	春2		
	1~	10932102		メディア史		2	樋口 摩彌	秋2		
	2~	10270097		考古学概論(1)		2	水ノ江 和同	春2		
	2~	10270098		考古学概論(2)		2	水ノ江 和同	秋2		
2~	10307663		近代ヨーロッパ政治史		2	カ久 昌幸	春2			
2~	10307664		現代ヨーロッパ政治史		2	カ久 昌幸	秋2			
2~	10407143		世界経済史1		2	齊藤 健太郎	春2	世界経済史1(10407143)、 世界経済史2(10407144) 2019年度以前生のみ登録できる。		
2~	10403169		世界経済史1		2	齊藤 健太郎	春2			
2~	10407144		世界経済史2		2	齊藤 健太郎	秋2	世界経済史1(10403169)、 世界経済史2(10403170) 2020年度以降生のみ登録できる。		
2~	10403170		世界経済史2		2	齊藤 健太郎	秋2			
2~	10270105		西洋社会史(1)		2	藤原 辰史	春2			
2~	10270106		西洋社会史(2)		2	服部 伸	秋2			
2~	10270311		アメリカ大西洋史(1)		2	小野 直子	春2	アメリカ大西洋史(1)、(2) 2013年度以降生のみ登録できる。		
2~	10270312		アメリカ大西洋史(2)		2	小野 直子	秋2			
2~	10270127	001	人文地理学(1)	①	2	川口 洋	春2			
		051	〃	⑤1		本岡 拓哉	春2			
		101	〃	⑩		佐野 静代	春2			
2~	10270128	001	人文地理学(2)	①	2	川口 洋	秋2			
		051	〃	⑤1		本岡 拓哉	秋2			
		101	〃	⑩		佐野 静代	秋2			

共通選択科目（免許資格に関する科目）

2023～2014年度生対象

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など		
		科目コード	クラスコード							
免許資格に関する科目	2～	10270420	001	地理学総論(1)	①	津村 宏臣	春2	地理学総論(1)、 地理学総論(2) 2013年度以降生のみ登録できる。社会学部生はクラス①、⑩を登録すること。ただし、免許資格取得のために履修する場合のみ、社会学部生もクラス⑤を履修可。免許資格課程センターに事前に相談のこと。		
			101	〃	⑩	古関 大樹	春2			
	2～	10270421	001	地理学総論(2)	①	津村 宏臣	秋2			
			101	〃	⑩	古関 大樹	秋2			
	2～	10912105		社会人類学		4	板垣 竜太		秋4	
	2～	10270078	001	地誌学	①	古関 大樹	秋2			
			051	〃	⑤①	古関 大樹	春2			
			052	〃	⑤②	佐野 静代	秋2			
			101	〃	⑩	佐野 静代	春2			
	2～	10912004		エリアスタディ概論		2	PANG JUN		春2	
	1～	10912003	001	社会学概論	①	平尾 一朗	秋4		クラス⑤は社会学科生のみ登録できる。クラス⑥は社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科生のみ登録できる。クラス①・③・④・⑩は他学部生のみ登録できる。社会学科生は必修科目に、メディア学科生は選択科目Iに参入される。	
			051	〃	⑤①	鶴飼 孝造	秋4			
			052	〃	⑤②	川見 文紀	春4			
			053	〃	⑤③	松村 淳	春4			
			101	〃	⑩	西岡 暁廣	春4			
	3～	10305359	001	経済原論	①	小田 勇一	春秋2			
			051	〃	⑤①	小田 勇一 澤田 有希子	春4			
	2～	10308381		国際法総論I		2	浅田 正彦		秋2	
	2～	10305155		比較政治		2	カ久 昌幸		秋2	
	3～	10307325		比較憲法		2	休講			
	2～	10308201	002	民法Ia(総則①)	②	神谷 遊	秋2		民法Ia(総則①) 1クラス2013年度以降生のみ登録できる。	
	2～	10308201	002	民法Ia(総則①)	②	上田 誠一郎	秋2		民法Ia(総則①) 2クラス2013年度以降生のみ登録できる。	
	2～	10308202		民法Ib(総則②)		2	野々村 和喜		春2	民法Ib(総則②) 2013年度以降生のみ登録できる。
	3～	10240107	001	哲学概論(1)	①	新 茂之	春2			
			051	〃	⑤①	新 茂之	春2			
	3～	10240108	001	哲学概論(2)	①	新 茂之	秋2			
			051	〃	⑤①	新 茂之	秋2			
	3～	10240109	001	倫理学概論(1)	①	林 克樹	春2			
			051	〃	⑤①	林 克樹	春2			
	3～	10240110	001	倫理学概論(2)	①	林 克樹	秋2			
			051	〃	⑤①	林 克樹	秋2			
	3～	10240103	001	宗教学概論(1)	①	休講				
			051	〃	⑤①	古荘 匡義	春2			
	3～	10240104	001	宗教学概論(2)	①	休講				
			051	〃	⑤①	古荘 匡義	秋2			
	2～	11700001	002	心理学概論(1)	②	余語 真夫	春2			
051			〃	⑤①	井上 毅	春2				
052			〃	⑤②	敦賀 麻理子	春2				
053			〃	⑤③	谷口 康祐	春2				
2～	11700002	002	心理学概論(2)	②	余語 真夫	秋2				
		051	〃	⑤①	井上 毅	秋2				
		052	〃	⑤②	敦賀 麻理子	秋2				
		053	〃	⑤③	谷口 康祐	秋2				

免許・資格
関係科目

2023～
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など	
		科目コード	クラスコード						
免許資格に関する科目	1～	15030010 10952223	001	生涯学習概論	①	2	佐藤 聡子	秋2	生涯学習概論(15030010) 2018年度以降生のみ登録できる。 生涯学習概論(10952223) 2017年度以前生のみ登録できる。
			051	//	㊦		神部 純一	春2	
			052	//	㊧		神部 純一	秋2	
	2～	15030040 10952233	001	図書館情報技術論	①	2	原田 隆史	春2	図書館情報技術論(15030040) 2018年度以降生のみ登録できる。 図書館情報技術論(10952233) 2017年度以前生のみ登録できる。
			051	//	㊦		原田 隆史	春2	
			101	//	㊨		原田 隆史	秋2	
	2～	15030110	001	情報資源組織論Ⅰ	①	2	松田 泰代	春2	2018年度以降生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。情報資源組織論Ⅱは「情報資源組織論Ⅰ」を過学期までに履修済であること。
			051	//	㊦		松田 泰代	春2	
			101	//	㊨		松田 泰代	春2	
	2～	15030120	001	情報資源組織論Ⅱ	①	2	松田 泰代	秋2	
			051	//	㊦		松田 泰代	秋2	
			101	//	㊨		松田 泰代	秋2	
	2～	10952232	001	情報資源組織論	①	4	松田 泰代	春秋2	2017年度以前生のみ登録できる。
			051	//	㊦		松田 泰代	春秋2	
			101	//	㊨		松田 泰代	春秋2	
	2～	15030180 10952231	051	図書・図書館史		2	佐藤 翔	春2	図書・図書館史(15030180) 2018年度以降生のみ登録できる。 図書・図書館史(10952231) 2017年度以前生のみ登録できる。

自由科目（免許資格に関する科目）

2023～2014年度生対象

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など
		科目コード	クラスコード					
自由科目 (免許資格に関する科目)	1～	10306008	001	教職コンピュータ基礎 ①	2	多久和 英樹 藤田 成隆 館野 浩司 竹山 理	春2	教職コンピュータ基礎 先行登録科目である。 詳細は『登録要領』参照。
			002	〃 ②		多久和 英樹 藤田 成隆 館野 浩司 竹山 理	春2	
			003	〃 ③		田中 規久雄	春2	
			004	〃 ④		下倉 雅行	秋2	
			005	〃 ⑤		下倉 雅行	秋2	
	1～	15010151	001	特別ニーズ教育論 ①	2	廣中 嘉隆 空閑 浩人	秋2	特別ニーズ教育論 2019年度以降生のみ登 録できる。
			002	〃 ②		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			003	〃 ③		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	
			004	〃 ④		廣中 嘉隆 空閑 浩人	春2	
			051	〃 ⑤①		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			052	〃 ⑤②		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	
			053	〃 ⑤③		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			054	〃 ⑤④		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	
			055	〃 ⑤⑤		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			056	〃 ⑤⑥		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	
	1～	15010150 10952242	001	特別支援と福祉の教育 ①	2	廣中 嘉隆 空閑 浩人	秋2	特別支援と福祉の教育(15010150) 2018年度生のみ登録で きる。 特別支援と福祉の教育(10952242) 2017年度以前生のみ登 録できる。
			002	〃 ②		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			003	〃 ③		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	
			004	〃 ④		廣中 嘉隆 空閑 浩人	春2	
			051	〃 ⑤①		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			052	〃 ⑤②		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	
			053	〃 ⑤③		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			054	〃 ⑤④		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	
			055	〃 ⑤⑤		中瀬 浩一 空閑 浩人	春2	
			056	〃 ⑤⑥		中瀬 浩一 空閑 浩人	秋2	

免許・資格
関係科目

2023～
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など
		科目コード	クラスコード					
自由科目 (免許資格に関する科目)	2～	15010160	001	スクールインターンシップ	①	柳澤 彰紀	秋集中	スクールインターンシップ(15010160)登録時までに「教職概論」を履修済であること。募集校種の免許状の教職課程登録を行っていること。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。
			051	〃	㊦	井上 浩史	秋集中	
	2～	15020010 10952167	001	学校教育図書館論	①	西浦 富美子	春2	学校教育図書館論(15020010)2018年度以降生のみ登録できる。 学校教育図書館論(10952167)2017年度以前生のみ登録できる。
			051	〃	㊦	坂下 直子	春2	
			101	〃	㊰	佐藤 毅彦	春2	
	2～	15020020 10952809	001	学校図書館メディアの構成	①	枝元 益祐	春2	学校図書館メディアの構成(15020020)2018年度以降生のみ登録できる。 学校図書館メディアの構成(10952809)2017年度以前生のみ登録できる。
			051	〃	㊦	坂下 直子	春2	
			101	〃	㊰	坂下 直子	春2	
	2～	15020030 10952810	001	学習指導と学校図書館	①	西浦 富美子	秋2	学習指導と学校図書館(15020030)2018年度以降生のみ登録できる。 学習指導と学校図書館(10952810)2017年度以前生のみ登録できる。
			051	〃	㊦	大平 睦美	春2	
			101	〃	㊰	大平 睦美	春2	
	2～	15020050 10952811	001	情報メディアの活用	①	枝元 益祐	春2	情報メディアの活用(15020050)2018年度以降生のみ登録できる。クラス㊦、㊰は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。 情報メディアの活用(10952811)2017年度以前生のみ登録できる。クラス㊦、㊰は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。
			051	〃	㊦	笠井 詠子	秋2	
			101	〃	㊰	笠井 詠子	春2	
			102	〃	㊱	休講		
	1～	15030020	001	図書館情報学概論	①	原田 隆史	春2	図書館情報学概論(15030020)2018年度以降生のみ登録できる。
			051	〃	㊦	原田 隆史	春2	
			101	〃	㊰	原田 隆史	秋2	
	1～	10952224	001	図書館・情報学概論	①	原田 隆史	春2	図書館・情報学概論(10952224)2017年度以前生のみ登録できる。
			051	〃	㊦	原田 隆史	春2	
			101	〃	㊰	原田 隆史	秋2	
	2～	15030030 10952815	001	図書館制度・経営論	①	瀬戸口 誠	秋2	図書館制度・経営論(15030030)2018年度以降生のみ登録できる。 図書館制度・経営論(10952815)2017年度以前生のみ登録できる。
			051	〃	㊦	嶋田 学	秋2	
			101	〃	㊰	嶋田 学	春2	
1～	15030050	001	図書館情報サービス論Ⅰ	①	松田 泰代	春2	2018年度以降生のみ登録できる。図書館情報サービス論Ⅰは、「図書館情報サービス論Ⅱ」を過学期までに履修済であること。図書館情報サービス論Ⅱのクラス㊦は先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。	
		051	〃	㊦	嶋田 学	春2		
		101	〃	㊰	瀬戸口 誠	春2		
1～	15030060	001	図書館情報サービス論Ⅱ	①	瀬戸口 誠	秋2	2017年度以前生のみ登録できる。	
		051	〃	㊦	松田 泰代	秋2		
		101	〃	㊰	嶋田 学	秋2		
1～	10952812	001	図書館情報サービス論	①	松田 泰代 瀬戸口 誠	春秋2	2017年度以前生のみ登録できる。	
		051	〃	㊦	嶋田 学 松田 泰代	春秋2		
		101	〃	㊰	瀬戸口 誠 嶋田 学	春秋2		
2～	15030070 10952805	001	児童サービス論	①	米谷 優子	春2	児童サービス論(15030070)2018年度以降生のみ登録できる。 児童サービス論(10952805)2017年度以前生のみ登録できる。	
		051	〃	㊦	井上 靖代	秋2		
		101	〃	㊰	井上 靖代	春2		

自由科目（免許資格に関する科目）

2023～2014年度生対象

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など
		科目コード	クラスコード					
自由科目 (免許資格に関する科目)	2～	15030080 10952817	001	情報サービス演習Ⅰ	①	佐藤 聡子	秋2	情報サービス演習Ⅰ(15030080) 2018年度以降生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「図書館情報学概論」を過学期までに履修済であること。 情報サービス演習Ⅰ(10952817) 2017年度以前生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「図書館情報学概論」を過学期までに履修済であること。
			051	〃	⑤①	小松 泰信	春2	
			052	〃	⑤②	小松 泰信	春2	
			053	〃	⑤③	瀬戸口 誠	春2	
			101	〃	⑩①	逸村 裕	秋2	
	2～	15030090 10952818	001	情報サービス演習Ⅱ	①	米谷 優子	春2	情報サービス演習Ⅱ(15030090) 2018年度以降生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「図書館情報学概論」を過学期までに履修済であること。 情報サービス演習Ⅱ(10952818) 2017年度以前生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「図書館情報学概論」を過学期までに履修済であること。
			051	〃	⑤①	西浦 ミナ子	春2	
			052	〃	⑤②	西浦 ミナ子	秋2	
			053	〃	⑤③	西浦 ミナ子	秋2	
			101	〃	⑩①	西浦 ミナ子	春2	
	2～	15030100 10952813	001	図書館情報資源概論	①	谷合 佳代子	春2	図書館情報資源概論(15030100) 2018年度以降生のみ登録できる。 図書館情報資源概論(10952813) 2017年度以前生のみ登録できる。
			051	〃	⑤①	逸村 裕	秋2	
			101	〃	⑩①	江上 敏哲	春2	
	3～	15030130 10952819	001	情報資源組織演習Ⅰ	①	逸村 裕	春2	情報資源組織演習Ⅰ(15030130) 2018年度以降生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「情報資源組織論Ⅰ」を履修済もしくは同一セメスターに登録していること。 情報資源組織演習Ⅰ(10952819) 2017年度以前生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「情報資源組織論Ⅰ」を履修済もしくは同一セメスターに登録していること。
			051	〃	⑤①	松田 泰代	春2	
			052	〃	⑤②	松田 泰代	春2	
			101	〃	⑩①	松田 泰代	春2	
	3～	15030140 10952820	001	情報資源組織演習Ⅱ	①	佐藤 翔	秋2	情報資源組織演習Ⅱ(15030140) 2018年度以降生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「情報資源組織論Ⅱ」を履修済もしくは同一セメスターに登録していること。 情報資源組織演習Ⅱ(10952820) 2017年度以前生のみ登録できる。先行登録科目である。詳細は『登録要領』を参照。「情報資源組織論Ⅱ」を履修済もしくは同一セメスターに登録していること。
			051	〃	⑤①	佐藤 翔	秋2	
			052	〃	⑤②	佐藤 翔	秋2	
101			〃	⑩①	佐藤 翔	秋2		
2～	15030150		図書館情報学特論		2	原田 隆史	春2	2018年度以降生のみ登録できる。
2～	10952816		図書館基礎特論		2	原田 隆史	春2	2017年度以前生のみ登録できる。
2～	15030160 10952165		学術情報利用教育論		2	井上 真琴	秋2	学術情報利用教育論(15030160) 2018年度以降生のみ登録できる。 学術情報利用教育論(10952165) 2017年度以前生のみ登録できる。
2～	15040010		学校図書館サービス論		2	井上 靖代	春2	
2～	15030170 10952814	001	図書館情報資源特論	①	谷合 佳代子	春2	図書館情報資源特論(15030170) 2018年度以降生のみ登録できる。 図書館情報資源特論(10952814) 2017年度以前生のみ登録できる。	
		051	〃	⑤①	江上 敏哲	秋2		

免許・資格
関係科目2023～
2014年度生

科目群	履修年次	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など
		科目コード	クラスコード					
自由科目 （免許資格に関する科目）	3~	15030190 10952821	001	図書館演習	①	原田 隆史 佐藤 翔 逸村 裕	春秋2	図書館演習（15030190） 2018年度以降生のみ登録できる。以下の4科目を登録時に履修済であること「図書館情報学概論」、「図書館制度・経営論」、「図書館情報サービス論Ⅰ」、「図書館情報サービス論Ⅱ」 図書館演習（10952821） 2017年度以前生のみ登録できる。以下の4科目を登録時に履修済であること「図書館情報学概論」、「図書館制度・経営論」、「図書館情報サービス論Ⅰ」、「図書館情報サービス論Ⅱ」
			051	〃	⑤①	原田 隆史 佐藤 翔 西浦 ミナ子	春秋2	
			052	〃	⑤②	原田 隆史 佐藤 翔 西浦 ミナ子	春秋2	
			101	〃	⑩	原田 隆史 逸村 裕 西浦 ミナ子	春秋2	

日本語・日本文化教育科目

(付 外国語による科目の開講について)

- ・「日本語・日本文化教育科目」は、外国人留学生のみ履修できます。
- ・「外国語による科目」は、外国語により授業を行う、本学の科目を一覧表にしています。留学生に限らず、全ての学生が履修できます。

<日本語科目>

<2016年度以降生対象>

		登録コード		日本語レベルⅥ以上の科目のみ登録可						
日本語レベル	科目コード	クラスコード	科目名	クラス	単位	担当者	校地	期間時間	履修条件など	
I			日本語Ⅰ（口頭表現AⅠ）			休講		春2		
	19005501	001	日本語Ⅰ（口頭表現BⅠ）	1	1	吉川 夏渚子	田			
	19005501	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅠ）	51	1	松本 秀輔	今			
	19005501	101	日本語Ⅰ（口頭表現BⅠ）	101	1	松本 秀輔	今			
	19005601	001	日本語Ⅰ（文法Ⅰ）	1	1	梶原 雄	田			
	19005601	051	日本語Ⅰ（文法Ⅰ）	51	1	戸田 綾子	今			
	19005601	101	日本語Ⅰ（文法Ⅰ）	101	1	戸田 綾子	今			
II			日本語Ⅰ（口頭表現AⅡ）			休講				
	19005502	001	日本語Ⅰ（口頭表現BⅡ）	1	1	梶原 雄	田			
	19005502	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅡ）	51	1	大工原 勇人	今			
	19005502	101	日本語Ⅰ（口頭表現BⅡ）	101	1	大工原 勇人	今			
	19005602	001	日本語Ⅰ（文法Ⅱ）	1	1	仲渡 理恵子	田			
	19005602	051	日本語Ⅰ（文法Ⅱ）	51	1	徐 潤純	今			
III	19005602	101	日本語Ⅰ（文法Ⅱ）	101	1	徐 潤純	今			
			日本語Ⅰ（文章表現Ⅲ）			休講				
	19005503	001	日本語Ⅰ（口頭表現BⅢ）	1	1	寺崎 知之	田			
	19005503	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅢ）	51	1	藤井 千枝	今			
	19005503	101	日本語Ⅰ（口頭表現BⅢ）	101	1	竹内 茜	今			
	19005603	001	日本語Ⅰ（文法Ⅲ）	1	1	田中 舞	田			
IV	19005603	051	日本語Ⅰ（文法Ⅲ）	51	1	平 弥悠紀	今			
	19005603	101	日本語Ⅰ（文法Ⅲ）	101	1	平 弥悠紀	今			
	19005304	051	日本語Ⅰ（文章表現Ⅳ）	51	1	村上 由貴	今			
	19005504	001	日本語Ⅰ（口頭表現BⅣ）	1	1	伊藤 桜子	田			
	19005504	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅣ）	51	1	下橋 美和	今			
V	19005604	001	日本語Ⅰ（文法Ⅳ）	1	1	伊藤 桜子	田			
	19005604	051	日本語Ⅰ（文法Ⅳ）	51	1	中村 香生里	今			
	19005305	051	日本語Ⅰ（文章表現Ⅴ）	51	1	北村 梓	今			
	19005505	001	日本語Ⅰ（口頭表現BⅤ）	1	1	山村 孝一	田			
	19005505	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅤ）	51	1	松本 秀輔	今			
VI	19005605	001	日本語Ⅰ（文法Ⅴ）	1	1	寺崎 知之	田			
	19005605	051	日本語Ⅰ（文法Ⅴ）	51	1	鈴木 美和子	今			
	19005006	001	日本語Ⅰ（読解AⅥ）	1	1	仲渡 理恵子	田			
	19005006	051	日本語Ⅰ（読解AⅥ）	51	1	清水 泰生	今			
			日本語Ⅰ（読解BⅥ）			休講				
			日本語Ⅰ（語彙Ⅵ）			休講				
	19005306	001	日本語Ⅰ（文章表現Ⅵ）	1	1	須藤 潤	田			
	19005306	051	日本語Ⅰ（文章表現Ⅵ）	51	1	菅 智穂	今			
	19005306	052	日本語Ⅰ（文章表現Ⅵ）	52	1	原田 朋子	今			
19005406	001	日本語Ⅰ（口頭表現AⅥ）	1	1	梶原 雄	田				
19005506	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅥ）	51	1	百濟 正和	今				
19005606	001	日本語Ⅰ（文法Ⅵ）	1	1	田中 舞	田				
19005606	051	日本語Ⅰ（文法Ⅵ）	51	1	徐 潤純	今				

<日本語科目>

<2016年度以降生対象>

日本語レベル	登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	校地	期間 時間	履修条件など	
	科目コード	クラス コード								
VII	19005007	051	日本語Ⅰ（読解AⅦ）	51	1	三谷 閑子	今	春2		
			日本語Ⅰ（読解BⅦ）			休講				
	19005207	001	日本語Ⅰ（語彙Ⅶ）	1	1	仲渡 理恵子	田			
	19005207	051	日本語Ⅰ（語彙Ⅶ）	51	1	藤井 涼子	今			
	19005307	001	日本語Ⅰ（文章表現Ⅶ）	1	1	山村 孝一	田			先行登録
	19005307	051	日本語Ⅰ（文章表現Ⅶ）	51	1	根川 幸男	今			先行登録
	19005307	052	日本語Ⅰ（文章表現Ⅶ）	52	1	大山 理恵	今			先行登録
	19005407	051	日本語Ⅰ（口頭表現AⅦ）	51	1	大山 理恵	今			
	19005507	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅦ）	51	1	中村 正美	今			
	19005607	001	日本語Ⅰ（文法Ⅶ）	1	1	寺崎 知之	田			
	19005607	051	日本語Ⅰ（文法Ⅶ）	51	1	平 弥悠紀	今			
VIII	19005008	001	日本語Ⅰ（読解AⅧ）	1	1	佐尾 ちとせ	田	春2		
	19005008	051	日本語Ⅰ（読解AⅧ）	51	1	李 長波	今			
			日本語Ⅰ（読解BⅧ）			休講				
	19005208	001	日本語Ⅰ（語彙Ⅷ）	1	1	仲渡 理恵子	田			
	19005208	051	日本語Ⅰ（語彙Ⅷ）	51	1	仲渡 理恵子	今			
	19005308	051	日本語Ⅰ（文章表現Ⅷ）	51	1	野村 和代	今			先行登録
	19005308	052	日本語Ⅰ（文章表現Ⅷ）	52	1	野村 和代	今			先行登録
	19005408	001	日本語Ⅰ（口頭表現AⅧ）	1	1	吉川 夏渚子	田			
	19005408	051	日本語Ⅰ（口頭表現AⅧ）	51	1	澁谷 きみ子	今			
19005508	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅧ）	51	1	鈴木 美和子	今				
19005608	051	日本語Ⅰ（文法Ⅷ）	51	1	伊藤 桜子	今				
IX	19005009	051	日本語Ⅰ（読解AⅨ）	51	1	李 長波	今	春2		
	19005109	051	日本語Ⅰ（読解BⅨ）	51	1	三上 聡太	今			
	19005209	051	日本語Ⅰ（語彙Ⅸ）	51	1	仲渡 理恵子	今			
	19005309	051	日本語Ⅰ（文章表現Ⅸ）	51	1	大工原 勇人	今			先行登録
	19005409	001	日本語Ⅰ（口頭表現AⅨ）	1	1	仲渡 理恵子	田			
	19005409	051	日本語Ⅰ（口頭表現AⅨ）	51	1	竹内 茜	今			
	19005509	051	日本語Ⅰ（口頭表現BⅨ）	51	1	後藤 多恵	今			
	19005609	001	日本語Ⅰ（文法Ⅸ）	1	1	佐尾 ちとせ	田			
19005609	051	日本語Ⅰ（文法Ⅸ）	51	1	眞仁田 栄治	今				
I・II	19005701	051	ビジネス日本語A	51	1	菅 智穂	今	先行登録		
III～V	19005702	051	ビジネス日本語B	51	1	石田 裕子	今	先行登録		
VI・VII	19005703	001	ビジネス日本語C	1	1	吉川 夏渚子	田	先行登録		
VI・VII	19005703	051	ビジネス日本語C	51	1	吉川 夏渚子	今	先行登録		
VIII・IX	19005704	001	ビジネス日本語D	1	1	吉川 夏渚子	田	先行登録		
VIII・IX	19005704	051	ビジネス日本語D	51	1	吉川 夏渚子	今	先行登録		

<日本語科目>

<2016年度以降生対象>

		登録コード		日本語レベルⅥ以上の科目のみ登録可						
日本語レベル	科目コード	クラスコード	科目名	クラス	単位	担当者	校地	期間時間	履修条件など	
I			日本語2(口頭表現AⅠ)			休講		秋2		
	19005551	001	日本語2(口頭表現BⅠ)	1	1	吉川 夏渚子	田			
	19005551	051	日本語2(口頭表現BⅠ)	51	1	松本 秀輔	今			
	19005551	101	日本語2(口頭表現BⅠ)	101	1	松本 秀輔	今			
	19005651	001	日本語2(文法Ⅰ)	1	1	梶原 雄	田			
	19005651	051	日本語2(文法Ⅰ)	51	1	戸田 綾子	今			
	19005651	101	日本語2(文法Ⅰ)	101	1	戸田 綾子	今			
II			日本語2(口頭表現AⅡ)			休講				
	19005552	001	日本語2(口頭表現BⅡ)	1	1	梶原 雄	田			
	19005552	051	日本語2(口頭表現BⅡ)	51	1	大工原 勇人	今			
	19005552	101	日本語2(口頭表現BⅡ)	101	1	大工原 勇人	今			
	19005652	001	日本語2(文法Ⅱ)	1	1	仲渡 理恵子	田			
	19005652	051	日本語2(文法Ⅱ)	51	1	徐 潤純	今			
III			日本語2(文章表現Ⅲ)			休講				
	19005553	001	日本語2(口頭表現BⅢ)	1	1	寺崎 知之	田			
	19005553	051	日本語2(口頭表現BⅢ)	51	1	藤井 千枝	今			
	19005553	101	日本語2(口頭表現BⅢ)	101	1	竹内 茜	今			
	19005653	001	日本語2(文法Ⅲ)	1	1	田中 舞	田			
	19005653	051	日本語2(文法Ⅲ)	51	1	平 弥悠紀	今			
IV			日本語2(文章表現Ⅳ)			休講				
	19005354	051	日本語2(文章表現Ⅳ)	51	1	村上 由貴	今			
	19005554	001	日本語2(口頭表現BⅣ)	1	1	伊藤 桜子	田			
	19005554	051	日本語2(口頭表現BⅣ)	51	1	下橋 美和	今			
	19005654	001	日本語2(文法Ⅳ)	1	1	伊藤 桜子	田			
V			日本語2(文章表現Ⅴ)			休講				
	19005355	051	日本語2(文章表現Ⅴ)	51	1	北村 梓	今			
	19005555	001	日本語2(口頭表現BⅤ)	1	1	吉川 夏渚子	田			
	19005555	051	日本語2(口頭表現BⅤ)	51	1	松本 秀輔	今			
	19005655	001	日本語2(文法Ⅴ)	1	1	寺崎 知之	田			
VI			日本語2(文法Ⅴ)	51	1	鈴木 美和子	今			
	19005056	001	日本語2(読解AⅥ)	1	1	仲渡 理恵子	田			
	19005056	051	日本語2(読解AⅥ)	51	1	清水 泰生	今			
			日本語2(読解BⅥ)			休講				
			日本語2(語彙Ⅵ)			休講				
	19005356	051	日本語2(文章表現Ⅵ)	51	1	菅 智穂	今			
	19005356	052	日本語2(文章表現Ⅵ)	52	1	原田 朋子	今			
	19005456	001	日本語2(口頭表現AⅥ)	1	1	梶原 雄	田			
	19005556	051	日本語2(口頭表現BⅥ)	51	1	百濟 正和	今			
19005656	001	日本語2(文法Ⅵ)	1	1	田中 舞	田				
19005656	051	日本語2(文法Ⅵ)	51	1	徐 潤純	今				

<日本語科目>

<2016年度以降生対象>

日本語レベル	登録コード		科目名	クラス	単位	担当者	校地	期間 時間	履修条件など
	科目コード	クラス コード							
VII	19005057	001	日本語2 (読解AⅦ)	1	1	佐尾 ちとせ	田	秋2	
	19005057	051	日本語2 (読解AⅦ)	51	1	三谷 閑子	今		
	19005157	001	日本語2 (読解BⅦ)	1	1	鈴木 伸子	田		
	19005257	051	日本語2 (語彙Ⅶ)	51	1	藤井 涼子	今		
	19005357	001	日本語2 (文章表現Ⅶ)	1	1	田中 舞	田		先行登録
	19005357	051	日本語2 (文章表現Ⅶ)	51	1	根川 幸男	今		先行登録
	19005357	052	日本語2 (文章表現Ⅶ)	52	1	大山 理恵	今		先行登録
	19005457	001	日本語2 (口頭表現AⅦ)	1	1	吉川 夏渚子	田		
	19005457	051	日本語2 (口頭表現AⅦ)	51	1	大山 理恵	今		
	19005557	051	日本語2 (口頭表現BⅦ)	51	1	中村 正美	今		
	19005657	001	日本語2 (文法Ⅶ)	1	1	寺崎 知之	田		
	19005657	051	日本語2 (文法Ⅶ)	51	1	平 弥悠紀	今		
VIII	19005058	051	日本語2 (読解AⅧ)	51	1	李 長波	今	秋2	
	19005158	001	日本語2 (読解BⅧ)	1	1	山村 孝一	田		
	19005258	051	日本語2 (語彙Ⅷ)	51	1	仲渡 理恵子	今		
	19005358	001	日本語2 (文章表現Ⅷ)	1	1	田中 舞	田		先行登録
	19005358	051	日本語2 (文章表現Ⅷ)	51	1	野村 和代	今		先行登録
	19005358	052	日本語2 (文章表現Ⅷ)	52	1	野村 和代	今		先行登録
	19005458	051	日本語2 (口頭表現AⅧ)	51	1	澁谷 きみ子	今		
	19005558	051	日本語2 (口頭表現BⅧ)	51	1	鈴木 美和子	今		
	19005658	001	日本語2 (文法Ⅷ)	1	1	仲渡 理恵子	田		
19005658	051	日本語2 (文法Ⅷ)	51	1	伊藤 桜子	今			
IX	19005059	051	日本語2 (読解AⅨ)	51	1	李 長波	今	秋2	
	19005159	001	日本語2 (読解BⅨ)	1	1	山村 孝一	田		
	19005159	051	日本語2 (読解BⅨ)	51	1	三上 聡太	今		
	19005259	001	日本語2 (語彙Ⅸ)	1	1	仲渡 理恵子	田		
	19005259	051	日本語2 (語彙Ⅸ)	51	1	仲渡 理恵子	今		
	19005359	051	日本語2 (文章表現Ⅸ)	51	1	大工原 勇人	今		先行登録
	19005459	051	日本語2 (口頭表現AⅨ)	51	1	竹内 茜	今		
	19005559	051	日本語2 (口頭表現BⅨ)	51	1	後藤 多恵	今		
19005659	051	日本語2 (文法Ⅸ)	51	1	眞仁田 栄治	今			
I・II	19005701	052	ビジネス日本語A	52	1	菅 智穂	今		先行登録
III～V	19005702	052	ビジネス日本語B	52	1	石田 裕子	今		先行登録
VI・VII	19005703	002	ビジネス日本語C	2	1	吉川 夏渚子	田		先行登録
VI・VII	19005703	052	ビジネス日本語C	52	1	吉川 夏渚子	今		先行登録
VIII・IX	19005704	002	ビジネス日本語D	2	1	吉川 夏渚子	田		先行登録
VIII・IX	19005704	052	ビジネス日本語D	52	1	吉川 夏渚子	今		先行登録

【注】日本語レベルは以下のとおり。

校地 今:今出川 田:京田辺

- I:初級前期 II:初級後期 III:初中級
 IV:中級前期 V:中級後期 VI:中上級
 VII:上級前期 VIII:上級後期 IX:超上級

<日本事情科目>

<2016年度以降生対象>

登録コード		日本語レベルVI以上の科目のみ登録可							
科目コード	クラスコード	科目名	クラス	単位	担当者	校地	期間時間	日本語レベル	履修条件など
19006001	051	日本の文学A	51	2	白方 佳果	今	春2	Ⅶ～Ⅸ※Ⅵ可	
19006001	052	日本の文学A	52	2	白方 佳果	今	秋2	Ⅶ～Ⅸ※Ⅵ可	
19006002	051	日本の思想・宗教1	51	2	石黒 衛	今	春2	Ⅵ～Ⅸ※Ⅴ可	
19006003	051	日本の思想・宗教2	51	2	石黒 衛	今	秋2	Ⅵ～Ⅸ※Ⅴ可	
		日本の法と政治			休講				
19006005	001	日本の歴史1	1	2	佐古 和枝	田	春2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	
19006005	051	日本の歴史1	51	2	伏谷 聡	今	春2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	
19006006	001	日本の歴史2	1	2	岡林 伸夫	田	秋2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	
19006006	051	日本の歴史2	51	2	佐古 和枝	今	秋2	Ⅵ～Ⅸ※Ⅴ可	
19006007	051	日本の社会1	51	2	KIM SONIA	今	春2	Ⅴ～Ⅸ	
19006008	051	日本の社会2	51	2	KIM SONIA	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ	
19006009	001	日本の文化1	1	2	津村 宏臣	田	春2	Ⅶ～Ⅸ※Ⅵ可	
19006009	051	日本の文化1	51	2	松本 公一 山村 孝一	今	春2	Ⅵ～Ⅸ※Ⅴ可	
19006010	001	日本の文化2	1	2	津村 宏臣	田	秋2	Ⅶ～Ⅸ※Ⅵ可	
19006010	051	日本の文化2	51	2	伏谷 聡	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	
19006011	051	日本の教育	51	2	榎本 恵理	今	春2	Ⅴ～Ⅸ	
19006011	052	日本の教育	52	2	榎本 恵理	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ	
19006012	051	日本の伝統と人間形成	51	2	和田 充弘	今	春2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	
19006012	052	日本の伝統と人間形成	52	2	和田 充弘	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	
19006013	051	日本の伝統と美	51	2	芦田 一寿	今	春2	Ⅲ～Ⅸ	
19006013	052	日本の伝統と美	52	2	芦田 一寿	今	秋2	Ⅲ～Ⅸ	先行登録
19006014	051	日本の伝統と文化	51	2	芦田 一寿	今	春2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	先行登録
19006014	052	日本の伝統と文化	52	2	芦田 一寿	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ※Ⅳ可	先行登録
19006014	053	日本の伝統と文化	53	2	榎木 良子	今	春2	Ⅴ～Ⅸ	先行登録
19006014	054	日本の伝統と文化	54	2	榎木 良子	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ	先行登録
19006015	051	日本の伝統と芸能	51	2	中川 久公	今	春2	Ⅵ～Ⅸ	先行登録
19006015	052	日本の伝統と芸能	52	2	中川 久公	今	秋2	Ⅵ～Ⅸ	先行登録
19006015	053	日本の伝統と芸能	53	2	高 永珍	今	春2	コリア語で授業を行う	先行登録
19006016	051	日本の伝統と能楽	51	2	河村 晴久	今	春2	Ⅴ～Ⅸ	先行登録
19006016	052	日本の伝統と能楽	52	2	河村 晴久	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ	先行登録
19006017	051	日本の伝統と芸術	51	2	清瀬みさを	今	春2	Ⅴ～Ⅸ	先行登録
19006017	052	日本の伝統と芸術	52	2	清瀬みさを	今	秋2	Ⅴ～Ⅸ	先行登録
19006018	000	日本の芸術1		2	河野 道房 高橋 千晶 村木 桂子	今	春2	Ⅵ～Ⅸ※Ⅴ可	
19006019	000	日本の芸術2		2	佐藤 守弘 高橋 千晶 船木 理悠	今	秋2	Ⅵ～Ⅸ※Ⅴ可	
		異文化間コミュニケーションA			休講				2021年度より廃止
		異文化間コミュニケーションB			休講				2021年度より廃止

<国際事情科目>

<2016年度以降生対象>

登録コード									
科目コード	クラスコード	科目名	クラス	単位	担当者	校地	期間時間	日本語レベル	履修条件など
19006501	000	世界の歴史1		2	大谷 誠	今	春2	VI~IX	
19006502	000	世界の歴史2		2	大谷 誠	今	秋2	VI~IX	
		歴史の歴史			休講			2017年度より廃止	

校地 今:今出川 田:京田辺

■2016年度生

- ・社会学部では、日本語・日本文化教育科目〈日本事情，国際事情〉の修得単位は選択科目Ⅱに算入されます。ただし、〈日本語〉科目の修得単位は選択科目Ⅲの「英語以外」の外国語の単位に替えることができます。
- ・教育文化学科に限り、「日本の教育」の修得単位は選択科目ⅠC群に算入されます。

■2017年度生

- ・社会学部では、日本語・日本文化教育科目〈日本事情，国際事情〉の修得単位は選択科目Ⅱに算入されます。ただし、〈日本語〉科目の修得単位は選択科目Ⅲの「英語以外」の外国語の単位に算入されます。
- ・教育文化学科に限り、「日本の教育」の修得単位は選択科目ⅠC群に算入されます。

■2018年度以降生

- ・社会学部では、日本語・日本文化教育科目〈日本事情，国際事情〉の修得単位は選択科目Ⅱに算入されます。ただし、〈日本語〉科目の修得単位は選択科目Ⅲの「英語以外」の外国語の単位に算入されます。
- ・教育文化学科に限り、「日本の教育」の修得単位はメジャー科目B群に算入されます。

外国語による科目の開講について

外国語による授業科目として、下記科目が開講されている。※

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	10103147		アメリカ史における宗教 (American Society and Religion)	GAVIN J.CAMPBELL	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103751		古代イスラエル史演習 (マリ・メジ文書から見た古代イスラエル史)	ADA TAGGAR-COHEN	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103754		古代近東学入門 (古代近東の文化史入門)	ADA TAGGAR-COHEN	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10103961		一神教研究演習 1 (Japanese Religion and Monotheism(1))	小原克博 ELBALTI BELIGH	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10103962		一神教研究演習 2 (Japanese Religion and Monotheism(2))	小原克博 ELBALTI BELIGH	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10912157		ジェンダーの社会学	KIM VIKTORIYA	秋学期	4	4	2～	英語により授業を行う
今	10912301		Contemporary Japanese Culture and Society	Mattias Van Ommen	秋学期	4	4	2～	英語により授業を行う
今	10932148		国際コミュニケーション論	BRIAN COVERT	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	10952140		Education and World Culture (1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952135		Globalization, Education, and Culture(1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016・2017年度生のみ登録可)
今	10952131		Globalization and Education(1)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	10952141		Education and World Culture (2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952136		Globalization, Education, and Culture(2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016・2017年度生のみ登録可)
今	10952132		Globalization and Education(2)	WILLIAM ROBERT STEVENSON III	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	10952162		Topics in Education and Development	乾 美 紀	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (社会学部 2018年度以降生お よびILA所属学生のみ登録可)
今	10952172		Topics in Overseas Education	乾 美 紀	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (社会学部 2017年度以前生お よびILA所属学生のみ登録可)
今	10952180		Topics in Multiculturalism and Education	柴 川 真由美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	10952174		Special Topics in Education and Culture	柴 川 真由美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	10305811	015	特殊講義 A [英語講義: International Dispute Resolution Advocacy Workshop]	ANSELMO REYES 前 川 直 輝	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	10305821	026	特殊講義 B [英語講義: Basic Academic English for Political Studies]	PETER TREBILCO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	10305821	027	特殊講義 B [英語講義: Intermediate Academic English for Political Studies]	PETER TREBILCO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	10305823	603	特殊講義 B [英語講義: International History in the Asia-Pacific Region]	中 達 啓 示	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10307414	000	アメリカ法	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う
今	10308851	001	Japanese Constitution	東 川 浩 二	春学期	集中	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012年度以降生のみ登録可)
今	10308852	001	Japanese Private Law	植 松 真 生	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012年度以降生のみ登録可)
今	10308853	001	Special Course in Japanese Law	瀧 川 和 彦	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012年度以降生のみ登録可)
今	10308854	001	Current Issues in Japanese Law	KARYN KANDELL	秋学期	2	2	3～	英語により授業を行う (法学部 2012年度以降生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	10308855	001	American Law	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308855	002	American Law	SHAWN MICHAEL HUIZENGA	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308856	001	Asian Law	黄 ジン霆	秋学期	集中	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308857	001	European Law	笠 原 宏	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	001	Current Issues in Comparative Law	高 橋 宏 司	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	002	Current Issues in Comparative Law	JAY KLAPHAKE	春学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	003	Current Issues in Comparative Law	西 谷 祐 子	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308858	004	Current Issues in Comparative Law	ISABELLE RORIVE	春学期	集中	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308859	001	International Law	新 井 京	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308860	001	International Arbitration	高 橋 宏 司	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308861	001	International Institutions and Global Law	ANSELMO REYES	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308862	001	Current Issues in Global Law	COLIN P.A. JONES	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308862	002	Current Issues in Global Law	JAY KLAPHAKE	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308863	000	International Commercial Arbitration Moot 1	廣 田 浩	春学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308864	000	International Commercial Arbitration Moot 2	廣 田 浩	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308865	000	International Law Moot 1	新 井 京	春学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2012年度以降生のみ登録可)
今	10308875	000	Public Opinion and Political Participation in Japan	西 澤 由 隆	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2013年度以降生のみ登録可)
今	10308876	000	Development and Democracy in East Asia	鈴 木 絢 女	春学期	2	2	3~	英語により授業を行う (法学部2013年度以降生のみ登録可)
今	10523620	001	専門外国語特講 -1 Language and Culture in International Business	佐 藤 研 一	春学期	2	2	3~	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10523620	002	専門外国語特講 -2 International Career Development	ALEX M.HAYASHI	秋学期	2	2	3~	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10523620	003	専門外国語特講 -3 Global Business History	西 村 成 弘	秋学期	2	2	3~	英語による講義 (商学部生のみ登録可)
今	10702003	007	アカデミック・スキル1(読解) 「探究型学習による文献読解/グループ研究」	伊 川 萌 黄	秋学期	2	2	1	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702003	008	アカデミック・スキル1(読解) 「探究型学習による文献読解/グループ研究」	伊 川 萌 黄	秋学期	2	2	1	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702004	208	アカデミック・スキル2(伝達) 「映像から読み解く「現代世界と差異」	増 渕 あさ子	春学期	2	2	2	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702004	209	アカデミック・スキル2(伝達) 「映像から読み解く「現代世界と差異」	増 渕 あさ子	春学期	2	2	2	英語による講義 (政策学部生のみ登録可)
今	10702626	026	政策トピックス - ㉔ 「エネルギー政策に関する現代課題」	伊 川 萌 黄	秋学期	2	2	2~	英語による講義
田	11610202		技術英語 I	IVAN TANEV	春学期	2	1	3~	英語により授業を行う (理工学部インテリジェント 情報工学科生のみ登録可)
田	11615046		技術英語	IVAN TANEV	秋学期	2	2	3~	英語により授業を行う (理工学部情報システムデ ザイン学科生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
田	11615084		マルチエージェント工学	IVAN TANEV	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデ ザイン学科生のみ登録可)
田	11615113		インテリジェントアルゴリズム	IVAN TANEV	春学期	2	2	3～	英語により授業を行う (理工学部情報システムデ ザイン学科生のみ登録可)
田	11502064		スポーツ健康科学グローバル演習 (スポーツを通して実践英語を身に着けよう)	橘 未 都	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (スポーツ健康科学部 2018 年度以降生のみ登録可)
今	12232708		南北アメリカ地域文化特論 3	SUSANNA PAVLOSKA	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	12232724		南北アメリカ地域の文化 4	SUSANNA PAVLOSKA	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	12234051		Global and Regional Cultural Studies Seminar 1	MATTHEW LARKING	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234052		Global and Regional Cultural Studies Seminar 2	BLAKE TURNBULL	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234053		Global and Regional Cultural Studies Seminar 3	崎 田 智 子	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	12234054		Global and Regional Cultural Studies Seminar 4	AYSUN UYAR	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う (グローバル地域文化 学部生のみ登録可)
今	16000224	053	比較言語文化論 1 - 53	ESTA TINA OTTMAN	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000225	051	比較言語文化論 2 - 51	潘 哲 毅	秋学期	2	2	1～	中国語により授業を行う
今	16000200	000	ジョイント・セミナー 比較文化論	和 泉 真 澄	秋学期	4	4	2～	主に英語により授業を行う
今	16000205	053	日本の伝統と芸能	高 永 珍	春学期	2	2	1～	韓国語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000215	052	日本とアジア 2	高 永 珍	秋学期	2	2	1～	韓国語により授業を行う
今	(クラスにより異なる)		スタンフォード大学科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	(クラスにより異なる)		A K P 科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	(クラスにより異なる)		K C J S 科目	(複数クラス開講)	春学期 秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (複数クラス開講) 春学期科目は2年次生以上が登録可能 秋学期科目は開講予定
今	16606500	051	チュービンゲン大学科目	MICHAEL WACHUTKA	春学期	2	2	1～	ドイツ語により授業を行う 春学期科目は2年次生以上が登録可能
今	16606500	052	チュービンゲン大学科目	MICHAEL WACHUTKA	秋学期	2	2	1～	ドイツ語により授業を行う
田	16000702	001	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000702	002	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000702	051	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000702	052	Introduction to Japanese Culture in the Global Context	DIAZ SANCHO IVAN	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000703	001	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	16000703	051	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000703	052	Introduction to Japanese Society in the Global Context	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000704	001	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000704	002	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000704	051	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000704	052	Introduction to the Nature of Japan and Asia in the Global Context	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000705	001	Humanities and Global Issues	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000705	051	Humanities and Global Issues	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000705	052	Humanities and Global Issues	ESTA TINA OTTMAN	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000706		Social Sciences and Global Issues	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	2～	英語により授業を行う
田	16000707	001	Natural Sciences and Global Issues	有 井 健	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000707	051	Natural Sciences and Global Issues	有 井 健	春学期	2	2	2～	英語により授業を行う
今	16000708	051	Japan in Modern World History	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000708	052	Japan in Modern World History	DIAZ SANCHO IVAN	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000709	051	International Relations in the Postwar Era	GARTH WARRIES	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000709	052	International Relations in the Postwar Era	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000710	001	Issues in Japanese Culture	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000710	051	Issues in Japanese Culture	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000710	052	Issues in Japanese Culture	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000711	001	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000711	051	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000212	001	日本の思想・宗教 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000212	052	日本の思想・宗教 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000712	001	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000712	051	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000213	001	日本の思想・宗教 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000213	052	日本の思想・宗教 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000713	001	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000713	051	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
田	16000207	002	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000207	054	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
田	16000714	001	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
今	16000714	051	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016～2017年度生のみ登録可)
田	16000207	001	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000207	053	日本の伝統と芸術	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000216	051	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000216	052	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000217	051	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
今	16000217	052	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2017年度以前生のみ登録可)
田	16000715	001	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000715	051	Democracy and Politics : A Comparative Perspective	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000716	001	Education in the Age of Globalization	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000716	051	Education in the Age of Globalization	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
田	16000717	001	Issues in Intercultural Communication	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000717	051	Issues in Intercultural Communication	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000718		Economy and Business in the Global Context 1	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000719		Economy and Business in the Global Context 2	森 宏一郎	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000720	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016年度以降生のみ登録可)
今	16000720	052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 1	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2016年度以降生のみ登録可)
今	16000218	051	日本の社会事情	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000218	052	日本の社会事情	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2015年度以前生のみ登録可)
今	16000721	051	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	WILLIAM BRADLEY	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000721	052	Critical Social Issues in Contemporary Japan 2	WILLIAM BRADLEY	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000723	051	The Divisions of Identity in Society	安 武 留 美	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規学生(2016年度以降生)
今	16000211	051	アイデンティティの社会 格差	安 武 留 美	春学期	2	2	1～	学部所属正規一般学生(2015年度以前生)
今	16000723	052	The Divisions of Identity in Society	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う 学部所属正規学生(2016年度以降生)
今	16000211	052	アイデンティティの社会 格差	GARTH WARRIES	秋学期	2	2	1～	学部所属正規一般学生(2015年度以前生)
今	16000724		Statistics for the Social Sciences and Humanities	MYGDALSKYY VOLODYMYR	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う

開講 校地	登録コード		科目名・クラス	担当者	期間	週時間	単位	配当 年次	備考
	科目	クラス							
今	16000725		Introduction to Computer Science and Information Technology	MYGDALSKYY VOLODYMYR	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000727		Introduction to Quantitative Data Analysis	BENJAMIN POIGNARD	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000728		Conservation of Japanese Nature and Environment	有 井 健	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000730		Science of Natural Disasters	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000731		Principles of Economics	森 宏一郎	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000732		Environmental Economics and Sustainability	森 宏一郎	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091201	051	Advanced Seminar 1	ANYA CLARISSA BENSON	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091201	052	Advanced Seminar 1	ANYA CLARISSA BENSON	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091202	051	Advanced Seminar 2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091202	052	Advanced Seminar 2	ROBERT WILLIAM ASPINALL	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16091203	051	Advanced Seminar 3	有 井 健	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う
今	16000803	053	日本の伝統と芸能	高 永 珍	春学期	2	2	1～	コリア語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000806	001	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000806	051	Japanese Thought and Religion 1	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000807	001	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000807	051	Japanese Thought and Religion 2	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000808	001	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000808	051	Tradition and Art in Japan 1	IGNACIO ARISTIMUNO	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
田	16000809	001	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000809	051	Tradition and Art in Japan 2	IGNACIO ARISTIMUNO	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000810	051	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000810	052	Japan Today 1	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000811	051	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	春学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)
今	16000811	052	Japan Today 2	OMAR YUSEF BAKER	秋学期	2	2	1～	英語により授業を行う (2018年度以降生のみ登録可)

※ 先行登録が必要な科目があります。各学部の履修要項・登録要領で確認すること。

※ 学部によっては履修できない科目や記載されている配当年次では履修できない場合があります。必ず自分が所属する学部の履修要項・登録要領で確認すること。

※ 文学部およびグローバル・コミュニケーション学部の一部の授業科目ならびに国際教育インスティテュートの授業科目は外国語で開講されているが、この表には記載していない。

※ 「日本語・日本文化教育科目」、「外国語による科目」についてわからないことがあれば、所属の学部・研究科事務室、各キャンパスの教務センターで相談すること。

副専攻制度

■社会学部副専攻

■サイエンスコミュニケーター養成副専攻

社会学部副専攻制度について

1. 副専攻制度とは

社会学部では、社会のさまざまな現象について、幅広く学びたいという皆さんの意欲に応えるため、また、柔軟な思考や複眼的なものの捉え方を身に付けることを奨励するために副専攻制度を導入しています。

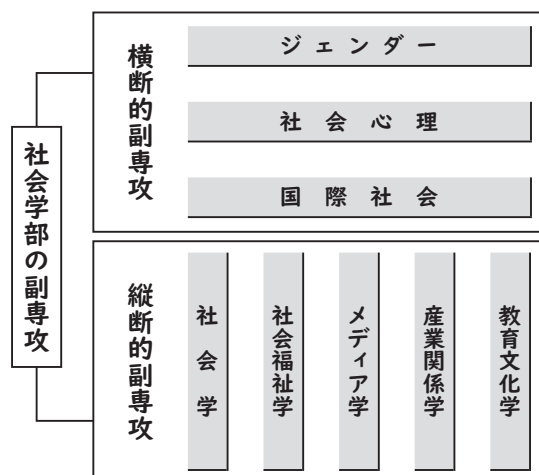
あなた自身の興味関心に応じて、専攻している所属学科の学問領域以外に、もうひとつ副専攻科目群を選択して、あなたの学問領域の幅を広げるとともに、あなた独自の学びの方法をカスタマイズするための支援制度です。

副専攻は「横」と「縦」の2つに分類されています。「横」の副専攻とは、「ジェンダー」「社会心理」「国際社会」という副専攻で、社会学部の5学科に設置されている上記のいずれかのテーマを扱った科目を中心に、他学部設置の科目も含めて幅広く履修する方法で、横断的副専攻、略して「横の副専攻」と呼ばれます。

これに対してもうひとつの「縦」の副専攻とは、学部内の他学科主要科目を並行して受講する副専攻です。自分の所属する学科以外の4つの学科、たとえば、社会学科に所属する場合には社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学のいずれかを副専攻として選択することが可能です。こちらは縦断的副専攻、略して「縦の副専攻」と呼ばれます。

いずれの場合も、単にシラバスで見つけた気になるトピックだけを手がかりに科目を履修するのではなく、現代社会で重要な問題となりやすいテーマについて、少し腰を落ち着けて、系統的に計画的に主専攻以外の学問領域の科目を履修することを支援する制度です。副専攻を修了した場合は、卒業時に修了証明が発行されます。

以下では、各副専攻の「学習のねらい」が記述されています。横の副専攻3つと縦の副専攻4つ（所属学科と同一の副専攻は選択できません）の中から、あなた自身の興味関心にあう副専攻を選択して、自らの学習を系統的に広げてみませんか？



2. 横断的（ヨコの）副専攻

2-1. 「ジェンダー」副専攻

ジェンダー（gender）とは、生物学的な性差（sex）に対して社会的、文化的な性、いわゆる“女らしさ”“男らしさ”を意味します。私たちは通常、この“女らしさ”“男らしさ”を生まれつき備わっているものとみなしがちですが、実はこうした性別による“らしさ”は普遍的なものではなく、私たちが育った社会や文化のなかで習得されてゆくものです。たとえば、家庭内での家事や育児を女性の役割、家庭外での労働を男性の役割とみなすのは、社会的な性別にすぎませんが、それが、仕事や結婚など社会の様々な側面で、女性

のみならず男性の生き方をも束縛しています。

女性の社会進出が進み、男女共同参画社会の理念も掲げられる中、ジェンダーについての問題意識を高め、それを社会的実践にまで結びつけることは、現代社会においてきわめて切実な課題となっています。ことに、人間と社会との関わりを考えるこの社会学部においては、重要な問題意識のひとつといえるでしょう。

副専攻「ジェンダー」では、家族社会学、ジェンダーとメディアなど、社会学部の専門科目はもとより、本学の特色である神学部の専門科目、さらに、法律、経済、歴史などの科目も含め、学際的な視野から幅広くジェンダーの問題を学ぶことで、ジェンダー・フリーな社会の形成に貢献できる人材の育成を目指します。ジェンダーの問題は一つの専門分野に限られるものではなく、社会の多岐に渡る現象に関わるものであり、それらを総合的に学ぶことではじめて深く理解できるテーマであるといえます。

従来、性差別の問題は、女性学やフェミニズムなど、主として女性の側から問題提起されてきましたが、1980年代以降、女性、男性という枠組みを越えて問題意識を共有するジェンダー研究が新たに発展してきました。さらには、男性の立場からジェンダーを研究する男性学も登場しています。性差の問題は女性のみならず、同時に男性の問題でもあるのです。

ジェンダー論とは単なる方法論ではありません。また、誤解されているような一定の極端な立場を押し付けようとするものでもありません。最終的には、女性男性を問わず、他者をいとおしむ心、すなわち「人間を愛（いと）おしむ」という社会学部のねらいへとつながります。

2-2. 「社会心理」副専攻

社会学部各学科の研究対象は「社会」です。その社会は「個人」という最小単位で構成されています。流行や世論、政治・社会運動、職場の生産性など、一人一人の個人の考えたこと（心理）や振る舞い（行動）の集合が社会を作りあげています。またその逆に個人の心理や行動が、社会や集団の中に所属することによって影響を受けていることも、ゼミやサークル、あるいは家族の中で日常的に経験していることでしょう。「社会心理」副専攻ではこのように、社会を捉える上でその構成要素である「個人」の心理や行動、人間関係のメカニズムを重視し、社会と個人がどのような相互規定関係にあるのかを探求します。「個人の意識や行動の、様々な単位の中でのあり方」（社会学）、「社会の中での心理・行動の健康福祉」（社会福祉学）、「メディアが心理・行動に与える影響」（メディア学）、「産業組織内での人々の振る舞いと心理」（産業関係学）、「心理・行動の変化と文化比較」（教育文化学）といった、心理や行動に関わる広範なテーマを横断的に理解することにより、社会に対する洞察をさらに一段深めることが「社会心理」副専攻の目指すものです。この理解は、主専攻としての各学科の探求の上でもプラスとなるでしょう。

□「社会心理」副専攻を学ぶために

社会学部各学科での心理・行動関係のテーマを扱う基本科目が「選択科目1」として、また応用的な科目が「選択科目2」として設置されています。さらに、個人の心理や行動を把握するうえでは、統計的分析手法が必須となるため、「社会統計学」等の研究手法に関わる科目、また各学科で開講されている「調査実習」等の科目を積極的に履修してください。その他、心理学部（旧文学部心理学科）に設置されている社会心理学関係科目群、および各学部設置されている行動科学関連諸科目を履修することにより、理解の幅がさらに広がることとなるでしょう。「社会心理」副専攻の学習の中で生じた疑問や、さらなる追求を希望する場合は、社会学部内の「社会心理」副専攻運営委員や科目担当教員に積極的に相談してください。

2-3. 「国際社会」副専攻

世界がますますグローバル化してゆく中で、われわれの生活は国内で完結することなく、世界の各地と直接結び付くようになってきました。われわれの日々の食事はほとんど外国産の食材に依存しているし、石油やガソリンの生産は日常生活に直接影響を与えます。数年前のアジア金融危機が示しているように、遠くの国で生じた為替の変動が一瞬のうちに日本人の生活を不安定にすることもあります。こうした中で、われわれ

が国際社会について基本的知識を持つことは社会について理解をすすめようとする学生にとって不可欠なことだといえます。

「国際社会」副専攻は学生が国際社会について基本的な理解を高めていけるように開設されています。国際社会の理解には、事実的な知識以前に、異なる社会や文化をどのように理解するかという基本的な視角を養う必要があります、そのために「副専攻」では「社会人類学」、「国際社会学」、「エリアスタディ概論」などの基礎的な科目が用意されていますし、こうした視角をもとに、経済、宗教、メディア、教育、福祉といった多様な学問領域から国際社会の様態を理解できるよう、「産業関係論」、「多文化社会の教育と宗教」、「メディア・リテラシー概論」、「国際社会福祉」などの科目が提供されています。さらに、特定地域をより深く理解しようとするなら、各国の経済研究や社会研究の科目を履修することもできます。

「国際社会」副専攻を履修する学生は、直接自分に関わらない単なる知識を得るためにこれらの科目を受講するのではなく、自分自身を国際社会の一員として常に認識し、日常的に思考し、行動するための糧として学習をすすめていってもらいたいと考えます。

3. 縦断的（タテの）副専攻

3-1. 「社会学」副専攻

社会学は、人間と人間の関係や個人と社会の関係を研究する学問です。社会学の研究領域は幅広く、家族や学校、企業、農村、都市、全体社会、国際社会といった多様な集団、そしてそこにおけるさまざまな人びとの意識や行動を含んでいます。社会学を専攻する者はこういった諸領域を広く学ぶこととなりますが、それだけでなく、全ての社会集団に共通する「人間社会の基本構造」についても学ぶ必要があります。「社会について基礎からかつ広範に考える」という精神に社会学専攻の特徴があるのです。

社会学を専攻する者にとって大事なことは、理論的な知識と実証的な方法の双方をきちんと押さえるということです。そこでは、理論をもとに問題を設定する能力、その問題を解決するために種々の調査を行う能力、理論と調査結果の分析をもとに論理的に問題を解いていく能力が要求されます。質的・量的な調査技法についての知識は社会学ではとても大切です。

変動の激しい現代社会では社会に十分に適応できなかつたり、自己喪失に陥つたりする人々も少なくありません。このような問題を個人の心の問題としてだけではなく、社会構造との関連で考え、幸福の実現に向けての処方箋を作り出していくのも社会学の役割です。

3-2. 「社会福祉学」副専攻

□すべての人が人間らしく自分らしく暮らせる社会を目指して

同志社大学の社会福祉学科は1931年、大学レベルでは日本最初の社会事業学専攻として創設され、また1950年には日本最初の大学院社会福祉学専攻をスタートさせました。それ以来多年にわたり、校祖新島襄の悲願に呼応して、「良心を手腕に運用する」多くの社会福祉の実践者、教育研究者を育成してきました。そして今、このような本学の社会福祉教育・研究が積み重ねてきた歴史と伝統、そして実績を受け継ぎ、新たな発展を期して、21世紀福祉の時代を築く担い手を育てていこうとしています。

今日、私たちの周りに起こっている福祉問題といえば、たとえばどのようなものがあるでしょうか。

寝たきりや認知症などにより、日常生活に困難を抱える高齢者やその家族。

社会参加をしようにもさまざまな社会的制約や障壁（バリア）に直面して苦しむ障害者。

子育ての不安や悩みを抱え、誰にも相談できないでいる母親。

いじめや不登校、引きこもりに悩み、あるいは親からの虐待に苦しむ子どもたち。

失業や病気などにより、経済的に苦しい状態にある人々…。

これらの福祉問題は、決して一部の人に限られたことではなく、多くの人々が現在、そして将来に、少な

からず共有する問題です。そして、それらははたして、個人や家族だけで解決できる問題なのでしょうか。

人々の安定した生活を脅かすこのような福祉問題の性格や特徴は何か？ その社会的な背景や要因は何か？ どのような対策や援助が必要なのか？ 国は、社会は、私たちは何をすべきか？

社会福祉学科では、学生諸君が広い社会的視野に立って人間理解を深め、社会福祉問題の原因・結果と必要な施策・活動を科学的に考察し、そして社会福祉問題の解決に向けて実践する力を養うためのカリキュラムを用意しています。

3-3. 「メディア学」副専攻

メディア学科は社会学部の誕生とともに新たなスタートを切りました。その前身である文学部社会学科新聞学専攻は、1948年4月に発足した伝統あるメディア研究の拠点でした。戦前の軍国主義と戦争を阻止できなかった要因のひとつをジャーナリズムの貧困に求め、民主主義の発展を目指して教育と研究を重ねてきました。2005年度から始まったメディア学科はそのような伝統を受け継ぎ、新たなメディア環境に対応すべく再編成されたものであり、高度な研究能力と知識、国際的視野と的確な情報処理能力を備えた専門職業人の育成を目指します。

メディア学科では、幅広くメディア、ジャーナリズム、コミュニケーションの問題を扱います。新聞・雑誌などの印刷メディアはもちろん、テレビ・ラジオなどの放送メディア、インターネットや広告など、対象とする範囲も多種多様です。現状を把握し社会的役割や内容について考えるだけでなく、情報の読み方や発信の方法などについても学びます。

カリキュラムには「メディアとジャーナリズム」「情報と社会」「コミュニケーションと文化」という3つの領域があります。これらは有機的に結び付くように構成され、ジャーナリズムを志す者はもちろん、社会生活を送るうえで身に付けておかなければならない、メディアに対する感受性の育成や批判力の修得を学習のねらいにしています。

3-4. 「産業関係学」副専攻

人は、生活の糧を得ると同時に、充実した人生を送るためにも働いています。人生の大半の時間を仕事に費やすため、仕事をとおした自己実現がはかられているといえるでしょう。だからこそ、各人の「仕事に対する思い」には切実なものがあるのです。その仕事に対する思いと社会や組織が追求する目的とを調整する際に、さまざまな課題が生じます。たとえば、音楽への関心や技能を企業で活かしたい、インターネットを使って家で仕事をしたい、仕事だけでなく家庭も趣味も大切にしたい、結婚して子どもが生まれても仕事を続けたいなどさまざまです。これらの願望を実現するには、個人の希望と集団や組織の使命との調和をいかに図るかを、雇用に関する制度・政策に即して考えることが必要になります。

また、企業は従業員のやる気や実力をどのように評価しているのか。仕事によるストレスが健康にどのような影響を与えているのか。1日の法定労働時間は8時間と定められているのに、なぜ企業に勤める人の多くは残業をしているのか。こうした疑問を解決するには、何よりもまず職場の実態（効率的に運営するための仕組みや働く人の気持ちなど）を理解しなければなりません。

産業関係学は、こうした「働くこと」から生じる諸問題について、経済学、心理学、労務管理学、社会学、法学など多様な領域から実践的に研究する学問です。そこで、産業関係学科は理論研究と実証研究を重視したカリキュラムを提供しています。具体的には、次のような柱をあげることができます。

□「産業関係基礎論」「産業関係論」 現代における仕事のあり方と労使関係の理論および方法を学びます。

□「産業関係実習」 実務家に対するヒアリング調査やアンケート調査等によって産業社会の実際を学びます。

3-5. 「教育文化学」副専攻

本学科は文化や歴史の中での人間形成に関わる諸現象を研究対象とし、人間形成における歪みや荒廃の原因を明らかにするとともに、新しい世紀における人間形成の理念と思想及び具体的な方法を提示することを目的としています。とりわけ、民族や国家を異にする様々な人々が共存・共生を求められている今日の世界状況において、多様な文化の交わりが人間形成に及ぼす影響とそこにおける教育の役割を考えることが、本学科の特質です。人間形成は誕生から人生の終焉にいたるまでの間で達成されるものですから、従来の教育学のように、学校に教育を閉じこめて考えるのではなく、あらゆる「場」における人間形成のあり方を研究対象とします。人間は民族や国家が長い年月をとおして作りあげてきた生活に関する様々な習慣や人間関係など、文化総体のなかで自己形成をしていきます。とりわけ近代になると国家の枠組みの制約を受けた国民教育を通して人間形成が展開されます。このように人間形成を規定している様々な要因を分析する中で、新しい時代の人間形成の理念と方法を模索しようとするのが本学科の学びの目標とするところです。同時に、将来国際人として世界に活躍できる人材の育成に努めます。

□これらの目的を達成するために、本学科では次のような教育方針を重視しています。

- (1) 学生の「学び」に重点をおいた「教え」に努めています。
- (2) 知識や概念の単なる習得ではなく、徹底して「考える」ことに重きをおきます。
- (3) 教授陣は「教え」・「命令」するのではなく、「語り」・「共に学ぶ」ことに努めています。
- (4) 教授陣と学生の人格的な交わりに努めています。
- (5) 何事においても自治・自由の精神を尊重しています。
- (6) 留学体験を重んじます。学生の留学を出来る限りサポートします。

□教育文化学科では次のような研究が可能です。

- (1) 人が異文化と交流する際に障壁となる心理的葛藤や言語の問題を扱います。
- (2) 異なる宗教や文化の交流と人間形成の特質、及びそこに生じた社会変容を扱います。
- (3) 日本と日本人の伝統的な特性とアジアや欧米文化との交流による変容を扱います。
- (4) 欧米の人間形成に関わる文化と思想の特質や学校文化の形成過程を扱います。
- (5) 学校教育における異文化理解の方法や教科を通した歴史認識などを扱います。
- (6) 地域社会における青少年の教育機能や成人の生涯教育に関するテーマを扱います。
- (7) 新しい大学教育の役割と社会との連携やジェンダーの教育論などを扱います。

4. 副専攻科目表

それぞれの副専攻では、128～130ページの科目表に記載の科目を「副専攻科目」として指定しています。科目表で定められた選択科目1と選択科目2から所定の単位数を履修すれば副専攻を修了したことになります。

《注意事項》

同一の科目名であっても、クラスによってあるいは履修した年度によって副専攻指定科目とならない場合があります。必ず毎年度、副専攻科目表を確認してください。

演習や実習科目の履修を希望する者は事前に社会学部事務室に申し出るようにしてください。

副専攻の履修について

・副専攻履修の申請手続について

副専攻を履修するには、一般登録期間中にDUET（web）より「副専攻履修の申請」をしてください。

副専攻は2つまで申請できます。

縦断的副専攻のうち、所属学科と同一の副専攻は選択できません。

副専攻履修の申請は2年次春学期からできます。

2年次春学期以後の各学期の一般登録期間にも、DUET（web）より副専攻履修の申請と追加申請ができます。

すでに申請済みの副専攻を取り消す場合は、一般登録期間にDUET（web）より取り消してください。

・科目登録について

副専攻科目のうち、『履修要項』開講科目一覧表に記載の他学科履修区分が「不可」となっている科目についても、副専攻履修の申請をしている場合は、その科目を登録することができます。ただし、科目ごとに別途選考などが実施される場合はそれらの選考などの結果、登録が許可された場合に限りです。

副専攻科目として受講を希望する科目で、登録前に選考などが実施される場合は、副専攻履修の申請前であってもその選考などを受けてください。

免許資格科目として登録した科目（「M」登録科目）も、副専攻科目として有効です。

ただし「M」登録は、教員免許や図書館司書、学校図書館司書教諭、博物館学芸員の資格取得を希望するものが、資格取得に必要な科目に限って認められている制度です。免許資格取得に関係のないものが、副専攻科目に「M」をつけて登録することはできませんので注意してください。

・修得単位について

副専攻履修の申請前に修得した単位も副専攻科目として有効です。

副専攻科目として修得した単位は卒業単位としても有効になります。この場合、自分の所属する学科以外の学科・他学部設置科目は、選択科目Ⅱに算入されます。

副専攻を変更した場合や副専攻を修了しなかった場合でも、既に修得した単位は卒業単位として有効です。

・副専攻修了（見込）証明書について

副専攻を修了すると、卒業時に「副専攻修了証明書」を発行します。

また、最終年次生で、副専攻修了見込みであれば、「副専攻修了見込証明書」を発行します。

◎その他副専攻制度について不明な点は、社会学部事務室まで問い合わせてください。

社会学部副専攻

縦断的副専攻 科目表

縦断的副専攻	社会学	単位	社会福祉学 (2020年度以前生)	単位	社会福祉学 (2021年度以降生)	単位	メディア学	単位
選択科目1	現代社会論	2	社会問題論	2	社会問題論	2		
	社会学概論	4	福祉と人権	2	福祉と人権	2		
	エアスタディ概論(2022年度以前生対象)	2	社会福祉入門	2	社会福祉入門	2		
	社会調査入門	2	社会保障論	4	社会保障論	4		
	社会学理論	4	地域福祉論	4	地域福祉論	4		
	社会学研究法A	2						
	社会学研究法B	2						
	◆8単位以上履修すること		◆8単位以上履修すること		◆8単位以上履修すること			
選択科目2	社会学演習I	2	社会福祉学基礎演習I	2	社会福祉学基礎演習I	2	メディア学基礎演習I	2
	社会学演習II(1)	2	社会福祉実習I	2	ソーシャルワーク基礎実習I(2021年度生対象)	2	メディア学基礎演習II	2
	社会学演習II(2)	2	社会福祉実習II	2	ソーシャルワーク基礎実習II(2021年度生対象)	2	メディア学演習I	2
	家族社会学	4	社会福祉実習III	2	社会福祉学基礎演習II	2	メディア学演習II	2
	地域社会学	4	社会福祉学基礎演習II	2	社会福祉学基礎演習III	2	メディア学演習III	2
	国際社会学	4	社会福祉学基礎演習III	2	社会福祉学専門演習I	2	メディア学演習IV	2
	社会心理学	2	社会福祉学専門演習I	2	社会福祉学専門演習II	2	ジャーナリズム史	2
	社会人類学	2	社会福祉学専門演習II	2	社会福祉の歴史と思想	2	メディア史	2
	教育社会学	2	社会福祉の歴史と思想	2	国際社会福祉	4	メディア・リテラシー概論	2
	教育社会学(1)	2	社会福祉法制	2	国際社会福祉施設経営論	2	比較メディア論	2
	教育社会学(2)	2	国際社会福祉	4	権利擁護と成年後見	2	ジャーナリズム論I	2
	情報社会学	2	社会福祉施設経営論	2	社会福祉政策	2	ジャーナリズム論II	2
	社会調査実習I	2	権利擁護と成年後見	2	ソーシャルワーク論I	4	ジェンダーとメディア	2
	社会調査実習II	2	社会福祉政策I	2	ソーシャルワーク論II	4	情報行動論	2
	仕事の社会学	2	社会福祉政策II	2	ソーシャルワーク論III	4	環境情報学	2
	災害社会学	2	福祉行財政と福祉計画	2	ソーシャルワーク演習I	4	映像情報学	2
	社会統計学I	2	ソーシャルワーク論I	4	ソーシャルワーク演習II	4	メディア社会論	2
	社会統計学II	2	ソーシャルワーク論II	4	精神保健福祉の原理	4	広報学	2
	社会学説史	2	ソーシャルワーク論III	4	精神保健福祉ソーシャルワーク論I	2	世論と社会	2
	文化社会学	4	ソーシャルワーク演習I	4	精神保健福祉ソーシャルワーク論II	2	メディア産業論	2
	ジェンダーの社会学	4	ソーシャルワーク演習II	4	社会問題実習	4	メディア法制倫理	2
	エアスタディ概論(2023年度以降生対象)	2	精神保健福祉援助技術総論	4	国際社会福祉実習	4	広報情報論	2
	社会学特講I	4	精神保健福祉援助技術各論	4	NPO・ボランティア活動論	2	メディア文化史	2
	社会学特講II	4	社会問題実習	4	児童・家庭福祉論	2	コミュニケーション論	2
	社会学特講III	4	国際社会福祉実習	4	障害者福祉論	2	現代史	2
	現代社会学特論I	2	NPO・ボランティア活動論	2	高齢者福祉論	2	メディア心理学I	2
	現代社会学特論II	2	児童福祉論I	2	家族福祉論	2	メディア心理学II	2
	現代社会学特論III	2	児童福祉論II	2	医療福祉論	2	現代文化論	2
	社会問題	2	障害者福祉論I	2	司法福祉論	2	広告論	2
	比較社会学	4	障害者福祉論II	2	公的扶助	2	マルチメディア論(2021年度以前生対象)	2
			高齢者福祉論I	2	ジェンダーと社会福祉	2	デジタルメディア論(2022年度以降生対象)	2
			高齢者福祉論II	2	介護概論(2021年度生対象)	2	国際コミュニケーション論	2
			家族福祉論	2	精神医学と精神医療	2	放送論	2
			医療福祉論	2	精神障害リハビリテーション論	2	メディア学社会調査法I	2
			司法福祉論	2	現代の精神保健の課題と支援	2	メディア学社会調査法II	2
			就労支援サービス論	2	社会福祉調査	2		
			公的扶助	2	社会福祉特講I	2		
			ジェンダーと社会福祉	2	社会福祉特講II	2		
			福祉社会論	2	社会福祉特講III	2		
			介護概論	2	医学概論	2		
			精神医学	2	精神保健福祉制度論	2		
			精神科リハビリテーション学	2	心理学と心理的支援	2		
			精神保健福祉論	2	社会学と社会システム	2		
			公衆保健学	2				
			精神保健学	2				
			社会福祉調査	2				
			社会福祉特講I	2				
			社会福祉特講II	2				
			社会福祉特講III	2				
		医学知識I(2021年度以前のみ履修可)【※1】	2					
		医学知識II(2021年度以前のみ履修可)【※1】	2					
		精神障害者の生活支援システム	2					
		◆社会福祉学科開講科目表の 選択科目IのA～D群より、 各4単位を履修すること				◆社会福祉学科開講科目表の 選択科目IのA～D群より、 各4単位を履修すること		
合計	30単位		30単位		30単位		30単位	

【※1】 2021年度までに単位を修得した場合、副専攻科目として算入されます。

社会学部副専攻

縦断的副専攻 科目表

縦断的副専攻	産業関係学	単位	教育文化学 (2017年度以前生)	単位	教育文化学 (2018年度以降生)	単位
選択科目1	現代社会と労働	2	教育文化論	2	多文化共生社会と教育文化	2
	産業関係基礎論	2	文化と人間形成	2	多文化共生社会と人間形成	2
	産業関係論(1)	2	教育文化学基礎演習Ⅰ	2	基礎演習Ⅰ	2
	産業関係論(2)	2	教育文化学基礎演習ⅡA	2	基礎演習ⅡA	2
	産業社会学(1)	2	教育文化学基礎演習ⅡB	2	基礎演習ⅡB	2
	労働科学論(2)	2	教育文化学基礎演習ⅡC	2	基礎演習ⅡC	2
	労務管理論(1)	2	教育文化学基礎演習ⅡD	2	基礎演習ⅡD	2
	労働市場論(1)	2	教育文化学基礎演習ⅡE	2	基礎演習ⅡE	2
	働くということ	2	教育文化学基礎演習ⅡF	2	基礎演習ⅡF	2
			教育文化学基礎演習ⅡG	2	基礎演習ⅡG	2
			教育文化学基礎演習ⅡH	2		
		教育文化学基礎演習ⅡI	2			
	◆8単位以上履修すること		◆6単位以上履修すること。 教育文化学基礎演習Ⅱについては4単位までしか履修できない。		◆6単位以上履修すること。 基礎演習Ⅱについては4単位までしか履修できない。	
選択科目2	産業関係学演習Ⅰ	2	日本教育文化史(1)	2	日本教育文化論(1)	2
	産業関係学演習Ⅱ	2	日本教育文化史(2)	2	日本教育文化論(2)	2
	労働問題(1)	2	西洋教育文化史(1)	2	西洋教育文化論(1)	2
	労働問題(2)	2	西洋教育文化史(2)	2	西洋教育文化論(2)	2
	産業社会学(2)	2	キリスト教教育文化論(1)	2	キリスト教教育文化論(1)	2
	社会政策(1)	2	キリスト教教育文化論(2)	2	キリスト教教育文化論(2)	2
	社会政策(2)	2	比較教育文化論(1)	2	比較教育文化論(1)	2
	産業関係論特講A	2	比較教育文化論(2)	2	比較教育文化論(2)	2
	産業関係論特講B	2	移民教育文化論(1)	2	多文化共生社会と移民教育文化(1)	2
	産業関係論特講C	2	移民教育文化論(2)	2	多文化共生社会と移民教育文化(2)	2
	産業調査統計論(1)	2	Globalization E&C(1)	2	Education and World Culture(1)	2
	産業調査統計論(2)	2	Globalization E&C(2)	2	Education and World Culture(2)	2
	社会保障法	2	アジア教育文化論(1)	2	アジア教育文化論(1)	2
	産業技術論(1)	2	アジア教育文化論(2)	2	アジア教育文化論(2)	2
	産業技術論(2)	2	教育問題史	2	多文化共生社会と教育史	2
	労働科学論(1)	2	キリスト教人間形成論	2	キリスト教と人間形成	2
	労務管理論(2)	2	比較教育思想	2	多文化共生社会と教育思想	2
	労働市場論(2)	2	ジェンダーと教育	2	ジェンダーと人間形成	2
	組織行動学(1)	2	海外教育事情	2	多文化共生社会と海外教育事情	2
	組織行動学(2)	2	教育文化学特定研究Ⅰ	2	多文化共生社会と人間形成特論(1)	2
	労働法Ⅰ(2020年度以前生対象)	2	教育文化学特定研究Ⅱ	2	多文化共生社会と人間形成特論(2)	2
	労働法Ⅱ(2020年度以前生対象)	2	Topics in Overseas Education	2	家族と人間形成	2
	労働法(1)(2021年度以降生対象)	2	Topics in Japanese Education	2	Topics in Education and Development	2
	労働法(2)(2021年度以降生対象)	2	Special Topics in Education and Culture	2	Topics in Character Formation and Education	2
	比較産業関係論(1)	2	教育哲学	2	Topics in Multiculturalism and Education	2
	比較産業関係論(2)	2	教育人間学	2	教育哲学	2
	グローバル人的資源管理論Ⅰ(2020年度以前生対象)	2	教育行政学	2	教育人間学	2
	グローバル人的資源管理論Ⅱ(2020年度以前生対象)	2	学校教育制度論	2	教育行政学	2
	グローバル人的資源管理論Ⅰ(2021年度以降生対象)	2	生涯教育計画論	2	学校教育制度論	2
	グローバル人的資源管理論Ⅱ(2021年度以降生対象)	2	比較生涯学習論	2	生涯教育計画論	2
	産業関係実習Ⅰ	2	学校教育文化論(1)	2	比較生涯学習論	2
	産業関係実習Ⅱ	2	学校教育文化論(2)	2	学校教育文化論(1)	2
	実践キャリア演習(2021年度以降生対象)	2	社会教育文化論(1)	2	学校教育文化論(2)	2
		社会教育文化論(2)	2			
合計	30単位		30単位		30単位	

社会学部副専攻

横断的副専攻 科目表

横断的副専攻	設置学部	ジェンダー	単位	設置学部	社会心理	単位	設置学部	国際社会	単位	
選択科目1	【社】	ジェンダーの社会学	4	【社】	社会心理学	4	【社】	社会人類学	4	
	【社】	現代社会学特論Ⅲ	2	【社】	社会統計学Ⅰ	2	【社】	国際社会学(2023年度以降生対象)	4	
	【福】	ジェンダーと社会福祉	2	【福】	精神保健学(2020年度以前生対象)	4	【社】	文化社会学(2022年度以前生対象)	4	
	【メ】	ジェンダーとメディア	2	【福】	現代の精神保健の課題と支援(2021年度以降生対象)	4	【福】	社会問題論	2	
	【産】	労務管理論(2)	2	【メ】	比較メディア論	2	【メ】	メディア史	2	
	【産】	労働市場論(2)	2	【メ】	情報行動論	2	【産】	産業関係論(1)	2	
	【教】	ジェンダーと人間形成	2	【メ】	映像情報学	2	【産】	産業関係論(2)	2	
				【メ】	メディア社会学	2	【教】	多文化共生社会と移民教育文化(1)	2	
				【メ】	広報情報論	2	【教】	多文化共生社会と移民教育文化(2)	2	
				【メ】	コミュニケーション論	2	【教】	Education and World Culture(1)	2	
				【メ】	メディア心理学Ⅰ	2	【教】	Education and World Culture(2)	2	
				【メ】	メディア心理学Ⅱ	2				
				【メ】	広告論	2				
				【産】	組織行動学(1)	2				
	◆8単位以上履修すること				◆8単位以上履修すること				◆8単位以上履修すること	
選択科目2 (社会学部)	【社】	家族社会学	4	【社】	社会調査入門	2	【社】	エアスタディ概論(2022年度以前生対象)	2	
	【社】	教育社会学	2	【社】	家族社会学	4	【社】	国際社会学(2022年度以前生対象)	4	
	【福】	家族福祉論	2	【社】	社会統計学Ⅱ	2	【社】	文化社会学(2023年度以降生対象)	4	
	【メ】	メディア文化史	2	【社】	社会問題	2	【社】	社会学特論Ⅱ	4	
	【産】	産業社会学(1)	2	【福】	精神医学(2020年度以前生対象)	4	【社】	現代社会学特論Ⅰ	2	
	【産】	産業社会学(2)【※1】	2	【福】	精神医学と精神医療(2021年度以降生対象)	4	【社】	比較社会学	4	
	【産】	労働法Ⅰ(2020年度以前生対象)	2	【メ】	世論と社会	2	【福】	国際社会福祉	4	
	【産】	労働法Ⅰ(2021年度以降生対象)	2	【産】	産業調査統計論(1)	2	【メ】	メディア・リテラシー概論	2	
	【教】	多文化共生社会と海外教育事情【※1】	2	【産】	産業調査統計論(2)	2	【メ】	国際コミュニケーション論	2	
	【教】	家族と人間形成	2	【産】	労働科学論(1)	2	【メ】	社会思想史	2	
	【共】	キャリア開発と学生生活	2	【産】	組織行動学(2)	2	【産】	比較産業関係論(2)	2	
	【共】	複合領域科目1[現代社会と倫理(1)]	2	【教】	教育心理学	2	【教】	多文化共生社会と教育史	2	
	【共】	複合領域科目2[現代社会と倫理(2)]	2				【教】	キリスト教教育文化論(1)	2	
							【教】	キリスト教教育文化論(2)	2	
						【教】	Topics in Education and Development	2		
						【教】	多文化共生社会と海外教育事情	2		
選択科目2 (他学部)	【神】	現代神学の論点1[宗教とジェンダー]	2	【法】	政治参加と選挙	2	【文】	西洋社会史(1)	2	
	【神】	現代神学の論点2[エコフェミニズムの思想と宗教]	2	【文情】	人間と感性	2	【文】	西洋社会史(2)	2	
	【神】	現代実践神学の課題1	2	【文情】	人間と文化	2	【法】	アメリカ政治外交論	2	
	【神】	宗教人類学Ⅰ	2	【心】	認知心理学(知覚・認知心理学)	2	【法】	EU政治論	2	
	【神】	宗教人類学2	2	【心】	環境心理学	2	【法】	中国政治論	2	
	【神】	イスラーム法学3	3	【心】	臨床社会心理学	2	【経】	アジア経済史	2	
	【商】	企業と女性	2	【心】	産業・組織心理学	2	【経】	中国経済	2	
	【政】	ジェンダー政策(2020年度以前のみ履修可)	2	【心】	実験社会心理学(1)(社会・集団・家族心理学Ⅰ)	2	【経】	アメリカ経済	2	
	【心】	発達心理学	2	【心】	実験社会心理学(2)(社会・集団・家族心理学Ⅱ)	2	【経】	アメリカ経済史	2	
				【心】	パーソナリティ心理学(感情・人格心理学Ⅱ)	2	【経】	ヨーロッパ経済	2	
							【経】	ヨーロッパ経済史	2	
							【経】	国際政治経済Ⅰ	2	
							【経】	国際政治経済Ⅱ	2	
							【経】	開発経済Ⅰ	2	
						【経】	開発経済Ⅱ	2		
						【商】	国際開発論	2		
						【商】	欧米経済論	2		
	◆他学部設置科目は6単位以内とする				◆他学部設置科目は6単位以内とする				◆他学部設置科目は6単位以内とする	
合計	30単位			30単位			30単位			

【※1】2018年度以前に単位を修得した場合、副専攻科目として算入されますが、2019年度以降は副専攻科目として算入されません。

記号注

【社】社会学部科目、【福】社会福祉学部科目、【メ】メディア学部科目、【産】産業関係学部科目、【教】教育文化学部科目
 【共】全学共通教養教育科目、【神】神学部科目、【文】文学部科目、【法】法学部科目、【経】経済学部科目、【商】商学部科目、【政】政策学部科目
 【心】心理学部科目、【文情】文化情報学部科目

サイエンスコミュニケーター養成副専攻について

・サイエンスコミュニケーター養成副専攻とは

本副専攻は、文系理系を問わず参画学部 of 学生を対象に、科学分野でおこる社会問題を正しく読み解き、解説できる人材を養成する学部横断型副専攻（教育プログラム）です。地震などによる災害、原発事故、環境問題、STAP細胞問題、医学部や製薬企業などのデータ改ざん・論文ねつ造などが大きな社会問題となっている今日、科学リテラシーをもつ人材は、企業を含め広く社会から求められています。

科学リテラシーとは、自然界で起こる様々な事象や変化を正しく理解し、自己の意思決定をするために、科学的知識を用いて問題を明確にしたうえで結論を導き出す能力のことです。本副専攻において、理系学生は、社会の要請を敏感に感じ取り、正確かつ分かりやすい表現で説明する能力を身に付けます。文系学生は、社会問題につながる科学技術分野、中でも健康と環境に関わる分野の基礎理解と評価力を習得します。履修生の就職先は、各種企業、マスコミ、出版社、教育機関そして官庁などを想定していますが、研究倫理や科学リテラシーを履修した学生は今後、社会のあらゆる分野において活躍が期待されます。

・履修にあたって

- 本副専攻の履修を希望する場合、所定の期間までに**申請が必要**です。履修希望者は説明会時に案内した申請要領（DUETメッセージでも案内予定）に従い、申請手続を行ってください。選考の上、副専攻履修可否を決定します。なお、選考により不許可となった場合、当該年度内は再度申請できません。
- 2年次生以上が申請可能です。
- 認定科目のうち、副専攻履修許可者のみ登録履修が許可される科目があります。
- 副専攻認定科目の中には、自由科目扱い（卒業必要単位に含まれない）となる科目がありますが、一定の条件を満たすことで卒業必要単位に含めることができます。詳細についてはP.128～130の「副専攻認定科目一覧表」を確認してください。
- 申請年度より以前に修得していた単位も遡及して認定単位として算入されます。
- 所定単位を完修した場合には、卒業時から副専攻履修証明書の発行が可能です。また、副専攻認定科目の修得状況と科目登録状況をあわせた結果、修了見込となった場合には、履修中に副専攻履修見込証明書の発行が可能です。
- サイエンスコミュニケーター養成副専攻の取消を希望する場合は、社会学部事務室へ申し出てください。

・修了要件

- 修了必要単位数：20単位

履修体系	必要単位数
サイエンスリテラシー科目群	12単位以上
コミュニケーター関連科目群 ※各選択グループ【選択（1）～（4）】から算入されるのは、グループごとに上限4単位まで。	8単位以上
選択（1）【生命系】	
選択（2）【神・文・社会・心理系】	
選択（3）【法・政策系】	
選択（4）【経済系】	
合計	計20単位以上

サイエンスコミュニケーター養成副専攻

2023年度 サイエンスコミュニケーター養成副専攻認定科目一覧表

サイエンスリテラシー科目群				
履修体系	科目コード	科目名 —サブタイトル—	単位	算入先
サイエンス リテラシー	I1433502	科学技術概論Ⅰ —科学技術社会論—	2	自由科目扱い（卒業単位に 含まない） ※ただし、サイエンスリテラシー 科目群から12単位以上を履修し た場合は、選択科目Ⅱの単位と して算入する。（卒業単位に含 めることができる）
	I1433503	科学技術概論Ⅱ —調査方法論／統計学—	2	
	I1433504	アウトリーチ実習 —科学技術表現実習—	2	
	I1433505	サイエンスライティング	2	
	I1433517	サイエンスとインテリジェンス —サイエンスと悪の原理—	2	
	I1433519	サイエンスとインテリジェンス —集中読解と議論—	2	
	I1433506	サイエンス・ナウⅠ —生命科学とこころの科学—	2	
	I1433507	サイエンス・ナウⅡ —生命医科学入門—	2	
	I1433508	サイエンス・ナウⅢ —報道と広報の現場—	2	
	I1433509	サイエンス・ナウⅣ —放射線、原子力、エネルギー—	2	
	I1433510	サイエンス・ナウⅤ —メディカルワークショップ・インターンシップⅡ基礎講義—	2	
	I1433514	サイエンス・ナウⅥ —生命科学と社会—	2	
	I1433518	サイエンス・ナウⅦ —食、健康、科学リテラシー—	2	
インターンシップ ワークショップ	I1433511	インターンシップⅠ 【2016年度生以前が履修可】	2	
	I1433512	インターンシップⅡ 【2016年度生以前が履修可】	2	
	I1433515	ビジネスワークショップ 【2017年度生以降が履修可】	2	
	I1433516	メディカルワークショップ 【2017年度生以降が履修可】	2	
	I1433520	取材・インタビュー実践講座	2	
	I1433521	未知型探索ビジネスワークショップ	2	

コミュニケーター関連科目群					
履修体系	科目コード	科目名	単位	算入先	
選択（Ⅰ）	生命系	I1433008	人体の構造と機能Ⅰ	2	選択科目Ⅱ
		I1433001	生命医科学概論	2	〃
		I1433007	臨床医学概論	2	〃
		I1439005	公衆衛生学	2	〃
		I1433002	生物学	2	〃
		I1422102	生物情報概論	2	〃
		I1422015	生化学	2	〃
		I1433108	アンチエイジング	2	〃
		I1433109	機能性食品医学	2	〃
選択（Ⅱ）	神系	I0103021	旧約聖書学入門Ⅰ	2	〃
		I0103022	旧約聖書学入門Ⅱ	2	〃
		I0103031	新約聖書学入門Ⅰ	2	〃
		I0103032	新約聖書学入門Ⅱ	2	〃
		I0103611	イスラーム史概論Ⅰ	2	〃
		I0103821	ユダヤ教とその周辺文化Ⅰ	2	〃
		I0103822	ユダヤ教とその周辺文化Ⅱ	2	〃
		I0240107	哲学概論（Ⅰ）	2	〃
	文系	I0240108	哲学概論（Ⅱ）	2	〃
		I0240081	科学哲学（Ⅰ）	2	〃
		I0240082	科学哲学（Ⅱ）	2	〃
		I0240109	倫理学概論（Ⅰ）	2	〃
		I0240110	倫理学概論（Ⅱ）	2	〃
		社会系	I0912113	情報社会学	2
	I0912114		仕事の社会学	2	〃
	I0912115		災害社会学	2	〃
	I0922168		医療福祉論	2	〃
	I0922212		障害者福祉論 【2021年度生以降が履修可】	2	〃
I0922171	障害者福祉論Ⅰ 【2020年度生以前が履修可】		2	〃	
I0922172	障害者福祉論Ⅱ 【2020年度生以前が履修可、2022年度以前の修得単位のみ認定】		2	〃	

サイエンスコミュニケーター養成副専攻

選択 (2)	社会系	10922211	児童・家庭福祉論 【2021年度生以降が履修可】	2	各学科の履修要項参照
		10922175	児童福祉論Ⅰ 【2020年度生以前が履修可】	2	〃
		10922176	児童福祉論Ⅱ 【2020年度生以前が履修可、2022年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃
		10922187	精神保健福祉論 【2020年度生以前が履修可】	4	〃
		10932110	ジャーナリズム論Ⅰ	2	〃
		10932111	ジャーナリズム論Ⅱ	2	〃
		10932143	メディア心理学Ⅰ	2	〃
		10932144	メディア心理学Ⅱ	2	〃
		10932106	比較メディア論	2	〃
		10952117	ジェンダーと教育	2	〃
		10952120	ジェンダーと人間形成	2	〃
		—	社会福祉入門 【2021年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃
		—	マルチメディア論 【2016年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃
	—	放送論 【2021年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃	
心理系	11700315	リスク心理学	2	選択科目Ⅱ	
	11700201	生理心理学 【2017年度生以前が履修可】	2	〃	
	11700211	生理心理学（神経・生理心理学） 【2018年度生以降が履修可】	2	〃	
選択 (3)	法系	10307502	国際関係入門	2	〃
		10307503	日本政治入門	2	〃
		10307504	政治思想入門 【2021年度生以前が履修可】	2	〃
		10307505	歴史・思想入門 【2022年度以降生のみ履修可】	2	〃
		10307121	法と社会	2	〃
		10308021	民法概論	2	〃
		10308061	知的財産法概論	2	〃
	政策系	—	社会調査入門 【2020年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃
		—	環境法 【2020年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃
		—	環境政策 【2020年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃
		—	ジェンダーと福祉 【2020年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃
—	ジェンダー政策 【2020年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃		
—	科学技術政策 【2020年度以前の修得単位のみ認定】	2	〃		
選択 (4)	経済系	10407001	経済学概説 【2019年度以前生が履修可】	2	〃
		10403001	経済理論入門 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407002	日本経済入門 【2019年度以前生が履修可】	2	〃
		10403002	日本経済入門 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407003	経済学の歴史 【2019年度以前生が履修可】	2	〃
		10403003	経済学の歴史 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407004	IT基礎論Ⅰ 【2019年度以前生が履修可】	2	〃
		10403004	IT基礎論Ⅰ 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407051	初級ミクロ経済学 【2019年度以前生が履修可】	4	〃
		10403051	初級ミクロ経済学Ⅰ 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10403052	初級ミクロ経済学Ⅱ 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407052	初級マクロ経済学 【2019年度以前生が履修可】	4	〃
		10403053	初級マクロ経済学Ⅰ 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10403054	初級マクロ経済学Ⅱ 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407054	統計 【2019年度以前生が履修可】	4	〃
		10403057	統計Ⅰ 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10403058	統計Ⅱ 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407055	経済史 【2019年度以前生が履修可】	2	〃
		10403059	経済史 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10403060	環境と資源の基礎 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407056	環境と資源 【2019年度以前生が履修可】	4	〃
		10407057	IT基礎論2 【2019年度以前生が履修可】	2	〃
		10403061	IT基礎論2 【2020年度以降生が履修可】	2	〃
		10407802	科学と技術 【2019年度以前生が履修可】	2	〃
		10403802	科学と技術 【2020年度以降生が履修可】	2	〃

サイエンスコミュニケーター養成副専攻

科目群	登録コード		科目名・クラス	単位	担当者	期間 時間	履修条件など
	科目コード	クラスコード					
2～	11433502	001	科学技術概論Ⅰ —科学技術社会論— ①	2	渡辺 政隆	春2	科学技術概論Ⅰ、Ⅱ アウトリサーチ実習 サイエンスライティング サイエンス・ナウ1,2,3,4,5,6,7 テレビ会議システムを 利用した遠隔講義科目 である。
		051	// ⑤				
2～	11433503	001	科学技術概論Ⅱ —調査方法論/統計学— ①	2	藤本 昌代 松村 淳	春2	
		051	// ⑤				
2～	11433504	001	アウトリーチ実習 —科学技術表現実習— ①	2	渡辺 政隆、高橋 美帆 角田 伸人、村松 秀 和久 剛、古川 圭子 三田雄一郎	秋2	
		051	// ⑤				
2～	11433505	001	サイエンスライティング ①	2	渡辺 政隆	春2	
		051	// ⑤				
2～	11433517	001	サイエンスとインテリジェンス —サイエンスと悪の原理— ①	2	休講		
		051	// ⑤				
2～	11433519		サイエンスとインテリジェンス —集中読解と議論— ①	2	佐藤 優、高橋 真仁 野口 範子	春集中 (夏期集中)	
2～	11433506	001	サイエンス・ナウ1 —生命科学とこころの科学— ①	2	祝迫 恵子 永井 五洋	秋2 (隔週)	
		051	// ⑤				
2～	11433507	001	サイエンス・ナウ2 —生命医学入門— ①	2	祝迫 恵子 朝霧 成拳	秋2 (隔週)	
		051	// ⑤				
2～	11433508	001	サイエンス・ナウ3 —報道と広報の現場— ①	2	野口 範子、渡辺 政隆 榎 太一、松村 秀 竹内 弘一、奥野 敦史 西沢 邦浩、船越 翔 田中 正之、山梨 裕美 伊藤 英之、工藤 宏美 音田裕一郎、岡田小枝子 本野 大輔、元村有希子	春2	
		051	// ⑤				
2～	11433509	001	サイエンス・ナウ4 —放射線、原子力、エネルギー— ①	2	後藤 琢也、蜂谷 寛 柴田 一成	春2	
		051	// ⑤				
2～	11433510	001	サイエンス・ナウ5 —メディカルワークショップ・インターンシップⅡ基礎講義— ①	2	池川 雅哉、坪井 知正 佐藤 敦夫、國代 尚章	春2	
		051	// ⑤				
2～	11433514	001	サイエンス・ナウ6 —生命科学と社会— ①	2	休講		
		051	// ⑤				
2～	11433518	001	サイエンス・ナウ7 —食、健康、科学リテラシー— ①	2	渡辺 政隆、角田 伸人 高橋 美帆、小川 義和 佐々 義子、益田 勝吉	秋2	
		051	// ⑤				
2～	11433511		インターンシップⅠ 【2016年度生以前が履修可】	2	野口 範子、渡辺 政隆 三田雄一郎	秋集中 (夏期集中)	
2～	11433512		インターンシップⅡ 【2016年度生以前が履修可】	2	池川 雅哉、野口 範子 角田 伸人	秋集中 (夏期集中)	
2～	11433515		ビジネスワークショップ 【2017年度生以降が履修可】	2	野口 範子、渡辺 政隆 三田雄一郎	秋集中 (夏期集中)	
2～	11433516		メディカルワークショップ 【2017年度生以降が履修可】	2	池川 雅哉、野口 範子 角田 伸人	秋集中 (夏期集中)	
2～	11433520		取材・インタビュー実践講座	2	野口 範子、竹内 弘一 遠藤 正彦、渡辺 政隆 榎 太一	春集中 (隔週)	
2～	11433521		未知型探索ビジネスワークショップ	2	野口 範子、竹内 弘一 遠藤 正彦、渡辺 政隆 榎 太一	秋集中 (隔週)	

第1章 総 則

第1条 本大学は、教育基本法にのっとり、学校教育法の定める大学として、学術を教授研究し、あわせてキリスト教的教育の特色を発揮し、国家社会に有用な人物を養成することを目的とする。

第1条の2 本大学は、教育研究水準の向上を図り、本大学の目的及び社会的使命を達成するため、文部科学大臣の定めるところにより、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するとともに、その結果を踏まえ、教育研究活動等について不断の見直しを行う。

2 点検及び評価に関する規程は、別に定める。

3 本大学は、第1項の点検及び評価の結果について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

第1条の3 本大学は、教育研究活動等の状況について、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって、公表するものとする。

第2条 本大学に、学部、大学院その他の教育研究組織を置く。

2 大学院に関する学則は、別にこれを定める。

第2条の2 本大学は、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を各学部において学科毎に定め、別表Ⅱに記載する。

第2章 学 部

第1節 修業年限、学年、学期及び休業日

第3条 学部の修業年限は、4年とする。

2 在学年限は、8年を超えることができない。

第4条 削除

第5条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。

2 学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月20日まで

秋学期 9月21日から翌年3月31日まで

第6条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 「国民の祝日に関する法律」に定める休日

(3) 創立記念日 11月29日

(4) キリスト降誕日 12月25日

(5) 夏期、冬期及び春期休業に関しては、別に定める。

2 前項に規定する休業日において、必要ある場合は授業を行うことがある。また休業日は、臨時に定めることができる。

第2節 学部学科等の組織

第7条 本大学に、次の学部学科を置く。

神学部

神学科

文学部

英文学科

哲学科

美学芸術学科

文化史学科

国文学科

社会学部

社会学科

社会福祉学科

メディア学科

産業関係学科

教育文化学科

法学部

法律学科

政治学科

経済学部

経済学科

商学部

商学科

政策学部

政策学科

文化情報学部

文化情報学科

理工学部

インテリジェント情報工学科

情報システムデザイン学科

電気工学科

電子工学科

機械システム工学科

機械理工学科

機能分子・生命化学科

化学システム創成工学科

環境システム学科

数理システム学科

生命医科学部

医工学科

医情報学科

医生命システム学科

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学科

心理学部

心理学科

グローバル・コミュニケーション学部

グローバル・コミュニケーション学科

グローバル地域文化学部

グローバル地域文化学科

第7条の2 削除

第7条の3 本大学にキリスト教文化センターを置く。

2 キリスト教文化センターに関する規程は、別に定める。

第7条の4 本大学にハリス理化学研究所を置く。

2 ハリス理化学研究所に関する規程は、別に定める。

第7条の5 削除

第7条の6 本大学に歴史資料館を置く。

2 歴史資料館に関する規程は、別に定める。

第7条の7 本大学に日本語・日本文化教育センターを置く。

2 日本語・日本文化教育センターに関する規程は、別に定める。

第7条の8 本大学に全学共通教養教育センターを置く。

2 全学共通教養教育センターに関する規程は、別に定める。

- 第7条の9 本大学に国際教育インスティテュートを置く。
2 国際教育インスティテュートに関する規程は、別に定める。
- 第7条の10 本大学に免許資格課程センターを置く。
2 免許資格課程センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の11 本大学に学習支援・教育開発センターを置く。
2 学習支援・教育開発センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の12 本大学にグローバル教育センターを置く。
2 グローバル教育センターに関する規程は、別に定める。
- 第7条の13 本大学に文部科学省共同利用・共同研究拠点として、赤ちゃん学研究センターを置く。
2 赤ちゃん学研究センターに関する規程は、別に定める。

第3節 教育課程及び履修方法

- 第8条 各学部学科の教育課程は、各学部学科が学校教育法施行規則第165条の2第1項により定める方針に基づき編成し、履修方法とともに別表Ⅱにこれを定める。
- 第8条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。
2 本大学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
3 本大学は、第1項の授業を、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。
- 第8条の3 本大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする。
- 第9条 学生は、所属学部学科の規定に従って、一定単位数の授業科目を履修しなければならない。
2 教育職員免許状を得るための資格及び司書、司書教諭、学芸員の資格を得たい者は、特に指定された授業科目を履修しなければならない。
3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。
(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
(2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
(3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本大学が定める。
- 4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。
- 第9条の2 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が学部の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で認定することができる。
2 第27条の2により留学した大学において単位を修得した者には、前項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

- 3 外国の大学又は短期大学が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し修得した単位及び外国の大学又は短期大学の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を我が国において履修し修得した単位を、前2項により認定した単位と合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。
- 第9条の3 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、学部教授会の定めるところにより単位を与えることができる。
2 前項の単位数は、前条第1項、第2項及び第3項と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第9条の4 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学において修得したのものとして認定することができる。
2 本大学は、各学部において教育上有益と認めるときは、学生が入学前に行った短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本大学における授業科目の履修とみなし、学部の定めるところにより単位を与えることができる。
3 前2項の単位数は、転入学及び編入学の場合を除き、本大学において修得した単位以外のものについては、第9条の2第1項、第2項及び第3項並びに前条第1項により修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
- 第9条の5 第8条の2第2項の授業の方法により修得する単位は、各学部における卒業に必要な単位数から64単位を除いた単位数を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。
- 第9条の6 本大学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示する。
2 本大学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行う。
- 第10条 削除

第4節 試験

- 第11条 履修した授業科目については、春学期及び秋学期の終りに定期試験を行う。また臨時に試験を行うことがある。
- 第12条 削除
- 第13条 試験の成績は、A、B、C、D及びFで評価し、D以上の成績を合格とする。ただし、学部の定めるところにより、特定の授業科目については試験の成績を、合格又は不合格で評価することができる。
- 第14条 疾病その他やむを得ない事由により受験できなかった場合は、その授業科目の試験日の翌日から起算して3日以内に願ひ出れば、追試験を行うことがある。

第5節 卒業及び学位の授与

第15条 学部学科所定の教育課程に従って授業科目を履修し、所定の単位を修得した者に卒業の認定を行い、卒業した学部学科の種類により次の学士の学位を授与する。在学期間に関しては、学部の定めるところにより、所定の単位を優れた成績で修得したと認められる者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

学士（神学、英文学、哲学、美学芸術学、文化史学、国文学、社会学、社会福祉学、メディア学、産業関係学、教育文化学、法学、政治学、経済学、商学、政策学、文化情報学、工学、理学、スポーツ健康科学、心理学、グローバル・コミュニケーション学、グローバル地域文化学、国際教養）

2 前項に規定する学位には、「学士（神学）（同志社大学）」のように明記することを必要とする。

第6節 収容定員及び教育研究実施組織

第16条 各学部の入学定員、編入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

学部学科別	入学定員	編入学定員	収容定員
神学部	63名		252名
神学科	63名		252名
文学部	705名		2,820名
英文学科	315名		1,260名
哲学科	70名		280名
美学芸術学科	70名		280名
文化史学科	125名		500名
国文学科	125名		500名
社会学部	442名		1,768名
社会学科	90名		360名
社会福祉学科	98名		392名
メディア学科	88名		352名
産業関係学科	87名		348名
教育文化学科	79名		316名
法学部	893名		3,572名
法律学科	683名		2,732名
政治学科	210名		840名
経済学部	893名		3,572名
経済学科	893名		3,572名
商学部	893名		3,572名
商学科	893名		3,572名
政策学部	420名		1,680名
政策学科	420名		1,680名
文化情報学部	294名		1,176名
文化情報学科	294名		1,176名
理工学部	756名	20名	3,064名
インテリジェント情報工学科	83名	2名	336名
情報システムデザイン学科	83名	2名	336名
電気工学科	80名	2名	324名
電子工学科	86名	2名	348名
機械システム工学科	96名	2名	388名
エネルギー機械工学科	70名	2名	284名
機能分子・生命化学科	83名	2名	336名
化学システム創成工学科	83名	2名	336名
環境システム学科	51名	2名	208名
数理システム学科	41名	2名	168名
生命医科学部	265名		1,060名
医工学科	100名		400名
医情報学科	100名		400名
医生命システム学科	65名		260名
スポーツ健康科学部	221名		884名
スポーツ健康科学科	221名		884名
心理学部	158名		632名
心理学科	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学部	158名		632名
グローバル・コミュニケーション学科	158名		632名
（うち、英語コース	85名		340名）
グローバル地域文化学部	190名		760名
グローバル地域文化学科	190名		760名
計	6,351名	20名	25,444名

- 第17条 本大学に、教授、准教授、助教及び助手を置く。
- 2 本大学に、特別任用教授、特別任用助教（有期研究員）及び特別任用助手（有期研究員）を置くことができる。
- 3 本大学に、客員教授、客員准教授及び客員助教を置くことができる。
- 第17条の2 本大学に、実験講師を置く。
- 第18条 本大学に、学長を置く。
- 2 学長は、本学を代表するとともに、校務をつかさどり、教職員を統括する。
- 3 学長は、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、教職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修等を実施する。
- 4 学長に関し必要な事項は、別に定める。
- 第18条の2 本大学に、副学長を置く。
- 2 副学長に関し必要な事項は、別に定める。
- 第18条の3 本大学に、学部長を置く。
- 2 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。
- 第18条の4 本大学に、機構長、部長、所長、館長、室長、別科長等を置く。
- 第18条の5 本大学に、学長補佐を置くことができる。
- 2 学長補佐に関し必要な事項は、別に定める。
- 第18条の6 本大学に、その事務を遂行するため、職員を置く。
- 2 事務組織に関する規程は、別に定める。
- 第19条 本大学の各学部に教授会を置く。
- 2 教授会は、学部に関する次の事項を審議する。
- (1) 学生の入学、退学、休学、卒業等に関する事項及び学位の授与に関する事項
 - (2) 教育課程に関する事項
 - (3) 教員の人事に関する事項
 - (4) 学則、学部諸規程に関する事項
 - (5) その他、学部長がつかさどる教育研究に関する事項
- 3 教授会は、学長から諮問された事項について審議する。
- 4 教授会は、学生の入学、卒業及び学位の授与、その他教育研究に関する重要な事項で教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについて、学長が決定を行うに当たり意見を述べるものとする。
- 5 教授会の組織及び運営に関する事項は、各学部教授会において定める。
- 第19条の2 本大学に部長会を置く。
- 2 大学及び各学部に共通する重要事項は、部長会で審議する。
- 3 部長会に関する規定は、別に定める。
- 第19条の3 本大学に大学評議会を置く。
- 2 大学評議会は、本学の中長期的方針に関わる事項を審議し、その達成状況を検証する。
- 3 大学評議会に関する規則は、別に定める。
- 第19条の4 本大学に大学教授会を置く。
- 2 大学教授会は、大学の重要な事項に関し学長の諮問に応じる。

第7節 入学、転入学、編入学、休学、留学、退学、除籍及び再入学

- 第20条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、学部が必要とする時には、入学の時期を学期の始めとすることができる。
- 第21条 学部第1年次に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当しなければならない。
- (1) 高等学校卒業生
 - (2) 中等教育学校卒業生
 - (3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）
 - (4) 高等学校に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本学の定める分野において特に優れた資質を有すると認められたもの
 - (5) 大学への入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第150条に規定された者
- 第22条 前条の資格を有する入学志願者について、各学部が学校教育法施行規則第165条の2第1項により定める方針に基づき、高等学校卒業程度の入学試験を行い、入学を許可する。
- 第23条 学部第2年次及び第3年次では、第2項又は第3項の各号のいずれかに該当する入学志願者について選考を行い、転入学又は編入学を許可することがある。
- 2 第3年次に転入学又は第2年次若しくは第3年次に編入学することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 大学第2年次修了者
 - (2) 短期大学卒業生
 - (3) 高等専門学校卒業生
 - (4) 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
 - (5) 短期大学又は高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、学校教育法施行規則第155条第2項又は同第177条に規定された者並びに文部省令第1号により大学への編入学を認められた者
 - (6) 高等学校の専攻科の課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- 3 第2年次に転入学することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 大学第1年次修了者
 - (2) 外国の大学において前号に準じる課程を修了した者
- 4 第3年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は2年とし、在学年限は6年を超えることができない。
- 5 第2年次に転入学又は編入学することを許可された転入学生及び編入学生の修業年限は3年とし、在学年限は7年を超えることができない。
- 第24条 入学志願者は、指定期日までに所定の書類を提出し、別表Iの5に定める入学検定料を納入しなければならない。
- 2 災害等の特別な事情により入学検定料の納入が困難であると認められる入学志願者には、申請に基づき、入学検定料を免除することがある。

3 前項の入学検定料の免除の詳細は、別に定める。

第25条 入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

2 本大学の複数の学部・学科・コース（以下「学部等」という。）の入学許可を得て、一方の学部等の学費を納入した者が、もう一方の学部等へ入学を希望する場合は、申請に基づき、既に納入した学費を、もう一方の学部等の学費に振替を認めることがある。

3 前項の振替の詳細は、別に定める。

第26条 連帯保証人は1名とし、父又は母（父母のいない者は、これにかわる親戚等）とする。

2 連帯保証人は、その学生の在籍中、本学学費及び本学に損害を与えた場合の損害賠償等の債務につき、極度額の範囲において連帯保証しなければならない。極度額は別表Ⅰに定める学費1年分とする。

3 連帯保証人が転籍、転居等をしたときは、その旨直ちに届け出なければならない。

4 連帯保証人が死亡したとき、又はその資格を失ったときは、あらたに連帯保証人を定めて、届け出なければならない。

第27条 学生が疾病その他やむを得ない事由により、休学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、春学期又は秋学期授業開始日までにその旨願ひ出て、許可を得なければならない。

2 休学期間は、1年又は半年とする。

3 休学の期間は、通算して4年を超えることができない。

4 休学期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限、在学年限には算入しない。

第27条の2 学生は、在学中当該学部教授会が本人の教育上有益と認め、学長が承認した場合に限り、本学の認定する外国の大学に留学することができる。

2 留学の期間は、第3条並びに第23条第4項及び第5項に定める修業年限及び在学年限に算入できる。

3 留学の取扱いについては、別にこれを定める。

第28条 学生が、疾病その他やむを得ない事由により、退学しようとするときは、連帯保証人連署のうえ、その旨願ひ出なければならない。

第29条 学長は学力劣等にして成業見込みなしと認める者、又は出席常でない者を、当該学部教授会の審議を経て、論旨退学させることがある。

第30条 学長は品行不良の者、学業怠慢の者、学校の秩序を乱した者、その他学生としての本分に反した者で、当該学部教授会において懲戒の対象となりうると認められたときには、けん責、停学又は退学に処することができる。

2 前項の懲戒に関する規程は、別に定める。

第30条の2 次の各号のいずれかに該当する者は、除籍する。ただし、第1号については、春学期末卒業予定者は春学期末、それ以外の者は該当学年末（秋学期入学者は春学期末）、また第2号並びに第3号については、該当学期末に除籍する。

(1) 学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者

(2) 在学期間が第3条第2項並びに第23条第4項及び第5項に規定する在学年限を超える者

(3) 学費未納で履修科目の登録をしていない者

第30条の3 退学者及び前条第1項第1号又は第3号により除籍

された者が、連帯保証人連署のうえ、再入学を願ひ出た場合は、それを許可することがある。

なお、除籍された者が再入学を願ひ出る場合は、事前に未納学費を完納しなければならない。

第30条の4 再入学許可を得た者は、指定期日までに所定の書類を提出し、定められた学費を納入しなければならない。

第8節 科目等履修生、聴講生及び外国人留学生

第31条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を履修し単位を修得しようとする者があるときは、相当の資格があると認められた者につき、科目等履修生とすることができる。

2 科目等履修生のうち、他の大学の学生で、協定に基づき本大学の授業科目を履修する者については、交流学生又は単位互換履修生として受け入れることができる。

第32条 科目等履修生が履修した授業科目について試験を受け合格したときは、所定の単位を与える。

2 前項に定めるもののほか、科目等履修生に関する内規は、別に定める。

第33条 削除

第34条 削除

第35条 各学部等に設置する一又は複数の授業科目を聴講しようとする者があるときは、相当の資格があると認められた者につき、聴講生とすることができる。

第36条 聴講生に関する内規は、別に定める。

第36条の2 外国人留学生に関する内規は、別に定める。

第9節 学 費

第37条 在学生の学費は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。ただし、春学期の学費を納入するときに、当該年度の秋学期の学費も納入することができる。

2 外国人留学生（特別学生）研修料は、春学期及び秋学期の学年暦に定める日までに納入しなければならない。

3 履修料及び聴講料は、所定の期間内に納入しなければならない。

第38条 学費は、入学金、授業料（履修料、聴講料、研修料を含む。）、教育充実費、特別在籍料及び休学在籍料とし、その額は、別表Ⅰから別表Ⅰの4にこれを定める。

2 協定に基づくダブルディグリープログラムにより、本大学から1学期間以上留学する者は、特別在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

3 休学を許可された者は、休学在籍料を納入するものとし、入学金を除く他の学費の納入を要しない。

4 第31条第2項に定める、協定に基づき本大学の授業科目を履修するため、他の大学から受け入れた交流学生及び単位互換履修生の学費については、当該大学との協定に基づき設定する。

5 いったん納入した学費は、返還しない。ただし、入学許可を得た者で、入学日の前日までに入学手続の取消しを願ひ出たものについては、入学金又はこれに相当する金額を除く学費を返還することがある。

6 履修科目の登録に際して実験実習料を要する科目及びその実験実習料については、別に定める。

7 退学者又は除籍された者については、別に定める場合を除き、当該学期の学費を徴収する。

8 第30条第1項に基づく停学に処せられた者については、その期間中も学費を徴収する。

第39条 やむを得ない事情があると認められる場合は、申請に基づき、学費（特別在籍料及び休学在籍料を除く。）を延納又は分納することができる。

2 前項の学費の延納又は分納の詳細は、別に定める。

第39条の2 本大学は、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、授業料及び入学金の減免を行う。

2 前項の授業料及び入学金の減免の詳細は、別に定める。

第39条の3 災害等の特別な事情により学費の納入が困難であると認められる者には、申請に基づき、学費の一部を免除することができる。

2 前項の学費の一部免除の詳細は、別に定める。

第3章 附属施設

第40条 図書館を設け、図書、学術雑誌、電磁的方法により提供される学術情報等を系統的に整備し、教育研究を促進する。

2 大学には学部研究室、実験室、研究所等を設ける。

第41条 寄宿舎を設け、一部学生を入舎させる。

第42条 学生支援機構保健センターを設け、教職員及び学生の保健医療に当る。

附 則

1 この学則は、2005年4月1日から施行する。

2 第27条第3項の規定は、1989年度入学生から適用する。

3 第9条に規定する教育職員免許状を得るための資格（高等学校地理歴史・公民科）については、1990年度入学生から適用する。

4 第7条、第16条は、知識工学科設置、機械工学科、機械工学第二学科の機械システム工学科、エネルギー機械工学科への名称変更及び工業化学科、化学工学科の機能分子工学科、物質化学工学科への改組転換により1994年4月1日から改正施行する。

5 第7条は、学部第2部を1997年度入学生から学生募集停止及び文学部第1部、法学部第1部、経済学部第1部、商学部第1部の文学部、法学部、経済学部、商学部への名称変更により1997年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部英文学科、文化学科国文学専攻、法学部法律学科、政治学科、経済学部、商学部昼間主コース、夜間主コースを設置。これにともなう学部、学科の収容定員増加変更により1997年4月1日から改正施行する。

なお、各学部の第2部は、当該学部の第2部に在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（1997年4月1日改正）

6 第7条、第16条は、神学部神学科、経済学部経済学科、商学部商学科の学科名明示により、1999年4月1日から改正施行する。（1999年4月1日改正）

7 第7条、第16条は、文学部社会学科新聞学専攻のメディア学専攻への名称変更、政策学部政策学科、工学部情報システムデザイン学科及び環境システム学科の設置により2004年4月1日から改正施行する。（2004年4月1日改正）

8 第7条は、文学部の改組・再編による文化学科、社会学科及び各学科内の専攻の廃止、それに伴う文学部哲学科、心理学科、美学芸術学科、文化史学科、国文学科及び社会学部社会学科、

社会福祉学科、メディア学科、産業関係学科、教育文化学科の設置並びに文化情報学部文化情報学科の設置により2005年4月1日から改正施行する。

第16条は、文学部の改組・再編に伴う学部・学科の設置及び文化情報学部の設置並びに法学部及び経済学部の昼間主コース、夜間主コースの廃止により2005年4月1日から改正施行する。

なお、廃止する文化学科及び社会学科の各専攻並びに法学部及び経済学部の昼間主コース及び夜間主コースは、2005年度より学生募集を停止する。ただし、各学科・専攻及びコースは、当該学科・専攻及びコースに在学する者がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。（2005年4月1日改正）

9 第13条に規定する試験の成績評価は、2004年度第1年次入学生から適用し、2003年度以前の入学生については、従前の規程による。

10 第15条に規定する学位は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、従前の規程による。

11 第30条の3に規定する再入学は、2004年度第1年次入学生から適用する。

12 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2005年度第1年次入学生から適用し、2004年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

13 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2005年度入学生に適用する。2004年度以前の入学生については、従前の学費による。

14 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、休学在籍料については、2003年度以降在学の学生に適用する。ただし、2002年度以前の入学生のうち、従前の学費による休学中の学費が休学在籍料を下回る場合は、その額とする。

附 則

1 この学則は、2006年4月1日から施行する。

2 第7条及び第16条は、工学部知識工学科の名称変更により、改正・施行する。なお、知識工学科は、2006年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規定は、従前によるものとする。

3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2006年度第1年次入学生から適用し、2005年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。

4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2006年度入学生に適用する。2005年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

1 この学則は、2007年4月1日から施行する。

2 第16条は、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース、夜間主コースの廃止により、改正・施行する。なお、文学部英文学科及び国文学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2007年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

3 第8条の別表Ⅱの各学部教育課程表は、2007年度第1年次入学生から適用し、2006年度以前の入学生については、別に

定めるもののほか、従前の教育課程表による。

- 4 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2007年度入学生に適用する。2006年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2008年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、理工学部数理システム学科、生命医科学部医工学科、医情報学科、医生命システム学科及びスポーツ健康科学部スポーツ健康科学科の設置並びに工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により、改正・施行する。

第16条は、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止、理工学部数理システム学科、生命医科学部及びスポーツ健康科学部の設置並びにこれにともなう学部・学科の収容定員変更及び工学部、機能分子工学科及び物質化学工学科の理工学部、機能分子・生命化学科及び化学システム創成工学科への名称変更により改正・施行する。

なお、政策学部政策学科の昼間主コース及び夜間主コース並びに工学部は、2008年度より学生募集を停止する。ただし、各学部・学科及びコースは、当該学部・学科及びコースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表IIの各学部教育課程表は、2008年度第1年次入学生から適用し、2007年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2008年度入学生に適用する。2007年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2009年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、心理学部心理学科の設置及びそれにとまなう文学部心理学科の廃止により、改正・施行する。

第16条は、心理学部心理学科の設置及びそれにとまなう文学部心理学科の廃止並びに学部・学科の収容定員変更により改正・施行する。

なお、心理学部心理学科は、2009年度より学生募集を停止する。ただし、心理学部心理学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表IIの各学部教育課程表は、2009年度第1年次入学生から適用し、2008年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2009年度入学生に適用する。2008年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2010年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部教育課程表は、2010年度第1年次入学生から適用し、2009年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、

教育充実費及び実験実習料については、2010年度入学生に適用する。2009年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2011年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科の設置により、改正・施行する。
- 3 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2011年度第1年次入学生から適用し、2010年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2012年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2012年度第1年次入学生から適用し、2011年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2013年4月1日から施行する。
- 2 第7条は、グローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

第16条は、学部・学科の収容定員変更、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースの廃止並びにグローバル地域文化学部グローバル地域文化学科の設置により、改正・施行する。

なお、商学部商学科の昼間主コース及び夜間主コースは、2013年度より学生募集を停止する。ただし、当該コースは、当該コースに在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。

- 3 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2013年度第1年次入学生から適用し、2012年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2014年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2014年度第1年次入学生から適用し、2013年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2015年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表IIの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2015年度第1年次入学生から適用し、2014年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Iに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2015年度入学生に適用する。2014年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2016年4月1日から施行する。
- 2 留学生別科は、2016年度より学生募集を停止する。ただし、当該組織に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2016年度第1年次入学生から適用し、2015年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課定表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2016年度入学生に適用する。2015年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2017年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2017年度第1年次入学生から適用し、2016年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2017年度入学生に適用する。2016年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2018年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2018年度第1年次入学生から適用し、2017年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2018年度入学生に適用する。2017年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2019年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2019年度第1年次入学生から適用し、2018年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2019年度入学生に適用する。2018年度以前の入学生については、従前の学費による。
なお、再入学生の入学金に関する規定のただし書きについては、2020年4月1日以降に再入学する学生に適用する。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、特別在籍料については、2019年4月1日以降に派遣を決定する学生に適用する。

附 則

- 1 この学則は、2020年4月1日から施行する。
- 2 第7条及び第16条は、理工学部エネルギー機械工学科の名称変更により改正・施行する。
なお、理工学部エネルギー機械工学科は、2020年度より学生募集を停止する。ただし、当該学科は、当該学科に在籍する学生がいなくなるまでの間存続するものとし、教育課程に関する規程は、従前によるものとする。
- 3 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2020年度第1年次入学生から適用し、2019年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料、教育充実費及び実験実習料については、2020年度入学生に適用する。2019年度以前の入学生については、従前の学費による。

附 則

- 1 この学則は、2021年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2021年度第1年次入学生から適用し、2020年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。

附 則

- 1 この学則は、2022年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条に規定する連帯保証人は、2022年度第1年次入学生から適用し、2021年度以前の入学生については、従前の規程による。

附 則

- 1 この学則は、2023年4月1日から施行する。
- 2 第8条の別表Ⅱの各学部人材養成目的及び教育課程表は、2023年度第1年次入学生から適用し、2022年度以前の入学生については、別に定めるもののほか、従前の人材養成目的及び教育課程表による。
- 3 第26条第2項に規定する極額額は、2023年度第1年次入学生から適用する。2022年度の入学生については、従前の規定による。
- 4 第38条第1項の別表Ⅰに定める学費のうち、入学金、授業料及び教育充実費については、2023年度入学生に適用する。2022年度以前の入学生については、従前の学費による。

別表 I 学 費

入学金、授業料及び教育充実費

(年額)

		入 学 金	授 業 料	教育充実費
神 学 部 文 学 部 社 会 学 部 法 学 部 経 済 学 部 商 学 部 政 策 学 部 グローバル地域文化学部	第 1 年次	200,000円	753,000円	162,000円
	第 2 年次		953,000円	162,000円
	第 3 年次		953,000円	162,000円
	第 4 年次		953,000円	162,000円
文化情報学部	第 1 年次	200,000円	862,000円	175,000円
	第 2 年次		1,062,000円	175,000円
	第 3 年次		1,062,000円	175,000円
	第 4 年次		1,062,000円	175,000円
理 工 学 部 (数理システム 学科を除く) 生命医科学部	第 1 年次	200,000円	1,250,000円	245,000円
	第 2 年次		1,450,000円	245,000円
	第 3 年次		1,450,000円	245,000円
	第 4 年次		1,450,000円	245,000円
理 工 学 部 (数理システム 学科)	第 1 年次	200,000円	1,173,000円	245,000円
	第 2 年次		1,373,000円	245,000円
	第 3 年次		1,373,000円	245,000円
	第 4 年次		1,373,000円	245,000円
ス ポ ー ツ 健康科学部	第 1 年次	200,000円	895,000円	175,000円
	第 2 年次		1,095,000円	175,000円
	第 3 年次		1,095,000円	175,000円
	第 4 年次		1,095,000円	175,000円
心 理 学 部	第 1 年次	200,000円	912,000円	183,000円
	第 2 年次		1,112,000円	183,000円
	第 3 年次		1,112,000円	183,000円
	第 4 年次		1,112,000円	183,000円
グ ローバル・ コミュニケー ション学部	第 1 年次	200,000円	862,000円	183,000円
	第 2 年次		1,062,000円	183,000円
	第 3 年次		1,062,000円	183,000円
	第 4 年次		1,062,000円	183,000円

- (1) 授業料及び教育充実費については、各々2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- (2) 4年を超えて在籍した場合（再修生）の学費は、第4年次の学費を適用する。
- (3) 転入学生及び編入学生の入学金は、200,000円とし、授業料及び教育充実費は、転入学又は編入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、本学卒業生に限り、入学金は2分の1とする。
- (4) 再入学生の入学金は、100,000円とし、授業料及び教育充実費は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同額とする。ただし、学費未納により学年末をもって除籍された者が翌年度4月30日までに再入学手続をする場合及び春学期末をもって除籍された者が次の秋学期10月31日までに再入学手続をする場合の入学金は、50,000円とする。

ダブルディグリープログラム による留学期間	特別在籍料
1 年	300,000円
1 学期	150,000円

休学在籍料

休 学 期 間	休学在籍料
1 年	120,000円
半 年	60,000円

- ・母国における兵役義務による休学が認められた者は、休学在籍料の納入を要しない。

別表 I の 2 履修料

履修登録料	全 学 部	25,000円
履 修 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	21,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	23,000円
	理工、生命医科学部	31,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	24,000円

- (1) 履修料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の履修生の履修登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって履修する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、履修登録料は、重複して徴収しない。

別表 I の 3 聴講料

聴講登録料	全 学 部	25,000円
聴 講 料 (1単位につき)	神、文、社会、法、経済、商、 政策、グローバル地域文化学部	14,000円
	文化情報、スポーツ健康科学部	15,000円
	理工、生命医科学部	21,000円
	心理、グローバル・コミュニケーション学部	16,000円

- (1) 聴講料の総額が当該年度の第1年次の「授業料及び教育充実費の合計額」を超える場合は、その額にとどめる。
- (2) 本学出身者及び前年度から継続の聴講生の聴講登録料は、2分の1とする。
- (3) 学期をまたがって聴講する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。
- (4) 複数の学部併願する場合、聴講登録料は、重複して徴収しない。

別表 I の 4 外国人留学生（特別学生）入学金及び研修料

	入 学 金	研 修 料 (年額)	研 修 料 (年度内の在学期間が 7月以内の場合)
神学部 文学部 社会学部 法学部 経済学部 商学部 政策学部 グローバル地域文化学部	25,000円	420,000円	210,000円
文化情報学部 スポーツ健康科学部	25,000円	460,000円	230,000円
理工学部 生命医科学部	25,000円	620,000円	310,000円
心理学部 グローバル・コミュニケーション学部	25,000円	480,000円	240,000円
グローバル教育センター 日本語・日本文化教育センター	25,000円	636,000円	318,500円

- (1) 研修料については、2分の1を春学期学費及び秋学期学費とする。
- (2) 特別学生が正規課程に進学した場合、正規課程の入学金は特別学生時の入学金相当額を差し引いた額とする。
- (3) 期間延長者（同志社大学外国人留学生内規第4条第2項該当者）については、重複して入学金を徴収しない。また、研修料は入学年度の額を適用する。
- (4) 秋学期入学者の学費については、入学年度の春学期入学者の学費を適用する。
- (5) 特別学生が、年度内に20単位（グローバル教育センター及び日本語・日本文化教育センターは、30単位）を超えて学科目登録をする場合は、超過する分1単位につき上記入学金及び研修料のほかに、学部授業科目を登録するときは学則別表 I の 2 に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻を除く大学院授業科目を登録するときは大学院学則別表 I の 2 に定める履修料相当額を、ビジネス研究科ビジネス専攻授業科目を登録するときは専門職大学院学則別表 I の 2 に定める履修料相当額を、グローバル教育プログラム科目、日本語・日本文化教育プログラム科目及び日本語・日本文化教育科目を登録するときは学則別表 I の 2 に定める神、文、社会、法、経済、商、政策、グローバル地域文化学部の履修料相当額を研修料として納入すること。

- (6) 研修料の総額が当該年度の第1年次の授業料を超える場合は、その額にとどめる。
 (7) 外国の大学の教育計画で在学する特別学生又は本学と特定の外国の大学との協定により在学する特別学生その他特別の事情のある場合は、部長会の審議を経てこの学費を適用しないときがある。

別表Ⅰの5 入学検定料

区 分		金 額	
一般選抜入学試験 推薦入学試験 転入学試験 編入学試験		35,000円	
大学入学共通テストを利用する 入学試験	個別学力検査を課す場合	25,000円	
	個別学力検査を課さない場合	15,000円	
アドミッションズオフィスによる入学者選抜		第1次審査	25,000円
		第2次審査	10,000円
推薦選抜入学試験 自己推薦入学試験 その他特別入学試験		35,000円	
推薦選抜入学試験における二段階選考 自己推薦入学試験における二段階選考 その他特別入学試験における二段階選考		第1次選考	10,000円
		第2次選考	25,000円
外国人留学生入学試験 その他外国人留学生特別入学試験 外国人留学生転入学試験 外国人留学生編入学試験		書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
		書類選考のみの場合	10,000円
グローバル・コミュニケーション学部 (日本語コース) 入学試験		書類選考および学部独自試験を課す場合	15,000円
		書類選考のみの場合	10,000円
国際教育インスティテュート(国際教養コース)入学試験		15,000円	

別表Ⅱ 各学部人材養成目的及び教育課程表(省略)

学 部 一 般 内 規

(2022年4月1日改正)

学 年 暦

別に定める「学年暦」は、年間の行事を示し特別の通知・掲示がない限り、このとおり行われる。行事の詳細については、その都度指示する。

学 籍 番 号

- 1 学生には、入学と同時に学籍番号が付与され、在学する期間を通じて変わらない。
- 2 第2年次転入学生及び編入学生には、第2年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 3 第3年次転入学生及び編入学生には、第3年次生の入学年度を冠した学籍番号が付与される。
- 4 再入学生には、再入学を許可された年次に該当する入学年度を冠した学籍番号が付与される。

学 生 証

- 1 学生証は、本学の学生であることを証明するもので、常に携帯しなければならない。
- 2 学生証は、卒業、退学及び除籍の場合は、直ちに返納しなければならない。
- 3 学生証を紛失したときは、直ちに届け出て再交付を受けなければならない。ただし、別に定める手数料を納入することを要する。
- 4 学生証は、他人に貸与又は譲渡してはならない。

履修科目の登録

- 1 履修する科目は、学年暦に定められた期間に登録しなければならない。ただし、在学留学が認められた場合は、これによらないことがある。
- 2 合格となった科目は、再度登録履修することはできない。
- 3 各年次で登録履修できる単位数は、春学期及び秋学期合計50単位に満たない範囲内において学部の定めるところによる。
- 4 前項の規定にかかわらず、転入学生及び編入学生の登録履修できる最高単位数は、学部の定めるところによる。

学 業 成 績

- 1 学修の成果は、定められた期間に実施される定期試験、臨時に行われる試験及び授業内に行われる多面的評価等に基づき、成績として評価される。
- 2 成績は、成績原簿に記録される。
- 3 不合格となった科目を再履修し、合格となった場合は、直近の不合格の評価のみ改変される。

試 験

1 試験上の注意

- (1) 学費未納のままでは受験できない。
- (2) 未登録の授業科目は、受験できない。
- (3) 授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取り消すことがある。
- (4) 試験には、必ず学生証を持参しなければならない。
- (5) 試験に15分以上遅刻した者は、受験を許さない。また、試験開始後30分経過するまでは退室できない。
- (6) 論文・レポート試験及びe-learning等 Learning Management System (LMS) による試験に関する注意事項等は別に定める。
- (7) 試験にかかる不正行為があつて、当該学部教授会がそれを認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格とし、これを公表する。ただし、当該学部が定める科目については除く。
- (8) その他、試験に関する注意事項等は別に定める。
- (9) 試験上の注意は授業内に行われる多面的評価に適用することがある。

2 追試験

- (1) 病気又はやむを得ない事由のために、定期試験又は学部教授会が認める臨時試験を受験できなかった者に追試験を行うことがある。やむを得ない事由は別に定める。
- (2) 受験希望者は、追試験願を、当該科目試験日の翌日から起算して3日以内に提出しなければならない。ただし、課外活動のため受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
- (3) 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する書類を添付しなければならない。必要な証明書類は別に定める。
- (4) 1科目につき1,000円の追試験料を納入しなければならない。

届書・願書

届書及び願書には、次のようなものがある。

1 届 書

- (1) 欠 席 届 授業科目担当者名明記、理由書（診断書等）添付のこと。
- (2) 改 姓(名)届 戸籍抄本添付のこと。
- (3) 住 所 変 更 届 新旧住所併記のこと。
- (4) 連 帯 保 証 人 変 更 届 新旧連帯保証人併記のこと。

2 願 書

- (1) 休 学 願 理由書（診断書等）添付のこと。
- (2) 退 学 願 理由書添付のこと。

- (3) 再入学願 理由書添付のこと。
- (4) 在学留学願 留学する大学の入学許可書添付のこと。
- (5) 転学部・転学科願 理由書添付のこと。
- (6) 追試験願 理由及び受験科目名記載のこと。

以上の各種届書及び願書は、所定様式により提出する。必要によっては、当該学部教授会の審議を経て処理される。

教室使用願、物品使用願等は、願い出責任者を明記のうえ、教育支援機構教務部に提出すること。

再入学

- 1 退学日又は除籍日から5年以内は、当該学部教授会の審議を経て、再入学を許可する。5年を経過したときは、試験のうえ、教授会の判定によって再入学を許可する。
- 2 再入学の時期は、学期の始めとする。
- 3 再入学を許可する学部・学科等は、退学又は除籍時の学部・学科等とする。ただし、退学又は除籍時の学部・学科等が存在しない場合及び学生募集が停止されている場合は、当該学生の再入学願を審議する学部教授会は、学長が指定する。
- 4 再入学を許可する年次、修業年限及び在学年限は、再入学前に在籍していた期間により定める。
- 5 再入学生の教育課程は、再入学を許可された年次に在籍する学生と同様とする。

転学部・転学科

- 1 転学部及び転学科は、やむを得ない事情の生じた場合に限り、第2年次から第3年次に進むとき、関係学部教授会の審議を経て許可することがある。なお、学部教授会が特に必要と認めた場合は、第1年次から第2年次に進むときも当該学部内において転学科を許可することがある。
- 2 いったん転学部・転学科を許可した学生の再転学部・転学科は認めない。

- 3 転学部・転学科願書の受付期限は秋学期講義最終日とし、許可決定の時期は、当該年度の終わりとする。

学士入学

学士入学は、転入学・編入学試験を受けなければならない。ただし、本学卒業生は、同一学部学科への学士入学は認められない。

免許資格課程登録料

免許資格課程を登録する者は、次の各号の免許資格課程登録料を納入しなければならない。

- (1) 教職課程 30,000円
- (2) 博物館学芸員課程 10,000円
- (3) 図書館司書課程 10,000円

- 2 免許資格課程登録料の詳細は、別に定める。

教育実習費

教育実習を登録する者は、登録と同時に実習費を納めなければならない。

諸会費

本学が代理徴収を行う学会、父母会及び卒業生団体の諸会費は、所定の期日までに納入しなければならない。

定期健康診断

学生は、毎年、学期始めに行う定期健康診断を必ず受けなければならない。疾病その他やむを得ない理由によって定期健康診断を受けることができなかった者は、その理由のなくなった後、速やかに受けなければならない。

附則

この内規は、2022年4月1日から施行する。

外国留学に関する諸規程

外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規

(設置)

第1条 本学の学部又は大学院の学生が、本学の教育課程の一環として学則第27条の2、大学院学則第20条の2、専門職大学院学則第29条又は法科大学院学則第15条により留学する場合は、この内規の定めるところによる。

(教育機関の定義)

第2条 この内規にいう外国の大学とは、外国における正規の高等教育機関で学位授与権を有するもの、又はこれに相当する教育機関をいう。

2 外国の大学の調査認定は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が行う。

(留学の定義)

第3条 この内規にいう留学とは、本学の許可を受けて外国の大学に在学し、科目を履修し、又は研究指導を受けることをいう。

(条件)

第4条 この内規の適用を受けて留学する学生は、次の要件を満たさなければならない。ただし、大学院学生には適用しない。

- (1) 本学に1年以上在学していること。
- (2) 30単位以上修得していること。

2 前項第2号は、当該学部教授会の認める特別の事情がある場合には、適用しない。

(学籍)

第5条 この内規の適用を受けて留学する学生の本学学籍上の取扱いは、在学留学とし、休学としない。ただし、学生が休学を認められ、外国の大学で学修する場合は、この内規は適用しない。

(期間)

第6条 在学中に留学できる期間は、1年以内とする。在学留学期間の算定は、留学先大学の別にかかわらず、当該教育課程における在学留学期間の通算にて行う。

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、1年間を限度として、在学留学期間の延長を許可する。

(履修)

第7条 留学する大学での履修については、留学前に留学する大学の授業科目を検討した上、当該学部又は研究科の指導を受けなければならない。

(学生納付金)

第8条 この内規の適用を受けて留学する学生は、留学中所定の学生納付金を納入しなければならない。

(手続)

第9条 外国の大学に留学する学生で、この内規の適用を希望する場合は、在学留学願を当該学部長又は研究科長を通じて学長に提出するものとする。

2 出発・帰国に際しては、留学出発・帰国届を当該学部長又は研究科長を経て、学長に提出しなければならない。

3 在学留学期間の延長を願い出る場合は、在学留学延長願を当該学部長又は研究科長を通じて、学長に提出するものとする。

(単位認定)

第10条 単位認定を受けようとする者は、帰国後速やかに、次に掲げる必要書類（留学した大学の発行するもの）を添付した取得単位認定願を、当該学部長又は研究科長に提出するものとする。

- (1) 成績証明書（時間数、単位数、科目名を明記したもの）
- (2) 指導教員又はこれに準ずる教員の所見を記したもの
- (3) 受講した科目の内容を説明した教授細目
- (4) 大学履修要項

2 当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会は、関係機関と協議の上審議し、留学した大学での取得単位を学則の定めるところにより認定することができる。

(帰国後の登録及び履修)

第11条 留学した学生の帰国直後の春学期又は秋学期における登録及び履修については、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会が出国時までの履修状況等を勘案し、特別の措置を講ずることがある。なお、設置科目によっては関係機関との協議を必要とする。

(事務)

第12条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第13条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

同志社大学外国協定大学派遣留学生に関する内規

(目的)

第1条 この内規は、同志社大学外国協定大学派遣留学生制度を設け、本学の外国協定大学に学生を派遣し、もって本学建学の精神である国際主義を体得した学生を養成することを目的とする。

(定義)

第2条 この制度による外国協定大学派遣留学生とは、本学と外国の大学との大学間協定に基づき、学長の推薦により、外国の大学に留学する学生をいう。

(取扱い)

第3条 外国協定大学派遣留学生として留学をする場合は、この内規によるほか、「外国の大学に留学する学生の取扱いに関する内規」の定めるところによる。

(出願条件)

第4条 外国協定大学派遣留学生として出願できる学生は、学力、人物共に優秀で本制度の趣旨をよく理解し、留学年度の4月1日現在、学部2年次生以上の者又は大学院に在学中の者とする。

(義務)

第5条 外国協定大学派遣留学生として留学を希望する学生は、募集要項に定める出願書類を指定された期日までに提出しなければならない。

(推薦方法)

第6条 外国協定大学派遣留学生は、学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の推薦に基づき、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が候補者を決定し、留学先大学に推薦する。

(候補者の決定)

第7条 外国協定大学派遣留学生の最終決定は、留学先大学による当該留学生の受入れ決定に基づき、学長がこれを行う。

(留学期間)

第8条 留学期間は、留学先大学の正規の1年以内とする。ただし、当該学部教授会、研究科教授会又は研究科委員会の認める特別の事情がある場合は、教務〔国際〕主任会議の審議を経て、学長が外国協定大学への在学留学期間の延長を認めることがある。

(事務)

第9条 この内規に関する事務は、国際連携推進機構国際センター国際課が取り扱う。

(改廃)

第10条 この内規の改廃は、教務〔国際〕主任会議及び部長会の審議を経て、学長が決定する。

附 則

この内規は、2015年4月1日から施行する。

学業履修について

本学のカリキュラム（教育課程）は、各学部・学科の教育上の目的を達成するために、学部ごとに定められています。本学において卒業するためには、所定の単位を修得し、この課程を修めなければなりません。

各学部のカリキュラムに定める授業科目の登録・履修にあたっての詳細な説明・手続については、本要項および各学部ごとに作成されている『登録要領』を参照してください。なお、各授業科目の内容については『シラバス』を参照してください。

障がいのある学生への受講に対する配慮

身体、精神・発達等に障がいのある学生が、他の学生と等しい条件のもとで科目を受講できるよう、「合理的配慮」について検討します。

合理的配慮を希望される場合は、スチューデントダイバーシティ・アクセシビリティ支援室（SDA 室）までご相談ください。

単位制

単位制とは、各学部ごとに定められた授業科目を登録・履修し、試験に合格することによりそれぞれの授業科目の所定の単位を得、修業年限中に卒業に必要な単位数を修得していく制度です。

現在の我が国の大学制度は単位制度を基本としており、下記に記載している学則のとおり、1単位は、教室等での授業時間と準備学習や復習の時間を合わせて標準45時間の学修を要する教育内容をもって構成されています。授業だけでなく、準備学習や復習の時間の重要性をよく理解しておくようにしてください。

卒業必要単位数は学部によって異なるので、所属学部の欄を参照してください。学部授業科目の単位数の計算は、次の基準によります（学則第9条 3項 4項）。

- 3 授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、次の基準による。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (2) 実験、実習、実技等については、30時間から45時間までの範囲で本大学が定める時間の授業をもって1単位とする。
 - (3) 第1号に規定する授業の方法と前号に規定する授業の方法を併用する場合の単位数の基準は、前2号に規定する基準を考慮して本大学が定める。
- 4 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定める。

授業時間

本学における授業時間は1講時について90分とし、これを2時間と計算しています。例えば、「春学期・週2時間」とは、春学期期間中に90分の授業が週1回行われるということであり、「秋学期・週4時間」とは、秋学期期間中に90分の授業が週2回行われるということです。

講時	授業時間
1	9:00～10:30
2	10:45～12:15
3	13:10～14:40
4	14:55～16:25
5	16:40～18:10
6	18:25～19:55
7	20:10～21:40

休講

授業は、学年暦によって行われますが、担当者の公務、出張、学会、病気などによって休講となる場合もあります。休講に関する情報は本学学修支援システム DUET（以下 DUET という）で確認することができます。急な休講や休講取消もありますので、DUET を適宜確認するようにしてください。なお、休講情報もなく、講義が始まらない場合は各キャンパスの教務センターへ申し出て、確かめるようにしてください。

補講

補講に関する情報は、DUET で確認することができます。日時、教室などをよく確認して受講してください。

集中講義

科目によっては、特定期間内に集中して行う講義（集中講義）があります。詳細については、すべて掲示によって連絡します。

授業教室

- (1) 学部授業時間割表は、科目登録・履修に必要な書類とともに、各自に配付されますが、それ以後の教室変更などは、DUET でお知らせしますので、よく注意してください。なお、秋学期開講科目の学部授業時間割表は、9月中旬にあらためて公開、配付します。
- (2) 開講当初の授業教室は、学部授業時間割表に記載しています。授業教室は登録者数の増減により変更することがありますので、DUET で変更教室を確認のうえ、授業に出席してください。
- (3) 授業教室名はすべて略号と教室番号で記載されています（次頁表）。例えば、京田辺校地の場合「1-201」は真真館1号館201番教室（2階）、「KD202」は恵道館202番教室（2階）を、また、今出川校地の場合「Z地1（ZB1）」は尋真館地下1番教室（地階）、「S32」は至誠館32番教室（3階）を表すものです。
- (4) 授業教室は、臨時に変更することがあります。この場合は「臨時教室変更」として DUET でお知らせしますので、その講時のみ変更された教室で受講してください。

〔京田辺キャンパス〕

略号	館名
(TC) 1	知真館1号館
(TC) 2	知真館2号館
(TC) 3	知真館3号館
KD	恵道館
TS	頌真館
MK	夢告館
JM	情報メディア館
RM	ローム記念館
KR	交隣館
RG	理化学館
IN	医心館
YE	有徳館西館
YM	有徳館東館
SC	至心館
KC	香知館
HS	報辰館
SO	創考館
CG	知源館
SJ	知証館南館 心理学実験室
D	知証館南館 電気系実験実習棟
IJ	知証館北館 機械系実験実習棟
MS1	知証館北館 機械実習工場
MS2	実習工場別棟
HC	訪知館
BJ	磐上館
KHH	香柏館高層棟
KHL	香柏館低層棟
DV	デヴィス記念館
TW	体育シャワー棟

〔今出川キャンパス〕

N	寧静館
M	明德館
S	至誠館
K	弘風館
G	神学館
F	扶桑館
CL	クラーク記念館
H	博遠館
T	徳照館
KE	光塩館
RY	良心館

〔新町キャンパス〕

Z	尋真館
R	臨光館
SS	新創館
KS	湊水館

〔烏丸キャンパス〕

SK	志高館
----	-----

〔室町キャンパス〕

KMB	寒梅館
-----	-----

〔大阪サテライト〕

OS	大阪サテライト
----	---------

情報教室（京田辺キャンパス）

略称	教室名	館名
JM101	情報メディア館演習室1	情報メディア館1階
JM102A~C	情報メディア館情報道場1~3	情報メディア館1階
JM201~206	情報メディア館201~206番教室	情報メディア館2階
JM301~306	情報メディア館301~306番教室	情報メディア館3階
JM402~406	情報メディア館402~406番教室	情報メディア館4階
TS101・102	頌真館101・102番教室	頌真館1階
TS202	頌真館202番教室	頌真館2階

情報教室（今出川キャンパス）

K21・22・25	弘風館21・22・25番教室	弘風館2階
RY307~315	良心館307~315番教室	良心館3階

情報教室（新町キャンパス）

R303・304	臨光館303・304番教室	臨光館3階
----------	---------------	-------

情報教室（烏丸キャンパス）

SK地1・地9	志高館地下1・地下9番教室	志高館地階
---------	---------------	-------

KSR	継志寮
-----	-----

授業の録音・録画等について

科目担当者が事前に許可した場合を除き、次の行為を禁止します。

- (1)授業の撮影（黒板・スクリーン等の撮影を含む）
- (2)授業の録音・録画
- (3)授業において配付した資料の複写
- (4)視聴のためにサーバ等に保存した授業動画のダウンロード
- (5)上記(1)~(4)により取得したものの第三者への譲渡・公開等

試験および授業内に行われる多面的評価について

本学の成績評価は、試験と授業内に行われる多面的評価により行います。

1. 試験

試験には下記の種類があります。

- (1)定期試験
各学期末の定められた期間に行われる試験を定期試験といいます。
- (2)臨時試験
定められた期間以外に行われる試験を臨時試験といいます。
- (3)追試験
病気またはやむを得ない理由のために、定期試験または学部教授会が認める臨時試験を受験できなかった場合に限り行われる試験を追試験といいます。受験希望者は以下の点に注意してください。
 - a. 当該科目の試験日の翌日から起算して3日以内（窓口業務休止日を除く）に、追試験願を所属学部・研究科窓口へ提出しなければならない。ただし、課外活動のために受験できない場合、追試験願は事前に提出し承認を受けなければならない。
 - b. 追試験願には、当該試験を受験できなかった事由を証明する以下の書類を添付しなければならない。
 - c. 1科目につき1,000円の追試験料を必要とする。ただし、裁判員制度および検察審査会制度を事由とする追試験については、追試験料を免除する。なお、追試験を未受験であった場合でも追試験料は返還しない。
 - d. 追試験は通常の試験と同等に評価される。減点はされない。
 - e. レポート試験は追試験の対象にはなりません。提出締切日・時間に突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わなくなった場合は、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り、指示を受けること。
 - f. 追試験も何らかの事情により受験できなかった場合には、これに対する追試験は実施しない。

対象事由例	必要な証明書類
本人の病気、怪我	医師の診断書（試験当日安静が必要である旨の記載が必要） 学校感染症の場合は、大学所定の『「学校において予防すべき感染症」罹患証明書』でも可
親族（2親等内）死亡 (適用期間は次のとおりとする。 ・死亡日を1日目とした7日以内。 ・死亡前日を1日目として遡った3日以内。)	死亡診断書、会葬案内等
教育実習	免許資格課程センター事務室の証明書
介護等体験	免許資格課程センター事務室の証明書
館園実習	免許資格課程センター事務室の証明書
社会福祉援助、精神保健福祉援助に関する実習	社会学部・社会学研究科事務室の証明書
公認心理師に係る心理実習	心理学部・心理学研究科事務室の証明書
就職試験 (注1)	企業等が発行する就職試験受験証明書 (大学所定用紙あり)
大学院入学試験	当該大学院が発行する受験証明書
正課科目のインターンシップ	キャリアセンター、または大学コンソーシアム京都が発行する証明書
大学コンソーシアム京都単位互換科目の定期試験	当該科目設置大学が発行する受験証明書
国家試験	当該試験の受験票
課外活動	事前届出に基づく学生支援センターの証明書
災害	被災証明書
交通機関の事故、不通 (1時間以上(注2)の延着の場合に限る。)	交通機関の延着証明書
裁判員制度 ・裁判員候補者として裁判員等選任手続に参加 ・裁判員、補充裁判員として職務に従事	裁判所が発行する証明書
検察審査会制度 ・検察審査員、補充員として職務に従事	検察審査会事務局が発行する証明書

(注1) 採用に関わらないセミナー、説明会を除く。追試験の対象事由について判断しかねる場合は、キャリアセンターに問い合わせてください。

(注2) 1時間未満の場合は、その都度教務部で対応を決定する。

2. 試験上の注意

- (1) 受験のためには次の条件を備えていることが必要です。
 - a. 有効な登録がなされた科目であること。
 - b. 学費納入が済んでいること。
 - c. 科目担当者の指定する条件を備えていること。なお、授業日数の3分の2以上の出席がない場合は、科目担当者の判断によって、受験資格を取消することがある。
- (2) 試験場においては次のことを守らなければなりません。
 - a. 指定された試験場で受験すること。
 - b. 必ず学生証を持参し、机上に提示すること。万一、持参しなかった場合は、その試験の始まる前に証明書自動発行機(発行手数料100円)で仮学生証を発行すること。
 - c. 持ち込みを許された物以外はすべて鞆・袋などに入れること。なお、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)については、電源を切って鞆や袋などにしまうこと(携帯機器類は時計代わりの使用も認めない)。
 - d. 試験開始より15分以上遅刻したものは受験できない。また、試験開始後30分を経過するまでは退室できない。
 - e. 受験者は学生証と答案用紙の氏名との照合確認を受けること。
 - f. 答案用紙の学生ID、氏名は必ずペン書とする。
 - g. 試験を放棄する場合は答案用紙に学生ID、氏名を記入して提出すること。答案用紙を持ち帰ってはならない。
 - h. その他すべて試験監督者の指示に従うこと。
- (3) 次の場合には、その答案は無効とみなされることがあります。
 - a. 無記名の場合。
 - b. 指定された試験場で受験しなかった場合。
 - c. 氏名を訂正した場合。
- (4) 次の行為は、不正行為として取り扱います。
 - a. 本人以外の者が、本人になりすまして試験を受けること。
 - b. 試験を受験するにあたって、机上や衣服、身体等に書き込みをすること。
 - c. 試験を受験するにあたって、持ち込みや使用を認められたものに書き込みをする等、本来の使用目的と異なる使い方をすること。
 - d. 試験時間中に、カンニングペーパー類や持ち込みを許可されていない参考書・ノート類を持ち込んだり、他の受験生の答案を見ること、他の人から答えを教わること。
 - e. 試験時間中に、答えを教える等の他の受験生を利するような行為をすること。
 - f. 答案用紙配付から回収までの私語や答案の見せ合い、交換をすること。
 - g. その他、試験監督者の指示に従わないこと。
- (5) 次の行為は、不正行為として取り扱う場合があります。
 - a. 試験時間中に、使用を認められていない器具を使用して解答すること。

講時	試験時間
1	9:20~10:30
2	11:00~12:10
3	13:25~14:35
4	15:05~16:15
5	16:45~17:55
6	18:25~19:35
7	20:05~21:15

窓口受付時間(開講期間)

		月~金曜日	土曜日
今 出 川 ※	今出川キャンパス教務センター 文学部、法学部、経済学部、今出川校地教務課、 免許資格課程センター事務局、 全学共通教養教育センター事務局	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 8:40~17:00	総合窓口のみ 8:40~11:30 12:30~17:00
	新町総合窓口 社会学部事務局、政策学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 8:40~17:00	
	神学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉室
	商学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	
京 田 辺 ※	グローバル地域文化学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	
	国際教育インスティテュート事務局 国際教養教育院事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉室
	京田辺キャンパス教務センター 生命医科学部、スポーツ健康科学部、心理学部、 グローバル・コミュニケーション学部、 免許資格課程センター事務局、京田辺校地教務課	9:00~11:30 12:30~17:00 総合窓口 9:00~17:00	閉室
	文化情報学部事務局 理工学部事務局	9:00~11:30 12:30~17:00	閉室

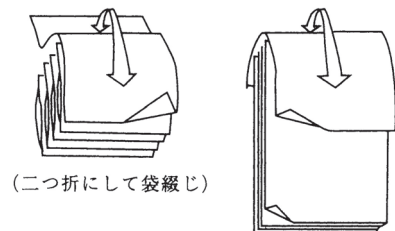
登録期間、休暇期間は受付時間が変わります。窓口受付時間が変更になる場合は、大学HP、掲示等によってお知らせします。
※ 教務センターの総合窓口では、一般的な質問やレポートの受付等を行います。

- b. 試験監督者の試験開始の指示の前に解答を始めること。
 - c. 試験監督者の試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること。
 - d. 試験場において、他の受験生の迷惑となる行為をすること。
 - e. 試験時間中に、携帯電話(スマートフォンを含む)、パソコン(モバイルPC等を含む)、タブレット端末、スマートウォッチ等の通信機能を有する機器、携帯音楽プレーヤー等の携帯型録音再生機器等(以下「携帯機器類」という。)を身に付けていたり、指示された以外の場所・状態で保管していること。
 - f. 試験時間中に、携帯機器類・時計等の音(着信、アラーム、振動音等)を鳴らすこと。
 - g. その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
- (6) 前2項の不正行為があつて、当該学部教授会がそれを認定した場合は、その試験が実施された学期中の全科目を不合格(2004年度生以降)または0点(2003年度生以前)とし、これを公表する(ただし、当該教授会が定める科目については除く)。

3. 論文・レポート試験の注意

- (1) 論文・レポート提出時は、次のことに注意すること。
 - a. 論文・レポートには所定の表紙(同志社生協で販売又は、https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/exam_type.htmlでダウンロード可)を付けること。
 - b. 表紙およびレポート受領書は、ペン書きのこと。
 - c. 学生証を持参のうえ、必ず本人が提出すること。郵送は認めない。
 - d. 提出締切日・時間に遅れた論文・レポートは、受け付けない。ただし、提出締切日の突発的な事故等やむを得ない事由により、提出締切時間に間に合わない場合、必ず提出締切時間までに提出先に連絡を取り指示を受けること。
 - e. 一度提出したレポートは、提出締切日前であっても加筆・修正はできない。
 - f. レポート受領書は、評価が出るまで大切に保管すること。

〈見本〉 原稿用紙 レポート用紙



- (2) 論文・レポートに関する不正行為について。

次のような論文・レポートの不正作成は、筆記試験におけると同様に不正行為として取扱い、教授会が認定した場合は学部一般内規に従って処分の対象とします。

- a. 論文・レポートの作成にあたって、他人の著作物やWEB上の情報等を参照・引用したにもかかわらず、引用部分の明示や出典の記載もなく、自身で作成したように記述すること。
- b. 他人が作成した論文・レポートを自分のものとして提出すること。

- c. 他人に依頼し作成された論文・レポートを自分のものとして提出すること。
- d. 他人に依頼されて論文・レポートを作成すること。
- e. 転記目的で他人が作成した論文・レポートの提供を受けること、また自身が作成した論文・レポートを転記目的で他人に提供すること。
- f. その他、論文・レポートの公平性を損なう行為をすること。

4. e-learning 等 Learning Management System (LMS) による試験に関する注意

e-learning 等 LMS による試験を受験する場合は、次のことに注意すること。

- a. パスワードを他人に教えたり、IC 学生証を貸し借りしたりしないこと。
- b. 上記行為による、なりすまし、代理解答は不正行為にあたり、当該学部教授会がそれを認定した場合は、通常の筆記試験と同等に処分の対象となる。

5. 授業内に行われる多面的評価について

評価の方法により、「1. (3)追試験」、「2. 試験上の注意」、「3. 論文・レポート試験の注意」、「4. e-learning 等 Learning Management System (LMS) による試験に関する注意」を適用することがある。

学業成績

成績評価

(1) 2004年度生以降

- a. 学業成績は以下の基準にしたがい A、B、C、D、F の 5 段階で評価され、D 以上が合格、F が不合格です。就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には、D 以上の評価を得た科目とその成績に加えて、履修した全ての科目の GPA (Grade Point Average) が記載されます。

判定基準

評価	評点	判定内容
A	4.0	特に優れた成績を示した
B	3.0	優れた成績を示した
C	2.0	妥当と認められる成績を示した
D	1.0	合格と認められる最低限度の成績を示した
F	0.0	合格と認められるに足る成績を示さなかった

- b. GPA は、A～F の段階で評価された全科目の評価を評点に換算して、その単位数で加重平均することによって算出されます。GPA の算出方法は次のとおりです。

$$GPA = \frac{(A) \times 4.0 + (B) \times 3.0 + (C) \times 2.0 + (D) \times 1.0 + (F) \times 0.0}{(A) + (B) + (C) + (D) + (F)}$$

(A～F) は A～F の評価が付いた科目の単位数の合計

(2) 2003年度生以前

- a. 学業成績の評価は、100点満点で60点以上が合格、それに満たないものは不合格です。ただし、就職用成績証明書等、本学以外で使用するために発行する学業成績証明書には優、良、可 (英文の場合は A、B、C) による評価が使用されます。優 (A) は 100～80点、良 (B) は 79～70点、可 (C) は 69～60点です。
- b. 平均点は、合格点に達している科目の得点を、その単位数で加重平均することによって算出されます。加重平均の算出方法は次のとおりです。

$$\text{平均点} = \frac{(\text{各科目の得点} \times \text{単位数}) \text{の合計}}{\text{総単位数}}$$

成績発表

履修科目の成績は、春学期末 (9月中旬) と秋学期末 (3月中旬) に各自に通知します。それ以前の成績の照会には応じません。

採点質問

成績評価に関する質問や異議申し立てをしたい場合は、定められた成績通知日から 1 週間以内に、所属の学部・研究科窓口に採点質問票を提出してください。

不合格科目

(1) 2004年度生以降

F 評価であった科目を再び履修して D 以上の評価を得た場合は、直近の F 評価についてのみ GPA に算入されません。

ただし、一部の科目については取扱いが異なる場合がありますので、各学部の配布物等を参照してください。

(2) 2003年度生以前

不合格となった科目を再び履修して合格点を得た場合は、以前の不合格点は合格点に変更されます。

卒業の可否発表

卒業の可否の発表は 2 月下旬から 3 月上旬の卒業判定教授会終了後、各学生 (父母住所宛) に通知します。それまでは、成績および卒業可否についての問い合わせには一切応じません。

クレーム・コミッティ制度

科目担当者との直接的なコミュニケーションでは解決できない授業内容や授業方法に関する改善の要望がある場合は、所属の学部・研究科窓口に相談してください。学部・研究科で相談の内容を確認後、必要に応じて各学部等のクレーム・コミッティが事実関係を調査し、クレームに関わる一連の対応について回答します。

なお、いかなる場合であっても、相談者の学生 ID や氏名が科目担当者に明かされることはなく、また相談によって決して不利益を被ることはありません。

欠席届

授業に欠席し、その理由を科目担当者に伝える場合は、欠席届を利用します。欠席届の用紙は学部・研究科事務室または各キャンパス教務センターで配布していますので、必要事項を記入の上、科目担当者に直接提出してください。なお、欠席届は任意で提出するものですので、届出必要科目は各自で判断してください。

○提出の際の留意点

- ・欠席届は、欠席の事由を科目担当者へ伝える届です。本学には「公欠」の制度はありませんので、「追試験の対象となる事由」に該当する事由か否かにかかわらず、欠席届の取扱い (欠席扱いにしない・する等) は、担当者の判断に委ねられます。
- ・欠席の事由を客観的に証明する書類がある場合は、欠席届に添付して提出してください (コピーでも可)。

例) 病気の場合は「診断書」、就職試験の場合は「受験先企業等が発行する就職試験受験証明書 (本学所定用紙あり)」など

※ただし、欠席の事由が以下に該当する場合は、まずそれぞれの窓口に申し出て相談してください。

事由	相談窓口
学校感染症罹患による出席停止	所属の学部窓口
免許資格課程が必修としている正課科目の実習（教育実習、博物館実習、図書館演習）や介護等体験に参加	免許資格課程センター事務室（各キャンパス教務センター内）
資格取得に必修となっている正課科目の実習に参加、など	当該科目の設置学部・研究科事務室、所属の学部窓口
裁判員制度によるもの	所属の学部窓口
検察審査会制度によるもの	所属の学部窓口

社会調査士について

1. 社会調査士とは

「社会調査士」は、社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場動向、社会事象等をとらえることのできる能力を有する「調査の専門家」です。

現代の情報化社会では、おびただしい数の社会調査が行われています。変動の激しい、多極化・複雑化の進む社会的現実をとらえ、生起するさまざまな課題や社会問題の解決をはかっていく上で、社会調査は不可欠の方法です。

しかし、社会調査の高まる重要性に比して、その担い手となる専門的人材の育成システムの現状はきわめて未整理の状態にあり、現在実施されている社会調査の一部については、しばしば方法上・倫理上の問題点が指摘されており、社会調査の質的な改善や水準向上を求める声には大きなものがあります。

そこで社会調査に関する教育体制を整備し、科学的な社会調査を担える人材の育成を組織化すると同時に、その専門的職業としての資格の制度化をはかるために、日本教育社会学会、日本行動計量学会、日本社会学会の、相互の連携協力のもとに、2003年11月、「社会調査士資格認定機構」が創設され、また2008年12月には、一般社団法人「社会調査協会」へと法人化されました。

社会調査協会では、2004年より資格認定を行っており、2018年までに全国の大学を卒業した計30,000名以上が社会調査士資格を取得しています。また、3,000名以上が大学院レベルや大学教員・研究者を対象とした専門社会調査士資格を取得しています。研究・教育機関のみならず、一般企業・官公庁などの仕事に携わるものにとって、社会調査士はスタンダードな資格となりつつあります。

2. 社会調査士資格のための科目

社会調査協会は、社会調査士の資格を取得するために(1)4年制大学を卒業していること、(2)協会が認定した社会調査士カリキュラムを設置している大学で所定の単位を取得していること、を求めています。

協会は、A～Gの科目群を社会調査士の標準カリキュラムとして定めており、本学部社会学科で開講している科目はそれに次のように対応しています。

3. 社会調査士資格の申請について

なお、社会調査協会への申請手続きについては、適時お知らせいたしますので、社会学部事務室前の掲示や社会学部および社会調査協会のホームページに注意してください。また、社会学科教員にも尋ねてください。

社会調査士のために必要な履修科目

社会調査士の資格は、本学在学中に下記の科目群からそれぞれ一科目以上に合格したうえで、卒業時に申請することで取得できます（EとFはいずれか選択でも可）。資格取得を希望する人は、在学中に、計画的に必要な科目を履修するようにしてください。また認定科目は年々変化しますので、最新の情報は社会調査協会のホームページで確認してください。（<http://jasr.or.jp>）

【A】社会調査の基本的事項に関する科目

社会調査入門（2016～2023年度）

【B】調査設計と実施方法に関する科目

社会学研究法A（2016～2023年度）

【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目

社会学概論（2016～2023年度 鶴飼クラス）

【D】社会調査に必要な統計学に関する科目

社会統計学I（2016～2023年度）

【E】量的データ解析の方法に関する科目

社会統計学II（2016～2023年度）

【F】質的な分析の方法に関する科目

社会学研究法B（2016～2023年度）

【G】社会調査の実習を中心とする科目

社会調査実習I,II（2023年度 轡田クラス）
社会調査実習I,II（2022年度 轡田・藤本クラス）
社会調査実習I,II（2021年度 轡田クラス）
社会調査実習I,II（2020年度 轡田・藤本クラス）
社会調査実習I,II（2019年度 轡田・藤本クラス）

社会調査実習I（2023年度 尾嶋・小林・板垣・西岡・徳田・李クラス）
社会調査実習I（2022年度 尾嶋・小林・板垣・平尾・徳田・李クラス）
社会調査実習I（2021年度 尾嶋・小林・板垣・平尾・徳田クラス）
社会調査実習I（2020年度 尾嶋・小林・板垣・平尾・徳田クラス）
社会調査実習I（2019年度 尾嶋・小林・板垣・平尾・徳田クラス）

※2018年度以前生については社会調査協会のホームページから認定科目を確認してください

社会福祉士について

1. 社会福祉士とは

1) 国家資格としての社会福祉士

社会福祉士とは、1987(昭和62)年に「社会福祉士及び介護福祉士法」という法律の制定により誕生した、日本における社会福祉専門職(ソーシャルワーカー: Social Worker)の国家資格です。その業務は「専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連携及び調整その他の援助」(法2条)を行うこととされています。社会福祉士には、様々な専門的知識や技術を駆使しながら、人々が生活を営む上で直面する様々な困難(「生きづらさや生活のしづらさ」)に適切に対応し、そのような困難状況にある人々の生活を支援するための実践力が求められます。

2) 社会福祉士の活動が期待されている分野

2007(平成19)年に社会福祉士の制度改正が行われ、実践力の高い社会福祉士を養成する仕組みが整備されました。

複雑・多様化する現代社会において、社会福祉士は、従来からの福祉分野はもちろんのこと、医療、教育、司法、労働分野などへと働く場が拡大され、その活躍が期待されています。社会福祉士が働く具体的な職場や機関として、たとえば次のようなところがあります。

- 福祉事務所 児童相談所等の社会福祉行政機関
- 特別養護老人ホーム、老人保健施設、障害者支援施設、児童養護施設などの、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉分野の様々な施設や福祉サービス事業所
- 社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの地域における様々な相談・支援機関
- 病院(医療ソーシャルワーカー)
- 学校や教育委員会(スクールソーシャルワーカー)
- 刑務所や地域生活定着支援センターなどの司法福祉機関
- 子育て支援や青少年支援、外国人支援のNPOなど、様々な福祉関係の民間団体
- 独立型社会福祉事務所

2. 受験資格の取得と国家試験について

同志社大学では、社会学部社会福祉学科が設置している履修科目の中から、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目(「指定科目」という)を履修して、卒業した者(もしくは卒業見込みの者)が社会福祉士国家試験の受験資格を取得できます(ただし、2009年度以降生については、社会福祉学科所属学生のみが対象となります)。

そのうえで、社会福祉士資格を取得するためには、国家試験に合格することが必要です。国家試験は毎年2月に全国各地で行われています。合格率は全国平均で30%程度であり、決して簡単な試験ではありませんが、本学での勉強の成果を発揮して、多くの卒業生が合格しています。

3. 社会福祉士の登録について

社会福祉士国家試験の合格発表は毎年3月中旬に行われます。国家試験に無事に合格し、厚生労働省が管理する社会福祉士登録簿に所定の事項に関する登録手続きを行ったのちに、厚生労働大臣より「社会福祉士登録証」が交付されます。

この登録証を交付されてはじめて、「社会福祉士」の名称を用いることができます。

4. その他

社会福祉士の仕事や国家試験等に関する情報については、下記の日本社会福祉士会や社会福祉振興・試験センターのホームページなどが参考になります。

(公社) 日本社会福祉士会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13
カタオカビル2階
電話 03(3355)6541(代)
<http://www.jacsw.or.jp/>

(財) 社会福祉振興・試験センター

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目5番6号
SEMPOSビル4階
電話 03(3486)7521(代)
<http://www.sssc.or.jp/>

社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な履修科目 2013年度生～対象

社会福祉士の国家試験受験資格は、本学社会福祉学科在学中に「指定科目」を履修することによって得られます。下記の科目対照表を参考にして、科目登録をしてください。

社会福祉士指定科目		同志社大学で該当する履修科目		国家試験科目
1	人体の構造と機能及び疾病	1科目のみの選択履修でも可、ただし3科目ともに国家試験科目である。	「医学知識Ⅰ」および「医学知識Ⅱ」	人体の構造と機能及び疾病
2	心理学理論と心理的支援		「心理学Ⅰ」および「心理学Ⅱ」	心理学理論と心理的支援
3	社会理論と社会システム		社会学概論	社会理論と社会システム
4	現代社会と福祉		「社会福祉政策Ⅰ」および「社会福祉政策Ⅱ」	現代社会と福祉
5	社会調査の基礎		社会福祉調査	社会調査の基礎
6	相談援助の基盤と専門職		ソーシャルワーク論Ⅰ	相談援助の基盤と専門職
7	相談援助の理論と方法		「ソーシャルワーク論Ⅱ」および「ソーシャルワーク論Ⅲ」	相談援助の理論と方法
8	地域福祉の理論と方法		地域福祉論	地域福祉の理論と方法
9	福祉行財政と福祉計画		福祉行財政と福祉計画	福祉行財政と福祉計画
10	福祉サービスの組織と経営		社会福祉施設経営論	福祉サービスの組織と経営
11	社会保障		社会保障論	社会保障
12	高齢者に対する支援と介護保険制度		「高齢者福祉論Ⅰ・Ⅱ」および「介護概論」	高齢者に対する支援と介護保険制度
13	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		障害者福祉論Ⅰ	障害者に対する支援と障害者自立支援制度
14	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度		児童福祉論Ⅰ	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
15	低所得者に対する支援と生活保護制度		公的扶助	低所得者に対する支援と生活保護制度
16	保健医療サービス		医療福祉論	保健医療サービス
17	就労支援サービス	1科目のみの選択履修でも可、ただし3科目ともに国家試験科目である。	就労支援サービス論	就労支援サービス
18	権利擁護と成年後見制度		権利擁護と成年後見	権利擁護と成年後見制度
19	更生保護制度		司法福祉論	更生保護制度
20	相談援助演習		「社会福祉学基礎演習Ⅰ」および「ソーシャルワーク演習Ⅰ」および「ソーシャルワーク演習Ⅱ」	
21	相談援助実習指導		「社会福祉実習Ⅴ」および	
22	相談援助実習		「社会福祉実習Ⅵ」	

社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な履修科目 2021年度生～対象

社会福祉士の国家試験受験資格は、本学社会福祉学科在学中に「指定科目」を履修することによって得られます。下記の科目対照表を参考にして、科目登録をしてください。

社会福祉士指定科目		同志社大学で該当する履修科目	国家試験科目
1	医学概論	医学概論	医学概論
2	心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	心理学と心理的支援
3	社会学と社会システム	社会学と社会システム	社会学と社会システム
4	社会福祉の原理と政策	「社会福祉政策」および 「社会福祉の歴史と思想」	社会福祉の原理と政策
5	社会福祉調査の基礎	社会福祉調査	社会福祉調査の基礎
6	ソーシャルワークの基盤と専門性	ソーシャルワーク論Ⅰ	ソーシャルワークの基盤と専門性
7	ソーシャルワークの基盤と専門性(専門)		ソーシャルワークの基盤と専門性(専門)
8	ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅱ	ソーシャルワークの理論と方法
9	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワーク論Ⅲ	ソーシャルワークの理論と方法(専門)
10	地域福祉と包括的支援体制	地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制
11	福祉サービスの組織と経営	社会福祉施設経営論	福祉サービスの組織と経営
12	社会保障	社会保障論	社会保障
13	高齢者福祉	高齢者福祉論	高齢者福祉
14	障害者福祉	障害者福祉論	障害者福祉
15	児童・家庭福祉	児童・家庭福祉論	児童・家庭福祉
16	貧困に対する支援	公的扶助	貧困に対する支援
17	保健医療と福祉	医療福祉論	保健医療と福祉
18	権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見	権利擁護を支える法制度
19	刑事司法と福祉	司法福祉論	刑事司法と福祉
20	ソーシャルワーク演習	社会福祉学基礎演習Ⅰ	
21	ソーシャルワーク演習(専門)	「ソーシャルワーク演習Ⅰ」および 「ソーシャルワーク演習Ⅱ」	
22	ソーシャルワーク実習指導	「ソーシャルワーク基礎実習Ⅰ」および 「ソーシャルワーク基礎実習Ⅱ」および	
23	ソーシャルワーク実習	「ソーシャルワーク専門実習Ⅰ」および 「ソーシャルワーク専門実習Ⅱ」	

精神保健福祉士について

1. 精神保健福祉士とは

1) 精神保健福祉士の業務

精神保健福祉士は、高度の専門知識、技術を習得した精神障害者の保健および福祉に関する相談援助の専門家です。この資格は、わが国が諸外国と比べて、入院して治療を受けている精神障害者の割合が高いこと、またその期間が著しく長期にわたることへの対応が迫られている中で制定された「精神保健福祉士法」に規定された国家資格です。「精神保健福祉士」という名称を用い、精神病院その他の医療施設において医療を受けている者、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者等の治療や社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うことを業務とします。

2) 精神保健福祉士が期待されている活動分野

精神保健福祉士は、精神病院及び精神保健関係団体、相談機関などにおいて専門職員として従事し、専門的な相談援助活動を行うことが期待されています。その場合の具体的な機関団体は以下のようなものです。（詳細は精神保健福祉士法施行規則を参照のこと）

- ①精神科病院
- ②市役所、区役所又は町村役場
（精神障害者に対してサービスを提供する部署）
- ③保健所又は市町村保健センター
- ④障害児通所支援事業を行う施設、乳児院、児童相談所、母子生活支援施設、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設又は児童家庭支援センター（精神障害者に対してサービスを提供するもの）
- ⑤病院又は診療所
（精神病床を有するもの又は精神科もしくは心療内科を広告しているもの）
- ⑥EPA（従業員支援プログラム）サービス機関 等

2. 国家試験について

同志社大学では、社会学部社会福祉学科が設置している履修科目の中から、厚生労働大臣の指定する精神保健福祉に関する科目（「指定科目」という）を履修して、卒業した者（もしくは卒業見込みの者）が精神保健福祉士国家試験の受験資格を取得できます。

3. 精神保健福祉士の登録

精神保健福祉士は、国家試験に合格し、資格を得た人が厚生労働省に備えられている精神保健福祉士登録簿に所定の事項を登録した時に、厚生労働大臣から精神保健福祉士登録証が交付されます。また登録した者のみが「精神保健福祉士」の称号を用いることができます。

国家試験についての問い合わせは、次の試験センターに行ってください。

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目5番6号
SEMPOSビル4階
（財）社会福祉振興・試験センター
電話（03）3486-7521

精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な履修科目 2013年度生～対象

精神保健福祉士の国家試験受験資格は、本学社会福祉学科在学中に「指定科目」を履修することによって得られます。下記の科目対照表を参考にしてください。

精神保健福祉士指定科目

同志社大学で該当する履修科目

国家試験科目

1	人体の構造と機能及び疾病	1科目のみの選択履修でも可、ただし3科目ともに国家試験科目である。	医学知識Ⅰ」および「医学知識Ⅱ」	1科目のみの選択履修でも可、ただし3科目ともに国家試験科目である。	人体の構造と機能及び疾病
2	心理学理論と心理的支援		「心理学Ⅰ」および「心理学Ⅱ」		心理学理論と心理的支援
3	社会理論と社会システム		社会学概論		社会理論と社会システム
4	現代社会と福祉		「社会福祉政策Ⅰ」および「社会福祉政策Ⅱ」		現代社会と福祉
5	地域福祉の理論と方法		地域福祉論		地域福祉の理論と方法
6	社会保障		社会保障論		社会保障
7	低所得者に対する支援と生活保護制度		公的扶助		低所得者に対する支援と生活保護制度
8	福祉行財政と福祉計画		福祉行財政と福祉計画		福祉行財政と福祉計画
9	保健医療サービス		医療福祉論		保健医療サービス
10	権利擁護と成年後見制度		権利擁護と成年後見		権利擁護と成年後見制度
11	障害者に対する支援と障害者自立支援制度		障害者福祉論Ⅰ		障害者に対する支援と障害者自立支援制度
12	精神疾患とその治療		精神医学		精神疾患とその治療
13	精神保健の課題と支援		精神保健学		精神保健の課題と支援
14	精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）		ソーシャルワーク論Ⅰ		精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）
15	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）		精神保健福祉援助技術総論		精神保健福祉相談援助の基盤（専門）
16	精神保健福祉の理論と相談援助の展開		「精神科リハビリテーション学」および「精神保健福祉援助技術各論」		精神保健福祉の理論と相談援助の展開
17	精神保健福祉に関する制度とサービス		精神保健福祉論		精神保健福祉に関する制度とサービス
18	精神障害者の生活支援システム		精神障害者の生活支援システム		精神障害者の生活支援システム
19	精神保健福祉援助演習（基礎）		[注1]		精神保健福祉援助演習（基礎）
20	精神保健福祉援助演習（専門）		精神保健福祉援助演習		精神保健福祉援助演習（専門）
21	精神保健福祉援助実習指導		「精神保健福祉援助実習Ⅰ」および「精神保健福祉援助実習Ⅱ」および		
22	精神保健福祉援助実習		「精神保健福祉援助実習Ⅲ」[注2]		

※精神保健福祉士の資格取得に必要な演習、実習科目には、学内選考を行うことがあるため、希望しても所定の科目を履修できない場合があります。

[注1] 社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な履修科目のうち、相談援助演習を履修済みのものについては、27文科高第369号障発709第1号により、精神保健福祉援助演習（基礎）の履修を免除する。

[注2] 精神保健福祉の実習・演習時間数は、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令」および「大学等において開講する精神障害者の保健及び福祉に関する科目の確認に係る指針等」に定めるとおり、上記の演習・実習の科目に加えて精神科病院等の医療機関において90時間以上と、障害福祉サービス事業所等における実習120時間以上の合計210時間以上が必要である。ただし、社会福祉士の実習を履修している学生は、障害福祉サービス事業所等における実習時間のうち60時間を上限に免除することができる。本学では、社会福祉士の実習履修学生であるため、原則として、精神科病院等の医療機関において90時間以上と、障害福祉サービス事業所等における実習90時間以上を実習時間としている。

精神保健福祉士国家試験受験資格取得に必要な履修科目 2021年度生～対象

精神保健福祉士の国家試験受験資格は、本学社会福祉学科在学中に「指定科目」を履修することによって得られます。下記の科目対照表を参考にして、科目登録をしてください。

精神保健福祉士指定科目

同志社大学で該当する履修科目

国家試験科目

1	医学概論	医学概論	医学概論
2	心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	心理学と心理的支援
3	社会学と社会システム	社会学と社会システム	社会学と社会システム
4	社会福祉の原理と政策	「社会福祉政策」および 「社会福祉の歴史と思想」	社会福祉の原理と政策
5	地域福祉と包括的支援体制	地域福祉論	地域福祉と包括的支援体制
6	社会保障	社会保障論	社会保障
7	障害者福祉	障害者福祉論	障害者福祉
8	権利擁護を支える法制度	権利擁護と成年後見	権利擁護を支える法制度
9	刑事司法と福祉	司法福祉論	刑事司法と福祉
10	社会福祉調査の基礎	社会福祉調査	社会福祉調査の基礎
11	精神医学と精神医療	精神医学と精神医療	精神医学と精神医療
12	現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援	現代の精神保健の課題と支援
13	ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク論Ⅰ	ソーシャルワークの基盤と専門職
14	精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理
15	ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワーク論Ⅱ	ソーシャルワークの理論と方法
16	ソーシャルワークの理論と方法(専門)	「精神保健福祉ソーシャルワーク論Ⅰ」 および 「精神保健福祉ソーシャルワーク論Ⅱ」	ソーシャルワークの理論と方法(専門)
17	精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論
18	精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論
19	ソーシャルワーク演習	社会福祉学基礎演習Ⅰ	
20	ソーシャルワーク演習(専門)	「精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ」 および 「精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ」 および 「精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅲ」	
21	ソーシャルワーク実習指導	「精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅰ」 および 「精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅱ」	
22	ソーシャルワーク実習	および 「精神保健福祉ソーシャルワーク実習Ⅲ」 [注]	

※精神保健福祉士の資格取得に必要な演習、実習科目には、学内選考を行うことがあるため、希望しても所定の科目を履修できない場合があります。

[注] 精神保健福祉の実習・演習時間数は、「精神障害者の保健及び福祉に関する科目を定める省令」および「大学等において開講する精神障害者の保健及び福祉に関する科目の確認に係る指針等」に定めるとおり、上記の演習・実習の科目に加えて精神科病院等の医療機関において90時間以上と、障害福祉サービス事業所等における実習120時間以上の合計210時間以上が必要である。ただし、社会福祉士の実習を履修している学生は、障害福祉サービス事業所等における実習時間のうち60時間を上限に免除することができる。本学では、社会福祉士の実習履修学生であるため、原則として、精神科病院等の医療機関において90時間以上と、障害福祉サービス事業所等における実習90時間以上を実習時間としている。

父母会文庫について

文学部・社会学部父母会では卒業される学生のご父母より特別な寄付をいただき、先輩から後輩への贈り物として『父母会文庫』を設けています。同文庫の図書は今出川図書館に特別のコーナーを設け、学生諸君の自由な閲覧、利用に供しています。

講義を履修するうえでの必読図書や基本となる図書、あるいは演習で使用する図書などを中心に各学科で選択し、複本も含めてそろえています。図書の検索方法はDOORSで大学の図書と同様に行い、「配架場所」が「今出川図書館 文社会学部文庫」と表示、貸出もできます。

その他に、DVDも所蔵しています。DVDは設備の都合上、図書館のマルチメディア・ライブラリーに設置、保管しており、その場で利用していただくことになっています。

多くの学生諸君に利用されるよう期待しています。

社会学部・社会学研究科研究室図書サービス状況

研究室事務室：臨光館1階（新町キャンパス）
〔開室時間：月～金曜日 9:00～11:30 12:30～17:00〕

	閲 覧		貸 出	
	利用条件	入庫	冊数	期間
学生部	直接来館	可	5冊	14日
大学院生			10冊	28日

備 考

1. 研究室資料を利用の際は、「学生証」を提出し『閲覧・入庫記録』に記帳してください。
2. 雑誌、参考図書などは**閲覧のみ**です。（貸出不可）
3. 入退出、閲覧、コピー等は手続きを含めて時間内に完了してください。※**時間厳守**
4. 電話等での図書所蔵確認はいたしません。
5. 詳細は研究室事務室でお尋ねください。

交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う 授業・試験の実施について（司法研究科以外）

交通機関が不通の場合および暴風警報、特別警報が発表された場合、授業ならびに試験の実施については、以下の措置をとります。

I. 交通機関の不通（原因の如何を問わず）の場合

- ・以下のいずれかに該当する交通機関の不通が発生した場合、発生時の次の講時からその日の授業・試験の一部あるいは全部についてその実施を中止します。
- ・その後の授業・試験の開始等措置は、以下の表のとおり、開通時刻により開始講時を決定します。（早朝からの不通が6時30分までに開通した場合は、平常通り授業を実施します。）
- ・該当交通機関での事故等による一時的な運転見合わせの際には、平常通り授業・試験を実施しますので、ご注意ください。

1. 対象となる交通機関

[今出川校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車（京都河原町～大阪梅田間）、京阪電車（出町柳～淀屋橋間）、近鉄電車（京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間）、JR（神戸～米原間）のうち、2以上の交通機関が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合

[京田辺校地]

- イ. 京都市営バスと地下鉄が同時に全面不通の場合
- ロ. 阪急電車（京都河原町～大阪梅田間）、京阪電車（出町柳～淀屋橋間）、近鉄電車（京都～大和西大寺間、大和西大寺～大阪難波間）、JR（神戸～米原間、木津～京橋間）のうち、2以上の交通機関が同時に不通（全面または部分を問わず）の場合
- ハ. 近鉄電車（京都～大和西大寺間）が全面不通の場合

2. 交通機関開通時刻と授業・試験開始講時

開通時刻	授業・試験開始講時
6時30分までに開通	1講時から実施
6時31分から10時30分までに開通	3講時から実施
10時31分から15時30分までに開通	6講時から実施
15時31分以後に開通	全講時休講

II. 暴風警報あるいは特別警報発表の場合

- ・以下の区域において暴風警報あるいはなんらかの特別警報が発表された場合、発表時の次の講時からその日の授業・試験の実施を中止します。
- ・ただし、発表された時点で、すでに実施中あるいは開始直前の授業・試験については、警報の緊急性等を考慮の上で、大学がその中止を判断します。
- ・特別警報が発表された場合、該当地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。警報発表地域にいる学生は、各自ただちに命を守る行動をとってください。特別警報の種類は問いません。ただし、特別警報発表時に大学構内にいる学生は、大学の指示に従って行動してください。また自宅や通学中の学生で特別警報が発表された地域にいる場合は、自身の判断により、命を守るために最善と思われる行動をとってください。
- ・警報解除の後、危険が回避されたことが確認された場合には、以下の表のとおり、警報解除時刻により授業開始講時を決定します。それ以外の場合、状況判断の上、別途指示します。（早朝からの警報が6時30分までに解除となった場合は、平常通りの授業を実施します。）

1. 警報発表対象地域

- ・予報一次細分区域における
京都府南部、大阪府
- ・予報二次細分区域における
京都・亀岡、南丹・京丹波、山城中部、山城南部、大阪市、北大阪、東部大阪、南河内、泉州

■警報・注意報が市町村を対象区域として発表される※ようになっていることから、以下の表に示す市町村のいずれかに警報が発表された場合は、該当の予報二次細分区域に警報が発表されたものとして、授業・試験の実施は中止します。

※テレビやラジオの放送では、これまでどおり「市町村をまとめた地域の名称」で発表される場合があります。

京都府南部

予報二次細分区域	市町村
京都・亀岡	京都市、亀岡市、向日市、長岡京市、大山崎町
南丹・京丹波	南丹市、京丹波町
山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町
山城南部	木津川市、笠置町、和束町、精華町、南山城村

大阪府

予報二次細分区域	市町村
大阪市	大阪市
北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四条畷市、交野市
南河内	富田林市、河内長野市、松原市、羽曳野市、藤井寺市、大阪狭山市、太子町、河南町、千早赤阪村
泉州	堺市、岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町

2. 警報解除時刻と授業・試験開始講時

警報が解除される時間帯によって、以下のとおり授業・試験を実施します。

警報解除時刻	授業・試験開始講時
6時30分までに解除	1講時から実施する。
9時30分までに解除	1・2講時は実施しない。3講時から実施する。
14時30分までに解除	1～5講時は実施しない。6講時から実施する。
14時31分時点で警報が発表中	全講時実施しない。

Ⅲ. I、Ⅱにかかわらず、授業・試験を行うことが困難あるいは危険であると学長が判断した場合、休講・中止とすることがあります。

Ⅳ. 試験期間中にこの措置が適用された場合、当該試験の実施に関しては、必要に応じて大学HP、DUETあるいは学内掲示板等を利用して案内します。

Ⅴ. 特別警報、暴風警報等の発表時には、必要に応じ、大学HP、DUETあるいは学内掲示板等を利用して、大学から学生に対して連絡を行います。
大学HP、DUET等を確認するようご注意ください。

以上